

平成 25 年度学内版 G P

取扱名称：「信大 YOU 遊」20 周年記念シンポジウムの開催

「信大 YOU 遊」

地域・子どもたちと共に歩んだ 20 年



信州大学附属図書館



0770671451

2013 年（平成 25 年）8 月

信州大学教育学部

7
9

序・充実した取組みができました

信州大学教育学部長 平野吉直

第20期「信大 YOU 遊未来 (CHANCE)」発足式が、4月6日(土)に教育学部図書館2階視聴覚室で開催されました。活動に参画している学生たちは、これまでの学生がそうであったように、先輩たちの築いてきた過去の実践を参考にしながら、自らの「信大 YOU 遊」の目的・目標を定め、計画を立て、その実現に向けて一生懸命に県内各地で活動に取り組んでいます。平成25年度も、新たな「信大 YOU 遊」が始まりました。

「信大 YOU 遊」の取組みは、文部科学省のフレンドシップ事業の一環として平成6年度から行われた「信大 YOU 遊サタデー」(7年間)に始まり、「信大 YOU 遊広場」(2年間)、「信大 YOU 遊世間」(9年間)、「信大 YOU 遊未来 (CHANCE)」(2年間)へと進展してきました。20年という長きにわたって継続されてきただけでなく、常に実践を振り返り、新しいチャレンジを試み、成果をまとめてこられた関係者のご努力に、深く敬意を表します。そして、この度「信大 YOU 遊」20年という節目に、20周年記念誌を多くの関係者のご協力のもとに発刊できることとなりました。

「信大 YOU 遊サタデー」が始まった平成6年の頃は、学校週5日制が段階的に取り入れられた時期でした。平成4年9月から第2土曜日が休業日となり、平成7年4月からは第2土曜日・第4土曜日が休業日となりました。当時、学校が休みになる土曜日の子どもたちの「受け皿」をどうするかという問題が生じていました。「信大 YOU 遊サタデー」に「サタデー」という言葉があるように、学校週5日制の導入が、「信大 YOU 遊」の発足に影響があったことは想像に難くないわけですが、「信大 YOU 遊」の取組みは、子どものための単なる「受け皿」にとどまらず、子どもの成長を支援し、地域を活性化させ、教員を目指す学生の貴重な学習機会になるなど、子ども・地域の方々・学生がともに汗を流して農地を耕し、多くの意義ある実りを収穫する場、まさに総合的な学びの場へと進展していったことに大きな意義を感じております。

「信大 YOU 遊」の取組みの趣旨に、ご賛同いただき、ご支援・ご協力いただいている地域住民の方々、多くの連携団体の関係者の皆様に、そして、この20周年記念誌にご寄稿いただきました有識者の皆様、歴代学長ほか数多くの皆様に、心から感謝申し上げます。最後になりますが、「『信大 YOU 遊』20周年記念シンポジウムの開催」が、山沢信州大学長のご理解をいただき平成25年度学内版GPに選定され、充実した取組みを実現することができました。この場をお借りして感謝を申し上げます。

も く じ

序・充実した取組みができました	信州大学教育学部長 平野吉直	1
も く じ		2
I. 「YOU 遊」20 年を継承した勇者たちのプロフィール		4
II. あいさつ		37
1. 20 周年記念シンポジウム実行委員長 山口直行 (松本市立丸ノ内中学校)	第 1 期「信大 YOU 遊サタデー」実行委員長	
2. 20 周年記念シンポジウム事務局長 木田達也 (社会科学教育専攻 3 年)	第 20 期「信大 YOU 遊未来」運営委員長	
III. 祝 辞		
III-1. 歴代学長の祝辞		39
1. 第 9 代 信州大学長 宮地良彦		
2. 第 10 代 信州大学長 小川秋實	4. 第 12 代 信州大学長 小宮山淳	
3. 第 11 代 信州大学長 森本尚武	5. 第 13 代 信州大学長 山沢清人	
III-2. 歴代教育学部長の祝辞		41
1. 小林輝行：反省的実践家を育む「YOU 遊」	4. 赤羽貞幸：学生の実践記録を後に遺す意義	
2. 漆戸邦夫：この実践活動は、本物だ！	5. 岩永恭雄：実践的指導力と学問的素養を学ぶ	
3. 藤沢謙一郎：やがて教育現場の核となろう	6. 平野吉直：地域、連携団体の皆様に感謝	
IV. 有識者が観た「信大 YOU 遊」		44
1. 齋藤 昭 (三重大学名誉教授) 「信大の 21 世紀教育への使命」		
2. 佐島群巳 (東京学芸大学名誉教授) 「感性と知性を耕す」		
3. 加藤 章 (上越教育大学名誉教授) 「「信大 YOU 遊」の特質と教育史的意義」		
4. 佐伯 胖 (東京大学名誉教授) 「くまなびほぐし」の体験」		
5. 佐藤 学 (東京大学名誉教授) 「教師教育改革は教育改革の中心」		
6. 遠藤孝夫 (岩手大学教授) 「シラーの思想とも通底する教師教育実践」		
7. 泉野佐一 (富山大学名誉教授) 「信州教育の伝統を継ぐもの」		
8. 藤枝静正 (埼玉大学名誉教授) 「実践の先駆性—教師力の基底としての「人間力」へ着眼—」		
9. 高倉 翔 (筑波大学名誉教授) 「教員養成制度・実践の改革」		
10. 門脇厚司 (筑波大学名誉教授) 「これからの教員に不可欠な「社会力」を育てる「YOU 遊」実践活動」		
11. 曾根原孝和 (元信州大学教育学部附属松本小学校副校長)		
	「学生が自らを問い深め、高める、大変貴重な教育実践の場」	
V. 学生が地域・子どもたちと共に歩んだ 20 年		
V-1. 先輩から後輩へと受け継がれた絆		49
1. 「信大 YOU 遊サタデー・広場・世間・未来」20 年をつむいだリーダーたち		
2. 学生が掲げた「目標」の変遷		
V-2. 学校週五日制時代の大学開放		54
1. 「信大 YOU 遊サタデー」	5. 「キャンパス・プレーパーク」	
2. 「出張 YOU 遊サタデー」「信州大学出前講座」	6. 附属松本小学校園の開放—「あおぞら空間	
3. 「キャンパス教育の森」	—信州に夢よ広がれ—」	
4. 「YOU 遊フェスティバル」		
V-3. 地域連携・協働による地域の活性化		58
1. 「信大茂菅ふるさと農場」、「信大 YOU 遊未来」 茂菅 Farming Village	3. 「麻績村 dE 遊ぼう」、「信大 YOU 遊未来」麻績	
2. 「青木村えがおクラブ」、「信大 YOU 遊未来」青木	4. 「大岡わらわらクラブ」、「信州大岡ふるさとラン ド」、「信大 YOU 遊未来」大岡	

5. 「湯谷子どもランド」、「信大YOU遊未来」湯谷	8. 「XY サタデースクール」
6. 「信州すざか農業小学校」、「信大YOU遊未来」 須坂	9. 「加茂児童館」、「喬木」、「姨捨の棚田」
7. 「信大牟礼ふるさと農場」	10. 高大連携・長野西高校
V-4. 人間性回復キャンプの実践 ……………	65
・「里山ふれあいキャンプ」 ・「ふきのとうキャンプ」 ・「YOU-YOU キャンプ」	
V-5. 現代の教育課題への挑戦 ……………	66
1. 不登校：「城山中間教室」「長商定時制」「信大YOU遊興譲館」	
2. 障害児教育：「にこにこクラブ」「わらの会」「ペンギンクラブ」「ひだまりの会」 「わいわい♪元気クラブ」「虹の会」「いるかクラブ」	
3. いじめフォーラム	
4. 「教師の資質と人権意識」：一つの指針として 大澤安貴子	
5. 「一人で悩まず、自分を追い込まないで」：一つの指針として 守時公枝	
VI 「全国フレンドシップ活動」による大学間の切磋琢磨 ……………	72
1. 「信大YOU遊」がモデルとなり、文部省「フレンドシップ事業」の政策化	
2. 「全国フレンドシップ活動」発足の由来とホスト校一覧	
3. 第13回「全国フレンドシップ活動」in 上越に参加した学生の感想	
4. 教員養成大学・学部フレンドシップ事業を語る	
4. 1 近森憲助（鳴門教育大学教授）「教員養成フレンドシップ事業について」	
4. 2 小泉秀夫（関東学院大学教授）「私と信大フレンドシップ事業」	
4. 3 濁川明男（妙高市教育委員会教育長）「戦後の教員養成を変える礎となった「信大YOU遊」	
VII 早朝自主研修会「現代教師学演習」「未来道場」における鍛錬修養 ……………	76
1. 早朝自主研修会の始動	
2. 早朝自主研修会に参加した学生・教員の人数と研修内容	
3. 「未来道場」の哲学	
4. 稽古「百回賞」、「三十回賞」の受賞者	
5. 井浦 徹（千曲市立東小学校）「学生時代の「現代教師学演習」で啓発された使命感」	
6. 柿沼佑樹（飯山市立秋津小学校）「教職10年目に想う「現代教師学演習」の意義」	
7. 中川弘泰（元長野市立後町小学校長）「未来道場への想い」	
VIII 資 料 ……………	81
1. 「YOU遊」を報じた新聞記事の見出し	
2. 「YOU遊」実践記録＜第1集～第19集＞の総目次	
IX 謝 辞 ……………	95
1. 御札の言葉 土井 進（教育科学講座・「YOU遊」担当教員）	
2. 編集後記 高坂 泉 「20周年記念誌」編集委員長	
☆「信大YOU遊」20周年記念シンポジウムの開催☆	

「YOU遊」20年を継承した勇者たちのプロフィール

この「プロフィール」は、「YOU遊」に関わった学生・OB・OGに下記内容で寄稿をお願いしました。

☆編集方針：①思い出と仲間を再確認し、未来へと一歩踏み出すきっかけとなる記念誌

②「スタッフ・プロフィール」をできる限り多くの卒業生、在学生に執筆していただく。

☆内容：次のことなどを300字以内で執筆して下さい。① 学生時代の所属専攻名、② 出身高等学校名、

③「YOU遊」のどんな活動をしましたか？ ④ 現在のお仕事の様子、⑤ 趣味・特技等、⑥ その他自由に「信大YOU遊」20周年記念誌 編集委員会

名前：青木智博（あおきともひろ）

専攻：教育実践科学

学業：2005卒業

私は卒業後2年間教員をしたが、血迷い今はNPOに勤めています。今も私はYOU遊の魅力をはたひたと感じています。

青木村通学合宿の時には、考え方の違いで話が進まないことがよくありました。それでもひたすら話し合ったことを思い出します。でもみんなと一緒に考えてきたからこそ、アイデアに広がりができとても可能性に満ち溢れたものが出てきました。もちろんできあがったものは、釣り上げたばかりの魚のように荒々しいものでしたが、命のこもったものでした。

私は今、またその命に出会うために人生という大海を旅しています、と締めくくればカッコ良いですが、灯台下暗し。ならなぜ教員を辞めたのか、と突っ込んで終わりにします。



名前：赤羽成美（あかはねなるみ）

専攻：生活科学教育専攻

卒業年度：平成24年度

出身地：長野県安曇野市

～現在の状況～

長野県教員 辰野町立辰野西小学校

～学生時代に参加したプラザ名～

・青木・茂菅・大岡・湯谷・麻績・YOU-YOU キャンプ
・YOU遊フェスティバル

～学生時代と現在～

子どもとの活動で一番衝撃だったのが、子どもは未知数である、ということでした。その場で柔軟に対応することの大切さを学びました。その経験が現場でも生きているのではないかと思います。また、仲間と語り合ったり、一緒に活動したりしたそのつながりが、自分をたくさん成長させ

てくれました。つながる力をこれからも大切にしていきたいです。

つながりワード♡

18期運営・YOU-YOU CAMP・全フレin聖徳・家庭科・高崎研究室・W館・サックス・吹奏楽

名前：赤羽雄二（あかはねゆうじ）

専攻：生涯スポーツ課程地域スポーツ（05E）

出身校：松本県ヶ丘高校

茂菅ふるさと農場へ参加しました。

現在：教育学部を卒業後、職員として信州大学にお世話になっております。病院の受付や学生の窓口、旅費経理等、幅広い職種を経験させていただいています。

趣味：スポーツ全般

学生の仲間だけではなく、子どもたち、地域の方と関わったことで、YOU遊で得たつながりが、私を成長させてくれました。学生時代の一大イベントである私の卒業論文も、「YOU遊」のおかげで完成することができました。

名前：浅沼康理（あさぬまやすまさ）

専攻名：小学校数学科

出身校：三重高等学校

学生時代のYOU遊体験：

学生時代にはカンカンアイスクリームのサポートや、スライム作りの担当をしました。自分でいろんなことを組み立てていくということはとても大変なことです。それを乗り越えると充実感に変わることを実感することができました。友達と一緒に始めた「パフィーになって踊ろう」という企画もいろんな人の輪が広がって思い出深いものとなりました。全体に関わってはコンピューターの担当をさせていただき、委員長・副委員長とともにがんばってきたことが深い絆となり、今

でもよい思いでとなっています。

勤務先：茅野市立永明小学校

近況：中学校勤務が長かったのですが、最近小学校勤務になり、いろんなことが大きく変化していることにビックリしています。毎日が新鮮で戸惑うことも多々ありますが、学生のとくと気持ちはず変わらず多くのことを学び続けている日々です。あと子育てに奮闘中です。

趣味：特技：仕事柄上、エクセルはだいぶ強くなりました。

名前：安達仁美（あだちひとみ）

専攻：小学校教員養成課程教育実践科学専攻

出身校：名古屋大学教育学部附属高等学校

現在の勤務先：信州大学教育学部

趣味：ミュージカル鑑賞

学生時代にどのような「YOU遊」を体験したか：先輩に誘われてYOU遊サタデーの講座長を務めました。企画を運営することの面白さと難しさを経験しました。達成感と安堵感で打ち上げで大泣きしたのを覚えています。

近況：ご縁があって母校に就職することになり、今は、教員としてYOU遊の活動を陰ながら応援する立場になりました。YOU遊の活動を通して泣いたり笑ったりしている学生さんをみると、自分の学生時代を懐かしく思い出します。



**名前：足立(藤田)優子
(あだちゆうこ)**

卒業年：平成17年3月

専攻：家庭科

第10期の副運営委員長をつとめました。「YOU遊世間」の活動は、初めは「楽しい、やってみたい」という気持ちから始めることが多いのですが、活動を継続的なものにしていくには「楽しい」だけではいけない、自分の成長にとって有意義な活動であることが重要になってきます。

茂菅の活動に参加している親子は、農場での活動をとっても楽しみにしているようでした。親子で共感しあえる活動だと思いました。そして、りんごの花には感動!! 一つひとつ心を込めて育てられたりんごだからおいしいのだと感じました。

名前：阿部由季（あべゆき）

専攻：芸術教育専攻美術分野

出身校：群馬県立高崎北高校出身

YOU遊では、茂菅農場で子どもたちと一緒に農作業をしたり、大岡の子どもたちと体育大会をして遊んだことが思い出に残っています。コミュニケーションが苦手だったので色々な世代の人と関わることができて良かったです！また、実践記録の表紙を描きました。

大学卒業後は、個別指導塾に就職し授業や販促など様々なことに取り組みました。

趣味は絵を描くことですが、就職後は全く描けていません。最近体力に余裕が出てきたので少し描き始めました。また公募展に応募したいです。

名前：新井清規（あらいきよのり）

専攻：中学校教員養成課程理科専攻

出身高等学校名：長野高校

・学生時代にどのような「YOU遊」体験をしたか「笹舟で遊ぼう」でキャプテンをしました。

・現在の勤務先 長野市立朝陽小学校

・近況：教員生活20年近く 中学校、養護学校、小学校と回り昨年初めての小学校1年生の担任。ドキドキワクワクしながら毎日を過ごしました。また、この間、現職派遣教員として信州大学大学院教育学研究科(土井進研究室)で学びました。

・趣味・特技など：パソコン・学級通信づくり

名前：新井雅菜（あらいまさな）

専攻：生活科学教育専攻 ライフプランニング教育分野

出身校：長野県伊那北高校

趣味：ピアノ・写真

活動内容：麻績（麻績キャンプ・学生企画）・青木（通学合宿・学生企画）・湯谷（学生企画）・茂菅（田植え）・大岡（わらわら）

名前：飯島香純（いいじまかすみ）

専攻：教育実践科学専攻 臨床学校教育学分野

第20期のYOU遊未来では、茂菅の副農場長と夢村学生代表を兼任させてもらっています。セロリ以外の野菜が大好きで、ドレッシングなしでもサラダを食べ続けることができます！

私は入学前からYOU遊に興味があり、入学が決まったら是非活動に参加したいと強く思っていました。いろいろなプラザに参加する中で先輩や保護者の方にお話をお聞きし、元気いっぱい子どもたちと関わる中でYOU遊の素晴らしさを実感し

ました。そして今、活動に携われることに感謝しています。

今後もこのような活動が続くよう、さらに発展、進化した活動になるべく努めていきたいです。



名 前：池田 愛 (いけだあい)

専 攻：社会科学教育専攻

卒業年度：教育学部在学中

出身地：長野県長野市

～学生時代に参加したプラザ名～

・湯谷・大岡・茂菅・YOUフェス

～学生時代と現在～

活動に参加することで、子ども達とどう関わっていけば良いのか、何が大切なのかを常に考えさせられました。また、先輩方や友達と話をすることで、様々な刺激を受け、教育に対する考え方が自分の中で形成されていったように思います。

つながりワード♡

社会・国語・特支・読書・トランペット・チーズケーキ

名 前：池田(神林)彩井 (いけだあやい)

専 攻：生活科学教育専攻

出身校：長野県長野吉田高等学校

・主に、茂菅ふるさと農場の活動に力を入れていました。子ども達とスタッフの皆さんと共に汗をかいてひとつのものを育てる体験学習は、忘れることの出来ない素敵な思い出です。

・一般企業

・2012年3月11日に女の子を出産しました。可愛くて仕方ないです！(笑)

母という立場にたち、自ら子育てを経験してみて、子どもの命や存在の尊さを改めて強く感じています。教師をやっていた頃は、そこまで理解できていなかったと反省しています。現在は一般企業で働いています。毎日いろんな変化のある子どもを育てながら、仕事と家事をする毎日は本当に大変です。でも、その分やりがいも感じています。

・出産前にやっていたヨガ、またいつかやってみたいなあ。

名 前：池田(日詰)清香 (いけださやか)

専 攻：小学校教員養成課程保健体育専攻

出身校：長野県立長野高等学校出身

YOU遊サタデーでは、「ブーメランを作ろう」

の講座に参加。

卒業後、産育休を含め12年間小学校に勤務。2011年度末に退職し、現在夫の仕事先のシンガポールにて生活し7・5・0歳の子育て中。今年、小学校に入学した息子を通して、今までとは逆の立場から学校に関わることにより見えてきたことを、再び教室に戻る機会があるならば実践してみたいと思う。

名 前：池田隼人 (いけだはやと)

保健体育3年です。好きな食べ物は焼き鳥、特技かどうかは分かりませんがバスケが好きです。今年度の第12回信大YOU遊フェスティバルの実行委員長をやらせていただいております。YOU遊に参加したきっかけは、1年のときに友人にYOUフェスに誘われたのがきっかけでした。YOU遊の活動は子どもとふれあう数少ない機会、子どもの成長を目にできることが何より楽しみで活動に参加しています。

名 前：石山裕貴 (いしやまひろたか)

専 攻：理数科学教育専攻

・「信大茂菅ふるさと農場」の活動に主に参加しました。子どもたちとのふれあいや仲間との協力は、教師としての自分の基盤になっていると感じています。

・徳島県美馬郡つるぎ町立貞光中学校

・教師歴5年目で、今年は1年生の副担任をしています。大きな喜びや挫折なども経験してきて、ようやく教師としての『自分らしさ』がわかってきたように思います。今年は規模の小さな学校に赴任したこともあり、初めて専門外の教科(技術)の授業も担当しています。戸惑いもありますが、毎日楽しく過ごしています。

・J2の徳島ヴォルティスのサポーターをしています。もちろん松本山雅、長野パルセイロも応援しています。

名 前：市川香織 (いちかわかおり)

～生い立ち～

1988年 北安曇郡松川村のりんご農家『市川家』に生まれる。

0～5歳 北アルプスのふもとで、広いりんご畑の中をかけめぐりながら、けがの絶えない日々を過ごす。

6～15歳 唯一の自慢は、小2～中3までリレー選手に選ばれたこと。

16～22歳 松本蟻ヶ崎高校→教育実践科学専攻→土井研究室にて学ぶ。

22歳 おかげさまで、小学校教師になる。
 2015年 千曲市立東小学校 6年2組30名と3年
 目の出逢いを果たし、担任をする。
 ～いまに生きるYOU遊（青木村・大岡）での学び～
 子どもたちの前に立たせていただいているという
 “おかげさま”の気持ち。

名 前：井上甲斐（いのうえかい）
 芸術教育専攻美術分野の井上甲斐です。出身高
 等学校は山梨県立甲府第一高等学校です。私は、
 第19期茂菅のプラザの副Village長を1年間やら
 せて頂きました。私は、茂菅の活動では、主にプラ
 カード作りや茂菅通信の挿絵作りなどの美術関連
 の活動に特に力を入れていました。また、アップ
 ルズの活動に参加し、林部さんのおうちにもしば
 しば伺いました。そして、YOU遊の実践記録第19
 集の表紙作成にも携わらせて頂きました。現在は、
 茂菅閉場記念誌等の製作に関わっていて、アップ
 ルズにもたまに参加します。茂菅の活動にも、ま
 た近いうちに参加したいと考えています。趣味は、
 やはり絵を描く事が好きで、工作のように物を作
 る活動にも関心があります。

名 前：岩瀬由依（いわせゆい）
 ①所属
 言語教育専攻 国際理解教育分野 4年生
 ②出身学校
 豊科町立（現：安曇野市立）豊科南小学校
 豊科町立（現：安曇野市立）豊科南中学校
 松本県ヶ丘高等学校 普通科
 ③活動実績
 1年次：YOU遊フェスティバルに参加。
 2年次：YOU遊フェスティバル実行委員を務
 める。茂菅・麻績・湯谷・大岡のプラザの活
 動に参加。
 3年次：第19期YOU遊「未来」運営委員長代
 行、YOU遊フェスティバル副実行委員長を
 務める。茂菅・麻績・湯谷・大岡のプラザの
 活動に参加。
 ⑥その他
 YOU遊で出会った地域の方々や子どもたち、
 先生方、そして仲間は、現在の自分の支えや強み
 となっているように感じます。このような素敵な
 場所で学生時代を過ごさせていただきましたこと
 に、心より感謝申し上げます！

氏 名：上野なつみ（うえのなつみ）
 専攻名：生活科学教育、3年生
 出身高等学校：屋代高等学校
 YOU遊体験：麻績キャンプの参加がきっかけで
 した。今はYOU遊未来の副運営委員長として、学
 生交流のための企画等考えています。
 近況：YOU-YOUキャンプとって、全プラザの
 子どもたちが集まってキャンプをするという規模
 のでかい活動の企画に携わっています。子どもた
 ちが楽しいと思ってくれるにはどうしたらいい
 か、子どもたちの笑顔を想像しながらする話し合
 いはとても楽しいです。YOU-YOUにはとても意
 識の高い仲間がたくさん集まっていて、日々とて
 も勉強になっています(^-^)
 趣味：子どもと遊ぶことが大好きです♪
 YOU遊の活動があれば毎週のように参加し、子
 どもたちに癒されています(^-^)*

名 前：上原博信（うえはらひろのぶ）
 青木村役場総務課 人生ってすばらしい！
 平成7年信州大学人文学部卒業。1年半自動車
 販売の営業をして挫折。平成9年青木村役場へ。
 8年目に教育委員会事務局へ異動。そこで「YOU
 遊」の皆さんと出会い6年間協働。何て不思議な
 ことでしょう。信大教育学部へあおきっこや役場
 の同僚と数多く訪れ、学生時代以上に信大への愛
 着心が芽生え、本当に幸せ者だなと再確認しまし
 た。あおきっこ通学合宿、川遊びキャンプ、村内
 ホームステイなどを一緒に行うことができ、あお
 きっこの社会力育成に関われたことに対し感謝で
 す。子どもたちや信大生からエネルギーをもらい、
 共に汗をかき、チャレンジ精神で駆け抜けた6年
 間は、私の生涯の宝物です。

名 前：宇治 貢（うじみつぐ）
 専 攻：理数科学教育専攻
 出身校：松本巖ヶ崎高等学校
 ・活動 平成24年度のYOU遊フェスティバルを
 きっかけに興味を持ち、青木村の大三角に参
 加し始めた。そのため、今年度のあおきっこ
 通学合宿にも参加させてもらった。
 ・現在 理数科学教育専攻 数学分野 3年
 ・近況 現在は青木村を中心に活動に参加してい
 る。通学合宿、冬の大三角などに参加した。
 また今年はいろんなところに行ってみたくと
 考えている。
 ・趣味・特技 趣味は小学校からやっている野球



名 前：内川舜也(うちかわしゅんや)
 専 攻：教育実践科学専攻
 卒業年度：平成24年度
 出身地：長野県松本市

～現在の状況～

須坂市立仁礼小学校

～学生時代に参加したプラザ名～

青木・大岡・麻績・茂菅・湯谷・YOUフェス・
 未来道場

～学生時代と現在～

私はYOU遊の活動を通して、「子どものために
 尽くす気持ち」「一歩を踏み出す勇氣」「仲間の大切さ」の3つのことを特に学びました。YOU遊での学びや一緒に活動を共にした仲間のことを忘れず、これから教員人生を歩んでいこうと思っています。この記念誌を通して、さらにたくさんの方々とつながれたらと思います。

つながりワード♡

18期青木・19期運営・土井研究室・野球・松本蟻ヶ崎高校・筑摩野中学校・寿小学校・ONE PIECE・加藤あい



名 前：宇良知子(うらともこ)
 専 攻：家庭科教育専攻
 卒業年度：平成16年度
 出身地：沖縄県那覇市

～現在の状況～

安曇野市立明北小学校 家庭科補助

～学生時代に参加したプラザ名～

～学生時代と現在～

学生時代の土日に、茂菅ふるさと農場でのお米作り体験や林部さんのりんご園のお手伝いをさせてもらうことで、充実した学生生活を送ることができました。現在も、今できることを精一杯頑張ろうという気持ちで過ごすことができています。これから先も、人との出会いを大切にしていきたいです。

つながりワード♡

林部さん・りんご・家庭科・編み物・サーブハイツ・川上村・軽井沢・安曇野



名 前：大井このみ(おおいこのみ)
 専 攻：理数科学教育専攻
 卒業年度：平成23年度
 出身地：長野県坂城町

～現在の状況～

佐久市立東小学校 3年担任

～学生時代に参加したプラザ名～

・湯谷小・麻績・茂菅・青木・YOUフェス
 ・あっぷるず・YOU-YOUキャンプ

～学生時代と現在～様々な活動で多くの子どもたちと触れ合う度に、子どものパワーや魅力を感じ、教師になることへの夢が膨らんでいきました。宿泊企画では、共に成功を目指す仲間の大切さを実感しました。現在は子どもたちの笑顔が原動力となり、多くの仲間や先輩に支えられながら、とてつもなく充実した日々を送っています。先生になれて幸せです。

〈氏名〉大石(富山)裕子(おおいしゆうこ)

〈専攻〉障害児教育専攻

〈出身高等学校〉新潟県立六日町高等学校

〈YOU遊体験〉牟礼・茂菅の農場、鉄腕アトム、興譲館、プレイパーク、YOUサタ・YOUフェスの講座

〈現在の勤務先〉新潟市立有明台小学校

〈近況〉昨年、子どもが生まれました。今年度は育休をいただいて、育児を楽しんでいます。離乳食が始まったばかりなのですが、娘とベランダ菜園をして、それで離乳食を作ろうと挑戦中です。「育てること」、育てたものを「食べること」の楽しみを茂菅・牟礼で教えてもらい、それが今につながっています。これからも家族や学校の子どものたちとの土づくりを通して、その楽しさを伝えていきたいです。

名 前：大木拓哉(おおきたくや)

1. 出身大学は埼玉県の獨協大学です。卒業後、信州大学大学院教育学研究科に進学しました。
2. 栃木県立壬生高等学校
3. 第6回あおきっこ合宿、第2回わらわら合宿、YOU-YOUキャンプなど
5. 自然の中で活動するのが好きです。福島県西白河郡西郷村が私の原点です。
6. 資料を見ると、発足当初の目的からだんだんと進化してきたことが推察されます。近年では、学生の実践的指導力の向上、推進されているものの実施が困難な中長期キャンプの実施、継続的な体験的学習、活動を通しての子どもたちの成長、地域との連携・活性化などの効果があります。「信大YOU遊」には無限の可能性があると思います。なお余談ですが活動のハンドメイド感が好きです。

名 前：大澤安貴子（おおさわあきこ）

専 攻：昭和46年～50年 教育学科専攻，平成

13年～15年 教育学研究科 学校教育専攻

出身校：長野県長野西高等学校

平成13年からの2年間「ふきのとうキャンプ」を始めとした不登校の子ども達とのYOU遊イベントに参加した。登校したくない男児に関わり、その後母親からも相談を受けた。翌年から上田市で不登校支援の仕事に就いたが、YOU遊での体験が、現在の仕事を選択させたことは、言うまでもない。

上田市教育委員会 学校教育課 教育相談所勤務
不登校支援の仕事に就いて10年になる。漸く支援の方略が見えてきたように思う。



名 前：太田 咲（おおたさき）

専 攻：言語教育専攻

卒業年度：平成26年度

出身地：群馬県伊勢崎市

～現在の状況～

信州大学教育学部3年

～学生時代に参加したプラザ名～

青木・茂菅・大岡

～学生時代と現在～

私は子どもに対して苦手意識を持っていました。しかし、YOU遊の活動に参加して、自分自身が変われたことを実感しています。また、先生方、先輩方、同期、地域の方々と話す中で、たくさんを感じ、成長できました。今後も、たくさんの人との出会いを大切に、成長していけたらいいと思っています。

つながりワード♡

国語・M館・西長野・バレーボール・甘いもの・ラーメン・ウーロン茶・料理・ラパン

名 前：大塚一哉（おおつかかずや）

専 攻：数学教育専攻

出身校：岐阜県立可児高等学校

YOU遊での活動：大学2年の頃は、先輩方が計画された様々な活動に参加しました。農作業や町おこしのお祭り、公民館での遊びなど、どれも子どもたちと触れ合える場所でした。3年には自分が長となり、「麻績村de遊ぼう」「長野商業高校定時制での触れ合い」を運営。また、仲間

が企画する活動にも参加。麻績村でも商業高校でもとても苦労しました。1回の活動をするために、何日もの時間を費やしました。それでも準備不足や想定外のことが多々あり、今はその失敗が自信となっています。一緒に活動した仲間たちと様々な経験を共有できることがとてもうれしかったですし、たくさんの出会いと思い出と自信をもらいました。今、学生時代の苦労が私の支えです。

現 在：講師3年後、試験に合格し4年目です。同学年の先生方に支えられながら、学年主任も2年目になります。諏訪市立城南小学校で4年生を担任。常に「集団」を意識し、一貫した指導を目指しています。「ありがとう」「ごめんね」「いいよ」を言い合える子どもたちを育てたいと思っています。

趣味・特技：ギター。音楽会の職員合唱などで弾いたり休み時間に子どもたちと歌ったりです。終わりに：土井先生をはじめ、仲間に出会えたことに感謝。今もなお、YOU遊の活動が続けられていることがとてもうれしいです。数えきれないほど多くの子どもたちが笑顔になったことでしょう。息の長い活動にしていってください。



名 前：小賀坂佳子（おがさかよしこ）

専 攻：理数科学教育専攻

卒業年度：平成23年度

出身地：長野県塩尻市

～現在の状況～

静岡県伊豆の国市立長岡南小学校 理科専科

～学生時代に参加したプラザ名～

- ・麻績・YOUフェス実行委員（第7、8回）
- ・湯谷

～学生時代と現在～

私はYOU遊の活動を通して、準備の大切さを学びました。子どもたちは何をしたいだろう、どうしたら喜んでくれるだろう、何が必要だろう、と想像を巡らせながら仲間と準備し、本番当日に子どもたちの笑顔を見られると疲れも忘れてとても幸せな気持ちになれたものでした。働き出した今も「準備8割」を常に心に置いています。

つながりワード♡

いきものがかり・YUI・理科・伊藤研・W館・塩尻・日産NOTE・ソフトテニス・リラックマ・ウサビッチ

<p>名 前：奥原克水（おくはらかつみ） 専 攻：小学校教員養成課程 国語 出身校：長野県伊那北高等学校 YOU遊サタデー第1・2期「演劇しましょ」「小麦粉粘土」など 駒ヶ根市立赤穂東小学校 4年生の担任です。昨年から学年主任にもなり、責任が重くなる年なんだなあと実感しています。 趣味：花作り・天体観測</p>	<p>名 前：落合静香（おちあいしずか） 専攻名：社会科学教育専攻 出身高等学校名：山村国際高校 「YOU遊」：XYサタデースクールや麻績村dE遊ぼう、茂菅などに参加させてもらい、農作業や色々な遊びをさせていただきました。プラザ長として計画を立てたり、参加者として活動に参加したりし、仲間や子どもたちと実際に体験してみることで充実感を得ることができました。 現在の勤務先：坂戸市立三芳野小学校（埼玉県） 近況：4年生の担任をしています。総合的な学習で米作りを行っています。地域の人の協力で校内の小さな田んぼで育てています。地域の人と交流をしていると、学生の頃のことを思い出します。 趣味：旅行（出かけること）</p>
<p>名 前：小黒あかり（おぐろあかり） 専 攻：教育実践科学専攻 ◇「YOU遊」での体験 プレーパークを中心に、茂菅・牟礼、キャンプ、興譲館…様々な活動に参加しました。多くの時間を共に過ごした仲間、参加してくれた子ども達、支えてくださった地域の方々、先生方と一緒に過ごした日々が今も宝物です。 ◇現在の勤務先 長野市の飯綱山にある私立のグリーン・ヒルズ小学校。プロジェクト（総合学習）をベースにした学校です。子ども達からも「ピッピー」と呼ばれ、私の中ではYOU遊の延長線上の学校です。ぜひ一度、HPをご覧ください。見学も大歓迎です☆ ◇近況 今年3月、10年前にプレーパークの仲間と埋めたタイムカプセルをあけました。新しく動き出すパワー充電中…。</p>	<p>名 前：海沼正典（かいぬまさふみ） 飯山養護学校 私は、平成12年土井先生らと共に茂菅農場の開拓にあたりました。初夏の日差しのなか、放置されていた野原を、クワとスコップ、鋸などを手にして、学生さんたちと汗した当時は懐かしく思い出します。雨天も考えられ、先生が丈夫な雨合羽まで用意されていたことが印象的でした。現在、特別支援学校に勤務しておりますが、生徒の中に家が農業を営んでいる子がいます。T P P等の影響で今後、県内の農業は、様相を大きく変えるかもしれません。しかし「国破れて 山河有り」、田畑を耕し作物を育てることは、人間本来の営みとして永遠に続くことでしょう。残された教員人生、純朴な子どもたちと共に、新たな学校農業の形を探し求めていきたいと思っています。</p>
<p>名 前：織田裕二（おだゆうじ） 専 攻：生活科学教育専攻4年 出身校：愛知県立知立東高校出身 YOU遊未来での活動は、私の教師への夢をさらに大きくした。平成24年度から運営委員として活動に加わり、活動にも参加してきた、私は、活動で子どもたちと関わるなかで、もっと子どもたちの夢を広げてあげたい、もっといろんなことを体験させてあげたいと願うようになっていた。活動を通して、私自身が願いを持つようになり、私自信の考えが深まっていったのである。また、教師として、子どもの前に立ちたいという願いも大きくなった。YOU遊未来は、私の未来のみちしるべとなったと感じている。土井先生を始め、これまでYOU遊を作りあげてきた方たちやこれから活動を担う人たちに感謝している。</p>	<p>名 前：柿沼佑樹（かきぬまゆうき） 専 攻：理数科学教育 数学教育分野 出身校：長野県松本深志高等学校 理数科学教育専攻・数学教育分野でお世話になりました柿沼佑樹です。長野県松本深志高等学校出身です。YOU遊での活動経験はないのですが、「現代教師学演習」という早朝講義にて、100回以上出席させていただきました。採用試験対策や現在の教職精神に大いに役立ちました。現在は、飯山市立秋津小学校にて、6学年の担任をしております。教職10年目を迎え、体育主任、理科主任、児童会主任、視聴覚主任など、たくさんの役職を</p>

いただいています(笑)。趣味は、スノーボード、ドライブ、旅行、サッカー観戦です。また、教職に就いてから、学級通信作りにハマっています。YOU遊に無縁の私ですが、土井先生にお声掛けいただき、光栄です。



名 前：片原範子 (かたはらのりこ)

専 攻：理数科学教育専攻

卒業年度：平成23年度

出身地：長野県中野市

～現在の状況～

長野県松本市立寿小学校 1学年担任

～学生時代に参加したプラザ名～

・もすげ・大岡・湯谷・麻績・青木・ユーフェス

～学生時代と現在～

学校は地域・保護者の方々がいないと成り立たないことを学生時代に実感してきました。今は現場に出て、保護者の方々との連携をととても大切にしています。また、子ども達の可能性をたくさん広げ、いろいろなことに挑戦できるよう、たくさんのお機会を設けるようにしています。そして、何より「つながり」は今もこれからも宝物(*^ω^*)

つながりワード♡

第17期運営・数学・宮崎研究室・セジュールこ
かめミッキー・温泉・旅行



名 前：勝海公平 (かつうみこうへい)

専 攻：社会科学教育専攻

卒業年度：平成24年度

出身地：静岡県伊豆の国市

～現在の状況～

伊豆の国市立大仁小学校 講師

～学生時代に参加したプラザ名～

・湯谷・麻績・茂菅・青木・大岡・YOUフェス

～学生時代と現在～

YOU遊の活動で子どもとかかわることを通じて、迷いがあった自分が、明確に小学校の教員になりたいというぶれない思いを持つことができました。また、遠慮することなく活動のことを始め、将来のことなどを話すことができる一生ものの仲間ができたことが、私の人生を豊かにしてくれていると思います。

つながりワード♡

YOUフェス・18期・社会・駒村研究室・ラーメン・信里・全フレ・静岡・野球・バスケ

名 前：金井(相磯)素子 (かないもとこ)

専 攻：幼児教育専攻

卒業年度：平成13年度

出身地：静岡県三島市

～現在の状況～

伊東市立宇佐美幼稚園宮川分園 (育休中)

～学生時代に参加したプラザ名～

茂菅

～学生時代と現在～

学生時代に恩師土井先生からかけていただいた言葉です。「大変なときに助けてくれた人のことを覚えていなさい」「10年後が勝負です」この言葉を糧に、日々、田んぼと富士山を眺めながら頑張っています。学生時代に土井先生をはじめ、このような活動、仲間、地域の方々とお会いしたことに感謝します。

つながりワード♡

幼児教育・田んぼ・レンゲ・土井研究室・静岡

氏 名：加納寛子 (かのうひろこ)

専攻名：生活科学教育専攻ライフプランニング
教育分野

出身校：長野日本大学高校

【YOU遊での体験】

私は、茂菅での活動とYOUフェスに参加させてもらいました。茂菅では、今まで関わったことのないような小学生以下の子どもと関わりました。作品が完成したり、何かを達成したときに子どもが見せるきらきらした表情が印象的でした。YOUフェスでは、どうすれば子どもが安全に企画を楽しめるか、学生で熱心に話し合ったことが印象的です。当日その企画を子どもたちが楽しんでくれる姿を見て、私自身とても嬉しかったです。学生で企画を作り、それを実践していくことのできるのがYOU遊の魅力だと感じています。

名 前：川口(井戸)陽子 (かわぐちようこ)

専 攻：家庭

YOUサタ時代は家庭専攻。現在は諏訪市立四賀小学校に勤務。YOUサタでは万華鏡、アイスクリーム、チューリップ農園など自分の興味あるものを講座で開かせてもらいました。それをスタッフと運営できたことは教師となるための貴重な経験となったと思います。趣味は、山歩き、自然散策。勤務先からは北アルプスが綺麗に見え、いつも眺めています。

名前：岸上隆文（きしがみたかふみ）

専攻：社会科

出身校：東京都私立城北高校出身

「茂菅ふるさと農場」で稲作体験に参加し、子どもたちの嬉しそうな顔に、可愛さと逞しさを感じました。現在、飯田市立鼎小学校に勤務しています。情緒障害学級の学年も状況も違う中での複数の子への支援に取り組んでいます。



名前：北川伸尚（きたがわのぶひさ）

専攻：障害児教育専攻

卒業年度：平成16年度

出身地：愛知県海部郡

～現在の状況～

学校法人武蔵野東学園 武蔵野東教育センター

～学生時代に参加したプラザ名～ 茂菅

～学生時代と現在～

YOU遊の活動を通してたくさんの方々に出会えたことが本当に幸せでした。色々と経験させていただいて、苦勞もしたけれど、でも今思い出として残っているのは「面白かった」という気持ち、感覚です。今後もたくさんの人との出会いやご縁を大切に、いつまでもチャレンジ精神を忘れずにいたいなあと思っています。

つながりワード♡

障害児教育専攻・小島研究室・林部さん・りんご・若葉荘・副免（美術）・長野ファーストホテル・星の観察・オムライス



名前：北沢瑞樹（きたざわみずき）

専攻：理数科学教育

出身地：長野県塩尻市

2013年3月に卒業しました。理数科学教育専攻です。大学時代は「信州大岡ふるさとランド」のプラザ長と第19期運営委員長をやりました。活動は全部のプラザに参加することができました。現在は飯田市立松尾小学校で働いています。5学年でお米を育てています。毎年田植えから行うのですが、今年は、みまきからやれるようお願いしました。稲が育つ様子を見て、実際に足で踏みながら代掻きをしました。そしていよいよ田植えです。今までこつこつと積み重ねてきたおかげで、みんな一生懸命田植えをしてくれました。一日一日を乗り越えるのに精一杯ですが、子どもたちと少し

ずつ成長しています。大学時代田植えをやって良かったです。

氏名：北島茂樹（きたじましげき）

専攻：中学校教員養成課程数学科

出身校：長野県立須坂高等学校

学生時代の「YOU遊」体験：YOU遊サタデー

現在の勤務先：明星大学教育学部

・近況 昨年度まで、東京都文京区にある筑波大学附属中学校にて教鞭をとっておりました（その前は都立高）。大学卒業後、小・中・高（国公立）と3つの校種で教員経験を積んで参りましたが、そのすべてにYOU遊サタデーでの経験が生きています（特に小学校！）。本当に充実した時間を過ごさせていただきました。

・趣味・特技など 最近は、あまり潜りに行けていませんが、スキューバダイビングをしています。小笠原の海は最高でした!!

名前：木田達也（きだたつや）

専攻：社会科学教育専攻社会科教育分野

出身校：長野県立長野高等学校

社会科学教育専攻社会科教育分野3年の木田達也です。現在、第20期の運営委員長をさせていただいています。出身高校は長野県立長野高等学校です。私が運営委員長として、今季活動目標としていることがあります。将来教師になりたいという思いと、では今何をしたらいいのかという不安を抱える学生が一人でも多くYOU遊に参加して、お互いに切磋琢磨できる場を保つことです。私も上に挙げたように学生生活に不安を抱える一人ですが、YOU遊の活動を通して多くのことを感じ、学ぶことができている環境を幸せに感じています。

名前：北野雄大（きたのゆうだい）

専攻：教育学部社会科学教育

教育学部社会科学教育専攻3年の北野雄大です。信大YOU遊未来「麻績」のプラザ長をさせていただいています。趣味はラーメン、好きな食べ物はラーメン、頭の中にはラーメンのことしかないのでかもしれません。（もちろん、子どもたちのことでもあります。）こんな感じで、楽しくやっています。（笑）私は、自然が好きで麻績をはじめYOU遊の地域の特色を生かした活動が大好きです。これからもYOU遊の発展のために、頑張りたいと思います。もちろん、参加者の1人として私自身もたくさんの方の活動をおもいきり楽しみたいです。よろしくお祈りします！

名 前：北原(原山)美樹 (きたはらみき)

専 攻：生活科学教育専攻 環境教育分野

出身校：文化女子大学附属長野高等学校

- ・「YOU遊」の活動：茂菅ふるさと農場、牟礼ふるさと農場、興譲館など
- ・現在のお仕事の様子：現在育児休業中です。1歳9か月の息子と毎日過ごす日々です。
- ・趣味・特技等：育児休業中の今、お菓子作りとパン作りにはまっています。ママ友達とケーキ会を開くこともしばしば。まだまだ、研修が足りませんが、パンの講師とパティシエの資格を取り、教員を65歳で退職後、カフェを開くのが私の夢です。また、退職後は、主人と手作り野菜、太陽光など自然エネルギーでののどかな暮らしも夢見ています。それまで、地道に子育てと本職を頑張りたいと思っています。

名 前：北村隼一 (きたむらしゅんいち)

所 属：教育学部理数科学教育専攻

活動ネーム：しゅんち、しゅんいち、しゅぽーん

趣 味：ドライブ

参加したプラザ：もすげ、あおき、おおおか、ゆや、おみ、あっぷるず、YOU-YOUキャンプ、YOUフェス、おぼすて

YOU遊へのメッセージ：今までいろんな活動に参加してたくさんの子どもの笑顔に出会ってきました。そんな活動が大好きで、好きすぎて今年から「おぼすて」という新しい活動を立ち上げてしまいました(^)/

地元で我が家の田んぼを使って保育園児から大学生まで幅広い年齢の人たちが集まって活動します。いろんな人、場所、活動との出会いをたくさんくれるこのYOU遊の活動にすごく感謝しています。これからもたくさんのお会いをしたいです。

名 前：草間信一 (くさましんいち)

専 攻：大学院学校教育専攻

現 在：安曇養護学校教諭

今から10年程前、大学院での研修の機会を頂き土井研究室の門をたたきました。研究内容は「道徳教育」に関してでしたが、私が2年間で最も印象に残っているのは早朝稽古です。一途なまで教師を目指す学生の皆さんと一緒に活動できたこと、土井先生や渡邊先生の学生と真剣に向き合う姿・そこにある真のあたたかさを間近で体感できたことは今でも私の大きな心の支えになってお

り、その時に書き留めたノートは私の宝です。大きな怪我をしまい80回のみ参加でしたが、その時に土井先生よりいただいた「人生の最も苦しい嫌なつらい損な場面を真っ先に微笑を以て担当せよ」の言葉を胸に刻み、今後も目の前の子どもたちのために頑張っていこうと思います。



名 前：熊谷 航 (くまがいわたる)

専 攻：理数科学教育専攻

卒業年度：平成24年度

出身地：長野県長野市

～現在の状況～ 岡谷市立神明小学校

～学生時代に参加したプラザ名～ 大岡

～学生時代と現在～ 大岡での通学合宿やわらわらでの活動では、子ども・保護者の方・地域の方との関わり方を学び、また教育現場において何かを実践するときは自分ひとりの力ではなく様々な方の協力があって初めて実践できるということを実感しました。YOU遊の活動で得たものをこれから現場で存分に生かしていきたいと思っています。

つながりワード♡

数学科・スピッツ・サッカー・ディズニー・ギター・ベース

名 前：栗林詩菜 (くりばやししいな)

専 攻：美術教育分野

出身校：諏訪清陵高校

昨年度からYOU遊のプラザとして位置づけられている「未来道場」で、毎朝清掃やマット運動、討論などを行い、人間力や教師としての資質能力を伸ばそうと活動しています。

趣味など：バスケットボール、写真を撮ること、铸物のアクセサリーを作ること、歌を歌うこと
大学最後の年に、YOU遊に関わることができて良かったです。真剣に子どもたちと向き合う学生に刺激され、私も教師を目指す自分自身と向き合う時間が増えました。ここで出会った仲間や考えを大切にしていきたいです。



名 前：小池(花村)尚美

(こいけなおみ)

専 攻：理数科学教育専攻

卒業年度：平成15年度

出身地：長野県松本市

～現在の状況～

伊那市伊那東小学校 少人数学習

～学生時代に参加したプラザ名～

興譲館・牟礼・茂菅・キャンパスプレーパーク
～学生時代と現在～

学生時代の人と人とのつながりが心の大きな支えであり、土井先生や林部さんはもちろん、関わったすべての方々に教えていただいたことが今の自分の土台となっています。学校現場で日々子どもと先生方から学び、学生時代に耕した土に樹を育てています。“一生勉強”の言葉の通り樹が大きく育つよう精進していきたいと思います。

つながりワード♡

総合生活・別府研究室・家庭菜園・自然散策・果物・我が子と絵本を読む時間



名 前：小池祐介 (こいけゆうすけ)

専 攻：教育実践科学

卒業年度：99年度

出身地：愛知県

～現在の状況～

県立長野養護学校 寄宿舎指導員

～学生時代と現在～

学生時代は何かとお騒がせしました。お陰様で信大生活も「2度」体験することができ、今に至ります。結局教員にはならず(なれず)、特別支援学校の寄宿舎で定年を迎えることになりそうです。でもそこは生活の場。YOUサタをはじめ、数々の体験活動がバックボーンとなっている私の本領が発揮される場でもあります。

つながりワード♡

・自然体験活動・特別支援学校における生活指導・プロレスごっこ

名 前：小塚尚士 (こづかひさし)

専 攻：野外教育専攻3年

趣味は、ドライブをすることです。この前は夕方から愛知まで行って、その日のうちに帰ってきました。歌いながら運転していたら、隣の車に気付かれずにつぶされそうになりましたが、自分の反射神経でよけ、難事をくぐりぬけることができました。今年度、YOU遊フェスティバルの副実行委員長と全国フレンドシップ活動in信州の実行委員長もさせていただきます。大変だとは思いますが、仲間と協力してより良いものを作り上げた

いです。また普段の他のプラザの活動にも積極的に参加したいと思っています。



名 前：後藤莉奈 (ごとうりな)

専 攻：言語教育専攻

卒業年度：平成25年度

出身地：長野県長野市

～学生時代に参加したプラザ名～

麻績・大岡・青木・湯谷・茂菅

～学生時代と現在～

子どもと関わる機会が増え、子どもたち一人一人考えが違うことを知り、視野が広がりました。YOU遊に参加したことで、いろんな考えを受け入れ吸収できるようになったと思います。また、今まではおじいちゃんやおばあちゃんと話すことが苦手でしたが、地域の方とお話をする機会が増え、話をするのが好きになりました。たくさんの方とつながりができ幸せに思います。

つながりワード♡

言語・国際理解・YUKI・ONE OK ROCK・チャットモンチー・バスケ

名 前：小林則雄 (こばやし のりお)

専 攻：生涯スポーツ課程 地域スポーツ専攻

出身校：山口県立南陽工業高等学校

「YOU遊」体験：「里山ふれあいキャンプ」「興譲館」「長野市心の教室相談員」・いろんな活動に首をつっこんで一緒に楽しんだ。

現在の勤務先：退職し現在は無職

近況：毎日が日曜日。朝、ゆっくり目覚めてから風任せの毎日。秋から春は、近郊へミサゴや野鳥の写真を撮りに。夏は、暑さを避けて野山にでかけて避暑。当然、長野で避暑も。

・孫達がやってくれば、絵本の読み聞かせや一緒にゲームをして遊ぶ。祝日には、一緒に君が代を歌い国旗をあげる。至福の時だ。

趣味・特技：野鳥の観察、写真撮影。またキャンプをはじめとした野外での活動。



名 前：五味大紀 (ごみだいき)

専 攻：理数科学教育専攻4年

出身地：長野県茅野市 (諏訪清陵)

～学生時代に参加したプラザ名～

YOU-YOUキャンプ、湯谷

～学生時代と現在～

私は、YOU-YOUキャンプを通して、子どもたち

と一緒に活動することの楽しさ、喜びを感じることができました。また、子どもたちが4日間で成長した姿や笑顔を見ることもできました。企画の段階でも、同期の仲間だけでなく、先輩や後輩たちと子どもたちのことについて真剣に話し合う場に参加することができました。今までの経験をいかし、子どもたちのことを1番に考えて企画をすすめていきたいと思います。

つながりワード♡

数学科・バスケット・黒髪・ムーヴ・パーマ・茅野・諏訪湖・ボード

名前：齊藤智也（さいとうともや）

専攻：理数科学教育、総合生活科教育分野

出身高校：栃木県立鹿沼東高校

「YOU遊」体験：私がYOU遊に参加を始めたのは、3年の終わりに近づいてからでした。通学合宿や青木の各企画に取り組む中で、もっと早く活動に参加していればよかったと思えるほど、そこに参加する学生は皆魅力ある人たちで、参加しに来てくれる子どもたちも素敵な子ばかりです。

近況：就職活動を行い、大塚商会という企業に2014年の4月から務めることが決まりました。

趣味・特技：趣味は写真を撮ったり、本を読むことです。特技はどこでも比較的安定した睡眠をとることができることです。

名前：斎藤 恵（さいとうめぐみ）

専攻：言語教育専攻

卒業年度：平成25年度

出身地：新潟県

～学生時代に参加したプラザ名～ 青木

～学生時代と現在～

主に青木の活動に参加させていただきました。

活動に参加する中で、子どもの成長する姿を何度も見て、その成長の手伝いがしたいなと思うようになりました。また、ぶつかり合い、学び合うことのできる仲間たちとのつながりもできました。これからもこのつながりを大切にしていきたいと思います。

つながりワード♡

国語・バレーボール・ジブリ・長岡・ろみちゃん

名前：三枝祐紀（さいぐさゆうき）

専攻：社会科学教育専攻 国際理解教育分野

出身校：屋代高等学校

・青木村通学合宿に参加させていただきました。私は本当に未熟者でした。学年こそ同期であっても、子どものことを第一に考えながら、準備、計画、実践、ふり返りを行っていた友だちの必死な姿がとても刺激的で、今も心に残っています。

・佐久市立泉小学校

・「三枝は教員よりラーメン屋だな！」と笑われていた学生時代からもう5年が経とうとしています。そんな私ですが、講師の時にいた長野市の小さな小学校で、人に恵まれ、3人の子どもとラーメンを通じた学習が叶いました。新たな環境になるたびに、子どもと出会い、人と出会い、自分は何ができるのか、模索し続けていけたらと思います。

・ラーメン巡り、スノーボード、カラオケ、筆ペンで文字を書く、のが好きです。

名前：坂田(中澤)典子（さかたのりこ）

学生時代の専攻：小学校国語

出身高校：長野県立長野高校

学生時代のYOU遊体験

茂菅ふるさと農場で米作り

現在の勤務先：長野市立若槻小学校

近況など：育休明けで久しぶりの職場、毎日が慌ただしく過ぎていきます。家族・同僚・クラスの子どもたちにパワーをもらって、助けてもらって頑張ります♪



名前：坂田好恵（さかたよしえ）

専攻：野外教育専攻4年

卒業年度：平成25年度

出身地：長野県須坂市

～学生時代に参加したプラザ名～

すざか農業小学校

～学生時代と現在～

私は、活動を通して、子どもたち、その保護者の方々、そして一緒に活動する学生など多くの方と関わりを持つことができました。私は、活動の中で、出会った方々の、笑顔や真剣な姿など日頃見ることのできない姿を見ることができ、活動して良かったと思います。これからも多くの方と関

わり合い、多くの姿を見ていきたいです。

つながりワード♡

19期プラザ長・20期プラザ長・須坂・野外・自然・キャンプ・海・硬式テニス



名 前：佐藤悠司（さとうゆうじ）

専 攻：心理臨床専攻

卒業年度：平成22年度

出身地：長野県塩尻市

～現在の状況～

信州大学大学院教育学研究科臨床心理学専修

～学生時代に参加したプラザ名～

YOUフェス・青木

～学生時代と現在～

実は人見知りをする私ですが、YOU遊でいろいろな人と知り合い、また子どもたちとかかわる中で、人との繋がりが広がっていく喜びを感じることができました。初対面でもあまり緊張しなくなりました。大学で知り合った人との繋がりが私の視野を広げてくれたので、今後自分をより成長させていきたいと思います。

つながりワード♡

塩尻市、松本県ヶ丘、サッカー、スノーボード、ティラミス、心理、ドライブ、オムライス、ビール 柴犬



名 前：佐原啓太（さはらけいた）

専 攻：社会科学教育専攻

卒業年度：平成24年度

出身地：兵庫県姫路市

～現在の状況～

兵庫県 小学校教諭

～学生時代に参加したプラザ名～

湯谷・麻績・大岡・信里

～学生時代と現在～

YOU遊の活動では地域の子どもたちや活動を支えてくださる連携団体の皆様と関わる機会をたくさん与えて頂きました。また多くの仲間にも活動を通して出会うことができました。様々な人との出会いがそこにはありました。ここでの経験や学びを糧に現場の子どもたちと全力で向き合っていきたいと思います。

つながりワード♡

湯谷子どもランド副プラザ長・社会科・準硬式野球部・フジエイト・ONE OK ROCK・隠れや・坐和民

名 前：塩原孝茂（しおはらたかしげ）

専 攻：信州大学大学院学校教育専攻

出身高校：東海大三高

学生時代の「YOU遊」：現職教員として、YOU遊広場を企画運営する学生さんたちの相談にのったり、お手伝いをしたりしていました。

現在の勤務先：小諸市立野岸小学校

近況：教頭として楽しい日々を過ごしています。

趣味・特技：バードウォッチング、山菜取り、溪流釣り、海釣り、登山、スノーシュー・・・野遊び全般



名 前：島田英一郎

（しまだえいいちろう）

専 攻：理数科学教育専攻

卒業年度：平成22年度

出身地：長野県塩尻市

～現在の状況～

上田市立城下小学校

～学生時代に参加したプラザ名～

信州すざか農業小学校豊丘校・茂菅農場・湯谷小子どもキャンプ・麻績小・YOUフェス

～学生時代と現在～

YOU遊の仲間たちと悩んだり、話し合ったりしながら、企画を考えていったことを思い出します。その企画が成功して、子どもたちの笑顔が見られた時に、最高の幸せを感じました。

そして現在も、子どもの笑顔のために日々努力し、教員としての生活を楽しんでいます！

つながりワード♡

算数・鈴木研究室・遊び研（数論）

大学時代の休日→YOU遊・テニス・スノーボー・飲み会

教員になったの休日→睡眠・教材研究・飲み会



名 前：志村昌之（しむらまさゆき）

内地留学生（長野県教育委員会派遣）

卒業：平成13年度

出身高等学校：長野県屋代高等学校

「YOU遊」：内地留学生として土井進先生の研究室で研修させていただきました。「信大YOU広場（プラザ）」の茂菅、牟礼の農場、里山キャンプなどの活動などで、学生の皆さんの情熱、土井先生のご指導に多くのことを学び、有意義な研修となりました。現場に戻ってから、子ども

たちと“国際協力田運動”に取り組み、総合的な学習の時間と6年生の社会科、国語科などの教科学習との関連を考慮して実践してきました。

現在の勤務校：安曇野市立豊科南小学校

近況：今年も6年生35名の子どもたちと“国際協力田運動”に取り組んでいます。

名 前：白井克典（しらいかつのり）

専 攻：社会科学教育専攻 総合生活科分野
大学院 学校教育専修

出身高校：愛知県立豊橋南高校

活動：YOU遊広場（プラザ）

フェスティバル 茂菅農場

現在の勤務先：松本市立清水中学校

近況：教員になって9年が経ちます。中学2年生の担任、社会科を担当しています。

YOU遊広場で多くの方々（林部さんご夫妻をはじめ地域の方々、先生、そして友達）と出会い、苦楽を共にしたことが自分にとっての大きな大きな財産です。

フェスティバル終了後の懇親会での涙。今の自分はあの時のように涙を流せるほど真剣に物事に取り組んでいるか。自問自答の毎日です。

名 前：白井 敬（しらいたかし）

専 攻：小学校国語教育専攻

現 在：佐久市立岩村田小学校

私は、3年次の教育実習で「自分は子どもと接することが下手だ」と気づき、子どもたちともう一度学びたいとYOUサタに飛び込みました。4年生になり、自分を鍛えるには一番大変なところへ身を置くのが一番と考え、ほとんど経験がないのに実行委員長に立候補。しかし、そこで学んだのはまたしても自分の至らなさで無力さでした。実習と違ったのは、一人では何もできないことを痛感し、支えてくれる人への感謝の気持ちが持てるようになったこと。当たり前は有り難いことと感じられるようになったことです。

「至らなさの自覚」と「感謝」が私の一番の学びでした。YOUサタでの経験が、教師として常に学び続ける姿勢を創ってくれたと実感しています。



名 前：末松辰規（すえまつたつのり）

専 攻：理数科学教育専攻

出身校：福井県立武生高等学校

○学生時代の活動について

2年次から「茂菅ふるさと農場」「湯谷子ども

ランド」「にこにこ」など様々な活動に参加させてもらいました。先輩方に教わりながら、子ども達と一緒に楽しく活動させてもらいました。3年次には「青木村えがおクラブ」を立ち上げ、プラザ長として関わらせていただきました。同級生の仲間や後輩達と通学合宿を行ったことが一番の思い出です。YOU遊世間では、熱い思いを持った仲間とともに子ども達に関わることができたことが良い経験になりました。

○現在の仕事について

卒業後は飯田市の小学校・中学校で6年間勤務し、今年度から長野市立戸隠中学校に赴任し26名の1年生とともに毎日楽しい生活を送らせてもらっています。部活動は野球部の顧問をし、子ども達と一緒に真っ黒になりながら青春しています。



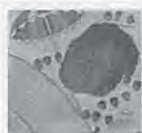
名 前：杉山雅幸（すぎやままさゆき）

専 攻：生涯スポーツ課程野外活動
専攻

出身高校名：静岡市立高等学校

・「YOU遊サタデー」では、ニューススポーツの講座のキャプテンをやり、子ども達に体を動かし、できるようになる楽しさを伝えることができました。私はYOUサタとYOUプラの転換期に在籍し、自然・農業体験の活動を展開しました。四季を通じた活動が単発でない継続した活動へと発展していったのだと自負しています。

・現在は、静岡市立竜南小学校の講師として働いています。私の使命は地域に根ざした教育を子ども達にしていくことです。その土地だからこそできることを体験することが郷土を愛し、世の中に貢献していこうとする気持ちを育てていくのだと思います。



名 前：鈴木喜多朗（すずききたろう）

専 攻：理数科学教育専攻

卒業年度：平成24年度

出身地：静岡県掛川市

～現在の状況～

静岡県で講師の予定

～学生時代に参加したプラザ名～

・湯谷・麻績・YOU遊フェスティバル・大岡
・茂菅・信里

～学生時代と現在～

私は、YOU遊を通して「つながり」の大切さを学びました。子ども同士、子どもと学生、子どもと保護者さん、保護者さんと学生…、関わることで様々なつながりが生まれます。そんなつながりから、一人では決して得ることのできない素敵な経験や学びが生まれると感じました。これからも「つながり」を大切にして邁進していきます。

つながりワード♡

理科・物理・静岡・うなぎパイ・テニス・湯谷キャン・18期湯谷・ゲゲゲの鬼太郎

名 前：鈴木(小林)理英(すずきりえ)

専 攻：家庭科

出身地：長野県佐久市

現在の勤務地：佐久市立切原小学校

学生時代：YOU遊サタデーに参加させていただきました。小学生が緊張しながら真剣に作る姿、おうちへお土産をうれしそうに持って帰る姿は今でも覚えています。

現在は特別支援学級の担任です。教科学習のほかに、社会性やコミュニケーションの力などその子に必要な力をつけるための学習がありますが、その学習には、お菓子づくりをして家族や友達に振舞う活動など、まさに自分がYOUサタで行ってきたことを取り入れています。スライム作り、小麦粉粘土なども行いました。指導案を持って臨んだ講座は教職現場でも活かされています。

名 前：春原圭祐(すのはらけいすけ)

専 攻：教育実践科学

出身校：上田高校

・「YOU遊」のどんな活動をしましたか？

第14期運営委員長、YOU遊フェスティバル実行委員、青木村合宿、湯谷キャンプなど。

・現在のお仕事の様子

宮城県の学校で教員をしています。毎日部活と授業とクラス経営に追われる毎日です。

・趣味・特技等

バレーボール・自転車・読書

・その他：大学生のみなさん、今しかできないことを大切に！

名 前：菅原勇介(すがわらゆうすけ)

専 攻：理数科学教育専攻 総合生活分野

出身校：宮城県宮城野高校

参 加：YOU遊世間 興譲館

勤務先：伊那市立美篤小学校

近 況：大学を卒業して10年になります。10年間で松本市の学校と現在の勤務校の2校しか経験していません。しかも4、5、6年生の担任ばかりしています。偶然にも教育センターの近くの学校に勤務し、それがきっかけで外国語活動に取り組む機会が多くありとても楽しく取り組んでいます。また、昨年からクラスではピザ作りに取り組んでいます。裏山を掘って窯を作りました。完成が楽しい毎日です。

趣 味：大学の時は合唱団で指揮等させてもらいましたが今では・・・ベガルタ仙台の応援が趣味ですね。

名 前：角田正和(すみだまさかず)

専 攻：中学校教員養成課程 社会科専攻

岡山県 倉敷市立西中学校 教諭

現在、1年生の副主任兼学級担任をしています

YOU遊サタデーでは主に事務方を担当していました。一番印象に残っているのが、参加者を対象としたアンケート調査の作成、実施です。実践センターの東原先生にアンケート作成や分析の方法についてご指導いただき、土井研究室で返送されたアンケートの開封、入力と分析、まとめの作業を夜遅くまで行っていました。当時(今も?)ブラインドタッチの出来ない私は片手一本でキーボードをたたきつづけた結果、右手首が痛くなり、痛みが引かないので病院へ行ったところ「腱鞘炎」と言われ、生まれて初めて腱鞘炎というものを知ることになりました。痛みと引き替えに身に付けたスキルは現在の仕事で大いに役立っています。

名 前：杉木亮太(そまきりょうた)

専 攻：理数科学教育専攻

出身校：宮城県立仙台第三高等学校

学生時代どのような「YOU遊」経験をしたか：

子どもと学生、そして地域や保護者が連携することで各々が成長することができるということ。

近況：大学最後の1年間、色々なことを経験しています。

趣味・特技など：野球、ヤジること

名 前：高井 久(たかいひさし)

専 攻：小学校教育課程技術専攻

出身校：神奈川県立麻生高等学校

・講座リーダーとして「電流ライラ輪」を行いました。また数回、講座のサポート役を行いました。

た。当時は不安も多かったのですが講師として子どもたちに教えたことは、現在の教師としての自信になりました。

- ・上田市立第三中学校
- ・現在は長野県中学校ロボットコンテストの事務局を行っており、毎年、信大教育学部の先生方、学生の皆さんと盛大な県大会を開催しております。ロボット製作をしたことがない方でも見所満載ですので、興味のある方は是非参観をいただければと思います。

名 前：高木淳子（たかぎじゅんこ）
所 属：言語教育専攻 国際理解教分野
出身校：長野県長野高校

YOU遊未来での活動：私は今年度、YOU遊未来で湯谷の副プラザ長をしています。昨年からYOU遊の活動に参加する中で、たくさんの子どもの笑顔、真剣に取り組む表情に出会い、そんな子どもたちから私も元気をもらい、企画に参加することをとても楽しみにしていました。また、熱い想いを持った先輩方や仲間と一緒に活動することで刺激を受け、自分自身の成長につながるのではないかと感じています。協力していただいている方々に感謝の気持ちを忘れずに、より魅力的な湯谷を作っていけるよう頑張っていきます！よろしくお願ひいたします。



名 前：高坂 泉（たかさかいずみ）
専 攻：生活科学教育
卒業年度：平成24年度
出身地：長野県中野市

- ～現在の状況～
信州大学教育学部附属幼稚園 年少副担任
- ～学生時代に参加したプラザ名～
茂菅・あっぷるず・麻績・青木・YOU-YOUキャンプ・YOUフェス・湯谷・大岡
- ～学生時代と現在～

3歳児と共に毎日生活するという未知な世界に足を踏み入れるわけで最初は不安でしたが、茂菅での園児と親御さんとの関わりがあったからこそ、頑張ってみたいと思うことができました。未熟者なりに、毎日周りに支えていただきつつも子どもたちに寄り添って分かち合えたらなと思います。

つながりワード♡

18期運営・家庭科・吹奏楽・トロンボーン・読書・りんご・手遊び歌・工作・スタンプ集め・aiko



名 前：高橋 周（たかはしあまね）
専 攻：教育実践科学専攻
卒業年度：平成24年度
出身地：福井県福井市

- ～現在の状況～
福井県あわら市芦原小学校
- ～学生時代に参加したプラザ名～
青木村・茂菅・福島
- ～学生時代と現在～

YOU遊の活動を通してたくさんの子どもの素晴らしい姿に出会いました。それらはこの先教員として子どもと向き合っていくうえでの支えになると思います。また本気で向き合える仲間と出会えたことに本当に感謝です。ここでできた人とのつながりを大切にしながら今後も自分らしく頑張っていきたいと思います。

つながりワード♡

実践・英語・特支・伏木研究室・船栄・福井県・原付・西長野フジハイツ・貴公子・生田斗真

名 前：高橋 歩（たかはしあゆむ）
専 攻：中学校教員養成課程 技術科
出身校：愛知県立半田高等学校

- ・学生時代にどのような「YOU遊」を体験したか
「うなり木作り」（古代の楽器みたいなもの）、
「小さな太鼓作り」（エンビのパイプにセロハンを張ったようなもの）だったような…。すみません。記憶が曖昧です。

- ・現在の勤務地：松本市立波田小学校
- ・近況：妻一人、子二人
- ・趣味・特技：趣味は釣り（4月～12月 マイボートで船釣り）、スキー（12月～3月 現在二級、一級を目指して練習中）、狩猟（11月～3月 松本市内田獵友会に所属）、ウクレレ（下手の横好き）特技は工作です。



名 前：高橋和之（たかはしかずゆき）
専 攻：理数科学教育専攻
卒業年度：平成15年度（だと思っておりますが、那須紋子さんと同じ年に卒業しました）

- 出身地：長野県佐久市
- 現在：南木曾町立南木曾中学校 1年担任 数学と理科担当
- ～参加したプラザ名～

茂菅、牟礼、YOU遊フェスティバル

～学生時代と現在～

学生時代の私は「子どもと触れ合いたい、同じ体験をたくさんの人と共有して思い出を作りたい」と願って参加していたように思います。その時の思い出は今でも忘れられないものとなっています。学校現場でそれは生かされていると実感することができています。(同僚との話でYOU遊が話題になったり、何かクラスで活動しようとするときに段取りが分かったりするといった具合にです。)

つながりワード♡

もちつき、あけぼの寮、合気道(土井先生との朝の稽古はいい思い出です)

名 前：高橋(井出)陽子(たかはしようこ)

専 攻：生活科学教育専攻ライフプランニング分野

「YOU遊」では須坂の農業小学校の活動に参加しました。すでに県職員になろうと決めていて、社会教育主事の任用資格を取ることが目的でした。今振り返るとすばらしい取り組みに参加できてよかったと思う反面、自分は役に立たなかったと思います。今は生活衛生に携わっています。YOU遊での経験は、今の仕事に直結することはありません。ただ、直結しないというだけで職場での人間関係を築く上でも、上司との話題を考えることや、自分はどんな人間かを知ることによって仕事のやり方を変えていくこと等いろんな経験が今の生き方の肥やしとなると感じました。



名 前：高見澤誠(たかみざわまこと)

専 攻：理数科学教育専攻

卒業年度：平成23年度

出身地：長野県佐久穂町

現在：茅野市立米沢小学校 教諭

～学生時代に参加したプラザ名～

・湯谷・麻績・茂菅・青木・須坂・YOUフェス
～学生時代と現在～

始まりは湯谷キャンでした。一から企画する大変さ、それを形にしていく楽しさ、楽しんでいる子どもたちの姿を見た時のうれしさは今でも忘れません。三年間、湯谷子どもランドに関わらせていただいて、子どもとの関わり方や捉え方など多くの事を学ぶ事ができました。今でも子どもと

関わる時に思い出しています。

つながりワード♡

17期運営・理科・三崎研究室・天然パーマ・バレーボール・理科パス・佐久・湯谷キャン・たもつ



名 前：滝沢雄太郎

(たきざわゆうたろう)

専 攻：理数科学教育専攻

卒業年度：平成22年度

出身地：長野県上田市

～現在の状況～

駒ヶ根市立赤穂東小学校 2年担任

～学生時代に参加したプラザ名～

・須坂、湯谷、茂菅、麻績、YOUフェス

～学生時代と現在～

私が学生時代から大切にしていることがあります。それは「つながり」です。人と人をつなぐ活動がYOU遊ワールドにはありました。そこで出会った仲間とは今でも仲よく遊んだり、語り合ったりしてつながっています。今度は、みんなそろって飲みにもいきましょうか。

つながりワード♡

理数、数学科、南信、上田、AKB48、

名 前：武田昌之(たけだまさゆき)

専 攻：心理臨床専攻

出身校：長野高校

学生時代のYOU遊体験：子どもを連れてきたお家の方向けの講座を一度担当させていただきました。自分より年上の方々に対してどんなことをしたらいいか、悩みながら講座を運営したことを覚えています。

現在の勤務先：長野市立加茂小学校

近況：今年の8月に第一子が誕生する予定です

趣味・特技：好きなことは、学生時代から続けている声楽、勤務していた小学校で受け持ったことがきっかけで始めたアルペンスキー、前任校の同僚の先生にさそわれてはじめたマウンテンバイクです。細く長く続けていく予定です。



名 前：田澤岳哉(たざわたかや)

専 攻：理数科学教育専攻理科分野

卒業年度：平成23年度

出身地：長野県佐久市

～現在の状況～

塩尻市立塩尻中学校 理科専科
～学生時代に参加したプラザ名～
茂菅・湯谷キャン・YOU フェス
～学生時代と現在～

社会人一年目で後ろを振り返る間もなくあわただしく過ごす毎日です。そんな中で、ふと学生のころに経験したことを思い出すと心が軽くなります。仲間と子どもや教育について熱く語ったこと。保護者の方と一人の子どもについてお話できたこと。職場で忘れがちなことを思い出させてくれます。ありがとう。

つながりワード♡

茂菅・理科・裾花凝灰岩・石・山・しめ縄・林部さん家の池掃除

名前：田中 崇（たなかたかし）

専攻：小学校教員養成課程 社会科専攻

出身校：長野県立飯田高等学校

・講座キャプテンとして講座の企画を考え講座を開設したり、事務局長としてYOU遊サタデーの運営に携わったりしました。講座に参加してくれた子どもたちが、寒さをものともせず目を輝かせて工作に熱中する姿は、大きな達成感と喜びを感じさせてくれるものでした。また、物事を進めていくためには、そのための事務仕事も膨大な量があるということも学びました。

・箕輪町立箕輪中部小学校

・3年生 27人の担任として、日々、奮闘中です。

・登山・スキー

名前：田中沙結美（たなかさゆみ）

専攻：言語教育専攻英語教育分野

出身校：長野県諏訪清陵高等学校

大岡、茂菅、麻績のプラザに参加し、未来道場の初代道場長をやらせていただきました。

小諸市立水明小学校で5年生を担当しています。

趣味・特技はスポーツです。毎日子ども達と外に出て、サッカーやおにごっこをして楽しい時間を過ごしています。

YOU遊でたくさん子ども達や地域の方、先生方と出会って話をした経験が大変生きています。これからも子どもがいるところには、どんどん飛び込んで、自分自身を成長させていきたいです。大好きな子ども達が毎日笑顔でいられるように、これからも一生懸命頑張ります。

氏名：田中清一（たなかせいいち）

専攻：中学校教員養成課程社会専攻（日本史学研究室所属）

出身校：長野県松本県ヶ丘高等学校

・学生時代にどのような「YOU遊」体験をしたか：
ゆうサタ事務局で研究担当をしたことが一番の思い出です。第2期実行委員長の渡辺一博さんや事務局長の角田正和君と喧々囂々の議論をしたり、土井先生に生意気な口をきいて叱られたりと、その当時のことを思い出すと、恥かしいやら懐かしいやら…です。

・現在の勤務先 飯田市立飯田東中学校

・近況：初任地・南佐久郡佐久穂町の佐久中をふりだしに、飯田市立旭ヶ丘中→飯田市立上村中（2009年3月閉校）→飯田市立飯田東中と歩みを進め、教員生活も15年目です。その間、6つのクラスを担当し、うち5つのクラスを3年間担任・卒業させてきました。現在は、現任校で2度目の学年主任をしています。

名前：知野真里子（ちのまりこ）

専攻：家庭科

出身校：長野県長野高等学校

・学生時代にどのような「YOU遊」体験をしたか：
家庭教育フォーラムなど

・現在の勤務先：長野市立西部中学校（信州大学大学院教育学研究科学校教育専攻）

・近況：現在私は、長野市立西部中学校に籍を置きつつ、信州大学大学院教育学研究科で教育行政・学校経営について学んでいます。志高い様々な国の留学生の方々と一緒に勉強することはとても刺激になり、この機会に精一杯勉強して、より良い教育に還元できることを願いつつ、毎日充実して生きています。

・趣味・特技など：書道 スキューバ・ダイビング

名前：塚原（土屋）淳子（つかはらじゅんこ）

専攻：中学校教員養成課程 家庭専攻

出身校：長野県須坂高等学校

学生時代にどのような「YOU遊」体験をしたか：
第3期 YOU遊サタデー キャプテン、スタッフ
第4期 YOU遊サタデー 事務局スタッフ、「ステンシル」講座キャプテン

スタッフの仲間と一緒に来てくれる子どもたちの顔を想像しながら準備したことや、土井先生の

研究室でかりんとうをいただきながら遅くまで話し合ったこと、飲み会で先輩たちの熱い思いをお聞きしたことなどがとても思い出に残っています。

現在の勤務先：中野市立南宮中学校

近況：自分の母校に勤務しています。校舎も運動着もあの頃とは違うのに、ふと見た景色や会話から、封印していた当時の思い出がよみがえったりして・・・一人顔を赤らめています。今教えている生徒はどんな思い出を胸に母校を去るのかな・・・幸せな思い出であってほしいと願っています。

☆最近はお休みの日に娘と簡単なおやつを作ったり、お洗濯をするのが楽しみの一つです。ちょっと多目の柔軟剤の香りが私を幸せな気持ちにしてくれます。

☆子どもといっしょに公園で遊ぶこと・・・でもあまり時間が取れていないのが悩み・・・。

名 前：月岡優介（つきおかゆうすけ）

専 攻：社会科学教育専攻

出身校：長野県長野吉田高等学校

YOU遊の活動へは、大岡での宿泊企画を初めとして、麻績、青木、茂菅、湯谷、信里、須坂等ほぼすべてのプラザでの活動に参加させていただいた。YOU遊フェスティバルでも毎回講座長をやらせていただいた。また、YOU遊の活動だけに留まらず、横国のわくサタや全フレへも参加し、こういった全ての活動を通してたくさんの人と出会い、つながれたことが一番の経験であると感じる。

信大在学：現在は学部の4年で、変わらずYOU遊の活動に楽しく参加させていただいている。

趣味は、ソフトテニスで、現在も部活に所属し、現役で練習にも励んでいる。

好きな音楽グループはEXILE



名 前：土屋克明（つちやかつあき）

専 攻：理数科学教育専攻

卒業年度：平成23年度

出身地：長野県千曲市

～現在の状況～

木曾郡木曾町立三岳中学校 理科教諭

～学生時代に参加したプラザ名～

・湯谷・茂菅・麻績・青木・YOUフェス
・YOU-YOUキャンプ

～学生時代と現在～

子どものために頑張ることの楽しさ、喜びを活

動から得ました。理科を教えています、「子どものために」という軸は変わっていません。学生時代は、土井先生や茂菅の林部ご夫妻、学生の仲間を支えられて、自分のやりたいことができました。本当に感謝しています。これからも「子どものために」、頑張りたいと思います。

つながりワード♡

18期運営・17期茂菅・理科・バスケ・マウンテンパーカー・スウェット・林部のお母さんのご飯・あっぶるず・バイトはノーベル・全フレ・キャンプ・宿泊企画好き

名 前：土屋孝将（つちやたかまさ）

専 攻：理数科学教育専攻三年生

出身校：群馬県立富岡高等学校出身

・どのような体験をしたか、しているか：今私は青木プラザのプラザ長をしています。自分で青木村の子どもたちや学生に楽しんでもらえるような企画を考えたり、それを実行したりしています。去年は参加者として活動をしていたので、その経験を今年の青木プラザに活かしたいと思っています。

・近況：私は今年の五月に一週間の通学合宿を青木村で行いました。また、月に一～二回程度ですが青木村児童センターへの学生訪問をしています。

・趣味、特技：私は食べるのが好きです。食べている時は私にとってとても幸せな時間です。また、私野球、水泳、ラグビー、柔道、書道の経験があります。



名 前：土屋知毅（つちやともき）

専 攻：心理臨床専攻

卒業年度：平成22年度

出身地：長野県東御市

現在：国立大学法人信州大学 職員

～学生時代に参加したプラザ名～

YOU遊フェスティバル・冬の大三角

～学生時代と現在～

4年間参加させていただいた「YOU遊フェスティバル」では、講座長とスタッフの両方の立場を経験させていただきました。そのときの「どうしたら楽しい講座になるか」「どうやって周囲の人を支えていくか」といった考えが、現在、学生だけでなく先生方や職員の方々と接する際に、自分

の言動を決定する要因となっています。

つながりワード♡

スノーボード・バスケ・散歩・チョコレート・甥っ子

名 前：手塚亮介（てづかりょうすけ）

専 攻：理数科学教育専攻

出身校：山梨県立甲府第一高等学校

体験した活動：茂菅、湯谷、須坂、青木、大岡
YOU-YOUCAMP、YOU遊フェスティバル

近況：YOU遊は様々なことを学び、たくさんの仲間と出会い、教師を志すきっかけになりました。その経験を生かし、山梨県の教員を目指し勉強中です。

趣味・特技：野球、エレキベース



名 前：寺坂(岡部)桂子

(てらさかけいこ)

専 攻：教育実践科学専攻

卒業年度：2002年度

出身地：東京都大田区

～現在の状況～

千葉県柏市立土南部小学校（育休中）

～学生時代と現在～

YOU遊の活動が大好きで、YOU遊は私の大学生活そのものでした。学校でも、クラスで干し柿を作ったり、仮装してハロウィンパーティーをしたり、教室じゅうを段ボールハウスにしたり、人形劇フェスティバルに出たりと、ところどころで、YOU遊の経験が生きているかなと思います。そして、YOU遊の仲間は、今も大切な仲間です！

つながりワード♡

プレンジャー・全フレ・上田養護・南木曾・飯田・阿南キャンプ・ギター・スノボ・和太鼓

名 前：土井 進（どいすすむ）

専 攻：富山工業高校機械科卒業

平成5年度の「教育実習事前・事後指導」を終えて分かったことは、学生は6週間の教育実習に大きな成就感を得ている。しかし、不満がただ一つあった。それは、専ら教科指導のための指導案づくりに明け暮れ、肝心の児童・生徒と思う存分ふれあうことができなかつたことである。そこで、「ビューティフル・第2サタデー」（仮称）を開こうというチラシを配ったことが、「YOU遊」の出

発点となった。

第2期で「お父さん、地域で講座を開きませんか」の講座長を務めた。無我夢中で「YOU遊」に取り組んでいるうちに20年という歳月が流れ、定年を迎えることになった。3,000名を超えるスタッフの皆様に深く感謝。講道館柔道3段、合気道3段。



名 前：遠山芽衣（とうやまめい）

専 攻：生活科学教育専攻

卒業年度：平成25年度

出身地：長野県須坂市

～現在の状況～

～学生時代に参加したプラザ名～

茂菅・須坂・湯谷

～学生時代と現在～

第13期信大茂菅Farming Villageの副農場長をさせていただく中で、とにかく人のあたたかさになれることが数多くありました。YOU遊で経験したこと全てが、自分の身になってこれからの私に影響を与え続けると感じています。子どもがその子どもらしく育っていけるように支えられる人を目指して頑張ります。

つながりワード♡

13代目茂菅・ライフ・須坂市・ひつじ・じゃがいも・さつまいも・さといも・いも・・・

名 前：常盤千明（ときわちあき）

専 攻：教育実践科学専攻

出身校：長野県立長野高等学校

☆YOU遊

YOU遊は、子どもと遊ぶだけ。それが私の第一印象だった。しかし活動をつくる中で、大人もマジになって、遊ぶ。つくる。学ぶ。この楽しさを追求することが、子どもも大人も成長させるのではないか。私は、YOU遊を仲間とつくる中で、そのワクワクすることの大切さを知った。

☆近況

私は、思い切って2年間勤めた講師をやめ、世界一周の船旅に出かけた！そこで、様々な国の人々との出会いの楽しさを実感し、現在は岐阜県のジェイホッパーズ飛騨高山ゲストハウスにてスタッフをしている。毎日が同じ日とは思えないくらい楽しい日々。ワクワクは、きっと世界を救うのだ！



名 前：永原正裕(ながはらまさひろ)
専 攻：障害児教育専攻
卒業年度：平成26年度 信大3年生
出身地：長野県松本市

～学生時代に参加したプラザ名～

茂菅・YOU遊フェスティバル

～学生時代と現在～

第14期信大茂菅 Farming Village の Village 長をさせて戴いております。様々な立場の方と協力しながら子どもと向き合っていくこの経験が、将来携わりたい特別支援教育に繋がっていくことと信じています。子どもたちに一生ものの刺激的体験を、他の学生に夢を与えられる、そんな茂菅を目指して、日々奮闘中です。

つながりワード♡

14代目茂菅・特支・松本市出身・あけぼの寮・空手・蟻ヶ崎高校・Mr.Children

名 前：中村典史(なかむらのりふみ)

専 攻：小学校教員養成課程社会科卒業

出身校：愛知県立松蔭高等学校出身

名古屋市立楠小学校

私は第4期YOU遊サタデー実行委員長として当時のYOUサタの運営に関わりました。現在は名古屋市内の小学校に勤務していますが、4年前までロシアのモスクワ日本人学校に派遣されていました。隣国のわりになじみが少なく、情報に乏しいロシアでの生活や、それまで実績のない国への修学旅行など、私が未知の領域にチャレンジし続ける気持ちをもった源流は、間違いなくYOUサタでの経験にあります。

また、ロシアでは図らずもアイスホッケーを始め、帰国後も続けてプレーし、余暇の時間の使い方が下手だった私も、趣味と呼べるものができました。YOUサタの副産物と言うにはちょっと無理がありそうですが、大学時代の様々な経験が今の私を支えています。



名 前：名子はるか(なごはるか)
専 攻：生活科学教育専攻
卒業年度：平成24年度
出身地：長野県飯田市

～現在の状況～

信州大学科目履修生

～学生時代に参加したプラザ名～

青木・YOU遊フェスティバル

～学生時代と現在～

活動では子どもと実際に触れ合ってやっとなぐることが毎回あり、上手くいかないこともありました。それについて仲間と話し合い、次の活動に活かしてきました。この子どもと関わった経験が私の考えの中心になっています。また、多くの素敵な仲間との出会いは私に良い刺激を与えてくれました。それが私の目標にもなっています。

つながりワード♡

飯田・お箏・ジブリ・韓国・もやし・牛乳・日本酒・家庭科・理科

名 前：那須紋子(なすあやこ)

専 攻：教育学部生活科学教育専攻

出身校：三重県立四日市高等学校

茂菅ふるさと農場長をしていました。その中で、どろんこ遊びやふなの放流、玄米試食などの活動をしました。

鈴鹿市立一ノ宮小学校

今年から地元で教員を続けています。いきなり6年生の担任ですが、長野で鍛えていただいたおかげで、なんとかやっています。ずっと先生になるのが夢だったので、できればずっと続けていきたいです。

ダンスが大好きでクラブでも教えています。

名 前：那須絢太郎(なすけんたろう)

理数科学教育専攻3年、第20期の那須絢太郎です。私は、姉がYOU遊の活動に参加していたこともあり、信州大学に入学する前からYOU遊に興味があり、活動に参加するようになりました。私にとってのYOU遊は、自分を変革させるための修行の場だったと感じています。私は、元々人と接することが苦手の人見知りの人間でした。しかし、YOU遊での活動を行うために、学生同士で何度も話し合い、子ども達と触れ合い、保護者や支援して下さる方々のご意見を聴くにつれて、人と接することが楽しいことだと気付くと同時に、自分自身のレベルアップに繋がることを知りました。姉弟そろってYOU遊で活動できたことが、我が家の誇りです。

名 前：那須良寛(なすよしひろ)

専 攻：教育学部教育実践科学専攻

大学院学校教育専修

出身校：宮崎県立妻高等学校

学部時代に第7期YOUサタ実行委員として活動しました。院生時代はYOU遊広場の活動に参加しました。子ども達のために何が出来るか、仲間と真剣に話し合っ活動に取り組んだ毎日でした。牟礼や茂菅の農場での農業体験、たくさんの子ども達の成長を見据えた体験活動が多数企画運営され、今もその経験が生かされています。現在は宮崎県延岡市立恒富小学校教諭として、特別支援学級担任に従事し、子ども達と学習や農作業など様々な体験をして楽しく学んでいます。今年度から幼稚園に楽しく通う子どもの成長を楽しみにしながら、毎日をすごしています。

名 前：並床(小島)真知子 (なみとこまちこ)

専 攻：生涯スポーツ課程 地域スポーツ専攻

出身校：滋賀県立甲西高校出身

「YOU遊広場」では、「里山ふれあいキャンプ」の企画・運営のリーダーとして携わった。

滋賀県栗東市立葉山小学校に勤務

教職10年目の年(2013年1月)に女兒を出産し、現在は育児休暇中。働いていた時とは時間の流れ方が全く違い、我が子とのゆったりとした時間を楽しつつ、初めての育児に奮闘中。日々、小さな成長を見せる我が子が愛おしくて仕方がない。この歳にしてやっと、我が子を思う親の気持ちが本当に分かったような気がする。孫をかわいがってくれる自分の親にも感謝の気持ちでいっぱい。今のうちに、できる限りの親孝行したいと考えている。

趣味は体を動かすこと。妊娠前まではスポーツジムに通い、エアロビクスやヨガなどで汗を流していた。今は、我が子との散歩や児童館での友だちづくり。これからは、ベビーヨガやベブースイミングなどに挑戦してみたい。

名 前：榎崎亮人 (ならざきあきと)

信州大学大学院数学教育専修1年の榎崎亮人です。第2回YOU-YOUキャンプのキャンプ長をやらせて頂きました。今は、子どもたちのことを考えながら、研究に取り組んでいます。YOU遊未来で、子どもたち、保護者の皆さま、地域の方々と出会うなかで経験させて頂いたことが、今の自分を後押ししています。また、時間があるときにYOU遊の活動に参加し、後輩のみんなと、子どもたちと一緒に活動することができればいいと思って

います。これからもよろしくお願いします。

名 前：成瀬貴心 (なるせきしん)

専 攻：保健体育専攻4年

出身校：愛知県立旭野高等学校

・「YOU遊」での主な活動

第19期「信大YOU遊」麻績プラザ長を務めさせていただきました。また、第13回全国フレンドシップ活動in上越で学校代表として参加してきました。

・現在の様子：教育学部4年で、初心者指導に関する卒論を進めるとともに、3月に行われる第14回全国フレンドシップ活動in信州に向けて少しずつ準備を進めています。

・趣味・特技：サッカーを10年、陸上を3年、書道と柔道を6年間やってきました。

名 前：西澤俊輔 (にしざわしゅんすけ)

専 攻：理数科学教育専攻

出身校：伊那北高等学校

「YOU遊」体験：YOU遊サタデーでは紅茶のおいしい入れ方や学校探検。YOU遊プラザでは茂菅と牟礼のふるさと農場長を行い、農作業体験を通してたくさんの子どもたちと触れ合った。興嬪館では不登校の児童生徒と触れ合い、楽しみながら活動することの大切さやどのような支援ができるのか学んだ。スポーツ教室やその参加者を中心としたキャンプにも参加し、企画・運営の大変さなどを学んだ。

現在の勤務先：松本市山形村朝日村中学校組合立鉢盛中学校

近況：10年やってきた小学校勤務から中学校勤務に挑戦し、それまでとはまったく違う職場で試行錯誤の日々を送っている。自分が3児の父になり、親としてYOU遊のような活動の素晴らしさを感じている。このような活動は、ぜひこれからも継続して行って欲しいと願っている。

趣味、特技：ギター、漫画、映画鑑賞、スポーツ、自然散策、キャンプ、バーベキュー



名 前：西本克也 (にしもとかつや)

専 攻：社会科学教育専攻

卒業年度：平成24年度

出身地：長野県長野市

～現在の状況～

上田市立丸子北中学校 社会科教諭

～学生時代に参加したプラザ名～

青木・YOUフェス
～学生時代と現在～

私は、活動を通して子どもたちの無限の可能性に満ち溢れた世界を見ることができました。YOU遊での経験は、間違いなく私の教育観にプラスの影響を与えてくれたと思います。そして、同じプラザで活動をした仲間や活動の中で出会った子どもたちとの出会いを胸に、これからの教員生活をより充実したものになりたいです。

つながりワード♡

社会・社会科教育研究室・YUKI・辻村深月・バレーボール・ジブリ



名前：丹羽由佳（にわゆか）

専攻：教育実践科学

卒業年度：平成24年度

出身地：長野県松本市

～現在の状況～

信州大学教育学部附属幼稚園 年中副担任

～学生時代に参加したプラザ名～

青木・茂菅・YOU遊フェスティバル

～学生時代と現在～

私は活動をする中で子どもや地域の方々、学生から多くのことを吸収し、気持ちを伝え合うことを胸の中に入れ、人の気持ちや考えを大切に参加してきました。現在も子どもの気持ちや伝え合うことを大切にして、感謝の気持ちと笑顔で関わっています。活動で得た、この気持ちを大切にして人と関わっていききたいと思います。

つながりワード♡

通学合宿・音楽・観察・陸上競技・ピアノ・詩・トマトジュース・保育・加藤ミリヤ



名前：橋爪志織（はしづめしおり）

専攻：言語教育専攻

卒業年度：平成24年度

出身地：長野県伊那市

～現在の状況～

上田市立第四中学校

～学生時代に参加したプラザ名～

茂菅

～学生時代と現在～

茂菅での活動を中心に参加させていただきました。今年度は英語活動という新しい試みもあり、

茂菅での活動を通して外国語活動や英語教育に対する自分の考え方や捉え方が広がったように感じます。この活動を通して学んだことを大切に、子どもたちと成長していきたいです。

つながりワード♡

英語科・伊那市・伊那北・ソフトテニス・野球



名前：長谷川ゆかり

（はせがわゆかり）

専攻：生活科学教育専攻

卒業年度：2013年度

出身地：長野県軽井沢町

～現在の状況～

生活科学教育 ライフプランニング教育分野

～学生時代に参加したプラザ名～

茂菅・湯谷・大岡

～学生時代と現在～

YOU遊の活動は、子どもと一緒に活動しながら子どもの成長を見ることができたり、また自分自身も多くのことを学んだりできる大切な時間だと思っています。学生同士の交流も、私にとってかけがえのない時間です。これからも、そんなYOU遊の活動に積極的に取り組んでいけたらと思っています。

つながりワード♡

松岡研究室・高遠・W館・くまもん・軽井沢・ランニング・箱清水・晴れ女・昼寝・書道・吹奏楽

名前：畠山智晴（はたけやまちはる）

専攻：社会科学教育専攻

出身校：松本県ヶ丘高校

出身地：長野県安曇野市（旧穂高町）

第20期YOU遊未来（CHANCE）副運営委員長の社会科学教育専攻3年畠山智晴です。長野県の安曇野市（旧穂高町）出身で、松本県ヶ丘高校出身です。趣味はF1観戦と卓球です。YOU遊の活動に参加したきっかけは二年の時に参加した麻績キャンプです。準備や計画の段階で子どもたちに楽しんでもらうにはどうしたらいいかを考えることの楽しさを感じたり様々な人とのつながりの中で自分がいるのだということに気づくことができたいい経験でした。今期は、運営という立場からYOU遊の活動がさらにいいものになるように頑張っていきたいです。

名 前：服部直幸（はっとりなおゆき）

専 攻：理数科学教育専攻（理科教育分野→総合生活科教育分野）

出身校：松本県ヶ丘高校

・「YOU遊」のどんな活動をしましたか？

4年次に「最後の一年、YOU遊にどっぷりつかりたい」と転分野をして、土井先生に大変お世話になりました。YOU遊の活動を多くの人に体験してもらおうと、キャンパスや地域を走り回っていました。YOU遊の輪が広がり、N308での学生同士の熱いトークや、地域の方との出会いは毎回のよう私に心を動かすものでした。

・現在、須坂市内の小学校で理科専科として勤務しています。「地域の子どもは地域で育てる」という理念をもつ須坂に赴任したのも、何かの縁なのかもしれません。

・趣味・特技等

剣道・登山・読書・癒しキャラクター探し

・その他：いつかYOU遊メンバーで、「地域の教育を盛り上げる」会社を立ち上げよう！

名 前：花岡慶祐（はなおかけいすけ）

専 攻：理数科学教育専攻

出身校：長野県諏訪二葉高校

理数科学教育専攻3年の花岡慶祐です。長野県諏訪二葉高校の出身で、野球部の主将でした。YOU遊未来の活動に参加するようになったのは、1年生の時にYOU遊フェスティバルに参加したことがきっかけです。それ以来YOU遊の活動に参加するようになり、多くの子どもたちや学生とつながることができました。自分は子ども同士の関わりを大事にして、子ども同士がつながるきっかけを自分ができるだけいいなと思って活動をしてきました。3年生の現在では湯谷のプラザ長として子どもたちも学生も楽しめるような活動ができるように企画を考えています。1、2年の時の経験や先輩の意見などを参考にしながら子どもたちの笑顔のためにがんばっていきます。



名 前：花見直樹（はなみなおき）

専 攻：社会科学教育専攻

卒業年度：平成24年度

出身地：長野県小県郡青木村

現 在：上田市役所 行政職

～学生時代に参加したプラザ名～

青木・YOUフェス

～学生時代と現在～

私はYOU遊の活動を通して、素晴らしい人々や感動に出会いました。これらは私の一生の宝物になると思います。私は教員ではなく行政の公務員になるので、こんなに沢山の子どもたちと出会うことはもう無いと思います。そのため、あの子どもたちと出会えたことは、より印象的に私の心の中に残るでしょう。

つながりワード♡

社会科・野球・公務員・メガネ・ツッコミ



名 前：林一真（はやしかずま）

専 攻：小学校教員養成課程家庭専攻

卒 業：平成14年度

子どもと一緒に関わる楽しさを感じたのはもちろん、何よりいろんな方とつながりをもてたことが貴重な経験となった。YOU遊の活動をホームページで対外に伝えたり、全国フレンドシップ事業を通して他大学との交流も積極的に行ったりした。

名古屋市立天白小学校

現在は、青山学院大学との共同研究で、iPadを活用した授業を通して、21世紀を生きる子どもが身に付けるべき能力やICT活用による分かる授業のあり方について研究している。

自然観賞、アート鑑賞、森カフェめぐり



名 前：林志桜里（はやししおり）

専 攻：生活科学教育専攻

卒業年度：平成25年度

出身地：長野県飯田市

～学生時代に参加したプラザ名～

青木・茂菅・湯谷・麻績・YOU遊フェスティバル
～学生時代と現在～

私は、さまざまな活動で子どもたち、保護者の方や地域の方と関わったり、学生の仲間たちと一緒に企画を練ったり、語り合ったりするなかで、多くのことを学び、得ることができました。地域の方、保護者の方、そしてたくさんの学生が子どもたちのために一生懸命になれるYOU遊は本当に素晴らしいものだと思います。人のつながりの温かさを忘れず、大切にしていきたいです。

つながりワード♡

19期湯谷・ライフ・ハイツ西部・飯田・空手



名 前：東野千尋 (ひがしのちひろ)
 専 攻：芸術教育専攻 (音楽)
 卒業年度：平成22年度
 出身地：石川県
 現 在：石川県宝達志水町志雄小学
 校 特別支援学級担任

～学生時代に参加したプラザ名～

茂菅・湯谷・青木・麻績・大岡・YOUフェス

～学生時代と現在～

人前で話したり、子どもと関わったりすることが苦手な私が、今教師の道を歩めているのは、YOU遊でたくさんの仲間とたくさんのことを乗り越えてきた自信があるからだと思います。

今思えば、もう少し色々なことに挑戦していれば…なんて後悔しています。

つながりワード♡

17期運営・音楽・齋藤研究室・あけぼの寮・石川・ピアノ・キイロイトリ



名 前：平野(山田)理恵(ひらのりえ)
 専 攻：教育実践科学専攻
 卒業年度：平成13年
 出身地：長野県諏訪郡下諏訪町

～現在の状況～

安曇野市穂高にマイホームを建て引っ越ししてきました！安曇野市立明南小学校に勤務しています。

小3の長男 小1の長女の二児の母です！

～学生時代と現在～

YOU遊サタデー4期から7期に参加していました。子どもと関わる楽しさ、仲間と頑張る素晴らしさを沢山味わえた4年間でした！7期は実行委員をやらせていただき、仲間との絆そして土井先生の強くやさしいお心に触れ、大きく成長できたことが学生時代の思い出です。学生時代の思い出全部が今の仕事の活力になっています！

つながりワード♡

7期実行委員・教育実践・土井先生・高遠・野外活動・プーさん・安曇野市・チョコレート



名 前：平林照世(ひらばやしてるよ)
 専 攻：言語教育
 卒業年度：平成19年度
 出身地：長野県安曇野市
 出身校：長野県大町高等学校

近況：長野市立川中島小学校勤務

学生時代のYOU遊体験：茂菅・青木・須坂・湯谷・麻績・YOU遊フェスティバル

つながりワード♡

あおぞら空間・おもちつき・アップルズ・茂菅農場長



名 前：肥留間淳也(ひるまじゅんや)
 専 攻：理数科学教育専攻
 卒業年度：平成20年度
 出身地：長野県長野市

～現在の状況～

長野県箕輪進修高校 理科教諭 2学年担任
 野球部部长

～学生時代に参加したプラザ名～

青木村・茂菅・麻績村

～学生時代と現在～

YOU遊での活動は私にとって色々な意味があったと思いますが、最近『教育への情熱』を忘れずにいさせてくれるものだと感じるようになりました。一緒に活動した仲間のことを思い出すと、『もっと頑張ろう!!』という気持ちになります。他では得難い財産だと思います。

つながりワード♡

理科



名 前：樋渡瑞幹(ひわたりみずき)
 専 攻：理数科学教育専攻
 卒業年度：平成25年度
 出身地：山梨県南アルプス市
 現 在：信州大学4年

～学生時代に参加したプラザ名～

青木・茂菅・YOUフェス

～学生時代と現在～

YOU遊での活動で、私は子どもと関わることの楽しさと自分自身と向き合う事の大切さを学ぶ事が出来ました。すべては私を青木のプラザに迎え入れてくれ、優しく接してくれた仲間や元気な子ども達のおかげであると強く感じています。今後は経験を活かし、相手を思いやる気持ちや出会った人とのつながりを大事にしていきたいです。

つながりワード♡

理科・理科バスケット・ソフトテニス・オムライス・化学(無機)・読書

名 前：藤岡泰裕（ふじおかやすひろ）

専 攻：信州大学教育学部教育実践科学専攻総
合・生活科教育分野 土井研究室

出身校：上田染谷丘高等学校

「YOU遊」のどんな活動をしましたか？

須坂農業小学校のプラザを立ち上げた際に参加。2年目にはプラザ長として農家先生と子ども達の間で立って橋渡しの役割を担っていました。

・湯谷小学校の夏キャンプに2年間参加させていただき、1年目にはキャンプファイアーを担当しました。

現在のお仕事の様子：教員になり5年目を迎えます。昨年までは安曇野市立穂高北小学校でお世話になり、現在は阿南町立新野小学校で10名の2年生と楽しい毎日を送っています。

趣味：ドライブ・映画鑑賞

特技：テナーサックス演奏・声を通ること

その他：畑の作業だけでなく、指導者の言葉をどう子ども達に伝えていくかも悩みながら手探りでやっていた活動でした。その中で、地域の方との信頼関係を作ることの大切さや自分が演じてやってみることの大切さを学習しました。あと、YOU遊の活動を通して妻も見つけました。

名 前：藤岡有希（ふじおかゆき）

専 攻：信州大学教育学部生活科学教育専攻ライ
フプランニング分野 松岡研究室

出身校：長野県松本蟻ヶ崎高等学校

「YOU遊」のどんな活動をしましたか？

・須坂農業小学校で副プラザ長として、子ども達や地域のお年寄りと農業の体験をしました。

・茂菅の活動にもたびたび参加しました。

現在のお仕事の様子

教員になり5年目になります。姨捨の麓にある学校で初任を過ごし、現在は愛知県との県境にある売木小中学校にて6年生4人の子ども達や中学生と楽しく過ごしています。

趣味・特技等

趣味：寝ること・食べること・テニス

特技：どこでも寝られること

その他：学生時代にたくさん子ども達と関わったことにより、子どもがどんなことに興味を持ち、どう反応するのか知ることができました。その経験が今に活かされています。



名 前：細田春菜（ほそだはるな）

専 攻：社会科学教育専攻

卒業年度：平成24年度

出身地：長野県飯田市

～現在の状況～

長野市立若槻小学校

～学生時代に参加したプラザ名～

青木・YOU遊フェスティバル

～学生時代と現在～

素敵な環境で、大好きな仲間と、元気いっぱい子どもたちと関わったことは学生時代の宝となりました。子どもたちと共に笑い、遊び、時には共に悲しみ、悩むことで多くのことを学びました。これからは教師として働きますが、子どもたちと共に学び、そして一緒に成長していけるような教師を目指しがんばっていきたいと思います。

つながりワード♡

19期・社会科・政治研・飯田・飯田高校・テニス・
箏・スノーボード・aiko・YUKI

名 前：洞出直美（ほらでなおみ）

専 攻：教育実践科学専攻

出身校：奈良県天理高等学校出身

・主に茂菅ふるさと農場で活動 8代目農場長
YOU遊フェスティバルの実行委員

・現在：阿智村立浪合小学校で勤務

・近況：卒業してから長野市立塩崎小学校で3年勤務、現在山間校で勤務させていただいています。30人学級から少人数学級への変化には戸惑いがありましたが、個々に深く子どもたちと関われる今、子ども一人ひとりをみることの大切さを実感しています。

中でも平野朝久先生の「はじめに子どもありき」を大切にしている現校で、1年生から生活科の活動を中核にし、学んでいます。

・趣味・特技：教員になってから子どもたちの提出物などにおす消しゴムハンコ作りを始めました。スキューバダイビングが好きです。

・茂菅ふるさと農場を経験して：仲間とともに企画をし、土井先生や林部さんご夫妻に温かく見守っていただく、そんな環境があって今の教員生活があります。子どもたちと共に「土づくり」活動できたそんな農場の温かさを自分の学級にもつくれるように頑張っていきたいと思います。



名 前:前崎伸周(まえさきのぶちか)
専 攻:教育実践科学専攻
卒業年度:平成16年度
出身地:愛知県新城市
 ～現在の状況～

愛知県新城市立庭野小学校 5年生
 ～学生時代に参加したプラザ名～
 ・イベント・牟礼・YOU遊フェス
 ～学生時代と現在～

「初めて会う子どもたちと少しでも早く打ち解けるにはどうしたらよいか?」、「子どもたちがまた来たいと思えるような活動にするにはどうしたらよいか?」など、仲間とともに夜遅くまで話し合った経験は私の宝物です。年齢や役職は問わず、子どもたちについて熱く語り合うことは今でも大好きです。

つながりワード♡

土井先生・あけぼの寮・野球・中日ドラゴンズ・T-BORAN・うなぎ・adidas・報道ステーション



名 前:町田竜太(まちだりゅうた)
専 攻:社会科学教育専攻
卒業年度:平成14年度
出身地:千葉県千葉市
 ～現在の状況～

千葉県習志野市立屋敷小学校
 ～学生時代に参加したプラザ名～
 YOU遊プラザのすべて
 ～学生時代と現在～

企画力・実践力の両輪をきちんと回すことの大切さを、活動をしながら学びました。たくさんの経験をすることで、一人の人間としての魅力も磨けたと思っています。教職について10年、現在も子どもたちと共に学ぶことの素晴らしさ、楽しさを今も感じながら過ごしています。

つながりワード♡

第1期YOU遊プラザ・土井研究室

名 前:松島宏俊(まつしまひろとし)
専 攻:教育実践科学専攻4年
出身校:長野県飯田高校

3年次より参加させていただきました。主に茂菅 Farming Village で自然の中で子どもたちとノ

ビノビ活動していました。また、あおきっこ通学合宿(3年次)では本部、YOUフェス「竹を使って遊ぼう」講座長をやらせていただき、子どもと関わるのみならず運営の苦勞、大変さも経験することが出来ました。

教採、卒論頑張ってます! (^ ^)

大相撲観戦が大好きです! 最近のマイブームはきゅりーぱみゅぱみゅです

多くの活動には参加できていませんが、子どもとの関わりはもちろん様々な視点から学ばせていただきました。



名 前:松田祐輝(まつだゆうき)
専 攻:社会科学教育専攻
卒業年度:平成24年度
出身地:埼玉県北本市
 ～現在の状況～

飯山市立秋津小学校 算数専科(臨時)
 ～学生時代に参加したプラザ名～
 麻績・湯谷・信里・YOUフェス
 ～学生時代と現在～

私は、YOU遊の活動に参加する度、子どもたちが元気に遊びまわり、一生懸命に活動する姿に勇気と元気と癒しをもらっていました。そのような子どもたちの姿や、成長を見たいという一心で教員を目指しました。この感動を学生時代に共有できた仲間も大切な財産です。他にもたくさんの学びがあったYOU遊に感謝しています。

つながりワード♡

第10回YOUフェス実行委員長・社専・湯谷キャン・麻績キャン・ミスチル・ハンドボール・らーめん(よし家)

名 前:松本(押澤)由記(まつもとゆき)
専 攻:家庭科専攻

現所属:御代田町立御代田北小学校

学生時代YOU遊サタデーでは、手作りしたものを食べたり、遊んだりという体験を通して、手間をかけることの大切さを学びました。お金では買えない、一人一人の経験値がアップするということが何よりです。

近況…家庭では男の子3人の母として、日々仕事と家事と育児に奮闘中です。

長男がサッカーチームに入っています。休日は、サッカー観戦に熱が入ります。

名 前：丸山朱里（まるやまあかり）

専 攻：教育実践科学科 総合生活科分野

出身校：長野県上田高等学校

未来道場

大学4年

美術・書道

YOU遊の活動には、未来道場と、YOUフェスで関わらせていただきました。子どもと関わること、仲間と一緒に教師を目指すことの良さを感じる貴重な体験をさせていただきました。YOU遊に興味はありながらも、参加のきっかけがつかめずにいた私に、先生が声をかけてくださったのが最初です。土井先生には、大学の入試の面接の時から始まり、大学生活ではずっとお世話になってきました。先生の言葉はいつも、駄目な自分でも深く受け止めてくれる、信じてくれる人がいるという安心感をくださいました。活動に関わり、人と共にもっと成長したいという想いをもてたことは、自分の未来にとってとても重要なものだと思います。この想いを大切に、自分の今やるべきことに今、しっかりと取り組んでいきます。



名 前：丸山和利（まるやまかずとし）

専 攻：理科

卒業年度：平成8年度

出身地：長野県松本市

～現在の状況～

松本市立開明小学校 理科専科（H24年度末まで）

今後、本拠地が松本市であるので、松本市内やその近隣の郡市の学校に勤務していく予定。

～学生時代と現在～

【（自分が任されたことはもちろんベストを尽くす）＋（周りを見て全体が円滑に進んでいくにはと考えるが、担当以外のところにもどんどん加わって支えていく）】姿勢が、この活動にはあった。この姿勢は学校現場ではまさに必要だとつくづく感じる。ここで得た、子どもへの関わり方や他者との連携は、今の現場での基盤になっている。

つながりワード♡

93E・理科・岩井（気象）研究室・S館→W館・まほろば祭・Gシリーズ・Mシリーズ・おもちゃ

名 前：三石梨沙（みついしりさ）

専 攻：理数科学教育専攻理科分野

08入学の理数科学教育専攻理科分野、三石梨沙です。茂菅の11代農場長を務め、3年間ですべてのプラザに参加させていただきました。企画作りに携わることが楽しくて色々なことに手を出し、とにかく多忙な日々であったことを覚えています。自分だけでは抱えきれず、まわりのたくさんの方に支えていただいたおかげで何とかやり遂げることができました。現在は中野小学校に勤務し、5年生の担任をさせていただいております。2年目を迎え少し周りを見る余裕も出てきたので、勉強会や研修に参加したいと思っています。休日も学校にいたので、先輩方に「趣味を作りなさい」と言われました…。今年の目標は休日を充実させることです！



名 前：峯村和裕（みねむらかずひろ）

専 攻：理数科学教育専攻

卒業年度：平成23年度

出身地：長野県千曲市

～現在の状況～

坂城町立坂城小学校 理科支援員

～学生時代に参加したプラザ名～

- ・青木村笑顔クラブ・茂菅ふるさと農場
- ・湯谷小こどもランド・麻績村 dE 遊ぼう
- ・YOU遊フェスティバル

～学生時代と現在～

YOU遊の活動に参加する中で、私にはとても大切な仲間ができました。それは、他愛ない話から真剣な話までできる仲間であり、一緒に頑張っていこうと思える仲間です。これから先、そんな仲間を大切にしたいと思います。そして、そんな仲間と出会うことができたYOU遊の活動には感謝しています。

つながりワード♡

理科・実家通い・W館4階・原付・甘いもの・講師・屋代高校・野球・夏好き・星好き



名 前：宮尾 亘（みやおつかさ）

専 攻：教育実践科学専攻

卒業年度：平成22年度

出身地：長野県長野市

現 在：下諏訪町立下諏訪北小学校

～学生時代に参加したプラザ名～

信州大岡（プラザ長）・青木村（副プラザ長）・麻績村・湯谷小・茂菅・須坂・YOUフェス

～学生時代と現在～

私は主に青木、大岡を中心に活動させていただきました。特に通学合宿で学んだ、子どもに寄り添う事の大切さや、子どもを真ん中におき、みんな子ども達を育てているんだという意識を、教師になった今でも忘れてはいけないものだと思います、がんばっています。

つながりワード♡

・17期運営・実践・土井研究室・長野・野球・通学合宿・N308・つくくん・ボード

名 前：宮沢 元 (みやざわはじめ)

専 攻：小学校課程理科化学村松研究室専攻

出身校：長野県須坂高等学校

学生時代にどのような「YOU遊」体験をしたか：大学構内に貼ってあったチラシをもとに、恐る恐る土井先生の研究室で行われていたスタッフ会議に訪れると土井先生をはじめ、先輩方が心温かく迎えてくださったことがとても印象に残っています。だれでも歓迎・出入りも自由というとてもオープンな形だったことが、「YOUサタ」がここまで発展してきた理由の1つではないかと思います。もう1つ、印象に残っていることは、「YOUサタ」を大学の単位の講座にしてよいのかそれともボランティア的な活動のままにしておくのかということ土井先生や先輩方と話し合ったことです。

現在の勤務先：長野市立徳間小学校

近況：徳間小では、理科専科として勤務しています。学生時代につながった方々と再びつながる機会も増えて、出会いや縁というものを感じる今日この頃です。

趣味・特技：長野パルセイロサッカー観戦とフットサルをやること

名 前：宮澤弘至 (みやざわひろし)

学校教育専攻学校教育専修を平成7年度に修了。出身地は上田市で現在母校の上田市立第一中学校に勤務。学生時代に開設した講座名は「教育学部ってどんどこころ？」(高校生向き)

土井先生が信大教育学部に赴任して3年目の時、私が大学4年か大学院の時に会いました。土曜休みが始まり、子どもと学生をつなぐ実践の場が少なく、そういった場を提供したいと願っていた先生の考えに賛同し、「YOU遊サタデー」の開設に向けて試行錯誤しました。

現在、中学校の現場は多忙です。最近の教員に対するバッシングで胸が痛くなり肩身が狭く、非常にやりづらいです。でも目の前には子どもがいるわけで、その子たちと日々ともに汗を流してがんばっています。その原点はやはり土井先生から教わったことがあると思っています。現在では感謝の気持ちでいっぱいです。もう43歳の中堅になり昔のことが懐かしいですが、現在の硬直して閉鎖的な教育現場を打破すべく、土井先生には教えを請いたいと思う今日この頃です。

名 前：室橋美咲 (むろはしみさき)

所 属：言語教育専攻 国際理解教育分野3年
プラザ：あおき 副プラザ長

YOU遊に参加したのは去年のあおきっこ通学合宿でした。たくさん子どもたちと1週間過ごすという貴重な体験をして、こんな活動をさせてくれたあおきが大好きになりました。そして今回の通学合宿では副合宿長をやらせて頂いて、去年とは比べものにならないくらい多くのことを感じ、学ぶことができたと思います。本気で取り組んでわかることの大切さを学びました。

今年はたくさんプラザの活動に参加して、よりたくさん子どもと出会い、多くのことを感じていきたいと思っています。

名 前：百瀬あきほ (ももせあきほ)

専 攻：教育実践科学専攻 4年

出身地：長野県伊那市(伊那弥生ヶ丘高等学校)

～学生時代に参加したプラザ名～

青木・湯谷・茂菅・YOU遊フェスティバル・未来道場

～学生時代と現在～

YOU遊の活動で出会った子どもたちや仲間は本当に私の宝物です。

沢山の時間を共有してきた仲間からは「子どもを中心に考える事の大切さ」など本当に多くの事を学んできました。また子どもたちからは活動の度に元気な笑顔をもらいとても有意義な時間を過ごしてきました。これからももっと沢山の素晴らしい仲間を増やしていきたいです。

～好きなこと～

バスケ・写真をとること・flumpool♪等など

名 前：森川(鹿子木)愛 (もりかわあい)

専 攻：教育実践科学

出身地：愛知県江南市

学生時代にどのような「YOU遊」を体験したか：

茂菅や牟礼の畑、YOU遊フェスティバルなどを体験しました。当日子どもたちとかかわることはもちろん、仲間との事前の準備もとても楽しい時間でした。自分とは違った考え方を知ることや、土井先生のお話を聞くことが、自分自身を見つめ直す機会になっていました。

現在の勤務先：愛知県丹羽郡扶桑町立扶桑東小学校

近況：2013年4月11日に第3子を出産しました。

3人の子どもたちに囲まれ、とても慌ただしいですが、とても楽しい毎日です。上の子の時から続けて産休・育休をいただいているので、現場を離れて5年目になります。仕事に復帰できるかどうか不安はありますが、今は我が子との時間を大切に過ごしていきたいと思います。

名 前：森下房枝（もりしたふさえ）

専 攻：平成10年度 小学校教員養成課程家庭専攻 卒業／平成12年度 教育学研究科 家政教育専修 修了

出身校：栃木県立栃木女子高等学校

学生時代にどのような「YOU遊」体験をしたか：

3年生の時、友人と一緒に始めて講座を開講しました。その時、講座内容への指導教官の理解が得られず、開講を断念しようかと思っただけがありました。そんな私たちを、先輩や友人たちは心配し、応援してくれました。特に土井先生からは「世の中には色々な視点から物事を考える人がいるのだから、一度ぐらいダメだったからといってあきらめてはいけない。納得してもらえるように、何をどうしたらよいかを考え、何度でもチャレンジするんだ。」という様なお話を伺い、それは私たちにとって大きな力となりました。この土井先生から頂いた言葉は、今でも、私の推進力の源です。

現在の勤務先：栃木県立小山北桜高等学校

近況：新採より13年が経過しようとしています。

現任校に赴任した頃は、少子化による生徒数減の影響を受けて“定員割れ”という状態でした。私が所属する学科は「インテリアデザイン科」から「生活文化科」へと5年前に学科再編し、教育課程も大きく変わりました。生活文化科科长として4年目を迎え、専門科目の学習の充実

に加えて学科行事やキャリア教育、地域や学科間連携など、特色や魅力ある学科経営をめざし、先述した土井先生の言葉を活動の源に、日々過ごしています。年々、生徒がたくさん受検してくれるようになり、校内外において活気のある学科といわれるまでになりました。私はこの学科とともに成長してきたなと感じる今日この頃です。

【趣味】海外旅行 【特技】洋裁・和裁



名 前：両角孝之（もろずみたかゆき）

専 攻：数学教育専攻

卒業年度：平成14年度

出身地：長野県諏訪市

現 在：塩尻市立塩尻西部中学校
数学

～学生時代に参加したプラザ名～

茂菅ふるさと農場、プレーパーク 他

～学生時代と現在～

卒業後、青木小学校、木島平中部小学校、麻績小学校と3校村の小学校に赴任し、現在塩尻西部中学校にいます。青木、麻績と、卒業後もYOU遊と関わりがあったことに「縁」を感じています。

今は長野県レクリエーション協会の活動や、中野市のふるさと冒険クラブでキャンプやウォークラリー、雪遊びなどを企画して遊んでいます♪

つながりワード♡

傘ランラン、君もマジシャン、ハロウィン大行進

名 前：八木英理子（やぎえりこ）

専 攻：言語教育専攻

出身校：大阪府立今宮高校

学生時代にどのような「YOU遊」体験をしたか：

青木、麻績、大岡などのプラザを通して、子どもたちや地域の方々と触れ合うことでお互いの魅力を知り、もっと活動したい！と思えるような体験をたくさんしてきました。また、運営として動いたり、各活動の企画を考えたりと、学生同士で熱く語り合い、率直な意見をぶつけ合える仲間にも出会うことができました。

近況：就職活動中

趣味・特技など：字を書くことが好きで、「YOU遊」の活動でも発足式の看板やプラザのスタッフ募集チラシなど、多くの場面で“やぎフォント2012”を使って頂きました。

名 前：柳沢勇志 (やなぎさわゆうし)

「信大YOU遊サタデー」でお世話になりました。大学に入学して感じたのが、子どもとふれ合う時間が教育実習以外に少ないということでした。しかし、土井先生やスタッフの方と出会い「信大YOU遊サタデー」という場があることを知り、参加させて頂くことになり、貴重な体験ができました。1年目「ガリガリ竹とんぼ講座」を担当して、講師の方との打ち合わせの大切さ、子ども達とのかかわり方を学ばせて頂きました。2年目は、「親子でサッカー」の講座も引き受け、スタッフと協力する楽しさ、充実感を味わうことができました。今思うと、これらの活動が、自分の教員人生の支えとなり、礎になっていることを感じております。現在、附属松本中学校に勤務しています。



**名 前：山口(石関)千絵
(やまぐちちえ)**

専 攻：社会科学教育専攻
卒業年度：平成17年度
出身地：群馬県桐生市

～現在の状況～

愛知県名古屋市立南陵小学校 育児休業中

～学生時代に参加したプラザ名～

プレーパーク・興譲館

～学生時代と現在～

先日、娘と訪れた保育園のバザーで、学生さんのグループが子どもたちの前で歌を歌っていました。その様子を見て、子どもたちと楽しく関わっていた学生の頃を思い出しました。育児をしているといろいろな場面で、たくさんの方に支援の手を差し伸べてもらえます。かつての私も、そんな支援の手になっていたのだとしたら嬉しいです。

つながりワード♡

育児・おかあさんといっしょ・読み聞かせ・猫

名 前：山口直行 (やまぐちなおゆき)

専 攻：中学校教員養成課程数学科卒業
出身校：静岡県立沼津東高等学校出身
・信大YOU遊サタデー第1期実行委員長

実行委員長として、この企画の組織づくり・運営全般・近隣の小学校への広報活動などを行いました。また、「けん玉で遊ぼう」の講座のキャプテンを務めました。

現在、松本市立丸ノ内中学校へ勤務して3年目

になります。

学年主任、研究主任、初任者指導などの校務を担当させていただいています。

部活動では、陸上競技の指導に携わって10年以上が経ちました。また、私自身も陸上競技の魅力に引き込まれ、マスターズ陸上に挑戦しています。主に60m、100mに出場しています。こうして出場できるのは、健康である証拠ですし、部活動の子どもたちと一緒に練習させていただき日々感謝しています。

名 前：山崎花奈子 (やまざきかなこ)

専 攻：言語教育

出身地：長野県長野市

出身校：長野県須坂高校

趣味など：ピアノ、ドラム

参加プラザ：須坂、青木、茂菅、大岡、湯谷、麻績、YOUフェス

私は、3年生の時に19期の大岡プラザ長として活動させてもらいました。はじめて大岡小学校に行った2年生の時、子どもたちとどう関わったらよいか分からず迷い立ち止まってしまいました。あれから2年。大岡は私の大切な場所になりました。先生方、地域の方に支えられて、今の自分がいます。「大岡ぼっこ(23年度の宿泊企画)たのしみだなあ。」「また大岡日和(24年度の宿泊企画)やりてえよ。」子どもたちの思いや笑顔に、学生のパワーが注がれるのだと思います。

名 前：山崎重幸 (やまざきしげゆき)

専 攻：中学校教員養成課程美術科

出身校：大阪府立東住吉高等学校

・学生時代に体験した「YOU遊」:

「これで君も名カメラマン～上手に格好良い写真を撮ろう～」/「アルミを使ってオリジナルネームプレートを作ろう」等

・現在の勤務先：伊那市立 長谷小学校

・近況：現在、伊那市立長谷小学校に勤務し、様々な授業研究に携わっております。昨年度は長野県へき地教育振興協議会公開研究を行い、その実践を関東ブロック研究大会で発表してきました。教材研究・授業展開・教師の支援・環境設定等に関する実践データを蓄積し、そこからより子どもが輝く授業を構想・創造していくことの楽しさ。明るく元気な子ども達に囲まれ、共に過ごす喜び。それらを存分に感じながら、教師として本当に充実した日々を過ごしております。

す。

・趣味・特技：スノーボード、テニス、楽器演奏、
絵画、サッカー審判

名 前：山田高弘（やまだたかひろ）

専 攻：教育実践科学専攻

教育実践科学専攻4年、第19期の山田高弘です。好きな食べ物は、シーザーサラダ、趣味は読書、特技はバスケットボールです。「YOU遊未来」に参加させていただくようになったのは、YOU遊の運営委員に誘っていただいたことがきっかけでした。運営委員という立場から、学生、保護者、地域の方々など多くの人と関わらせていただく中で、人と「つながる」ことの大切さを実感し、子どもたちと日々成長できる教師という仕事にますます魅力を感じるようになりました。YOU遊未来での学びを生かして、一人前の教師になれるようにこれからも精進していきたいと思います。

名 前：山田裕利（やまだゆうと）

学生時代：未来道場 YOU遊フェスティバル

専 攻：保健体育専攻 諏訪清陵高校出身

勤務先：飯山市立戸狩小学校

教員になり毎日子どもと関わることができ、充実した日々を過ごしています。今私は5年生の担任をしています。単級ということで学年の仕事を一人でしなければなりません。初任ということで仕事が全く分かりません。そんな中私を支えてくれる人がいます。同僚の先生方、クラスの子も達です。学校の仕事を一つ一つ教えてくれ、相談にも乗ってくれる先生方。クラス作り、授業で「こうして見たらいいんじゃない？」と教えてくれる子ども達。私は毎日感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちを子ども達に尽くすことで返して行きたいと思います。



名 前：山本敦司（やまもとあつし）

専 攻：地域スポーツ専攻

卒業年度：平成23年度

出身地：愛知県半田市

～現在の状況～

愛知県知多郡東浦町立 片葩小学校 教諭

～学生時代に参加したプラザ名～

you-youcamp・青木村・麻績村・大岡・湯谷

YOU遊フェスティバル・茂菅・須坂

～学生時代と現在～

学生時代、活動に参加してできた仲間とたくさ

んのことを語り合いました。活動への関わり方や、子どもに対する自分たちの思いをぶつけあったことで、それぞれ違う考えだが、熱い思いを持っていることには変わらないと感ずることができました。そこで語り合ってきた思いが私の教員としての原点になっています。

つながりワード♡

N308・乗鞍青少年交流の家・陸上競技・駅伝・
野球・半田・教育バスケ・19（ジューク）・い
きものがかり

名 前：山本真望（やまもとまみ）

専 攻：教育実践科学専攻

出身校：長野南高等学校

現在の勤務先：岡谷市立岡谷小学校

近況：育児休暇中、2学期より復帰予定、4歳（年中）と2歳（もうすぐ3歳）の息子たちと日々奮闘中。

幼稚園のサークル（スポーツとコーラス）活動や地区の子育てサークルに参加し、子どもやママ友たちと楽しく過ごしています。

「YOU遊」体験：たくさん仲間と出会い、とにかくやりたいことをやることができました。茂菅や卒礼の活動で農作業体験を。他にも、ウィンナーやこんにゃく等、食べたいものを作ったり、色々なイベントを考えたりもしました。体験したことは書ききれないほどありますが、一人ではできないことばかりです。また、子どもたちと関わる中で、悩み考えることもたくさんありましたが、仲間と語り合い、自分に自信を持つこともできました。

名 前：横田克己（よこたかつみ）

専 攻：社会科学教育専攻3年

参加したプラザ：麻績・須坂・茂菅・湯谷・
YOUフェス

社会科学教育専攻法律分野の横田克己です。好きな食べ物はシチュー、苦手はカレーです。

趣味は映画鑑賞で、去年1年間で200本くらいみました。

YOU遊に参加したきっかけは1年生の時にいったYOU遊フェスティバルです。そこで子どもと関わる楽しさと、同時に難しさに気づきもっと子どもと関わりたい！と思い今に至ります。

今年度は運営としてYOU遊のために何が必要で何ができるのか考えることはもちろんですが、「子

どもをど真ん中に」を忘れず、遊び心を持って活動していきます。

名 前：吉澤正彦（よしざわまさひこ）

専 攻：小学校教員養成課程社会科（自然地理学研究室）

出身校：長野県長野高等学校

- ・「竹とんぼ作り」「しめ縄作り」
- ・大町市立大町南小学校
- ・4年生34人のクラスで、「リゾートビューふるさと」という列車と一緒に写真を、小谷村在住のカメラマンのYさんに撮ってもらいました。今年で3回目です。
- ・息子と一緒に電車に乗ることが楽しみです。

名 前：林 向達（りんこうたつ）

在学当時は、小学校教員養成課程教育学科に所属。私立愛知高等学校卒業。

「YOU遊サタデー」では、第1期事務局長として土井先生や実行委員長のサポートをしながら、全体計画と当日記録などを担当しました。

現在は大学教員として教育の情報化に関する動向を研究しています。教育と情報・テクノロジーの関係について関心があり、いまは分野の歴史を研究しています。学校の教職員研修にお邪魔して一緒に授業におけるICT活用について考える機会も増えてきました。お手伝いできることがあれば気軽に呼んでください。パタパタと落ち着かない日々なのは昔から相変わらずですが、最近は出張で各地に出かけるのが楽しみです。

名 前：鷺澤栞里（わしざわしおり）

専 攻：教育学部現代教育コース1年

YOU遊には小学生の時に参加させていただきました。学生さんと楽しく遊んだ記憶が今でも残っています。そして、自分が大学生となった今、反対の立場から子どもたちと関わり、YOU遊に参加できていることをとても嬉しく思っています。私はまだ多くの活動には参加することが出来ませんが、今後もYOU遊の活動にたくさん参加していきたいと思っています。

好きなことは、音楽を聴いたり、運動することです。屋代高校では、バドミントンをしていたので大学に入ってからも続けています。

名 前：渡辺一博（わたなべかずひろ）

専 攻：英語科専攻

卒業年度：平成9年度

出身地：福島県

第1期の立ち上げから参加し、第2期では実行委員長を務めさせていただきました。当時は「YOU遊サタデー」と称し、私自身も「英語講座」や「額縁作品」などの講座を担当しました。その当時の仲間と、「YOUサタ」の理念や講座はどうあるべきかなど議論したことは今でも楽しい思い出です。

現在、私は安曇野市立穂高西中学校で3学年主任をさせていただいています。多くの人と同じように土井先生に道を示していただいたひとりで。学生時代に土井先生と「YOUサタ」に出会えたことは本当に幸運でした。土井先生、本当にありがとうございました。



名 前：和田洋明（わだひろあき）

専 攻：社会科学教育専攻

卒業年度：平成24年度

出身地：長野県池田町

現 在：上田市立南小学校

～学生時代に参加したプラザ名～

青木・大岡・YOUフェス

～学生時代と現在～

一人ではできないようなことでも、仲間や地域の方々と力を合わせることで、たくさんの子どもの笑顔に出会うことができたと感じています。

これからは教師として、また地域の一員として、周りの先生や仲間、地域の方々と協力しながら、子どもたちの笑顔が溢れる学級、学校、地域を作っていきたいと思います。

つながりワード♡

社専、社会科教育研（栗原、澁澤、松本）、蟻高、サッカー、スノボー、aiko、volcom、ラーメン

「信大 YOU 遊」20周年記念シンポジウムに寄せて

これまでを振り返り 20年先の教育を考えよう

20周年記念シンポジウム実行委員長

第1期「信大 YOU 遊サタデー」実行委員長 山口 直行

これまで「信大 YOU 遊」に関わってこられた皆様方におかれましては、各方面でますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、平成6年6月6日に産声をあげた「信大 YOU 遊」が、平成25年度に20周年という節目の年を迎えることになりました。これもひとえに、信大教育学部で学んだ皆様方の思いが、時代を超えてつながってきたことによるものです。「信大 YOU 遊」を立ち上げた当初、ここまで永きに渡りこの活動が続くとは予想だにしていませんでした。それだけに大変感慨深いものがあります。改めましてこれまでの皆様方のご理解・ご尽力に対し深く感謝申し上げます。

「信大 YOU 遊」は皆様方がご承知の通り、時代と共に活動を進化してまいりました。20年前は、全国各地でいじめ問題がクローズアップされ、学校の在り方とともに教師の指導力に対しても社会から厳しい目が向けられるようになっていました。また、長野県においては、不登校の児童・生徒数が全国でも上位に位置することが報道され、教師に向けられる目がさらに一層厳しいものとなっていました。そうした教育の流れがある中で、当時学生であった私は、教師としての実践的指導力を身につけるにはどうしたらよいのかということ真剣に考えていました。教育学部で学ぶ者の多くは、いずれ教育現場で子どもたちの前に立ちます。初任であってもベテラン教師であっても、子どもたちからは「先生」と呼ばれます。いいかげんな気持ちで子どもたちの前に立つことは許されません。当時、3年次に附属幼・小・中学校において6週間の教育実習が義務づけられていました。大学生活は4年間、そのうち授業が行われている120週間の中で、子どもたちと直にふれ合う期間が6週間という時間は、実践的指導力を身につける点においては、全くといっていいほど不十分でした。

その問題点を解決するための試みとして「信大 YOU 遊サタデー」が誕生しました。教育学部のキャンパスに「遊び」と「学び」を共有した体験学習の広場を創造しようとしたのです。ちょうどその頃、学校完全週5日制に向けて土曜日が休みになり始めました。その土曜日に子どもたちの受け皿として教育学部を地域社会に開いていくことは、大いに意味があることでした。子どもたちが「これは面白そうだ」「ぜひともやってみたい」という内容の講座を開設すれば、子どもたちは必ず集まってくれるだろう。そうすれば地域社会への貢献も可能です。「信大 YOU 遊」は、学生の手による新たな教育学部の挑戦でもあったのです。

とはいっても、この活動を一番理解し、学生の立場になって親身になって温かく見守ってくださった土井進先生のご指導・ご鞭撻がなければ、この活動は実現し得ませんでしたし、続けていくことはできませんでした。土井先生の人間味あふれる姿、教育にかける情熱や行動力、学生一人ひとりに対する愛情など、私たちは土井先生の生き様から多くのことを学ばさせていただきました。今回のシンポジウムは、これまでの土井先生への感謝の気持ちも込めて企画いたしました。

今回のシンポジウムで、これまで「信大 YOU 遊」に携わってこられた皆様方が一堂に会し、これまでの取り組みを振り返ると共に、これから10年、20年先の教育を考え、共に知恵を出し合い、新たな教育の方向性を見いだしていただけたら幸いです。

(松本市立丸ノ内中学校)

感謝の心で地域貢献の活動

20周年記念シンポジウム事務局長

第20期「信大YOU遊未来」運営委員長

木田 達也

「YOU遊」が20周年を迎えるこの佳節に、私は第20期「信大YOU遊未来」運営委員長に立候補しました。至らぬ者ですが先輩、同僚の皆様のご支持を得て、大役をお引き受けすることになりました。誠心誠意全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、この場をお借りして皆様に感謝の思いを伝えたいと思います。「YOU遊」が発足して以来一貫して変わらぬモットーは、「やりたい人が、やりたいことを、やりたいようにやる」という自主の精神です。このような自由な理念のもとで、学生は主体的・自主的に全力で活動に取り組むことができます。しかし、その背景にある多くの方々の支えを私たちは忘れてはなりません。私たち信大生を信じ子どもさんを預けてくださる保護者や地域の方々なくしては、私たちの活動は成り立ちません。保護者や地域の方々から信頼を寄せていただいているのは、これまでの19年間の先輩、卒業生の方々の努力の積み重ねのおかげです。

また、私たち学生が大学の講義室や演習室、調理室、体育館、グラウンド、図書館2階、生協などの施設をお借りできるのは、私たちの活動に深い理解を示し、温かく見守ってくださる大学の教職員の皆さまのおかげです。学務係、庶務係、管理係、会計係の皆様大変お世話になっています。このほかにも私にはまだ気が付かない多くの方々の支えのもとで活動できているのだと思います。本当にありがとうございます。

今、私たち信大生には「YOU遊」という子どもと全力で向き合える場があり、全力でぶつかりあえる仲間がいます。教育の道を志す学生にとって、とても恵まれた環境にいると思います。信州大学を誇りに思います。私は1年生の時、大学の講義で専門的な内容を学ぶだけでは満足できない、もっと子どもと直接かかわりたいという、自分の中から湧き上がる情熱をぶつける場がないことに苦しみました。しかし、私は「YOU遊」に出会ったことで救われました。私が1年生の時に感じたような悩みを抱えている信大生は、大勢いると思います。私はこれからの1年間、第20期「信大YOU遊未来」運営委員長として活動していく中で、以前の私のような悩みを持った学生が1人でも少なくなしてほしいと願っています。おせっかいで、人の悩みに首を突っ込むと言われることもあるかと思いますが、私はもっともっと多くの学生と思いを分かち合いたいのです。

大学と地域社会の多くの方々に支えられ、私たち信大生が全力で地域貢献の活動ができる信州教育の風土に誇りを感じます。私たちは学生と学生、学生と子ども、学生と保護者、学生と地域社会の方々との絆を深め、明るく楽しい「YOU遊未来」の活動を展開していきたいと思っています。

(社会科学教育専攻3年)

歴代学長の祝辞 〈「信大 YOU 遊」20周年に寄せて〉

大学の地域貢献度総合首位に寄与

第9代 信州大学長 宮地良彦

「信大 YOU 遊」がこのたび20周年の記念すべき日を迎えられると聞き、心からお祝い申し上げます。最初の「信大 YOU 遊サタデー」はたしか小生の在任中にはじめられたと記憶していますが、それ以来20年、「YOU 遊広場（プラザ）」、「YOU 遊世間（ワールド）」、「YOU 遊未来（チャンス）」と、教育学部教員と学生が児童、保護者、住民と一体となって展開してこられた地域貢献は、教育県長野の名にふさわしい立派な成果を上げてこられました。先ごろ日本経済新聞社が4年制大学を対象に実施した「大学の地域貢献度」調査において、信州大学が総合首位を占めたのも、「信大 YOU 遊」の活動によるところが大きいものと思います。

少子・高齢化が進む社会情勢の中であって、児童教育の重要さはますます大きくなってまいります。「信大 YOU 遊」がこれからもなお一層発展し、地域の活性化に大きな役割を果たすことを強く期待して、お祝いの言葉といたします。

「大いに遊んでください！」

第10代 信州大学長 小川秋實

みなさん、「こんにちは!」。今日、「YOU 遊サタデー」で皆さんと一緒に勉強するお兄さん、お姉さん方は、この信州大学で学び、やがて学校の先生になろうとして、一生懸命に勉強している方々です。そして、今日の「YOU 遊サタデー」のために、一生懸命、どうやったらよいか、考えて、そして、準備をしてくれました。これは、さっきお話があったように、大学で勉強していることとは別に、こうやって皆さんと一緒に勉強したいと考えて、はりきって準備してこられたんです。だから今日、勉強する内容は、学校と全く違って、きっと、皆さんが楽しくなるような内容だろうと思います。「YOU 遊サタデー」というような、楽しく勉強する機会は、日本のどこでもやっていないんだそうです。信州大学でしかやっていないそうですから、皆さんはとても運がいいですね（笑い）。

さて、こうして熱心に学生さんがやってくださっていますが、この学生さんたちは、1年後、2年後、あるいは3年後に立派な先生となって、また、皆さんを教えてくださいさるだろうと思います。大変うれしいことですし、こういうようなことをどんどんやっていただきたいと思います。今日の勉強は、どちらかというとお遊びみたいなことかも知れません。この黒板に掲げてある漢字、読めますか。読める人? 「ハイ!」そうです。「あそぶ」ですね。今日は遊ぶ勉強をしようということですから、大いに遊んで下さい。お兄さんやお姉さんの言うことをよく聞いてください。それから、学年の違う人も一緒になって遊ぶので、お友達も増えると思います。今日、これから、楽しく勉強すると、きっといつまでも、そのことを覚えているだろうと思います。また、次の「YOU 遊サタデー」にもぜひ来たいと思うでしょう。ですから、今日は楽しく勉強してください。ではこれで、あいさつを終わります。（平成7年10月28日 土曜日）

素晴らしい学生の組織的な活動

第11代 信州大学長 森本尚武

20周年の記念すべき年を迎えられ、心からお祝いを申し上げます。

「信大 YOU 遊」の活動については、学長時代から大変関心を持っておりました。教員・学生が子ども・地域の方々とともに「青少年の育成」に取り組んでおられること、及び学生が本事業を主導し組織的な活動をしていることは実に素晴らしいことです。今日まで本事業に携わってこられた多くの皆さん方に敬意を表しますとともに、今後さらに本事業が青少年の育成のために大きな輪になりますように願っております。

す。

さて、私は学長を退任後、「信大 YOU 遊」の理念ともマッチする活動「森本自然教室」を農学部並びに地域の方々とともに毎年行い、今年で 10 年目を迎えます。小学生とその保護者を対象にした伊那谷の自然観察を地域の方々と共に行っています。子どもたち・保護者・地域の方々が、自然の面白さ・不思議さを自分たち自身で学ぶとともに、自然に関する共通の関心をもとにお互いのコミュニケーションを図っています。今後ともご指導をお願い致します。

一步進んだ社会貢献、高い成果

第 12 代 信州大学長 小宮山 淳

「信大 YOU 遊」が輝かしい実績を重ねながら、20 周年を迎えたことに深い敬意と祝意を表します。またこの間にあって、本事業の充実発展に多大な尽力をされてきた土井進教授をはじめ関係者各位に、心から感謝を申し上げます。

本事業との出会いは、土井教授が学長室でこれを熱く語ってくださった時でした。当時、大学の使命が問い直され、個性的な教育研究とともに、一步進んだ社会貢献が強く求められていた背景もあり、その取組に格別なる思いで拍手を送ったものでした。

周知のように、その確かな成果は文科省はもとより、社会から高く評価され、信州大学の名声を一段と高めてくれました。また、本事業のもとで数多くの有為な人材が輩出されるとともに、その貴重な知的資源が教育現場などで有効活用されつつあることは、まことにご同慶の至りであります。

大学は今、「競争的環境の中で個性輝く大学」を目指して、懸命な努力を重ねています。こうした状況にあって、本事業のような独創的かつ地域と連携した取組の意義は、着実に高まっていくはずで、20 周年を一つの節目として、これからの大いなる発展を期待してやみません。

「信大 YOU 遊」の関係者各位には、不断の創意工夫とご努力をいただき、信州大学の発展を牽引して下さるようお願いしております。20 周年まことにおめでとうございます。

実り多い活動の場となるよう願う

第 13 代 信州大学長 山沢 清人

「信大 YOU 遊」の活動がこの度 20 周年の節目を迎えられたとのこと、誠におめでとうございます。長きにわたりご支援・ご協力いただきました地域や関係団体の皆様に心から御礼申し上げます。ありがとうございます。

「信大 YOU 遊サタデー」として活動が開始した平成 6 年以来、のべ 3,000 人を超える学生が活動に参加し、子どもたちとの農作業やキャンプのほか、青木村をはじめとした市町村教育委員会等と協力した様々な活動を通して、多くのことを学び、得られたことと思います。特に教員を目指す学生にとって、自ら企画・実践し直接子どもたちと触れ合える「信大 YOU 遊」の活動は、現場での貴重な経験としてその後に役立っているはずです。さらには、参加した学生同士、またご協力下さった地域や関連団体の皆様等とのつながりも、この活動を通じてこそ得られたかけがえのない大切なものではないでしょうか。

「信大 YOU 遊」が今後さらに継続・発展し、より多くの子どもたちや学生、ご協力いただく全ての皆様にとって実り多い活動の場となることを願っています。

歴代教育学部長の祝辞 〈「信大 YOU 遊」20周年に寄せて〉

反省的实践家を育む「YOU 遊」

小林 輝行

筆者は、平成5年4月から平成9年4月まで学部長職に在り、その発足当初から「信大 YOU 遊サタデー」に関わってきた。こんな活動をしてみたいがという土井教授の話に、それは大変面白い試みで、教員養成学部のカリキュラム改革の契機となりうるので、学部として全面的にバックアップするから思う存分やってほしい旨の話をしたことが、つい昨日のこのように甦ってくる。あの時から20年、次から次へと湧き出る泉のように絶えることなく現在まで脈々と活動を続けてきている「信大 YOU 遊サタデー・広場・世間・未来」のエネルギッシュな勇姿に感無量の思いである。

周知のように、1983年、D.ショーンは、「反省的实践家」(reflective practitioner)という新しい教職の専門家像を提唱した。日本では佐藤学氏らの紹介・研究によって広く知られるようになり、現在、教師論、教職論、学習指導論、授業論等の分野で、様々な研究が展開されている。「反省的实践家」論のキーワードは、「省察」(reflection)と「熟考」(deliberation)という2つの実践的思考能力であり、これらを欠いては体験・経験を「体験的知識」、「経験知」、「実践の見識」といわれる実践知にまで高めることは不可能である。

これまでの「省察」に関する研究の知見によれば、主として(1)活動に内在する認識、(2)活動過程における反省的思考、(3)活動に関する反省的思考、(4)活動に向けた反省的思考という4つに整理されている。「熟考」に関しては、理論的な概念、原理を実践の文脈の中でとらえ直し、実践に適切に対応させる思考であり、実践的な問題解決にあたり不可欠なものとされている。

こうした「反省的实践家」としての教師が、現在求められている教職の専門家像であるとするならば、「信大 YOU 遊」の活動の中には、「省察」と「熟考」という2つの思考力を鍛え、身に付ける機会が至る所で提供される格好の活動である。そして、この活動に参加する学生たちが、こうした思考のシステムをしっかりと認識して活動することにより、より大きな成果が期待されるのである。

(教育学：信州大学名誉教授・前松本大学教授)

この実践活動は、本物だ！

漆戸 邦夫

平成5年度から4年間、当時の附属教育実践研究指導センターに縁があり、センター長としてお世話になりました。その時幸運にも“もっと子どもたちとふれあう機会がほしい”という教育実習を終えた学生の純粋な願いが「信大 YOU 遊サタデー」として産声をあげた歴史的瞬間に立ち会うことができました。その日の内に行われた反省会では、「講座の準備は苦勞したけれど子どもたちの笑顔に疲れも吹き飛んだ」、「子どもたちとふれあう中で逆に教えてもらうことも多かった」、「初めて顔を合わせた学生同士が講座の準備に悪戦苦闘するうちに、仲間意識も高まり支え合う大切さを学んだ」など、喜びや感謝の言葉を次々に述べる学生たちの生き生きとした姿に接し、深く感動しました。学生が自主的・主体的に参加し、企画し、教材を開発し、子どもたちと講座でふれあうこの実践活動は、本物だ！と、その時感じました。

「信大 YOU 遊サタデー・広場・世間・未来」は、平成11年(1999)に21世紀を展望して行われた学部改組の中核的理念である「臨床の知」を、まさに先取りした形で始められ、学部改組の理念に沿って他者や事物とのいきいきとした関係や交流を保ちながら、模範的な実践活動が展開されてきました。その結果、現代社会から求められている資質の一つである、社会力や実践的指導力などの基礎を身につけた人材が多数養成されていると実感されます。「信大 YOU 遊サタデー」の助産師さんの役目に始まり、20年にわたりこの一連の実践活動を見守り、一緒に走り、指導育成されてきた土井進教授に敬意を表します。

(有機化学：信州大学名誉教授)

やがて教育現場の核となろう

藤 沢 謙一郎

「信大 YOU 遊未来」が20年を迎えるという。

近時、若い教師の社会人力の乏しさが云々されている。社会人力とは、「基礎学力」「専門知識」とともに、組織や地域の中で、多様な人々と共に、仕事をしていくうえで必要な基礎的能力といわれる。教師に要請される多様な力を学部教育4年間で身につけることには無理があるが、さりとて、ただ手をこまねいては何も始まらない。

土井進教授が始めた「信大 YOU 遊サタデー」の取組みは、ややもすれば理論に偏りがちなこれまでの教師教育に一石を投じようとするものであったが、開始当初は周囲からやや冷やかに受け止められていたように思う。しかし、この実践を契機に、やがて信州大学教育学部の「臨床経験科目」の体系化が進められたことを考えると、いかに先見性に優れた教育実践であったかがわかる。

社会人基礎力として大切といわれている「失敗しても粘り強く取り組む力」、「疑問を持ち、十分に納得いくまで考え抜く力」、「チームで働く力」の必要性は、体験活動を通じた試行錯誤から培われるものであり、臨床体験知である。

20年間地道に取り組んで来られた土井教授と代々の学生スタッフの皆さんに、敬意を申し上げるとともに、この活動に参加し育った学生が教員となり教育実践を積み重ねて、やがて教育現場の核となり、教育界をリードしてくれるだろうと期待している。

(健康教育学：信州大学名誉教授・前信州大学理事)

学生の実践記録を後に遺す意義

赤 羽 貞 幸

学生諸君の活動は、意欲的で大人がまねできない力強い側面をもってありますが、それらについての記録が後に遺されることが少なく、折角の実績が後に続く人たちに伝わりにくいのが現状です。その点、このフレンドシップ事業に関わる学生の諸活動は、毎年きちんとまとめられて公表されていることに敬意を表します。活動に参加された諸君はそれぞれに大きな成長を得られますが、この記録が後に続く人たちの大きな財産となることも意識してほしいと思います。

本学部では平成17-18年度、文部科学省の「大学・大学院における教員養成推進プログラム（教員養成GP）」に、「臨床の知」の実現一蓄積する体験と深化する省察による実践的指導力の養成一プログラムが採択され、学部をあげて取り組んできました。このプログラムは、いかにして体験・経験の蓄積である実践と理論とを統一し、「臨床の知」に高めていくかを科学的に追求しようとするプログラムであります。

実践的指導力は大学での授業だけでは充分高めることができません。学生たちが自主的に積極的にボランティア的な活動に参加することが、この実践的指導力の育成に大きな影響を与えます。フレンドシップ事業に関わり体験や経験を積み上げた学生諸君が、理論の必要性を感じ体験と理論とを結び付け、より実践的指導力を高めて行かれることを切に願っております。

(地質学：信州大学副学長・信州大学名誉教授)

実践的指導力と学問的素養を学ぶ

岩 永 恭 雄

「信大 YOU 遊未来」の前身である「信大 YOU 遊サタデー」は20年前に本学部土井進教員よって、教育学部学生が子どもたちと触れあう場を提供する目的で開始されました。信州大学が発行している広報誌「信大 NOW」54号では、平成20年10月18日に行われた「信大茂菅ふるさと農場」での活動報告とともに、『YOU 遊世間と脳のカンケイ』と題する本学部寺沢宏次教員との対談が掲載されています。

大学卒業後は学校教員になることを目指して勉学に励んでいる教育学部生にとって、こうした地域の大人や子どもたちとの共同作業を通じた交流経験が、学校現場で教員として活動する際の宝物になることは

言うまでもありません。本事業の趣旨に賛同されて、各プラザで御協力いただいた地域住民の方々には、厚く感謝いたします。

学校教員が持つべき資質は実践的指導力と学問的素養で、どちらかに偏ってはいけません。双方がバランス良く備わっていることが教員の必須条件でありましょう。後者を養う場は大学ですが、前者は学校で生徒と接していく過程で、また地域住民との交流を重ねていく過程で養われます。このフレンドシップ事業に参加することによって得られたものには、ボランティアの精神、共同作業の進め方、環境問題に対する知識等多くのものがあつたと思います。どれもが学校現場での活動に役立つもので、フレンドシップ事業での貴重な経験が十分に生かされることを期待するものです。

(代数学：信州大学名誉教授)

地域、連携団体の皆様に感謝

平野吉直

「信大 YOU 遊未来 (CHANCE)」は、「子ども」と「地域」をキーワードにしたいくつもの活動が、年間を通して学生の主体的な参画のもとで展開されていることが最大の特徴です。学校教員を目指す本学部の学生にとって、「信大 YOU 遊未来 (CHANCE)」の企画・運営を通じた地域の方々との交流、そして子どもたちとの直接的な触れ合いは、教員としての実践的指導力の基礎を養う貴重な経験となっているはずです。学生の皆さんには、その大きな学びと成果を今後の社会生活にぜひ役立てていただきたいと願っています。そして「信大 YOU 遊未来 (CHANCE)」が今後も発展継続し、参加する学生、地域の方々や子どもたちにとって、夢ある未来を創造するための活動となりますことを願っています。

「信大 YOU 遊未来 (CHANCE)」の継続的な実施は、この取組の趣旨にご賛同いただき、ご支援・ご協力いただいている地域住民の方々、多くの連携団体の皆様のおかげで成り立っています。ご協力をいただいている関係者の皆様に、心から感謝を申し上げますとともに、今後のさらなるご支援をお願いする次第です。

(野外教育：信州大学教育学部長)

有識者が観た「信大 YOU 遊」

信大の21世紀教育への使命

齋藤 昭

「信大 YOU 遊サタデー・広場・世間・未来」が平成25年度(2013)に、創設以来20年の活動の節目をむかえ、「信大 YOU 遊未来」20周年記念シンポジウムが8月10日に開催される。理論と実践が一体となり、大学全体を動かし、小・中・高の公教育を動かし、長野県のみならず、全国の教育活動に影響を与えたことが、輝かしく、改めて実証されるのである。しかもその創設者であり指導者として研究と教育の全てを投げられてきた土井進先生が平成26年(2014)3月をもって定年退職される。そのご功績は「信大 YOU 遊」の諸活動と共に不滅である。否その火を絶やしてはならない。信大の21世紀教育への使命として継承、発展させることである。

土井教授は信大を去る。しかし先生がその全てを賭けて開発推進されてきた教員養成のこの事業は、わが国の教育を支え動かすと同時に世界に通ずる人間教育の源泉である。信大の教育、学生諸君は誇りをもって新しい時代の教育を拓いていくことを心より期待する。土井教授が信大を去られるのは制度上のことであるが、先生が築かれた教育は不滅である。信大が誇りをもって2014年4月以降もこの教育を生かしていくことである。それが先生への真の饞けでもある。

(教育学博士・教育哲学：三重大学名誉教授・岐阜聖徳学園大学名誉教授)

感性と知性を耕す

佐島 群 巳

1. 「YOU 遊サタデー」の土着思想 私は、「信大 YOU 遊サタデー」の創設当初から関心を持ち、その活動成果に期待をかけていた。毎年送られてくる報告書には、活動のつまづき、困難点、葛藤を乗り越え、年々学生の意識・認識が変容し、深化していく姿を窺い知ることができる。私は、「YOU 遊」という言葉の意味について考え、その名のごとく、活動力を育むものであると直感した。つまり、「YOU」は、学習主体者の自分を含めた「あなたたち」「君たち」「仲間たち」という意味で、そして「遊」は、楽しく、のびのびと、個性豊かな創造的活動を期待したものであろう、と考えたのである。活動に参加された学生は、自ら問題意識を持ち、子どもたちの楽しい、のびのびと個性豊かな創造的活動のできる実践プログラムを衆智を集めて作成し、子どもたち、保護者、地域の方たち、他大学生などと共通意識で活動に取り組む学社融合システムであると考えた。この実践試行は、土井進教授が信州大学に就任する以前から抱き続けてきたものであろう。真の教師は、本物の自然・人間・文化環境との出会いとかかわりから学ぶ「本物の教師」「実践力をもった教師」でなければならない。これは、土井教授の土着思想であり実践的指導力を形成する「臨床の知」の論理である。

2. 地域に根ざし、地域に学ぶ 「YOU 遊未来」の実践プログラムは、活動課題ごとに学生主体に「企画立案」「実践」「活動評価」をする過程である。実践活動は、地域に根ざし、参加した仲間と課題を共有し、土を耕し・自然生態に出会い、自らの力で「価値ある体験」をすることである。実践課題をもった参加者たちは、「農民」「地域の人々」「地域の伝統文化」との出会いから、刺激を受け、体験して感動し、共鳴・共感を深めるのである。これが土着思想である。これらの体験は、教室の中の与えられる授業と異なって、自らの課題を仲間たちと関わり合いながら「感性と知性」を獲得する『創造愛』の形成を可能にしている「臨床の知」である。

3. 人間形成の「生きる場」 「YOU 遊未来」プログラム策定・活動には、最初、不安・戸惑いの中で、仲間から、先生からの励ましと勇気をもって「何を」「どのように」活動していくかを検討して、そして「目指すものは何か」を明確にして実践するのである。つまり、この活動は、「学ぶ事柄」「学び方」「学ぶ目的」を統一的に把握するのである。しかも、「YOU 遊未来」の活動は、農民から、自然から学びながら、

仲間と高め合い、支え合い、分かち合うという組織過程であり、ものを生み出す労作過程でもあるといえる。「YOU 遊未来」での学生の活動は、自らの足で、目で、体全体で、心で、そして、仲間と汗し、努力して確実に、成果を収めているのである。この「YOU 遊未来」を企画・運営し実践活動に参加した学生は、他者とかかわり、個性的・創造的・全体的・体験的活動の素晴らしさを体得したはずである。ここで学んだ学生は、土井教育的人間学としての実践哲学を基礎に置いた教育的活動力を実践の場で、「子どもの感性と知性」を育む方法論を教育現場で活かしていくものと期待しているものである。

(社会科教育学・環境教育：東京学芸大学名誉教授)

「信大 YOU 遊」の特質と教育史的意義

加藤 章

1. 「YOU 遊」20 年の教育史的意義 2013 年の現在、教員養成関係者の間では、1994 (平成6) 年にスタートした「信大 YOU 遊サタデー」のその後に広く関心が集まっている。なぜならば教師の実践的指導力の養成に取り組む各大学はそれぞれ教員養成カリキュラムの充実力を入れる中で、信大方式はいわゆる「臨床経験科目」などの単位制システムとは別に、「やりたい人が、やりたい時に、好きなようにやる」という自由度の高い学生主体の望ましい教育実践活動だからである。出発当初は、果たして何時まで続くのだろうかという期待と不安から関心を寄せていたが、なんと「サタデー」から「広場」「世間」「未来」と出世魚のように名称をかえ内容を豊かなものに高めながらスパイラルな発展を遂げて 20 年目を迎えた。この信州大発の一種の教育運動が契機となって 1997(平成9) 年度から文部省が教員養成学部フレンドシップ事業として政策化し、チャレンジする大学が増えたことはよく知られている。しかし、それが国立大法人化で後退する中で「信大 YOU 遊未来」のみが、よくその初志を生かしながら、充実した活動を展開している。これは戦後教育史の中でも 21 世紀的な教師教育の一つの在り方として、高く評価されるべきであろう。

2. 「YOU 遊」の特質 これまでの教員養成カリキュラムでは、教育実習は 3 年次や 4 年次におかれていた。「信大 YOU 遊未来」を発想した土井進教授は 20 世紀後半、高度経済成長以降の豊かな社会に育った世代の学生たちが、自然体験や社会体験が不足していることを考えれば、とくに教師を目指す学生こそ児童・生徒とそれらの体験を共にすることの重要性に着目した。そこから学生は自らの未熟さに気づき、学問への意欲も生まれるからである。このような具体的体験をカリキュラムに組み込み 1993 (平成5) 年「教育実習事前・事後指導」を、さらに 10 年をかけて総合的な「臨床経験カリキュラム」を開発した。注目すべきは実習に臨んだ学生たちの多くがさらなる実践経験継続への意欲を示し、それに応えるべく積極的に構想されたプランが「信大 YOU 遊サタデー」であったことである。この動機付けが重要であり、活動する学生たちの報告を見ても、絶えず初発の動機を振り返り、実践活動の主体は学生にあり、自由な発想が認められていることに、成功や失敗を超えた彼らのプライドの存在を認めることができる。それは子どもの主体性を認め育むことに直結しているのである。それを支えてくれた各地域の社会人リーダーからの貴重なアドバイスと協力も大きかった。これまでの集大成である第 19 集を見ても、フェスティバルを含め 12 のプラザが活動しその多様な実態は学生たちのレポートや感想に生々しく記されている。各プラザの運営は運営委員長のいう「子ども主体」「人とのつながり」(仲間・先生・子ども・地域の人々)の大切さを重視し、各種の企画は子どもに向かってアイデアを出し合い、積極的に挑戦し「子ども主体」「人とのつながり」という狙いの達成感を勝ち取っているところは見事である。

3. 終わりに 氏は平成 26 年 3 月で定年を迎えるという。定年にあたって、是非ともこれまで全力をあげて作り上げてきた教師教育の優れたノウハウや、あるべき教師像、さらに自らの信念の拠り所を示すことによって、次の世代への「信大 YOU 遊未来」の継承がよりよく実現されることを願うものである。

(日本近世史・社会科教育学：盛岡大学顧問・上越教育大学名誉教授)

<まなびほぐし>の体験

佐伯 胖

「信大 YOU 遊」20 周年、おめでとうございます。20 周年といいますが、第 1 期で触れ合った子どもたちは成人を乗り越えて立派な「おとな」になっているはずですね。少しでも記憶に残っている人がいた

ら大成功と言えるのではないのでしょうか。長い受験勉強を終えて大学生になった学生たちにとって、教室での学習を離れて地域に出て行き、子どもたちとさまざまな活動をともにするのは、学生たち自身の「学び」を原点から問い直すよい機会になると思います。まさに、「アンラーニング (unlearning)」であり、わたしは「まなびほぐし」と名付けています。それは、これまでの学習が「教える－教えられる」という関係の中でのこととしてきたことから脱皮し、さまざまな人、人たち、モノ、と直接関わる中で自然に「学んでいる」状態に身を置くことです。そこから、人はひとりではないこと、人とかかわり、人とともに生きる存在であることを自分自身の原点に据えることとなります。是非それを生涯の糧としてください。

(Ph. D.・認知心理学：信濃教育会教育研究所長・東京大学名誉教授)

教師教育改革は教育改革の中心

佐藤 学

この度は、『信大 YOU 遊』18年の教師教育学研究』『信大 YOU 遊未来』の教師教育学研究』第19集をお送り頂き、ありがとうございます。教師教育改革は教育改革の中心と考えています。私も連帯して励みたいと思っております。

(教育学博士・教育学：学習院大学教授、東京大学名誉教授)

シラーの思想とも通底する教師教育実践

遠藤 孝夫

まだどこでも行われていなかったフレンドシップ事業を立ち上げ、文部科学省に働きかけ、全国的な一大事業へと発展させるという、土井先生が切り開かれた新たな教師教育の実践には、ただただ敬服するばかりです。何か新しいことを創出することには大きな情熱と努力が必要ですし、ましてや社会の中で最も保守的な組織である大学という場において、フレンドシップ事業を立ち上げ、発展させて来られた土井先生のご苦勞は並大抵ではなかったものと拝察いたします。ルドルフ・シュタイナーは、ゲーテの認識論・芸術論から多大な影響を受けましたが、同時にゲーテと一緒に活動していたシラーの芸術論・教育論からも多くのことを学び取っていました。そのシラーの著作『人間の美的教育について』(1795年)の一節に、「人間は文字通り人間であるときにのみ、遊ぶのであり、遊ぶときにのみ、完全な人間なのです」という文章があります。その意味で、土井先生が創出された『信大 YOU 遊』は、人間の理想的姿を「遊び」の状態と捉えたシラーの思想と通底するものであると同時に、シュタイナー教育の理念とも相通じるものがあると思われま。

(教育学博士・教育史：岩手大学教授)

信州教育の伝統を継ぐもの

泉野 佐一

信州大学教育学部に赴任されたのが平成4年とのこと、以来ずっとこの大学で教師教育にたずさわってこられたとのことはお伺いいたしているところであります。今回、ご報告書『信大 YOU 遊未来』の教師教育学研究』第19集より「信大 YOU 遊」の推進指導者としてご奔走、その期間もはや20年目を迎えられたとのこと、それこそ寝食を忘れてのご尽力をされてこられたことと存じます。この教育では、学生の自主的、主体的活動を最も重視し、学生が大学の教室を出て、子どもたちの成長を学ぶ、あるいは、親、地域、行政等と一緒に子どもたちと活動し、教師となるための資質を養うということでありま。教師教育にあたって親や地域等との連携の事例はしばしば聞きますが、「信大 YOU 遊」ほどの規模のものは見当たらないように思うのです。そして、今やその成果があちこちで上がっているとの報告、まこと、土井教授のご実践活動には驚くとともに感銘に絶えません。教員養成の学部で30年近く勤めさせていただいた身としまして、私は土井教授のこれまでのご活躍はまこと凡人の容易にできることではないと存じおるところであります。信州教育の伝統については多少知る機会もありました。土井教授のご実践ご活躍はこの伝統を継ぐものとして、貴重な足跡となって残ると思うものであります。

わが近隣よりかかる素晴らしい教育実践指導者の輩出したことを心より慶ぶものであります。どうか今後もお元気にご活躍されますよう、また、ご家族皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げるものであります。

(数学教育学：富山大学名誉教授)

教師の実践的指導力の基礎を培うために、大学は学生にどのような学びを保障すべきか。この課題について各大学は、さまざまな創意工夫を試みている。信州大学教育学部の「信大 YOU 遊未来」事業もそのひとつである。その第一の特徴は、人間の教育に携わる教師にとって不可欠な「実践的指導力の基礎」の形成には、何よりも学生の「人間力」の育成・強化が必要であるとの明確な理念に立脚している点である。その際に重視するのは、学生の自主的・主体的精神の尊重である。「やりたい人が、やりたいことを、やりたいようにやる」という「YOU 遊」の精神に、それが端的に示されている。しかもこの実践は時代の要請に応じて、従来の教師教育にまつわる固定的なカリキュラムの枠を押し広げる試みでもある。この信大の実践は、これまで20年の長期間にわたって実施されている。平成9年度文部省フレンドシップ事業開始以前の「信大 YOU 遊サタデー」（平成6年）を嚆矢とし、その後「広場（プラザ）」そして「世間（ワールド）」「未来（CHANCE）」へと脱皮を重ねて現在に至っている。

この間における実践を通じて、先輩から後輩へと引き継がれる活動の継続性、多様な事業の企画から実施、省察まで一貫している学生集団の主体性が重視されている。子ども・家庭・地域住民との濃密な交流によるさまざまな気づき・発見と理解、多様な人々との連携・協力のなかでの対人関係能力の発達と地域社会への貢献、そして何よりも学生の人間としての成長、具体的には学生自身の自己発見、教職への積極的な展望や自信の獲得が顕著に認められる。

この実践の教師教育における積極的意義について掘り下げて検討してみたい。この際、「教師の資質能力モデル（藤枝：2009）-1・レベル」「教師の資質能力モデル（藤枝：2009）-2・領域」*との関連で吟味するのが有効であろう。このモデルの全体像はⅠ～Ⅶの7つの「レベル」と、A～Mの13の「領域」で構成されている。

従来わが国の教師教育カリキュラムは主として、レベルⅠ、子どもへの関心と愛情、レベルⅡ、子どもの発見・理解とコミュニケーション能力、レベルⅢ、教師としてのプロフェッショナル・アイデンティティ形成能力、レベルⅣ、授業の計画・実施・評価能力の育成などに重点をおくものであった。これに対して、レベルⅤ、有効な協力＝支援システム創出能力（領域：H、リーダーシップ・同僚と協働する能力、I、保護者・地域社会との関係保持能力）、レベルⅥ、変化の時代を生きる能力（領域：J、情報化社会への対応能力・創意工夫能力、K、国際化社会への対応能力・ボランティア精神）、レベルⅦ、ヒューマンイズム・人間的諸価値の理解能力（領域：L、人類愛・倫理観・宗教観の確立、M、他者との共生・自然保護能力）などの分野への取り組みは漸く緒についたばかりである。

このレベルⅤ・Ⅵ・Ⅶは、いわば教師の資質能力モデル全体の根っこの部分であり、信大ではこれらを「人間力」として一掴みに捉え、全体の活性化につなげている。このように教師力（実践的指導力）の基底としての「人間力」に注目して展開されている「信大 YOU 遊未来」事業は、その計画の周到性と緻密性の点でも先駆的モデルとして評価できる。信大教育学部、特に中心的に推進された土井進教授の慧眼と熱情に敬意を表したい。（2013・3・26）

（教育学博士・教育制度学・教師教育学：埼玉大学名誉教授）

* 藤枝静正「教職大学院の積極的意義」（『全国教職大学院年鑑'08-09』2009、pp.36-45 参照）

教員養成制度・実践の改革

高倉 翔

平成9年度から文部省は、体験活動を通じた「実践的指導力」の育成を目的に、「教員養成フレンドシップ事業」を開始した。その3年前に発足した「信大 YOU 遊サタデー」は、国の事業の「先導的試行」ともいえる先駆的なものであった。第1に、このような「先駆性」を大きく評価したい。「信大 YOU 遊サタデー」事業は、以後、「サタデー」から「広場（プラザ）」へ（平成13年）、「世間（ワールド）」へ（平成15年）、さらに「未来（チャンス）」へ（平成24年）と呼称が変更され、その度に事業の充実をみた。また、事業計画・実績などが高く評価され、「教員養成 GP」に採択されるなど、事業は20年間にわたって

展開されており、その成果（参加学生や教育委員会などによる評価の結果）は、教職志望学生に対する「実践的指導力」の育成と大学が提供する教職科目（臨床経験科目、教職実践演習など）の開発に大きく貢献した。勿論、学内でも高い評価がなされ、平成21年には学長より、「信州大学功労賞」を授与された。第2に、このような「実績」を高く評価したい。最後に、この事業が継続され（「継続は力なり」）、その成果が更に積み重ねられ、積極的に建設的な「触発情報の発信」（すでに「YOU遊」の実践報告書19集が発刊）によって、わが国の「教員養成制度・実践の改革」を先導し続けることを強く期待したい。

（教育行政学：筑波大学名誉教授・前日本高等教育評価機構副理事長・前明海大学学長）

これからの教員に不可欠な「社会力」を育てる「YOU遊」実践活動

門脇厚司

平成6年6月6日に産声をあげたとのことですが、信州大学で、土井進先生の発案と指導で「信大YOU遊サタデー」が開始されて20年になるとのこと、誠に喜ばしいことです。このような試みと実践が、信州大学教育学部の教員養成教育に新しい考え方とやり方を導入し活性化させることになったのみならず、わが国の教師教育に清新な風を取り込むことになったのは間違いありません。毎週土曜日に、大学のキャンパスに子どもたちを招き入れ、学生たちと協働するという「YOU遊サタデー」としてスタートした試みを、子どもたちにキャンパスに来てもらうというのではなく、学生たちが地域社会に出て子どもたちと活動を共にする「YOU遊プラザ（広場）」へ、さらには、子どもたちだけでなく地域の大人たちとの協働に発展させた「YOU遊ワールド（世間）」、そして「YOU遊チャンス（未来）」へと進化させていった、かたちと内容の変化の在り方もユニークなもので、こうした実践を発案し、苦勞と試行を重ねつつ、多くの若き有為な教師を育て教育界に送り続けてきた土井先生に心からの敬意を表するものです。

このような「YOU遊」実践活動を体験し、長野県内外で教師になっているOB・OGたちはすでに3,000人を超えるといえます。本冊子に収録されている彼ら彼女たちが寄せてくれた経験談を読むと、「YOU遊」実践活動で学び取得したものが、教師としての良き教育実践を行う上で貴重な財産となり養分となることがよくわかります。特に、私には、この活動を通して、これからの教師が人とつながりや支え合いや助け合いの大切さ、すなわち「社会力」を身につけることの重要性を、身を以て知ったということにこの活動の大きな意義を感じます。「YOU遊」実践活動を通して、このように育つ資質能力を私はすでに14、5年前から「社会力」と言ってきましたが、多くの教師が質の高い社会力をわがものとした時、日本の教育は明らかに変わると私は信じています。

（教育社会学：茨城県美浦（みほ）村教育長・筑波大学名誉教授）

学生が自らを問い深め、高める、大変貴重な教育実践の場 曾根原 孝和

平成6年、土井先生が「信大YOU遊サタデー」を始められた年、私は附属松本小学校から穂高中学校に移り2年目でした。先生がいいことを始められたことを知り、その後の展開にご期待いたしておりました。あれから20年が経つのですね。学生の主体的な活動のもと、だんだんと地域や関係団体の方々とも連携した活動が展開され、充実発展して来られたのですね。

今、学校・家庭・地域が連携して子育てをとということが言われ、実践も現れつつあります。しかし、学生が主体となって教育活動を展開されていることは少ないと思います。学生が自らを問い深め、高める、大変貴重な教育実践の場です。しかも、継続され「広場」「世間」「未来」と発展されてきた実践研究の成果であります。ここには、土井先生が時代の動きをみつめられ、教育の先を見通した力が大きかったからだと思います。実践の中から活動を深められ、広められてきたご努力に頭が下がります。先生、今までのご指導ほんとうにご苦勞さまでございました。

このたびは、20周年記念誌『「信大YOU遊」地域・子どもたちと共に歩んだ20年』の発刊おめでとうございます。
（元安曇野市立穂高中学校長・元信州大学教育学部附属松本小学校副校長）

学生が 地域・子どもたちと共に歩んだ 20 年

1. 先輩から後輩へと受け継がれた絆

「YOU 遊」の活動を通して先輩と後輩が強い絆で結ばれ、1年また1年と活動をリニューアルさせて、平成25年度に20周年を迎えることができた。全国に類を見ない信州大学学生の独自の自主的・自発的な地域貢献活動を開拓し、進化・発展させてきた勇者は、次の方々であった。

1. 1 「信大 YOU 遊サタデー・広場・世間・未来」20年をつむいだりーダーたち

期	年(西暦)	正副を務めたりーダー：実行委員長・運営委員長・キャプテン・プラザ長・講座長
1 期	平成6年 (1994) サタデー ①	山口直行(数4)・林 向達(数4)・横川瑞恵(家4)・渡辺一博(英4)・喜多篤史(社4)・中村典子(美4)・宮尾由美(音4)・筒井和之(美4)・澤田良子(美4)・岡野 啓(国4)・大谷美穂(理3)・原 伸生(特3)・小坂 和(社3)・奥原克水(国3)・片桐宏(技3)・角田正和(社3)・山崎重幸(美3)・田中 忍(理3)・吉田巨志(特3)・北村 史(社3)・佐藤恵理(家3)・井上清美(家3)・佐々木美紀子(国3)・花岡正次(国3)・竹川紀幸(美3)・松橋博行(国3)・林 哲也(理3)・坂本真哉(理3)・高橋貴子(理2)・福士 慈(心2)・小倉 敬(院1)・宮澤弘至(院1)
2 期	平成7年 (1995) サタデー ②	渡辺一博(英4)・片桐 宏(技4)・新井清規(理4)・田中清一(社4)・角田正和(社4)・橋詰並子(英4)・丹羽則之(技4)・河南さおり(家4)・北村 史(社4)・池田安美(家4)・佐野徳子(幼4)・小谷将紀(社4)・野本 毅(英4)・坂井雅子(幼4)・雨宮なるみ(幼4)・佐藤啓(音4)・中村薫(音4)・下沢栄子(家4)・井上清美(家4)・小野雅子(家4)・小林大士(技4)・松永泰幸(数4)・小坂 和(社4)・浦山洋美(体4)・金森晴彦(体4)・佐藤恵理(家4)・井上清美(家4)・荻原まゆ美(音4)・坂本真哉(理4)・吉澤正彦(社4)・奥原克水(国4)・山崎重幸(美4)・小林真樹(社4)・小林理英(家3)・斉藤かおる(家3)・塩刈有紀(国3)・今井健文(理3)・千葉綾子(理2)・林 康成(理3)・柳沢久美(音3)・荻原まゆみ(音3)・泉 貴子(音3)・加納文香(家3)・市村忠寛(英3)・安喰和之(理2)・美斉津礼奈(数2)・宮沢 元(理2)・阿部利恵(教1)・坂野和久(院1)・石井寛子(院1)・田中栄司(院1)・小倉 敬(院2)・林 向達(名大・院1)・池田貴信(院1)・宮澤弘至(院2)・山名博夫(院2)
3 期	平成8 (1996) サタデー ③	加納文香(家4)・丸山和利(理4)・小林理英(家4)・知野真里子(家4)・柳沢勇志(数4)・小林理恵(理4)・榎山いづみ(理4)・長島多賀子(幼4)・野本 聡(理4)・高橋貴子(理4)・今井健文(理4)・吉越優子(幼4)・渡辺一博(英4)・山谷早苗(幼4)・黒沢祐子(幼4)・中島真由美(幼4)・塩刈有紀(国4)・斉藤かおる(家4)・芦田 恵(数4)・清水あかね(数4)・臣川元寛(障4)・丹羽則之(技4)・相沢大司郎(数4)・安喰和之(理3)・北島茂樹(数3)・宮沢 元(理3)・長谷川直紀(理3)・桃澤 啓(理3)・千葉綾子(理3)・小木曾雄亮(数3)・美斉津礼奈(数3)・佐々木美恵(家3)・土屋淳子(家3)・中村典史(社3)・長谷川直紀(理3)・桃澤 啓(理3)・竹下雅道(数3)・小池祐介(実3)・清水由美(国3)・池上永利子(国3)・秋山 薫(心3)・竹田みどり(心3)・宮本愛(音3)・桐山 潤(国3)・登坂武人(社2)・小宮山博(社2)・中村 愛(障2)・尾島久美(障2)・中村 愛(障2)・奥井一良(理1)・田淵久晃(理1)・松下貴晴(教1)・片桐宏(院1)・坂本真哉(院1)・木戸口あい(院2)・林 向達(名大・院1)・小海 到(医学・6)・坂野和久(院2)・石井寛子(院2)・田中栄司(院2)
4 期	平成9 (1997) サタデー ④	中村典史(社4)・千葉綾子(理4)・長田ひろみ(家4)・佐々木美恵(家4)・小池祐介(実4)・竹下雅道(数4)・中條 悟(理4)・宮沢 元(理4)・酒井由佳里(家4)・成田英直(理4)・浅沼康理(数4)・土屋淳子(家4)・北島茂樹(数4)・矢澤由紀子(英4)・桐山潤(国4)・松元 徹(体4)・柏木 亘(理4)・佐野美佳(体4)・山本隆行(数4)・芦田英央(社4)・土屋ひとみ(実4)・小木曾雄亮(数3)・登坂武人(社3)・眞島紀章(数3)・清水麻紀子(家3)・井口佳美(家3)・森下房枝(家3)・小倉佐知子(家3)・平林 徹(数3)・油井幸樹(数3)・澤田奈奈(理3)・吉澤麻衣子(国3)・市川大輔(数3)・村田 恵(国3)・阿部利恵(実3)・斉藤聖子(家3)・増田紀子(家3)・唐木紫織(家3)・金井弘子(理3)・山田尚美(家3)・宮下 聡(院2)・片桐 宏(院2)
5 期	平成10 (1998) サタデー ⑤	登坂武人(社4)・清水麻紀子(家4)・眞島紀章(数4)・斉藤聖子(家4)・平林 徹(数4)・増田紀子(家4)・山田尚美(家4)・井口佳美(家4)・谷口美佳(家4)・高戸美佳子(家4)・大島智子(音4)・早川千絵美(心4)・武田昌之(心4)・油井幸樹(数4)・吉澤麻衣子(国4)・白井 敬(国3)・池田裕美(家3)・押澤由記(家3)・長田雅子(実3)・武末裕子(美3)・井戸陽子(家3)・中澤博子(国3)・尾沼直也(幼3)・佐藤宏樹(社3)・田中 崇(社3)・増野 隆(社3)・杉山雅幸(野活2)・井上真裕子(理2)・加藤豊司(理2)・田代奈実(音2)・那須良寛(実2)・山田理恵(実2)・中村祐介(理2)
6 期	平成11 (1999) サタデー ⑥	白井 敬(国4)・池田裕美(家4)・井戸陽子(家4)・押澤由記(家4)・増野 隆(社4)・田中 崇(社4)・佐藤宏樹(社4)・長田雅子(実4)・島崎真由美(英4)・末久友貴(国4)・武井恵美(家4)・本山貴雅(社4)・町田豊文(技4)・佐野友和(技4)・増沢るみ(国4)・佐藤正志(技4)・河西祐司(技4)・伊藤 慶(社4)・山王隆晃(工学4)・那須良寛(実3)・井上真裕子(理3)・武末裕子(美3)・山田理恵(実3)・加藤豊司(理3)・杉山雅幸(野活3)・中村祐介(理3)・高橋 歩(技3)・両角孝之(数2)・林 一真(家2)・中澤典子(国2)・桑山知美(家2)・小池悠介(国2)・笹崎典子(数2)・中谷弥哲(数2)・千野加世子(家2)・池田朋美(家2)・高井 久(院1)・森下房江(院1)
7 期	平成12 (2000) サタデー ⑦	中村祐介(理4)・加藤豊司(理4)・杉山雅幸(野活4)・伊藤 慶(社4)・高橋歩(技4)・那須良寛(実4)・山田理恵(実4)・榊原研大(理4)・井上真裕子(理4)・西山 裕(国4)・渡辺勝由(技4)・野田耕次郎(技4)・安達仁美(実3)・林 一真(家3)・笹崎典子(数3)・中澤典子(国3)・両角孝之(数3)・大場浩幸(数3)・中谷弥哲(数3)・浅野 剛(理3)・中村和孝(理3)・塚田武好(生ス3)・相磯素子(幼3)・三輪亜弥子(幼3)・小池悠介(国3)・千野加世子(家3)・梅田亜紀子(社2)・西澤俊輔(理2)・鹿子木愛(実2)・清水美香(実2)・林美智子(実2)・町田竜太(社

		2)・海沼正典(内留)・比嘉頼子(障2)・富山裕子(障2)・山盛賢治(国2)・佐藤正志(院1)・森下房枝(院2)
8 期	平成13 (2001) 広場 (プラザ) ①	町田竜太(社3)・富山裕子(障3)・白井克典(社3)・林美智子(実3)・鹿子木愛(実3)・小林則雄(地ス3)・西澤俊輔(理3)・清水美香(実3)・小黒あかり(実3)・小島真知子(地ス3)・梅田亜紀子(社3)・林一真(家4)・両角孝之(数4)・杉山雅幸(野4)・相磯素子(幼4)・岡部桂子(実3)・片瀬亜希子(地ス3)・土田みどり(社3)・角直子(実3)・井上将彦(生3)・西絢平(実2)・原山美樹(生2)・花村尚美(理2)・志村昌之(内留)・那須良寛(院1)・大澤安貴子(院1)・塩原孝茂(院1)
9 期	平成14 (2002) 広場 (プラザ) ②	山本公三(実3)・原山美樹(生3)・増田美和(障3)・那須紋子(生3)・蓼沼夏子(生3)・藤本晃子(地ス3)・花村尚美(理3)・藤岡恵美(生3)・西村崇(実3)・高橋和之(理3)・小島澄(障3)・西絢平(実3)・山口真史(実3)・小川敦嗣(数3)・田中慶子(生3)・岩脇悟子(理3)・幸阪創平(実3)・蓼沼夏子(生3)・森田美保(保3)・石井里佳(実3)・荻原瑞恵(美3)・萩原美樹(言2)・前崎伸周(実2)・池田明子(社2)・丸山大輔(社2)・五味洵嘉(社2)・田中裕次郎(言2)・石関千絵(社2)・藤田優子(生2)・夏井一智(野2)・吉田理史(野2)・町田竜太(社4)・西澤俊輔(理4)・清水美香(実4)・岡部桂子(実4)・小林則雄(地4)・鹿子木愛(実4)・小黒あかり(実4)・那須良寛(院2)・中野考之(下諏訪中学校)
10 期	平成15 (2003) 世間 (ワールド) ①	丸山大輔(社3)・藤田優子(生3)・前崎伸周(実3)・萩原美樹(言3)・原かつ江(実3)・五味洵嘉(社3)・北川伸尚(障3)・宇良知子(生3)・熊田賢人(障3)・武井恒(障3)・石関千絵(社3)・沖田幸子(生3)・松土智美(実3)・笠原千絵(実3)・中河亜美(生3)・鷺津智子(心3)・長野幸恵(生3)・丸山枝里子(実3)・岩羽純一(障2)・石澤昌史(生2)・松本好平(社2)・黒崎藍子(実2)・手島由加(実2)・村上真美(実2)・渡邊彩(実2)・藤波千晃(実2)・吉村真司(実2)・神林彩井(生2)・小林崇(実2)・寺島純一(実2)・中河亜美(生2)・仲埜皓介(社2)・原絵里(実2)・林真由美(実2)・松山博一(実2)・前崎全洋(理1)・土肥直也(保1)・南波朋美(心4)・中村日砂(芸4)・齊藤崇(理4)・野口陽子(理4)・岡田洋平(理4)・中山綾香(言4)・白木新(社4)・関谷北斗(保4)・篠原真美(実4)・増田美和(障4)・秦千暁(生4)・幸阪創平(実4)・小川敦嗣(数4)・花村尚美(理4)・山本公三(実4)・藤岡恵美(生4)・山本真望(実4)・那須紋子(生4)・小島澄(障4)・前平かな(院2)
11 期	平成16 (2004) 世間 (ワールド) ②	神林彩井(生3)・渡邊彩(実3)・原絵里(実3)・鍵谷美希(言3)・森脇奈美(生3)・松山博一(実3)・矢野智(社3)・岩羽純一(障3)・遠藤宇寛(障3)・石澤昌史(生3)・仲埜皓介(社3)・林真由美(実3)・黒崎藍子(実3)・矢野智(社3)・梅牧歩美(言3)・嵯峨みず穂(言3)・藤澤麻里子(生3)・中河亜美(生3)・奥泉祥子(実3)・竹内史(生3)・富岡領子(生3)・丹羽翼子(生3)・森脇奈美(生3)・村上真美(実3)・別府紀佳(社3)・松澤米美(生3)・吉澤あすか(言3)・柳原桃子(実2)・原千恵(理2)・菊池翠(言2)・林徹(理2)・鈴木春菜(実2)・羽入田拓磨(理2)・三澤由季子(言2)・鳥居純司(理2)・久保田聡美(言2)・安田真弥(言2)・田中真理子(理2)・中島有美(理2)・埋橋由佳(実2)・野辺紀久子(実2)・田畑玲子(心2)・山口陽子(実2)・江崎美保(実2)・川端智子(実2)・長野彩子(実2)・菊池翠(言2)・小林由紀(実2)・末松辰規(理2)・大塚一哉(理2)・矢竹喜美子(理2)・松井泉樹(生2)・柳原桃子(実2)・前枝真嘉(野2)・前崎全洋(理2)・南部利彦(心2)・早津秀(実2)・塚本麻衣子(実2)・唐木佑輔(実1)・平林照世(言1)・石関千絵(社4)・長野幸恵(生4)・藤田優子(生4)・丸山大輔(社4)・宇良知子(生4)・熊田賢人(障4)・白井克典(院2)
12 期	平成17 (2005) 世間 (ワールド) ③	前崎全洋(理3)・松井泉樹(生3)・川端智子(実3)・矢竹喜美子(理3)・長野彩子(実3)・小林由紀(実3)・三澤由季子(言3)・久保田聡美(言3)・鈴木春菜(実3)・大塚一哉(理3)・南部利彦(心3)・末松辰規(理3)・田畑玲子(心3)・柳原桃子(実3)・西井珠恵(社3)・関根依子(生3)・江崎美保(実3)・塚本麻衣子(実3)・早津秀(実3)・野辺紀久子(実3)・土肥直也(保3)・坪内章江(生3)・氏原裕貴(障3)・山北真(理3)・丸山晃男(実2)・川辺裕作(実2)・唐木佑輔(実2)・稲玉恵美(言2)・平林照世(言2)・永塚達也(障2)・細川李花(言2)・中村千絵美(実2)・丸山由起子(言2)・松橋彰行(実2)・堀端優也(実2)・田部井寛乃(実2)・刈谷光穂子(実2)・清水亜美(実2)・花形美恵子(実2)・丸山晃男(実2)・永塚達也(障2)・高坂優希(実2)・名無恵美子(実2)・小林千春(地2)・林真由美(実4)・松山博一(実4)・比留間淳也(工学4)
13 期	平成18 (2006) 世間 (ワールド) ④	松橋彰行(実3)・永塚達也(障3)・稲玉恵美(言3)・丸山晃男(実3)・浅井美由紀(実3)・清水亜美(実3)・平林照世(言3)・川辺裕作(実3)・細川李花(言3)・唐木佑輔(実3)・仲吉咲香(心3)・本山裕子(社3)・堀端優也(実3)・名無恵美子(実3)・花形美奈子(実3)・山田桃子(実3)・小平奈央(障3)・黒澤加衣(実3)・稲玉恵美(言3)・丸山悟(地3)・根岸純平(地3)・越坂隆司(地3)・堂前直人(障2)・池田桃子(障2)・落合静香(社2)・常盤千明(実2)・洞出直美(実2)・上原珠美(障2)・上田雄介(理2)・加藤博美(実2)・布山奈津美(言2)・藤岡泰裕(実2)・田村将太(実2)・笠原結(障2)・小池真弓(生2)・野口洋憲(社2)・青木智博(実2)・土田恵久(社2)・田村弘樹(言2)・清水麻紀(音2)・五味沙織(実2)・山上夏美(障2)・末松辰規(理4)・鈴木春菜(実4)
14 期	平成19 (2007) 世間 (ワールド) ⑤	春原圭佑(実3)・須貝和之(社3)・石井絵理子(社3)・常盤千明(実3)・洞出直美(実3)・上田雄介(理3)・石山裕貴(理3)・江花悠(実3)・五味紗織(実3)・落合静香(社3)・滝沢典子(障3)・田村将太(実3)・野口洋憲(社3)・布山奈津美(言3)・比留間淳也(理3)・齋藤有希(言3)・田村弘樹(言3)・青木みなみ(障3)・上田綾乃(実3)・堂前直人(障3)・藤岡泰裕(実3)・細田有希(生3)・鈴木亮子(生3)・山崎友美(生3)・大家恵梨子(社3)・加藤博美(実3)・青木智博(実3)・土田恵久(社3)・旗持貴優(理3)・平野結(障3)・小池真弓(生3)・大高真理(実3)・納愛果(社3)・江花悠(実3)・河名智子(社3)・押江愛実(社3)・伊藤香澄(実2)・笠井悠太(理2)・宮澤広樹(実2)・一條まな(言2)・宮川はるな(2)・高池亮輔(保2)・中川茜(生2)・原耕平(理2)・寺島薫(玉川大1)・永塚達也(障4)・清水亜美(実4)
15 期	平成20 (2008) 世間 (ワールド) ⑥	原耕平(理3)・宮川はるな(言3)・中川茜(生3)・原卓也(理3)・小林良太郎(理3)・吉田ちひろ(生3)・中村光希(理3)・笠井悠太(理3)・高池亮輔(保3)・西澤遥(実3)・梅澤美夏(言3)・一條まな(言3)・菊地ゆかり(言3)・宮川志織(言3)・宮下奈保子(生3)・小西舞(実3)・伊藤香澄(実3)・吉池潤奈(実3)・市原哲也(社3)・坂本英幸(理3)・飯島理沙(理2)・早川和宏(理2)・西澤直城(数2)・鈴木祐香(数2)・渋谷美奈子(実2)・石原加奈子(実2)・戸谷望美(言2)・田中陽菜(言2)・藤田裕介(社2)・山崎慶太(理2)・土屋知毅(心2)・佐藤悠司(心2)・志甫知紀(生2)・山崎慶太(理2)・宮尾亘(実2)・戸谷望(言2)・加藤博美(実4)・青木智博(実4)・鈴木亮子(生4)・細田有希(生4)・土肥直也(保4)・野口洋憲(社4)・飯村昌史(院1)

16 期	平成 21 (2009) 年間 (ワールド) ⑦	東野千尋 (音 3) ・市川香織 (実 3) ・早川和宏 (理 3) ・宮尾亘 (実 3) ・飯島理沙 (理 3) ・鈴木祐香 (数 3) ・藤田裕介 (社 3) ・肥野沙也加 (野外 3) ・鈴木梢 (理 3) ・岩本美美 (障 3) ・西澤直城 (数 3) ・布山朋和 (実 3) ・田端隆太郎 (実 3) ・渋谷美奈子 (実 3) ・中村恵理 (音 3) ・坂本英幸 (理 3) ・矢土裕和 (地 3) ・阿部由季 (美 3) ・太田香子 (社 2) ・小賀坂佳子 (理 2) ・藤浦修司 (社 2) ・松井通 (理 2) ・三石梨沙 (理 2) ・宇賀地由里 (理 2) ・小西陽一 (生 2) ・米山幸恵 (言 2) ・服部直幸 (理 2) ・福田朱里 (障 2) ・国澤結子 (生 2) ・片原範子 (数 2) ・坂本明日香 (言 2) ・笠井悠太 (理 4) ・中川茜 (生 4) ・高池亮輔 (体 4) ・半田裕 (工学 4) ・宮川はるな (言 4) ・飯村昌史 (院 2) ＜信州大学功労賞受賞＞
17 期	平成 22 (2010) 年間 (ワールド) ⑧	片原範子 (数 3) ・高見澤誠 (理 3) ・三石梨沙 (理 3) ・藤浦修司 (社 3) ・土屋克明 (理 3) ・松井通 (数 3) ・腰原綾佳 (理 3) ・入澤清里 (実 3) ・小賀坂佳子 (理 3) ・荻原知子 (実 3) ・駒村美代 (実 3) ・服部直幸 (理 3) ・山越俊 (社 3) ・藤浦修司 (社 3) ・峯村和裕 (理 3) ・武藤成美 (生 3) ・金井和也 (心 3) ・平澤里恵 (生 3) ・佐久理絵 (数 3) ・松田祐輝 (社 2) ・町田香帆 (実 2) ・佐藤美沙希 (実 2) ・内川舜也 (実 2) ・木内浩司 (数 2) ・原科勇希 (理 2) ・勝海公平 (社 2) ・岩本美美 (障 4) ・鈴木梢 (理 4) ・飯島理沙 (理 4) ・市川香織 (実 4) ・肥野沙也加 (野外 4) ・宮尾亘 (実 4) ＜虹の懸け橋賞 (長野 JA 中央会) 受賞＞
18 期	平成 23 (2011) 年間 (ワールド) ⑨	服部直幸 (理 4) ・土屋克明 (理 4) ・赤羽成美 (生 3) ・高坂泉 (生 3) ・井出愛香 (実 3) ・菊池智香 (理 3) ・潤口歩美 (数 3) ・鈴木喜多朗 (理 3) ・佐原啓太 (社 3) ・内川舜也 (実 3) ・町田香帆 (実 3) ・佐塚大悟 (生 3) ・藤橋美月 (生 3) ・松田祐輝 (社 3) ・勝海公平 (社 3) ・北沢瑞樹 (理 3) ・小林美緒 (言 3) ・関谷将司 (社 3) ・松崎麻奈美 (社 3) ・中沢洋平 (社 3) ・土井翔太 (数 3) ・池尻亮介 (心 3) ・山崎花奈子 (言 2) ・藤本千穂 (心 2) ・加々美理沙 (言 2) ・田口詩織 (言 2) ・秋元雄喜 (心 2) ・岩瀬由依 (言 2) ・月岡優介 (社 2) ・渡邊玲菜 (音 2) ・羽田鋭 (実 2) ・梅津翔子 (理 2) ・飯島莉菜 (言 2) ・織田裕二 (生 2) ・北見聖 (言 2) ・三石梨沙 (理 4) ・土屋克明 (理 4) ・入澤清里 (実 4) ・太田香子 (社 4) ・片原範子 (数 4) ・大井このみ (理 4) ・福田朱里 (特 4) ・高見澤誠 (理 4) ・峯村和裕 (理 4) ・山本敦司 (地 4) ・齋藤晃 (地 4)
19 期	平成 24 (2012) 未来 (CHANCE) ①	北沢瑞樹 (数 4) ・内川舜也 (実 4) ・岩瀬由依 (言 3) ・八木英理子 (言 3) ・榊原典子 (家 3) ・織田裕二 (生 3) ・井口哲 (実 3) ・山田高弘 (実 3) ・田口詩織 (言 3) ・名取亮介 (実 3) ・手塚亮介 (理 3) ・井上甲斐 (美 3) ・遠山芽衣 (生 3) ・小松一成 (理 3) ・林志桜里 (生 3) ・羽田鋭 (実 3) ・飯島莉菜 (言 3) ・成瀬貴心 (体 3) ・渡邊玲菜 (音 3) ・山崎花奈子 (言 3) ・坂田好恵 (野 3) ・秋元雄喜 (心 3) ・月岡優介 (社 3) ・宮田巴都樹 (特支 3) ・松島宏俊 (実 3) ・加々美理沙 (言 3) ・小塚尚士 (野 2) ・三井夕衣 (言 2) ・池田隼人 (保 2) ・飯島香純 (実 2) ・寺澤真子 (実 2) ・青木紅瑠美 (言 2) ・花岡慶祐 (理 2) ・太田咲 (言 2) ・中野直輝 (社 2) ・橋渡憲明 (生 2) ・中村彩那 (芸 2) ・長田有里子 (慶 2) ・井出愛香 (実 4) ・町田香帆 (実 4) ・榑崎亮人 (数 4) ・田中沙結美 (言 4) ・丹羽由佳 (実 4) ・高坂泉 (生 4) ・赤羽成美 (生 4) ・松田祐輝 (社 4) ・鈴木喜多朗 (理 4) ・木内浩司 (数 4) ・佐塚大悟 (生 4) ・村松春美 (生 4) ・小林美緒 (言 4) ・橋爪志織 (言 4) ・岩井孝憲 (数 4) ・知野真里子 (院 1) ・市川香織 (千曲市立東小) ・宮尾亘 (千曲市立八幡小) ・三石梨沙 (中野小) ・服部直幸 (森上小) ・三石真由 (櫻ヶ岡中 3)
20 期	平成 25 (2013) 未来 (CHANCE) ②	木田達也 (社 3) ・畠山智晴 (社 3) ・上野なつみ (生 3) ・横田克己 (社 3) ・池田隼人 (体 3) ・小塚尚士 (野 3) ・永原正裕 (特支 3) ・那須絢太郎 (数 3) ・飯島香純 (実 3) ・花岡慶祐 (理 3) ・高木淳子 (言 3) ・土屋孝将 (数 3) ・室橋美咲 (言 3) ・北村単一 (数 3) ・北野雄大 (社 3) ・新井雅菜 (生 3) ・酒井友輔 (理 3) ・太田咲 (言 3) ・坂田好恵 (野 4) ・栗林詩菜 (芸 4) ・宮田巴都樹 (特 4) ・織田裕二 (生 4) ・五味大紀 (数 4) ・成瀬貴心 (体 4) ・柳木亮太 (数 4) ・齋藤智也 (理 4) ・手塚亮介 (理 4)

1. 2 学生が掲げた「目標」の変遷

「YOU 遊」の活動においては、先輩から後輩へと人と人は繋がっているが、活動は繋がっていない。1 年ごとに活動は完結し、次の年度の事は新しい人たちが独自に考えるという方式できている。ここにマンネリ化を脱して常に新たな挑戦を続ける「YOU 遊」の新鮮さがある。第 1 期～第 20 期において学生は、次のような目標を掲げて、地域貢献活動に挑戦し自己の成長と変革を成し遂げてきた。

期	活動の目標
1 期	① 信州大学教育学部の学生がもっている教育力を地域社会に開き、貢献することによって本学部と地域社会とのつながりを深める。 ② 本学部には全校種、全教科に対応できる学生が学んでいる。その力量、持ち味を発揮し、子どもたちを大学に迎えて公開授業を行なうことによって、教育実践力の向上を図る。 ③ 学生時代でなければできないようなユニークなアイデアによる「学び」や「遊び」の体験的学習の場を設定し、これからの学校週五日制時代の教育について考える。
2 期	① 第一の基本理念は、「楽しく」ということです。何よりも大切なことは参加してくれた人々が「また来たい！」と思うくらい楽しく、心に何かを得て帰れるようにすることです。 ② 第二の基本理念は、「学生も学ぶ」ことです。子どもたちと会えるこの貴重な機会を有効に生かしていこうということです。
3 期	① 自分の得意とする分野で、学生時代でなければできないようなユニークなアイデアによる遊びや学びの体験講座を開設することによって、学生生活の活性化を図る。(学生生活の充実) ② 教育学部教育や学生の持っているすぐれた教育力を地域社会に開き、貢献することによって教育学部と地域社会のつながりを深める。(大学開放) ③ 学校週五日制に対する地域社会や家庭の取り組みがまだ試行錯誤の状況にある現在、教育学部が率先して地域社会に貢献する。(学校週五日制) ④ 教育学部には幼・小・中・高・特殊の各学校の幼児・児童・生徒に対応できる学生が学んでいる。この学生たちが自己の持ち味を発揮して子どもたちとかかわることによって、教師となるための実践的指導力の基礎を身につける。(実践的指導力)

4期	<p>① 活動は長期的な展望のもとに継続されなければ本来の主旨まで到達できない。YOU 遊サタデーもまたマンネリの弊害を免れないが、その域に達して初めて私たちが追求する課題が見出されるのではないかと思われる。</p> <p>② 場を活性化させる視点を育てるかどうかが、子どもたちや地域社会の人々と学生との触れ合いの場を設けるということが、単に一緒に同じ時間を同じ場所で過ごすことによるみ達成されるものではない。場全体を見通した上で、自分なりの関わりを展開していきたい。</p> <p>③ 各人の「人間力」を軸に据えることが大切ではないか。活動を一般化して客観的に記述する試みは大切であるが、その一方で拭いきれない個性も大切にしたい。活動の成功が方法論のみで達成されるのではなく、そこに参加した人間の力によって豊かなものとなるようにデザインしていきたい。</p>
5期	<p>① 組織が形骸化したまま継続・拡大していくのか、意識の浸透をはかり、自らに問い続けながら継続していくのか、今期はそのターニングポイントであったように思える。高い志を持ち5年前にYOU 遊サタデーを立ち上げた人間が大学に存在しない今、常に自問しなければその意志を引き継ぐことができず、YOU 遊サタデーは形骸化してしまうだろう。その危機感を、今後常に持たなくてはならない。</p> <p>② 各自が自問自答を繰り返しながら、一人ひとりが成長していくことこそ、YOU 遊サタデーの発展・成長であり、YOU 遊サタデー存続の意義ではないか。</p>
6期	<p>よく人から「YOU サタに参加してなんかいいことあるの?」と尋ねられる。「勉強になるし、子どもと触れ合えるし、友だちも増えるし、いいこといっぱいだよ」と答えるのだが、具体的に何の意味があるのかうまく答えられなかった。</p> <p>YOU サタは自分たちがただ楽しく子どもと触れ合えればよいというのではなく、「〇〇ということを感じてもらいたい」「〇〇という問題意識をもってもらいたい」というように、明確な「講座のねらい」が必要なのである。YOU サタでは「教えているつもりが逆に参加者に教えられている」ということはよくあることだ。YOU サタは、学生と参加者が共に行動し、共に学び、共に成長する場である。</p>
7期	<p>「心とともに」 子どもたちと心とともに、学生同士が知恵を出し合いながら心とともに。</p> <p>① キャプテン(講座長)としての目標を明確にしてほしい。</p> <p>② キャプテンを務める上で必要とされる責任感や自覚を高めてほしい。</p> <p>③ 教材研究などの見直しを持ってほしい。</p> <p>④ キャプテンを務める学生の不安を和らげたい。</p>
8期	<p>テーマ: 「土づくり」「人づくり」 スローガン: 明るく・楽しく・仲良く</p> <p>① 「自然」との共生による人間力の向上 ② 「地域社会」との共生による社会力の向上</p> <p>③ 学問と自発的な体験の統合による実践的指導力の向上</p> <p>○ サタデーからプラザへ。報道関係者から「今までのサタデーと比べて具体的にどのように変わったのですか?」と聞かれるたびに、「一番の違いは年間を通して活動することです」と答えた。1年間プラザの活動を企画・運営・実行する中で、意見が合わずに言い合いになったときや、方針が合わずやる気が無くなった、そんな時に常に助けてくれた言葉が「明るく・楽しく・仲良く」です。</p> <p>○ 夜明け前が一番暗い。平成12年12月12日から7回にわたって「21世紀の学生主体の新プロジェクト発足準備会」が開かれた。みんなで暗闇の中をさがし、友と語り合い、様々な問題を解決することによって、「信大YOU 遊広場(プラザ)」は夜明けを迎えることができた。</p>
9期	<p>① 自分らしさを創造し、周囲に発信していく力量の形成</p> <p>② 自然体験・社会体験を媒介とした人間性への洞察力の錬磨</p> <p>③ 地域に「公」の場を創出する実践による社会力の向上</p> <p>④ 継続的な体験活動と学術研究の統合による教育者としての実践的指導力の肉化</p>
10期	<p>① 「信大YOU 遊広場(プラザ)」から「信大YOU 遊世間(ワールド)」への、組織の脱皮を図ることは容易なことではなかった。「YOU 遊」はもう9年でおしまいか、10年の坂はとも登れそうもないと思われる状況が数か月も続いた。去っていく学生も続出した。しかし、先輩たちが築いた伝統を受け継ぎ、さらに一步新たな視点を取り入れて挑戦したいと考えた。新たな視点というのは、学生が地域社会の団体と連携して、その教育活動に参画しながら経験幅を拡大していくことである。</p> <p>② 将来への希望、夢を持って元気がないこの日本に喝を入れ、子どもたちの未来を照らす教師になろうと志した学生が全国から信州大学に結集したことによって、「YOU 遊」は継続されていると確信しています。我々の小さな一歩が、国家百年の計といわれる「教育」につながっていくために、「信大YOU 遊世間」は学生、地域、そして日本のための活動になるよう、足場をさらに堅固なものに築いていかなければなりません。皆さん、さらなる発展を目指していきましょう。</p>
11期	<p>① 学生が世の中に出て、具体的な活動の企画・運営・振り返りなどの実践を通して様々な人々と切磋琢磨し、臨床の知を開発し、実践的指導力の基礎を陶冶する。</p> <p>② 学生が世の中に出て、子ども・保護者・高齢者など様々な世代の人々と交流することによって、人間力、社会力を陶冶する。</p> <p>③ 学生が世の中に出て、地域社会の人々と連携し、地域の教育の発展に貢献する。</p> <p>学生が自主的、主体的にこの活動に参画することによって、教師に求められる実践的指導力の基礎を陶冶することは、11年間一貫して変わらぬ目標となっている。また、大学の地域社会への貢献という視点も一貫している。自らの力量形成と地域貢献を両輪として「信大YOU 遊世間」は運営されている。</p>
12期	<p>目標は「わ: ふれあい(友情)・つながり(連帯)・たすけあい(共生)</p> <p>「わ」を具現化するための1年間の具体的目標</p> <p>① 「土づくり」と「人づくり」の「わ」による環境マインドの育成</p> <p>② 「人」と「人」の「わ」による社会力の向上</p> <p>③ 「心」と「身体」の「わ」による実践力(臨床の知)の陶冶</p>
13期	<p>① 12年間の歴史の中には、先輩方の苦勞や熱意や学び、そして喜びが詰まっています。そんな先輩方が残してくれた財産をここで途絶えさせてはいけない。そして、何より私たち自身が子どもたちと触れ合いたい、学び合いいたい、笑い合いたいという単純に大きな思いがあった。</p> <p>② リフレクションシートをプラザごとにファイリングし、いつでも誰でも見られるようにした。</p>
14期	<p>共鳴 ー 共に感じ 共に学ぶ 響き合いの輪 ー 「YOU 遊」の活動を、地域、学生、子どもがお互いの姿から学び合える場にしたいという願いからこのような目標を話し合いで決めました。学生と子ども、学生と地域、そして子ども同士など、その学びのベクトルは様々ですが、「YOU 遊」という活動は子どもの学びのみに終わらない、不思議な魅力をもった団体だと思っています。</p>
15期	<p>15期を発足させるにあり、学生はたくさん悩みました。「自分が本当にプラザ長として1年間続けることができるだろうか」「自分の時間を削ることに抵抗を覚える」人もいました。しかし、リーダーが「自分の中でつらくなくても、「YOU 遊世間」を行いたいという強い決意を表明したことにより、発足式を迎えることができました。目標とし</p>

2. 学校週五日制時代の大学開放

2. 1 「信大 YOU 遊サタデー」

学校週五日制の試行は、平成4年度に第2土曜日が休日となり、ついで平成7年度から第2土曜日と第4土曜日が休日となった。そして、平成14年度(2002)から完全学校週五日制が施行された。このような社会の変化に対応し、教員養成学部がキャンパスを地域社会に開放し、子どもたちと教員志望の学生が共に遊び、共に学ぶ場として発足したのが「信大 YOU 遊サタデー」である。開催日、開設講座数、参加者数、学生スタッフ数は以下の通りであった。

	年(西暦)	回数	開催日	実施会場	開設講座数	参加者数	学生スタッフ数
1	平成6 (1994)	1回	9月10日	教育学部	8	57	26
		2回	10月8日	教育学部	14	213	51
		3回	11月12日	教育学部	14	274	75
2	平成7 (1995)	4回	5月27日	教育学部	14	300	72
		5回	9月9日	教育学部	11	141	78
		6回	10月14日	教育学部	22	307	100
		7回	10月28日	松本キャンパス	14	123	65
3	平成8 (1996)	8回	5月25日	教育学部	13	330	90
		9回	9月14日	教育学部	19	215	107
		10回	10月12日	松本キャンパス	15	155	199
4	平成9 (1997)	11回	5月24日	松本キャンパス	11	197	96
		12回	9月27日	教育学部	19	187	96
		13回	11月8日	教育学部	18	263	89
5	平成10 (1998)	14回	5月23日	松本キャンパス	10	131	76
		15回	10月24日	教育学部	18	239	115
		16回	11月28日	教育学部	12	235	94
6	平成11 (1999)	17回	5月22日	松本キャンパス	11	177	68
		18回	11月7日	教育学部	13	192	109
		19回	12月11日	教育学部	9	129	57
7	平成12 (2000)	20回	5月27日	松本キャンパス	12	221	116
		21回	11月11日	教育学部	13	210	108

2. 2 「出張 YOU 遊サタデー」「信州大学出前講座」

学生パワーによる大学開放の動きは、長野市の教育学部キャンパス内に留まらず、1年生が学んでいる松本キャンパスへとその活動舞台を広げ、やがて長野県下各地へ出向いて活動するようになった。このような大学開放の運動を当時の学生たちは「出張 YOU 遊サタデー」と呼んで、積極的に各地に赴いた。また、信州大学の大学開放事業として「出前講座」が始まるや学生と教員がチームを組んで出かけるようになった。これらの記録を整理すると次のようになる。

回	年・月・日	事業名称：会場	講座数	講座長・学生スタッフ数	参加者
1	平成7.7.1	長野市内小学校 PTA	1	渡辺一博(英4)ほか1名	約50名
2	平成7.9.29 (1995)	上田市立中学校生徒会 自主追究学習	3	渡辺一博(英4)ほか9名	約100名
3	平成8.11.30 (1996)	裾花小学校3年4組学級行事 ：裾花小学校	2	2名	約30名
4	平成9.9.13 (1997)	更埴チャレン児プラザ21 ：長野県立歴史館	2	宮沢元(理4)ほか12名	約400名
5	平成9.10.11 -12	高遠フェスティバル ：信州高遠少年自然の家	5	中村典史(社4)ほか32名	約300名
6	平成9.11.9	小諸乙女の森フェスタ ：小諸市文化センター	3	佐々木美恵(家4)ほか11名	約250名
7	平成10.8.15 -16(1998)	'98 青少年のための科学の祭典 (長野大会)：長野市ビッグハット	2	小倉佐知子(家4)ほか30名	約1,000名

8	平成 10.9.12	佐久チャレン児プラザ 21 ：佐久創造館・駒場公園	2	登坂武人 (社 4) ほか 2 名	約 300 名
9	平成 10.10.10 -11	信州高遠フェスティバル ：国立信州高遠少年自然の家	4	平林徹 (数 4)・ 眞島紀章 (数 4) ほか 5 名	約 200 名
10	平成 11.8.11 (1999)	伊那チャレン児プラザ 21・伊那 文化会館 春日公園	4	白井敬 (国 4) ほか 20 名	約 90 名
11	平成 11.9.5	こどもフェスタ inOKAYA ：岡谷市総合体育館	3	高井久 (院 1) ほか 23 名	約 100 名
12	平成 11.10.9	高遠フェスティバル ：国立信州高遠少年自然の家	3	山田理恵 (実 3) ほか 39 名	約 100 名
13	平成 16.5.25 (2004)	信州須坂町並みフェスト ：信州須坂町並みの会	1	秦千暁 (生 4) ほか 6 名	約 100 名
14	平成 16.10.16	信州大学出前講座「山形小・信大ジ ョイント YOU 遊世間」：山形小学校	4	渡邊彩 (実 3) ほか 27 名	児童・教員 320 名
15	平成 16.12.18	信州大学出前講座 ：岡谷市イルフプラザ	1	柳原桃子 (実 3) ほか 3 名	35 名

2. 3 「キャンパス教育の森」

8 期	平成 13 年度 (2001)	リーダー：清水美香 (実 3)・林美智子 (実 3)
-----	-----------------	----------------------------

始まった経緯と願い このプラザは 2 つの願いから始まった。1 つは、キャンパスを「緑あふれる森にしたい」という想いである。2 つは、キャンパスを子どもたちと学生と一緒に学んで「学びの森にしたい」という想いである。その「学びの森」において「学生自らの企画を通して子どもたちと関わりたい」という願いが込められている。この願いが平成 13 年 12 月 8 日に、第 1 回「YOU 遊フェスティバル」となって結実した。

2. 4 「YOU 遊フェスティバル」

「YOU サタ」は 7 年間で終了。1 回に 200~300 人の子どもたちを迎える「YOU サタ」は年に 3~4 回実施されていた。並大抵の情熱では成し遂げられない行動力と教材研究への挑戦であった。学校が完全週五日制となると、大学キャンパスに子どもたちを招く必要性は低下してきた。こうして「YOU 遊広場」へと脱皮したのであるが、年 1 回でいいから「YOU サタ」の賑わいを大学キャンパスに戻したい、という強い願いが形になったのが「YOU 遊フェスティバル」である。遊びと学びの祭典の誕生であった。

	期	年月日	開設講座のリーダーたち	講座数等
1	8 期	平成 13 (2001) 12 月 8 日	清水美香 (実 3)・町田竜太 (社 3)・西澤俊輔 (理 3)・山本公三 (実 2)・岩脇悟子 (理 2)・西絢平 (実 2)・岡部桂子 (実 3)・土田みどり (社 3)・白井克典 (社 3)・小林則雄 (地 3)・原山美樹 (生 2)・小島真知子 (地 3)・片瀬亜希子 (地 3)・角直子 (実 3)・井上将宏 (生 3)・鹿子木愛 (実 3)・増田美和 (障 2)	11 講座 学生 100 人 152 人参加
2	9 期	平成 14 (2002) 12 月 7 日	山本真望 (実 3)・松土智美 (実 2)・笠原千絵 (実 2)・田中慶子 (生 3)・塩崎淳子 (実 3)・篠原真美 (実 3)・北川伸尚 (障 2)・藤沼夏子 (生 3)・田中裕次郎 (言 2)・岩脇悟子 (理 3)・藤岡恵美 (生 3)・増田美和 (障 3)・前崎伸周 (実 2)・幸阪創平 (実 3)・石関千絵 (社 2)・夏井一智 (野 2)・那須紋子 (生 3)・藤田優子 (生 2)	12 講座 129 人 150 人
3	10 期	平成 15 (2003) 12 月 6 日	前崎伸周 (実 3)・藤田優子 (生 3)・岩羽純一 (障 2)・笠原千絵 (実 3)・石澤昌史 (生 2)・寺島純一 (実 2)・渡辺彩 (実 2)・松山博一 (実 2)・野路史稔 (理 3)・藤波千晃 (実 2)・神林彩井 (生 2)・宇良知子 (生 3)・小林崇 (実 2)・松土智美 (実 3)・松本好平 (社 2)・五味潤嘉 (社 3)・原絵里 (実 2)	14 講座 170 人 197 人
11 期 平成 16 (2004) 年 休 講				
4	12 期	平成 17 (2005) 12 月 10 日	前崎全洋 (理 3)・小林由紀 (実 3)・丸山晃男 (実 2)・鈴木春菜 (実 3)・柳原桃子 (実 3)・矢竹喜美子 (理 3)・平林照世 (言 2)・細川李花 (言 2)・永塚達也 (障 2)・土肥直也 (体 3)・足立千明 (障 2)・末松辰規 (理 3)・大塚一哉 (理 3)・坪内章江 (生 3)・松井泉樹 (生 3)・野辺紀久子 (実 3)・唐木佑輔 (実 2)・川辺裕作 (実 2)・南部利彦 (心 3)・山北真 (理 3)・氏原裕貴 (障 3)・名無恵美子 (実 2)・高坂優希 (実 2)・松橋彰行 (実 2)・堀端優也 (実 2)・小林千春 (地 2)・清水亜美 (実 2)・花形美奈子 (実 2)	13 講座 171 人 166 人
5	13 期	平成 18 (2006) 12 月 16 日	松橋彰行 (実 3)・細川李花 (言 3)・清水亜美 (実 3)・平林照世 (言 3)・仲吉咲香 (心 3)・丸山悟 (地 3)・丸山晃男 (実 3)・落合静香 (社 2)・常盤千明 (実 2)・洞出直美 (実 2)・上原珠美 (障 2)・山上夏美 (障 2)・上田雄介 (理 2)・堀端優也 (実 3)・稲玉恵美 (言 3)・加藤博美 (実 2)・布山奈津美 (言 2)・藤岡泰裕 (実 2)・田村将太 (実 2)・堂前直人 (障 2)・笠原結 (障 2)・小池真弓 (生 2)・野口洋憲 (社 2)・根岸純平 (地 3)・越坂隆司 (地 3)・末松辰規 (理 4)・鈴木春菜 (実 4)・青木智博 (実 2)・土田恵久 (社 2)・唐木佑輔 (実 3)	11 講座 約 170 人 約 181 人

6	14期	平成19 (2007) 12月8 -9日	常盤千明(実3)・大高真理(実3)・春原圭祐(実3)・江花悠(実3)・比留間淳也(理3)・高池亮輔(体2)・宮川はるな(言2)・中川茜(生2)・原耕平(理2)・野口洋憲(社3)・伊藤香澄(実2)・笠井悠太(理2)・大家恵梨子(社3)・青木智博(実3)・齋藤有希(言3)・宮澤広樹(実2)・河名智子(社3)・押江愛実(社3)・田村将太(実3)・藤岡泰裕(実3)・石井絵理子(社3)・寺島薫(玉川大1)・洞出直美(実3)・一條まな(言2)・細田有希(生3)・鈴木亮子(生3)・永塚達也(障4)・清水亜美(実4)・上田雄介(理3)	13講座 約270名 約408名
7	15期	平成20 (2008) 11月29 -30日	高池亮輔(体3)・宮川はるな(言3)・西澤通(実3)・鈴木祐香(理2)・西澤直城(数2)・飯島理沙(理2)・早川和宏(理2)・青木智博(実4)・市川香織(実2)・加藤博美(実4)・春原圭祐(実4)・野口洋憲(社4)・鈴木亮子(生4)・細田有希(生4)・土肥直也(体4)・市原哲也(社3)・小林良太郎(理3)・坂本英幸(理3)・中川茜(生3)・宮尾亘(実2)・渋谷美奈子(実2)・石原加奈子(実2)・戸谷望美(言2)・田中陽菜(言2)・藤田裕介(社2)・山崎慶太(理2)・土屋知教(心2)・佐藤悠司(心2)・志甫知紀(生2)・飯村昌史(院1)・半田裕(工学3)	15講座 約320名 約547名
8	16期	平成21 (2009) 11月21 -22日	早川和宏(理3)・肥野沙也加(体3)・三石梨沙(理2)・松井通(理2)・小賀坂佳子(理2)・太田香子(社2)・藤浦修司(社2)・鈴木祐香(理3)・宇賀地由里(理2)・小西陽一(生2)・高池亮輔(体4)・飯島理沙(理3)・片原範子(数2)・米山幸恵(言2)・坂本明日香(言2)・鈴木梢(理3)・宮尾亘(実3)・服部直幸(理2)・東野千尋(音3)・中川茜(生4)・福田朱里(障2)・国澤結子(生2)・半田裕(工学4)・矢土裕和(地3)	12講座 約200名 約220名 *信州大学 60周年 記念事業
9	17期	平成22 (2010) 11月20 -21日	藤浦修司(社3)・小賀坂佳子(理3)・三石梨沙(理3)・内川舜也(実2)・佐藤美沙希(実2)・町田香帆(実2)・松田祐輝(社2)・木内浩司(数2)・岩本美美(障4)・鈴木梢(理4)・平澤里恵(生3)・武藤成美(生3)・原科勇希(理2)・飯島理沙(理4)・市川香織(実4)・峯村和裕(理3)・服部直幸(理3)・勝海公平(社2)・太田香子(社3)・金井和也(心3)・佐久理絵(理3)・入澤清里(実3)	11講座 約230名 約120名
10	18期	平成23 (2011) 11月26 -27日	松田祐輝(社3)・勝海公平(社3)・町田香帆(実3)・秋元雄喜(心2)・岩瀬由依(言2)・加々美理沙(言2)・田口詩織(言2)・小林美緒(言3)・片原範子(数4)・羽田鋭(実2)・梅津翔子(理2)・峯村和裕(理4)・関谷将司(社3)・中沢洋平(社3)・大井このみ(理4)・福田朱里(障4)・山本敦司(地4)・月岡優介(社2)・土井翔太(数3)・池尻亮介(心3)・飯島莉菜(言2)・北見聖(言2)・渡邊玲菜(音2)・井出愛香(実3)・鈴木喜多朗(理3)・高見澤誠(理4)・藤本千穂(心2)・太田香子(社4)・三石梨沙(理4)・服部直幸(理4)・織田裕二(生2)・齋藤晃(地4)・松崎麻奈美(社3)	20講座 274名 約575名
11	19期	平成24 (2012) 11月24 -25日	田口詩織(言3)・岩瀬由依(言3)・加々美理沙(言3)・名取亮介(実3)・池田隼人(体2)・小塚尚士(野2)・三井夕衣(言2)・飯島香純(実2)・村松春美(生4)・高坂泉(生4)・松島宏俊(実3)・中村彩那(芸2)・太田咲(言2)・中野直輝(社2)・内川舜也(実4)・小林美緒(言4)・北沢瑞樹(理4)・佐塚大悟(生4)・橋渡憲明(生2)・知野真里子(院1)・三石真由(櫻ヶ岡中3)・鈴木俊太郎(実践センター)	20講座 247名 397名
12	20期	平成25(2013)年12月7-8日	募集中心 池田隼人(体3)・小塚尚士(体3)・中野直輝(社3)・井上陽介(技2)	

2. 5 「キャンパス・プレーパーク」

毎週木曜日(15時~17時)と土曜日(10時~17時)の2日間、信州大学教育学部の旧グラウンド跡地をプレーパークとして市民に開放した実践。この活動に取り組んだリーダーたちは、次の通りである。

期	年度	「ブレンジャー」と呼ばれるリーダーたち
1	8期 (2001)	小黑あかり(実3)・岡部桂子(実3)・西澤俊輔(理3)・白井克典(社3)・西村崇(実2)・西郷平(実2)・篠原真美(実2)・山本真望(実2)・山口真史(実2)・蓼沼夏子(生2)
2	9期 (2002)	岡部桂子(実4)・小黑あかり(実4)・西澤俊輔(理4)・清水美香(実4)・西郷平(実3)・蓼沼夏子(生3)・山口真史(実3)・原かつ江(実2)・石関千絵(社2)
3	10期 (2003)	蓼沼夏子(生4)・花村尚美(理4)・石関千絵(社3)・藤田優子(生3)・沖田幸子(生3)・長野幸恵(生3)・宮田拓巳(音2)

始まった経緯と願い キャンプをしたい、農作業がしたい、不登校の子と関わりたい、三世代交流をしたい、子どもたちと継続して関わりたい…。これらの多くの思いをどうにかして全て可能にすることはできないだろうかと考えていたとき、ある雑誌で「羽根木プレーパーク」のことを知った。木の上に作られた小屋、読んでいなくてもドキドキしてくるような遊びの数々、たき火…。私自身、今すぐにでも行って遊びたいと思っていた。それと同時に、プレーパークだと不登校の子や障害を持った子も関係なく関わることができる、地域の人ややってきて世代間交流もできる、キャンプだって農作業だってできる！そして、その全てのお膳立てされたものではなくて自然に行えることに、さらに魅力を感じた。このような思いでプレーパークを始めた。(小黑あかり)

地域協力者の声 駒沢はらっぱプレーパーク(東京・世田谷)でのこと。2月11日、三連休の中日だ

った。プレーリーダーの「あちゃ」が僕を呼ぶ。「長野から来たって子がいるよ」。大学にプレーパークを開くために昨日から見学に来ているという。それが岡部さんとの出会いだった。5日後、その中心となる人たちと会うことができた。小黑さんたちとの出会いだった。2時間程話をする中で、本当にプレーパークを作ろうとしている熱意を感じた。それから僅か2ヶ月あまりでプレーパークはオープンした。やはり、「物事を動かすのは熱意、情熱なのだ」と思った。(遠藤正裕さん：会社員)

「YOU 遊」スピリット 大学生協で昼食を摂っている私を見つけて、岡部さんと小黑さんがやってきた。羽根木プレーパークの様子を熱心に語り、教育学部のキャンパスにもプレーパークを作りたいと熱弁を奮った。これはただ事ではないぞと腹をくくった。「YOU 遊」は、「やりたい学生が、やりたい事を、やりたいようにやる」ことによって、物事を成し遂げていく実践力・指導力、人と人が繋がりあって社会を形成する社会力を身につけることをモットーとしている。自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら解決していく学びの道筋を学生時代に体得してもらいたいと強く願っている。この2二人の念願が叶うように応援することこそ、「YOU 遊」担当教員の務めであると自らを奮い立たせた。プレバを運営していくなかで様々な苦情を沢山いただいた。その一つひとつに学生たちは向き合い、語り合い、励まし合って忍耐強く乗り越えた。3年目の活動が終わりプレーパークを閉じる日が来た。プレバの象徴であったトーマスの看板が取り外された。最後を見届けた蓼沼夏子さんの眼に涙があふれていた。

小黑あかり「プレーパーク・タイムカプセルの発掘と同窓会」 2013年3月30日、教育学部グラウンドで、10年前に埋めたタイムカプセルの発掘と同窓会を行いました。2001年から3年間活動してきたプレーパーク。「自分の責任で自由に遊ぶ」というモットーのもと、赤ちゃんからお年寄りまで、様々な人が集い、遊んだり、団欒したりと楽しい時間を過ごしてきました。大学生は「プレンジャー」と呼ばれ、一緒に過ごす中で、環境づくりをしたり、人と人との橋渡しをしたり…。一番楽しんでいたといううわさも!? 2003年3月21日、プレーパークを始めたメンバーの卒業の記念に、当時通っていた参加者とプレンジャーでタイムカプセルを埋めました。

タイムカプセル発掘(15:00～)と同窓会(18:30～)に合わせて32名もの仲間が集まりました。小・中学生だった子どもたちは、大学生や社会人に(中にはお母さんになった子もいました!)、大学生だった人たちはお父さん、お母さんに、社会人やお父さん、お母さんだった人たちは…当時のままのあたたかさ、やっぱりすてきな方々でした。そして、うれしいことに、結婚相手や子どもたちもたくさん仲間に加わり、にぎやかで楽しい会となりました。32名の参加者の内訳は、当時の大学生(プレンジャー)が8人、子ども7人、大人7人、新しい仲間10人でした。10年が過ぎた今思うこと、それは「子どもたち、地域の人のために…」などと思いながら活動していたあの頃。しかし、一番生かされていたのは、私たち大学生だったのだと、今あらためて思います。当時の子どもたち、地域のみなさん、土井先生、本当にありがとうございました。ずっと大切な仲間です。「あの頃の私たちみたいな『学び』の機会を、一人でも多くの子どもたちに作ってあげられるといいな」と、あらためて思った1日でした。きっと、たんぼぼの種が飛ぶように、たくさんの幸せが広がっていくはずです。大切な仲間と集い、今のみんな、昔の私たちからたくさんのパワーをもらいました。今回の集まりを新たな出発点とし、また新たな一歩を踏み出したいです。また会いましょう!(いづな学園グリーン・ヒルズ小学校勤務)

2. 6 附属松本中学校の開放 — 「あおぞら空間—信州に夢よ広がれ—」

11 期	平成16年 10月9日 (2004)	リーダーたち：唐木佑輔(実1)・平林照世(言1)・堀端優也(実1)・黒澤加衣(実1)・花形美奈子(実1)・丸山晃男(実1)・永塚達也(障1)・石関千絵(社4)・藤田優子(生4)・丸山大輔(社4)・白井克典(院2)
---------	--------------------------	--

始まった経緯と願い 教育学部の1年生236名が受講している「学校教育臨床基礎」の授業において企

画し、そのうち 129 人が 16 講座を開設した子ども祭りが「あおぞら空間～信州に夢よ広がれ～」である。松本の附属 3 校園を開放し、松本市をはじめ、県下各地から 248 名の子どもが参加した。そのうち附属校園の児童は約 70 名であった。国立大学の法人化という大きな時代の変化のなかで、長野キャンパスから先輩たちが松本へ通い、1 年生をサポートしながら折からの台風にもめげず、「あおぞら空間」を生み出したことは、臨床経験科目による学部と附属の連携を図るうえで大きな力になったといえよう。無事故で開催できたことは、一重に先輩の皆さんの責任感あふれる誠実さの賜であった。深く感謝したい。

3. 地域連携・協働による地域の活性化

3. 1 「信大茂菅ふるさと農場」、「信大 YOU 遊未来」茂菅 Farming Village

期	農場長・副農場長	特色ある活動
1 7 期	杉山雅幸 (野外 4) 榊原研太 (理科 4) 中澤典子 (国語 3) 千野加世子 (生活 3)	5 年以上放棄された荒廃地には、雑木が繁り地面には蔓や木の根が縦横に張っていた。ここを開墾し、畑作業をグループ制とオーナー制の 2 つの方法で行い、比較考察した。
2 8 期	西澤俊輔 (理数 3) 原山美樹 (生活 2) 花村尚美 (理数 2)	秋の田起こしが終わった水田に蓮華の種を播いた。春にきれいな花が咲き、蓮華畑で遊んだ。 田んぼで子どもたちと草花遊びをした。
3 9 期	那須紋子 (生活 3) 高橋和之 (理数 3)	田植えの終わった水田に、佐久で購入したフナの稚魚 4,500 匹を放流、稲刈りのとき約 200 匹捕獲。
4 10 期	北川伸尚 (障害児 3) 宇良知子 (生活 3)	茂菅米で餅つき、茂菅で収穫した完全無農薬の新米でお寿司パーティー。
5 11 期	神林彩井 (生活 3) 吉澤あすか (言語 3)	冬におはぎ作り。水田の畦に植えた大豆を収穫し、きなこにすりつぶした。
6 12 期	松井泉樹 (生活 3) 川端智子 (教育 3) 矢竹喜美子 (理数 3)	ジャンボかぼちゃが 2 個大きく実った。第 4 回 YOU 遊フェスティバルの会場入り口に入場門として置いた。終了後は細かく砕いて堆肥箱に入れ、堆肥として再利用した。
7 13 期	平林照世 (言語教 3) 川辺裕作 (教育 3) 細川梨花 (言語 3)	五穀豊穡を願って実際に栽培することにした。米、麦、豆、粟、黍の五穀を栽培した。落花生の栽培開始。
8 14 期	洞出直美 (教育 3) 上田雄介 (理数 3)	背中に「八代目茂菅組」と書かれた橙色のつなぎを着て作業した。こんにゃく芋を育て、収穫祭でこんにゃくを作った。
9 15 期	宮川はるな (言語 3) 中川 茜 (生活 3) 原 卓也 (理数 3)	大地に勝るものはない。農場のもつ偉大なパワーにふれる。田植えの終わった水田にザリガニを 20 匹放流し、子どもたちにザリガニつりをさせた。
10 16 期	飯島理沙 (理科 3) 鈴木祐香 (理科 3) 藤田裕介 (社会 3)	農業を通して物事を素直に感じることができると心を養うことを活動目標とした。平成 21 年 10 月 10 日に茂菅農場 10 周年記念講演会 (講師：林部信造氏) と祝賀会開催。
11 17 期	三石梨沙 (理科 3) 土屋克明 (数学 3) 松井 遥 (理科 3)	裾花川での川遊び、ひょうたんづくり。 JA 長野中央会から「虹の懸け橋」賞を受賞。皆様に感謝。ひょうたんキーホルダー作り。
12 18 期	井出愛香 (実践 3) 菊池智香 (理数 3) 澗口歩美 (理数 3)	フナの放流。ソバの栽培とソバクレープ作り。 お面作りと豆まき。 野菜 16 種類の栽培とスイカ割り。
13 19 期	手塚亮介 (理数 3) 井上甲斐 (芸術 3) 遠山芽衣 (生活 3)	農作業に英語活動を取り入れた。ダルトン・コリーン先生のご指導を受け、「信大茂菅 Farming Village」と改称し、新しい看板を設置した。
14 20 期	永原正裕 (特支 3) 那須絢太郎 (理数 3) 飯島香純 (実践 3)	古代米を植え付け、田んぼに「モスゲ」の文字を書く。10 月 13 日 (日) の脱穀の日には赤飯を炊いて「茂菅農場感謝の会」を開催する。

「信大茂菅ふるさと農場」開設の経緯 農業には全くの素人が、学生のためにどんなに苦勞があっても、十年一剣を磨く精神で、農作業に取り組もうと固く決心するに至った動機は、宮沢賢治の詩「稲作挿話」との出会いであった。1999 年 7 月、岩手県盛岡市で NHK 主催のシンポジウム「土から学ぶ子どもたちの未来」が開催された。パネラーの一人として参加する機会を得た筆者は、地域社会から遊離し大学キャンパス内でのイベントと化している「信大 YOU 遊サタデー」をどのように方向転換していけばよいか、暗中模索している時であった。

パネラーの一人でシンガーソングライターのイルカさんが、シンポジウムの最後に盛岡高農出身の農業研究者、農村指導者である宮沢賢治の詩「稲作挿話」を朗読された。それは左のような一節であった。この詩を聴いた筆者は、即座に小作人になろうと腹を決めた。新しい教員養成の道は、荒廃地を開墾して農業に取り組む労苦の中から見いだせるに違いないと心に深く期したのであった。学生と共に地域の水田や畑に出て、そこで子どもたち、保護者と共に「土づくり」に四季を通じて取り組むことによって、自ずと「人づくり」が実現されていくに違いないと直感したのであった。

「これからの本統（ママ）の勉強はねえ
テニスをしながら商売の先生から
義理で教はることでないんだ
きみのやうにさ
吹雪やわづかの仕事のひまで
泣きながら
からだに刻んで行く勉強が
まもなくぐんぐん強い芽を噴いて
どこまでのびるかかわらない
それがこれからのあたらしい学問のはじ
まりなんだ」

「信大茂菅ふるさと農場」というネーミングは、杉山雅幸氏と生協で昼食をとりながら、「農作業に汗を流すことによって、茂菅の大地が第2のふるさとと思えるような学生や子どもに成長してほしい」と願ったことから名づけられた。

3. 2 「青木村えがおクラブ」、「信大 YOU 遊未来」青木

	期	平成年度 (西暦)	リーダーたち
1	12期	平成 17 (2005)	末松辰規 (理3) ・塚本麻衣子 (実3)
2	13期	平成 18 (2006)	唐木佑輔 (実3) 仲吉咲香 (心3) ・本山裕子 (社3)
3	14期	平成 19 (2007)	加藤博美 (実3) ・青木智博 (実3) 石井絵理子 (社3) ・須貝和之 (社3) ・土田恵久 (社3)
4	15期	平成 20 (2008)	小西舞 (実3) ・原耕平 (理3)
5	16期	平成 21 (2009)	市川香織 (実3) ・中村恵理 (音3) ・宮尾亘 (実3)
6	17期	平成 22 (2010)	荻原知子 (実3) ・駒村美代 (実3)
7	18期	平成 23 (2011)	内川舜也 (実3) ・町田香帆 (実3)
8	19期	平成 24 (2012)	羽田鋭 (実3) ・飯島莉菜 (言3)
9	20期	平成 25 (2013)	土屋孝将 (理3) ・室橋美咲 (言3) ・北村隼一 (理3)

始まった経緯と願い 平成 16 年 (2004) 11 月のある日、小岩井彰教育長が信州大学教育学部を訪ねてくださった。青木村の「社会力」の育成事業と教師の「実践的指導力」の育成事業である「信大 YOU 遊世間」について語り合うためであった。そして、両者が完全に意気投合するのに時間はかからなかった。平成 17 年 (2005) 2 月、土井は学生と共に青木村を初訪問した。その時の様子を末松辰規は次のように述べている。

「自分が一番何をやりたいかを考えていた時、土井先生から『青木村という村があって、教育に力を入れていて、学生の力を必要としている』という話を聞かされました。最初は見に行ってみようという軽い気持ちで 2 月 16 日に初めて青木村に行きました。すると、少しずつ考えが変わってきました。青木村は自分の出身の町 (福井県越前町) と人口が同じくらいで似ているところがあり、村内にはいろんな団体があり、自分のやりたい活動ができる。次第に「こんなところで活動してみたい」という気持ちが強くなってきました。それと同時に、「初めて立ち上げる活動だから大変だろう」という不安もありました。しかし、青木村の小岩井教育長先生がとても真剣で熱心に接して下さり、「青木でどんどん失敗してみる」という言葉をかけて下さいました。その言葉に励まされ、うまくいなくてもいいから自分なりに精一杯やってみようと思い、「青木村えがおクラブ」を立ち上げる決意をして発足に至りました。」 (末松辰規)

「おおきっこ通学合宿」 青木村が青少年の「社会力」育成のための重点事業として位置づけているのが、「おおきっこ通学合宿」(6泊7日)である。学生たちは、この事業の企画運営に参画する機会を与えられただけでなく、保育園・小・中学校の教育支援ボランティアとして、また、児童センターでの活動補

助などの場を与えられ、村の中を行き来するようになった。このような学生の姿は、子どもはもちろん村の大人までが活性化するという教育効果をもたらした。一方学生にとっても村で活動することが「社会力」を涵養する貴重な機会となった。村は学生がいつでも滞在できるように、学生専用の宿泊施設を用意するとともに、温泉利用も自由にできるように配慮した。こうして青木村の人々と関わるようになった学生たちは、どのような「社会力」を培ったのであろうか。

「沢山苦しめられて、沢山お世話になった」(仲吉咲香・沖縄県知念高等学校)

青木村に通い始めて、学んだことは山ほどあると思う。まず人との出会いがあった。青木村の中で沢山の大人や子どもと出会い、青木村を通して他大学の学生や東京のプレーパークの人達とも出会った。出会っただけではない。これからもきつとずっと繋がる。通い始めた当初はすごく気後れしてしまい、「今日活動があるから来ないか」という声がかかると、憂鬱に感じていた。わざと用事を作って行かないこともあった。それでも何回も通ううちに、知っている大人や子どもが一人増え、二人増え、村の中でも自分一人で出歩ける場所が段々と広がっていった。人間関係を築く難しさやスキル、行政機関との折り合いのつけ方や、目上の人へのお酌の仕方まで、本当に色々なことを学んだ。沢山苦しめられて、沢山お世話になった。私にとって青木村は田舎になりつつある。沖縄に帰っても、また青木に里帰りする日が来るような気がする。

私を鍛え、沢山の感動と「嫌われる勇気」を与えてくれた青木村の子どもたち、青木村で共に汗を流した学生の仲間たち、学生を温かく迎え入れ、活動を支えて下さった青木村の方々、そして誰よりも大変な苦勞をしながら私たち学生の活動を見守り、導き、愛情を注いで下さった青木村の小岩井彰先生、授業で小岩井先生との出会いの場を与えて下さった土井進先生に、心より感謝申し上げます。「ありがとう」と何度言っても足りないほど感謝しています。現在は高校生物の教員として働いています。失敗することも多く大変ですが、私にとってこんなに楽しい仕事は他にありません。皆様への感謝の気持ちは、これから関わる子どもたちに返していきます。本当に、ありがとうございました。

杵掛英明 青木村教育委員会教育長のメッセージ 青木村では、子どもが育つ三つの間、存分に遊ぶ時間、遊び場としての空間、そして遊ぶ仲間の三つの「間」を、村を挙げて取り戻そうと試みているところです。その中で、「YOU 遊未来」の学生さんが企画する様々な活動は、今では青木村にとってなくてはならないものになっています。労を惜しまない学生さんの姿に、頭が下がりましたし、たくましく成長している姿を、いつも感じていました。真摯な学生さん方にいつもエールを送っていました。このような熱い取り組みを青木村でしていただいていることに、心から感謝します。

保護者の声 この通学合宿に長男が4年生の時から参加させてもらって、次男、三男と7年間お世話になりました！1週間という期間、親元を離れてする生活は、本当に良い経験になると思います。4年生は上の子を見て、・・6年生はお手本になるように・・。そして、少し気を使うことを覚えて・・少し、大人になって帰ってくる、この合宿が子どもも私も大好きでした。今までは子どもにとって本当に良い経験させてもらってるな、と思っていましたが、親にとっても子離れの練習になる、プチ子離れ。今年長男が家を離れて下宿生活を始めましたが、不安もある中、思いっきり背中を押せたのは、この通学合宿を経験しているおかげかもしれません。沢山の人に支えられて成り立っていること、そして感謝の気持ちを忘れずに、大きく成長して行ってほしいです。

3. 3 「麻績村 de 遊ぼう」、「信大 YOU 遊未来」麻績

	期	年度(西暦)	リーダーたち	学生数	児童数
1	12期	平成17(2005)	大塚一哉(理3)・前崎全洋(理3)	21	50
2	13期	平成18(2006)	永塚達也(障3)・堀端優也(実3) 名無恵美子(実3)	37	100
3	14期	平成19(2007)	旗持貴優(理3)・小池真弓(生3) 平野結(障3)	36	80
4	15期	平成20(2008)	伊藤香澄(実3)・吉池潤奈(実3)	27	70
5	16期	平成21(2009)	布山朋和(実3)・田端隆太郎(実3)	33	80
6	17期	平成22(2010)	小賀坂佳子(理3)・三石梨沙(理3)	27	80

7	18期	平成23(2011)	佐塚大悟(生・3)・藤橋美月(生3)	52	60
8	19期	平成24(2012)	成瀬貴心(体3)・渡邊玲菜(音3)	35	63
9	20期	平成25(2013)	北野雄大(社3)・新井雅菜(生3)	40	70

始まった経緯と願い 麻績村と「信大 YOU 遊未来」麻績が、協働で青少年育成事業に取り組んで9年になる。この協働事業は、平成16年秋に麻績村の市川祥介教育長(当時)が信州大学教育学部に1本の電話をかけたことから始まった。1村に1保育園・1小学校の麻績村の子どもたちに、幅広い人間関係を体験させるために、「信大 YOU 遊世間」の学生さんたちに村に来ていただけないか、という依頼であった。大学側からは即座に、学生こそ麻績村の皆様に学びたいので、よろしく願います、と返事して連携が始まった。

おみっこと学生の出会い 平成17年2月、大学2年生の大塚一哉君と前崎全洋君が麻績小学校体育館で行われた「たたきゴマ」作りの講座に参加した。自分の「たたきゴマ」を手にした子どもと学生は大喜びで、夢中になって体育館一杯に広がってはしゃいだ。この時の心境が次のように記述されている。

「子どもたちは、初めて会う僕らに緊張していましたが、少しずつ打ち解けていきました。とても素直で元気のいい子たちだなあと思いました。もう一度この子たちに会いに来たいなあと思いました。すると、ある子どもが「かずにい、また来てくれるよね?絶対また来てね」と言いました。僕はすぐに「うん」と答えました。あのときは本当にうれしかったです。僕たちに「絶対また来てね」と言ってくれる子どもたちの想いに応えたくて、僕はこのプラザをやりたいと思いました。僕にとってこの子たちの言葉がこのプラザをやる何よりの原動力であり、やる気につながりました。」(大塚一哉)

このような子どもと学生の卒啄同時の出会いが原点となって、麻績村の社会教育事業に「信大 YOU 遊世間」の学生が参画することになった。この原点はそのまま教育の原点でもとも言えよう。

市川祥介・麻績村教育委員会教育委員長の願い 麻績村「森の学園」と「信大 YOU 遊未来」が協働する中で、学生が子どもたちに会いたいと願う気持ちは、子どもたちが学生を待ち焦がれる気持ちと呼応している。「今度もお兄さんたち来てくれるの?」と異口同音に確かめたり、学生に会えることが確認できると活動への参加を決意したり、活動への取り組みに一層張り切る子どもたちの姿がそれである。子どもたちが、村内ではあまり見かけない社会人一步手前の学生の姿に憧れ、「将来」の自分を重ねている高学年の姿を見ると、子どもと学生の「今」のみならず、「将来」にも好影響をもたらす証となっているように思われてならない。麻績村での通算9年間におよぶ「信大 YOU 遊世間・未来」の地域貢献に対して、心より敬意と感謝を申し上げる。今後さらに麻績村の子どものために、そして、実践的指導力に満ちた逞しい教員養成の実現のために、この協働事業が継続され一層の充実が図られることを切に希望する。

3.4 「大岡わらわらクラブ」、「信州大岡ふるさとランド」、「信大 YOU 遊未来」大岡

	期	平成年度(西暦)	リーダーたち
1	15期	平成20(2008)	原 耕平(理3)・宮尾 亘(実2)
2	16期	平成21(2009)	宮尾 亘(実3)・市川香織(実3)・藤田裕介(社3)
3	17期	平成22(2010)	山越 俊(社3)・宮尾 亘(実4)
4	18期	平成23(2011)	北澤瑞樹(理3)
5	19期	平成24(2012)	山崎花奈子(言3)・宮田巴都樹(特3)
6	20期	平成25(2013)	酒井友輔(理3)・太田 咲(言3)

発足の経緯と願い 大岡との出会いは、農村女性ネットワークの方々のお手伝いをするところから始まった。平成21年2月3日、4日にやしょうま作り、こんにやく作りの作業に学生スタッフ6名が参加した。作業後の懇談会で大岡と「YOU 遊」の連携プロジェクトの名称について語り合い、「信州大岡ふるさとランド」が最も親しみやすいとして、皆さんの賛同を得て決定した。「0を1にする作業は1を100にする作業よりも大変なことだ。しかし、できた時に得られるものは、他には代えることのできないものになる」。大岡小学校長小岩井彰先生からこの言葉を聴いて、私は大岡での活動を決意しました。(宮尾 亘)

私の第二の「ふるさと」大岡 子どもと関わりたいと思って始めた「YOU遊」なので、最初は子ども以外の人とは関わりを持ちたいとは思いませんでした。今まで部活しかやってこなくて親しい人の付き合いしかなく、初めての人とどう関わればいいのかわかりませんでした。同年代ならともかく学校の先生や地域の方と何を話していいかわかりませんでした。そんな私ですが、今では先生方や地域の人と話をしたり、お酒を飲むことが楽しみです。また、大岡小学校に行くとほとんどの子が私の名前を覚えていてくれます。そんな大岡の子どもたちが大好きです。そう思えるようになったのも、一年間大岡で活動してきた証しだと思っています。大岡は私の第二の「ふるさと」です。（北沢瑞樹）

3. 5 「湯谷子どもランド」、「信大 YOU 遊未来」湯谷

	期	(西暦)	リーダーたち
1	8期	平成 13 (2001)	梅田亜紀子 (社 3)・町田竜太 (社 3)・山本公三 (実 2)・原 耕平 (理 2)
2	9期	平成 14 (2002)	藤岡恵美 (生 3)・山本公三 (実 3)・石関千絵 (社 2)・吉田祐紀 (生 3)・長浜 愛 (社 2)・田島理沙 (社 2)・小原洋美 (社 2)
3	10期	平成 15 (2003)	藤岡恵美 (生 4)・藤本晃子 (地 4)・吉田祐紀 (生 4)・秦 千暁 (生 4)・村上真美 (実 2)
4	11期	平成 16 (2004)	松山博一 (実 3)・嵯峨みず穂 (言 3)・矢竹喜美子 (理 2)・矢野 智 (社 3)・埋橋由佳 (実 2)・中河亜実 (生 3)・野辺紀久子 (実 2)・塚本麻衣子 (実 2)・大塚一哉 (理 2)・早津 秀 (実 2)・南部利彦 (心 2)・鈴木春菜 (実 2)・末松辰規 (理 2)・柳原桃子 (実 2)
5	12期	平成 17 (2005)	鈴木春菜 (実 3)・大塚一哉 (理 3)・南部利彦 (心 3)
6	13期	平成 18 (2006)	清水亜美 (実 3)・松橋彰行 (実 3)・永塚達也 (障 3)
7	14期	平成 19 (2007)	田村将太 (実 3)・齋藤有希 (言 3)・布山奈津美 (言 3)・野口洋憲 (社 3)
8	15期	平成 20 (2008)	笠井悠太 (理 3)・高池亮輔 (体 3)・梅澤美夏 (言 3)
9	16期	平成 21 (2009)	鈴木 梢 (理 3)・岩本美美 (障 3)・早川和宏 (理 3)
10	17期	平成 22 (2010)	高見澤誠 (理 3)・腰原綾佳 (理 3)
11	18期	平成 23 (2011)	鈴木喜多朗 (理 3)・佐原啓太 (社 3)
12	19期	平成 24 (2012)	小松一成 (理 3)・林志桜里 (生 3)
13	20期	平成 25 (2013)	花岡慶祐 (理 3)・高木淳子 (言 3)

発足の経緯と願い 平成 14 年度の「信大 YOU 遊広場 (プラザ)」の一つ「お出かけ」プラザとして、長野市立湯谷小学校保護者の会「湯谷子どもランド」にお出かけしたのが始まりである。

「子どもの名前を覚えて呼びかけてあげることは、子どもたちと私たちの距離を縮めてくれることは、今までの経験から自然と分かってきたことですが、そのことが保護者側から感謝されるとは思ってもみませんでした。お父さんお母さんたちは、子どもの活動の様子をしっかりと見つめてくれていたのだなということを知りました。また、「この前家でね・・・」と家に帰ってから私たち学生の話をしてきていたことを聞いたり、「お姉さんたちが来てくれるんだったらうちの子も行きたくなるわ」と言ってくださったりと、子どもたちにとっての私たちの存在感をお母さんたちから聞くことができ、その言葉一つ一つが私たちを元気づけ自信を持たせてくれました。保護者からの眼は、最初私にとって窮屈なものであると思っていたのですが、保護者の想いを聞けるようになってくると、その言葉が自分の成長の一步であることが多く、学ぶことが多くあったと思います。」（藤岡恵美）

中谷隆秀・元保護者代表からのメッセージ 歴代のリーダーをよく覚えています。「藤岡恵美さん、松山博一君」が初期の時代。「鈴木春菜さん、清水亜美さん」が学生企画の確立時期、「田村将太君、笠井悠太君、鈴木梢さん」が発展期、そして進化の時期です。「YOU遊」の学生スタッフが関わり始めてからの内容の充実は飛躍的です。毎年が単なる継続ではなく、「活動への情熱」が積み重なって確実に進化しています。学生スタッフの無償の献身的な活動に心から感謝申し上げます。

3. 6 「信州すざか農業小学校」、「信大 YOU 遊未来」須坂

	期	年度 (西暦)	リーダーたち
1	13期	平成 18 (2006)	稲玉恵美 (言 3)
2	14期	平成 19 (2007)	藤岡泰裕 (実 3)・細田有希 (生 3)・山崎友美 (生 3)

3	15期	平成20(2008)	一條まな(言3)・菊池ゆかり(言3)・宮川志織(言3)
4	16期	平成21(2009)	西澤直城(理3)・鈴木梢(理3)
5	17期	平成22(2010)	入澤清里(実3)・鈴木梢(理4)
6	18期	平成23(2011)	入澤清里(実4)
7	19期	平成24(2012)	坂田好恵(野3)・山崎花奈子(言3)
8	20期	平成25(2013)	坂田好恵(野4)

一年間を通して学んだこと、感じたこと 1年間で18回の活動に参加して学んだことは、全員で一つの事をするという難しさである。畑を耕すにしろ、水やりをするにしても、作業が始まったときは我さきにと鋤を持って畑に入るが、作業がある程度終わり、もう一息というところまで来ると、だらけてしまう子どもが必ずいた。そうした子どもたちに対して、「まだ残っているぞ。もうちょっとだからやっちゃおう」といった声がけをしても、「疲れた」「やだ」と逃げられてしまうことが多々あった。一緒にやろうとって作業しはじめるとやりだす子どもも中にはいたが、畑に入らず遊びまわってしまう子どもも中にはいた。拒んでしまう子どもに対してどうアプローチすれば一緒に作業することができるのだろうか、今後の課題という意味でとてもいい学びになった。子どもの興味・関心はすごいなと感じた。土の中から出てきたネズミやカエルに興味を持ったり、飛んでいるチョウに興味をもったりと、農業以外にも様々なものに興味を示しており、実際に捕まえては観察したり頭をなでたりしていた。こうしたところから子どもたちは生き物の動き方やかたちといったものを学んでいくのかなあと思った。広大な畑・田んぼと元気いっぱいの子もたち、そして経験豊富な農家先生と活動することができ、とてもいい経験になった。(藤岡泰裕)

3.7 「信大牟礼ふるさと農場」

	期	年度(西暦)	リーダーたち
1	7期	平成12(2000)	杉山雅幸(野4)・那須良寛(実4)・井上真裕子(理4)・山田理恵(実4)・中村祐介(理4)
2	8期	平成13(2001)	西澤俊輔(理3)・増田美和(障2)・岩脇悟子(理2)
3	9期	平成14(2002)	増田美和(障3)・石井里佳(実3)・高橋朋子(実2)
4	10期	平成15(2003)	前崎伸周(実3)・松山博一(実2)・笠原千絵(実3)・中河亜実(生2)・松土智美(実3)

始まった経緯と願い 「信大牟礼ふるさと農場」は、“そばを育ててそば打ち体験をしよう”という目標を立て、牟礼村ふるさと振興公社を通じて20aという広大な農地を借りて始まった活動である。年を追うごとに、育てる作物もそばだけでなく、にんじん、じゃがいも、さつまいもと種類を増やしていった。農作物を育てることを通して、自然と触れ合い、人と触れ合うことを目的として4年間活動した。

農場の運営を通して、「一言」が言える人間に メーリングリストの使い方においては多くの反省点・改善点があると思う。農場長など連絡する立場の人が考えなければならない問題であると同時に、農場の活動に参加しているスタッフも「自分は返事をしなければならないメンバーである」ということを意識しなければならないと思う。私自身もメールの返事が遅れてしまい、他のプラザ長に迷惑をかけることがある。「あとで言おう、あとでやろう」ではなく、「今言おう、今やろう」。そういう態度で臨むことが、何事においても、たとえ返事一つにおいても大切なことだと感じた1年間であった。さらに私は、仕事を分担するということが苦手であった。係を決めるときも「ここを〇〇さんをお願いしたい」となかなか言えず、立候補だけを待っていたため、いつも同じ人が同じ係になっていた。去年の私は先輩に「やってみたら？」と言われたことで、新しい経験をすることができた。しかし、私は今年その「やってみたら？」の一言が言えなかった。これからは人に「お願いします」と言えるようになりたい。また、何かを分担するときは「私がやるよ」という一言が言える人間になっていきたい。(増田美和)

3.8 「XYサタデースクール」

	期	年度(西暦)	リーダー
1	9期	平成14(2002)	山本公三(実3)
2	10期	平成15(2003)	山本公三(実4)・森脇奈美(生2)・篠原真美(実4)・林真由美(実2)・山本真望(実4)・梅牧歩美(言2)・原絵里(実2)

3	11期	平成16(2004)	原絵里(実3)・梅牧歩美(言3)・鍵谷美希(言3)・森脇奈美(生3)・石関千絵(社4)・丸山大輔(社4)
4	12期	平成17(2005)	長野彩子(実3)・小林由紀(実3)・三澤由季子(言3)・久保田聡美(言3)
5	13期	平成18(2006)	丸山晃男(実3)・浅井美由紀(実3)・長野彩子(実4)・小林由紀(実4)・関麻衣子(生4)・三澤由季子(言4)・熊義史(理4)・佐藤真也(理4)・潮田徹(理4)・宗倉由希子(言4)
6	14期	平成19(2007)	落合静香(社3)・石井絵理子(社3)・滝沢典子(障3)・丸山晃男(実4)・堀端優也(実4)・丸田青冴(理4)・加藤雄大(数4)・永塚達也(障4)・小平奈央(障4)・畑さやか(野4)
7	15期	平成20(2008)	小林良太郎(理3)・吉田ちひろ(生3)・落合静香(社4)・石井絵理子(社4)・納愛果(社4)

NPO 法人 XY サタデースクールネットワークとの連携 「自ら学び考える」子どもを育てるには「確かな学力」と「豊かな経験」が必要である。そこで「確かな学力」をX軸、「豊かな経験」をY軸として、その中に「自ら学び考える」子どもを育てようと思った。「豊かな経験」をJA長野中央会と提携した農作業体験に求め、「確かな学力」は国語、算数、英会話の基礎学習に求めた。そして、X軸とY軸の両方を関連させることによって「自ら学び考える」子どもを育てることを目的としたNPO 法人 XY サタデースクールネットワークが2002年に誕生した。「YOU遊」はこのNPO 法人と連携した。

3. 9 「加茂児童館」、「喬木」、「姨捨の棚田」

1. 「加茂児童館」

期	リーダー	目的・活動内容
12期	前崎 全洋(理3) 兼平 梨香(生3) 小林 加奈(芸3) 加納 冴子(芸3) 稲玉 恵美(言2) 松崎 礼乃(実2)	私の住んでいるあけぼの寮から大学までの通学路に「加茂児童館」があります。そこには毎日夕方になるとランドセルを背負った子どもたちが通ってきて、私は2年生になり長野に住み始めてから、ずっとこの施設が気になっていました。こんな近くにこんなに素晴らしい子どもたちの笑顔が見られる場所があったのか!と思い、勇気を出して児童館での活動をお願いしました。

2. 「信大YOU遊未来」喬木

期	リーダー	目的・活動内容
19期	宮田巴都樹(特支3) 松島 宏俊(実3) 榊原 典子(生3) 八木英理子(言3) 山崎花奈子(言3)	私の故郷喬木村で、「YOU遊」の活動をさせていただくことによって、地域の方、子ども、学生がつながり、村がもっと元気になることを願ってこの活動を始めました。鳥の巣箱を見に行ったり、喬木村こども学遊館こども祭りに参加してお手伝いをしたり、喬木村総合文化祭のお手伝いをしたりしました。

3. 「信大YOU遊未来」姨捨の棚田

期	リーダー	目的・活動内容
20期	北村 単一(数3) 上野なつみ(生3) 那須絢太郎(数3) 太田 咲(言3) 八木英理子(言4) 小松 一成(理4)	重要文化的景観「姨捨の棚田」で、地域の子もたちと一緒に農作業体験をし、郷土を愛する心を豊かに育んでいきたいと願って、今年度このプラザを立ち上げた。草刈り、棚田のウォークラリー、脱穀、餅つき大会などを予定している。第1回目の活動となった棚田の田植えに、小学生1名、中学生3名、高校生6名、大学1年生4名が参加した。

発足の経緯と願い 「信大茂菅ふるさと農場」での学生と地域の方々との交流の姿をみて、自分の故郷姨捨の棚田でも実現したいと願って、棚田の地主である父・北村善一に相談して協力を取り付けた。続いて土井先生と一緒に千曲市教育委員会を訪ね、趣旨を理解していただき、後援名義を使用する許可を得た。更級保育園、更級小学校、戸倉上山田中学校、屋代高等学校に参加者募集チラシの配布に回った。5月25日に晴天のもとで楽しく元気いっぱい散歩と田植えをすることができた。参加者1人1人の笑顔がたくさん見られ、いい活動になったと思う。活動後に参加してくれた方全員に感想発表をもらった。全員が「今日、この姨捨で活動ができて楽しかった。参加してよかった」と話してくれた。それを聞いてこの活動を立ち上げて本当によかったと強く感じた。これから1年、2年と活動を続けていく中で、人と人がつながり、たくさんの笑顔が生まれてくることを願っている。(北村単一)

3. 10 高大連携・長野西高校

期	年度(西暦)	リーダーたち	期	年度(西暦)	リーダーたち
1	19期 平成24(2012)	松田祐輝(社4)・北野雄大(社2)	2	20期 平成25(2013)	北野雄大(社3)

発足の経緯と願い 教育学部キャンパスから徒歩 10 分に位置する長野西高と関わる場を持っていかと
考え、吉田由美子先生と相談した。第 11 回 YOU 遊フェスティバルに 17 名もの生徒がスタッフとして参
加してもらえることになった。高校生は初めこそ緊張の色が見えていたが、活動が始まり子どもたちと関
わっていくうちにどんどん壁がなくなり、最後には初めて会った子どもたちが、高校生の膝の上に乗って
楽しそうに会話している姿が見られた。高校生のリフレクションには、次のような記述があった。

① 話すときは子どもの目線に合わせて話をすることを学んだ。 ② 大学生はやはり子どもとの関わり方が
うまい。 ③ こちらが心を開かなければ子どもも心を開いてはくれない。この一日の活動で本当にいろいろな
ことを学ぶことができた。 ④ 純粋に楽しむことができた。また参加したい。

私は、高校生の吸収の良さ、成長の速さに本当に驚かされた。(松田祐輝)

「高大連携に携わって」吉田由美子(長野西高等学校 国際教養科主任)

長野西高校と信州大学教育学部の卒業生である私は、西高に赴任してから、この高大連携の恩恵を学校
全体へと広げたいという願いを持っていました。授業以外にも大学生と高校生が自主的に交流できないか
と模索しているとき、「信大 YOU 遊未来」の松田祐輝さんを紹介していただきました。西高の生徒たちは
机上では学べない貴重な経験ができました。たくさんの大学生がこのフェスティバルのために有志で参加
していること、チームとなって十分な議論や準備をしてきたからこそ、子どもたちの安全を確保しながら、
全ての子どもたちがのびのびと楽しめるフェスティバルを作り上げることができていること。子どもたち
を預かる責任感から来る厳しさ、初対面の子どもの心を開かせる笑顔と優しさ、そして何よりも熱い
情熱。教師に求められる資質を、高校生たちは肌で感じることができました。終了後のレポートにも、教
師という仕事の大変さと楽しさを感じ、大学生の手際の良さに感動し、あこがれが目標に変わったと書い
た生徒もいました。20 年という長きにわたり、すばらしい活動で発展を遂げてきたこの「信大 YOU 遊」
に、初めて西高生を参加させていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

4. 人間性回復キャンプの実践

・「里山ふれあいキャンプ」・「ふきのとうキャンプ」・「YOU-YOU キャンプ」

	期・年(西暦)	リーダーたち、参加者数
1	8期・平成13(2001)年 8月10日~12日 第1回里山ふれあいキャンプ (長野市青少年錬成センター)	小島真知子(地3)・鹿子木愛(実3)・小黒あかり(実3)・清水美香(実3)・ 西澤俊輔(理3)・町田竜太(社3)・小林則雄(地3)・両角孝之(数3) 佐間 野昌資(野4)・杉山雅幸(野4)・那須良寛(院1) ほか 親子37名、学生26名、教員1名
2	8期・平成14(2002)年 3月24日~27日 ふきのとうキャンプ (文部科学省菅平高原体育研究所)	町田竜太(社3)・小黒あかり(実3)・小島真知子(地3)・富山裕子(障3)・ 清水美香(実4)・小林則雄(地3)・両角孝之(数4)・清水美香(実3)・小 林則雄(地3)・両角孝之(数4)・西澤俊輔(理3)・那須良寛(院1)・大澤 安貴子(院1) ほか 子ども35名、学生24名、教員3名
3	9期・平成14(2002)年 8月16日~18日 スポーツふれあいキャンプ (長野市青少年錬成センター)	藤本晃子(地3)・西村崇(実3)・西絢平(実3)・原山美樹(生3)・藤沼夏 子(生3)・谷口智香(生3)・町田竜太(社4)・小林則雄(地4)・杉山雅幸 (野4)・小黒あかり(実4)・西澤俊輔(理4)・小島真知子(地4)・西絢平 (実3)・那須良寛(院2) ほか 親子20名、学生21名、教員1名
4	18期・平成23(2011)年 8月10日~13日 第1回YOU-YOU キャンプ (長野市青少年錬成センター)	土屋克明(理4)・大井このみ(数4)・峯村和裕(理4)・山越俊(社4)・山 本敦司(地4)・服部直幸(理4)・大木拓哉(院2) ほか 子ども30名、学生19名、教員1名
5	19期・平成24(2012)年 8月5日~8日 第2回YOU-YOU キャンプ (長野市青少年錬成センター)	榎崎亮人(数4)・赤羽成美(生4)・佐塚大悟(生4)・藤橋美月(生4)・小 林愛(生4)・鈴木喜多朗(理4)・原科勇希(理4)・山口千晴(理4)・土井 翔太(数4)・木内浩司(数4) ほか 子ども36名、学生23名、教員1名
6	20期・平成25(2013)年 8月11日~14日 第3回YOU-YOU キャンプ (長野市青少年錬成センター)	五味大紀(数4)・成瀬貴心(体4)・林志桜里(生4)・荒井麻耶(実4)・柚 木亮太(理4)・長谷川ゆかり(生4)・北見聖(言4)・小野翼(数4)・宮田 巴都樹(特4)・月岡優介(社4)・羽田鋭(実4) ほか 子ども36名、学生9名、教員1名

始まった経緯と願い 私は小学校の教師を目指しながらも、教員養成課程ではない生涯スポーツ課程に
所属している。私はこの信州に来て、夏山に登山したり、冬山でスキーをしたりと自然の中で活動する機
会が増え、その度に自然の美しさ、雄大さと厳しさを実感してきた。また、自然の中では日常生活から離

れることで自分自身を振り返り、新たな自分に気づくこともある。大学の授業で小学校3年生・4年生の「子どもキャンプ」に2年間携わってきたが、5泊6日で子どもたちの変化がはっきりと見られる。自然の中で活動する中で、「今ここに生きている」ということを感じ、たくましく成長していくのである。私は、このキャンプで「自然の中での活動」に魅力を感じた。このような体験を今の子どもたちや、毎日忙しいお父さん・お母さんが共有し、今減少しているとされている「親子のふれあい、新たな発見」ができるキャンプをしたいと考えた。(小島真知子)

ふきのとうキャンプが実現した背景 「今回の「ふきのとうキャンプ」では、雪上での活発な身体活動や密接なコミュニケーションの機会が多く含まれたプログラムを準備し、そうした活動をとおして、子どもたちにやさしくたくましい心を身に付けてもらいたいという成果を期待して実施しました。短い期間でしたが、晴天・降雪・雨と、それぞれ自然の美しさと厳しさを伝えてくれるような天候に恵まれました。雪の中、そして晴天の中、子どもたちひとり一人が、元気にまた苦労しながら新しいことにチャレンジしていた姿が思い浮かびます。数日のキャンプで子どもたちが大きく変容するとは思っていません。しかし、何らかの成長のきっかけになったことは間違いないと感じています。」(平野吉直・助教授：当時)

「「ふきのとうキャンプ」のプログラムは、日本の子どもたちに不足している運動や暖かい人と人との触れ合い体験を密接に取ることに配慮しています。その結果、キャンプ前とキャンプ後で精神的な気分を表す数値が有意に変化し、運動と思いやりのある人と人との触れ合いが重要であることが、このキャンプを通じてもうかがえました。」(寺沢宏次・助教授：当時)

5. 現代の教育課題への挑戦

5. 1 不登校

5. 1. 1 「城山中間教室」のメンタルフレンド・心の教室相談員

	期	年度(西暦)	リーダー
1	第8期	平成13(2001)	西澤俊輔(理3)・桐山恵美子(生2)
2	第9期	平成14(2002)	小島真知子(地4)・西澤俊輔(理4)
3	第10期	平成15(2003)	黒崎藍子(実2)・原 絵里(実2)
4	第11期	平成16(2004)	黒崎藍子(実3)・原 絵里(実3)・前崎全洋(理2)

始まった経緯と願い 不登校児童・生徒を対象に、集団適応指導、学習指導、教育相談等を行う場として、長野市教育委員会による「中間教室」が設置されている。その一つとして長野市城山の蔵春閣の4階に「城山中間教室」がある。この中間教室において、不登校児童・生徒の援助、支援活動を行うのがメンタルフレンドである。また、悩みやストレスを抱える中学生が、心のゆとりを持てるように、生徒の相談に応じる大学生が「心の教室相談員」である。「YOU遊」の学生は、東部中学校、三陽中学校、裾花中学校、篠ノ井東中学校、柳町中学校、西部中学校に通った。

5. 1. 2 「長商定時制」

	期	年度(西暦)	リーダー
1	第11期	平成16(2004)	石澤昌史(生3)・藤澤麻里子(生3)
2	第12期	平成17(2005)	大塚一哉(理3)

始まった経緯と願い 長野商業高校の竹下良太郎教頭先生から土井先生へ連絡があった。それは、「今年の春からうちの定時制のクラスに定期的に入って、生徒たちと一緒に勉強したり、悩みの相談をしたりする、いわゆるチューターを信州大学生にお願いできないか」というものだった。このことが「竹」の部屋に掲示されていた。そして、ある日ふとこの掲示を目にしたのであった。その時私は、非常に長商チューターに魅力を感じたのを覚えている。なぜなら、ちょうどその時私は、自分の弟を含め、不登校の児童・生徒に対する接し方について考えていたのである。このチューターに参加すれば生徒たちから何かを学び、何かが変わるのではないかと、何か気づきがあるのではないかと考えたのである。(石澤昌史)

活動の概要 主に火曜日と水曜日の19時30分～20時30分に男子体育の授業に参加していきました。

他にも保健室に来る生徒たちと話をしたり、一緒に食堂で給食を食べたりしました。生徒たちの中には働いている生徒もいて、年齢も様々です。みんなはじめは緊張していましたが、1年たってみると気軽に話もできるようになりました。学校が近いので街中で生徒たちに会うこともありました。

5. 1. 3 「信大 YOU 遊興譲館」

	期	(西暦)	リーダー
1	第9期	平成14年度 (2002)	原山美樹(生3)・小川敦嗣(数3)・山本公三(実3)・小島澄(障3)・増田美和(障3)・平山司(心3)・石関千絵(社2)・五味淵嘉(社2)・丸山大輔(社2)・北川伸尚(障2)・小黒あかり(実4)・西澤俊輔(理4)・小島真知子(地4)・小林則雄(地4)・町田竜太(社4)・那須良寛(院)
2	第10期	平成15年度 (2003)	五味淵嘉(社3)・丸山大輔(社3)・下里洋平(社3)・前崎伸周(実3)・北川伸尚(障3)・石関千絵(社3)・原かつ江(実3)・渡邊彩(実2)・黒崎藍子(実2)・林真由美(実2)・原絵里(実2)・原山美樹(生4)・小川敦嗣(数4)・小島澄(障4)・菅原勇介(理4)

始まった経緯と願い 興譲館は不登校問題に取り組みたいという学生が集まって発足。中間教室でのメンタルフレンドの活動を経験した原山美樹が館長となって、北西校舎(旧附属長野小学校跡地)の「松」の部屋に開設された。2年目の活動は、興譲館1年目に卒業していくことができず、引き続き参加することになった2名のために、五味淵嘉が館長となって活動を引き継いだ。来館者は25名、そのうち継続的に通ってきたのが10名。そのうち9名が中学校に復帰し高校に進学した。残った1名も中学3年になってから学校に通えるようになり、2005年3月に高校入試に合格した。

興譲館が不登校生徒の「社会力」向上に果たした役割 子どもたちは何もかも満ち足りた生活を送っている。加えてこのことは、中学生が一人で生きていくことを可能にしている。これでは、仲間と協力することも自然や生きた人間との関わりも生まれにくい。では、興譲館はどうだろうか。興譲館には何もないといっても過言でない。水道も使えなければ、ガスもない。遊びたくてもボールもバットもない。むろんテレビもビデオもゲームもない。調理実習をするにも、水を汲みに行き、鍋を探し、食材を持ち寄る。試行錯誤しながらの活動であるため、中学生も積極的に関わらなければ作業は進まない。その状況が皆で一つの目的・目標に向かって力を出し合い、協力するという環境を作り出した。興譲館での1日の活動は決して一人ではできないものばかりなのである。このような条件がそろった興譲館の場では、必然的に人と人とのつながりが求められ、人と人がつながることになる。(丸山大輔)

北原美樹「興譲館10年ぶりの同窓会」 平成25年1月4日、林部信造様宅で10年ぶりに「YOU 遊興譲館」の同窓会が開かれた。興譲館に通っていた生徒が4人、学生が3人(西澤俊輔・小川敦嗣・北原美樹)、そして土井先生が集まった。10年経った今、私が一番聞きたかったことは、10年前に興譲館で行った活動は、本当にあれで良かったのかということであった。活動の内容とは、畑で作物を育てたり、調理実習をするなどの総合的な学習の他に、毎日のスケジュールを立てて、断片的ではあるが教科の学習も行っていた。特に、中学校3年生であった生徒たちは、受験に向けて補習的に学習を進めた。しかし、当時は、学生が提案した活動に、「こんなのやりたくない」と反発されることも多くあった。そのため学生は、「ここでこう過ごすことが、本当に彼らのためになっているのだろうか」と悩んだ。10年たった今、彼らは当時をどう振り返るのだろうか。

この投げかけに対し、リーダー的な存在であったWさんやKさんからは、異口同音に、「活動内容はどうかであれ、そこに友達がいたということが大きい。今もこうやって集まると、『林部さんのお宅にお邪魔してリンゴ狩りをしたよね』など、共通の話題で盛り上がれる仲間がいる。その仲間の存在があることが、当時人とかかわりが少なかった僕らにとっては、尊いことである」という言葉が聞かれた。また、当時、活動に対して慎重であったOさんからは、「確かに当時は経験不足な面もあり、活動に対して億劫になった。でも、興譲館での活動が経験値となり、その後大学生となった僕は、地域でお年寄りと交流するプロジェクトを立ち上げた。そういったことをやろうと思ったのも、興譲館での経験があったからだと思う」と話してくれた。さらに、一番活動に対して慎重であったHさんからは、「確かに当時は、勉強が苦手であったから、最初は勉強したり、苦手なことをやったりするのは嫌だった。けれど、今になってみると、自分の経験値にもなったし良かった」と力強く話してくれた。私は、彼らから語られるこのような言葉を

聴いてとてもホッとした…何よりも、興譲館での思い出をとても大事にしてくれていることが嬉しかった。また、会話する中で、この10年間は彼らにとって、決して平坦な道ではなかったことも知った。Wさんからは、「専門学校の受験の際、志望校を先生に話すと、『あなたには無理よ』と言われた。なんだか、中学校に行っていないことをもとにそう言われているような気がしてすごく悔しかった。でも必死に勉強して合格し、希望していた整備士になれたことは本当に嬉しかった」と話してくれた。Uさんからは、「定時制の高校に行ったけれども、なかなか思うように通えない時期もあった。でも、頑張っただけ卒業することができ、今は、化粧品会社で毎日楽しく働いている」というさわやかな発言があった。この10年間、それぞれに苦労がありながらも、それを乗り越え、自立し立派な人間に成長している。そんな彼らに、私は強い精神力を感じ、とても嬉しく思った。

あれから10年経って当時大学生であった3人は、今、教師となって児童生徒の前に立っている。3人は、大人になった4人との会話を通して次のように思った。「義務教育でのつけたい力をつける授業はもちろん大事。でも、一步引いて、まずは、その子との信頼関係があり、その子の居場所があること、その子と時間を共有できる仲間がいることが何より大事。そして、信頼関係がある上での、1人の人間の自立を期待しての温かいなかにも厳しい指導は、その時には分からなくても、何年後には、その子の胸に響いてくる。それを忘れず、児童生徒にかかわっていきたい」と。「教育は一日にして成らず」という言葉を忘れず、目の前のことに一喜一憂せず、長い目で見ることの大切さを忘れずにいたい。

(茅野市立東部中学校)

5. 2 障害児教育

5. 2. 1 「にこにこクラブ」

期	年度(西暦)	リーダーたち
1	8期 平成13(2001)	富山裕子(障3)・平賀倫子(障3)・笹崎典子(数4)
2	9期 平成14(2002)	増田美和(障3)・熊田賢人(障2)・武井 恒(障2)・小島 澄(障3)
3	10期 平成15(2003)	熊田賢人(障3)・木村理子(障3)・深瀬人寛(障3)・黒石可奈(障3)・武井 恒(障3)
4	11期 平成16(2004)	岩羽純一(障3)・北川伸尚(障4)・木村理子(障4)・川端智子(実2)・塚本麻衣子(実4)・武井 恒(障4)・熊田賢人(障4)
5	12期 平成17(2005)	川端智子(実3)・田畑玲子(心3)・新田香織(心4)・吉田佳保里(心4)
6	13期 平成18(2006)	小平奈央(障3)・黒澤加衣(実3)・川端智子(実4)・鈴木春菜(実4)・塚本麻衣子(実4)・大塚一哉(数4)
7	14期 平成19(2007)	青木みなみ(障3)・上田綾乃(実3)・落合静香(社3)・小平奈央(障4)・永塚達也(障4)

発足の経緯と願い 平成13年度に「信大YOU遊広場(プラザ)」が発足し、その0プラザとして「鉄腕アトム」と名付けられた、不登校の子どもや障害を持つ子どもを対象にした活動が始まった。大学では不登校や障害児に関する授業はあるが、実際に不登校の子どもや障害をもつ子どもと触れ合う機会はほとんどなかった。不登校の子どもや障害を持つ子どもと進んで関わっていける教師になるためには、実際に触れ合い、感じる事が一番である。そのような理由から「不登校の子ども、障害を持つ子どもと一緒に活動したい」という願いを持つようになった。初めは教育学部附属養護学校との連携からスタートし、ついで長野養護学校の子どもたちとの活動に発展した。(富山裕子)

5. 2. 2 「わらの会」

期	年度(西暦)	リーダーたち
1	13期 平成18(2006)	花形美奈子(実3)・山田桃子(実3)
2	14期 平成19(2007)	大家恵梨子(社3)・花形美奈子(実4)・山田桃子(実4)・名無恵美子(実4)
3	15期 平成20(2008)	宮下奈保子(生3)・大家恵梨子(社4)・小林良太郎(数3)

発足の経緯と願い 「わらの会」は、音楽療法を通して成長していく子どもたちの手助けをするNPO法人「どれみクラブ」と「YOU遊」が連携した活動である。昨年までは「YOU遊」のプラザとしてではなく、4年生の先輩たちを中心にひっそり行われていた。その4年生が卒業してしまうので、これを機にもっと多くの人に参加してもらえ、活気ある活動にしていきたいという思いから、「YOU遊」のプラザ

にして1年間活動することにした。活動場所は、長野市障害者福祉センターであった。（山田桃子）

5. 2. 3 「ペンギンクラブ」

	期	年度 (西暦)	リーダーたち
1	12期	平成 17 (2005)	川端智子 (実3)・田畑玲子 (心3)
2	13期	平成 18 (2006)	小平奈央 (障3)・黒澤加衣 (実3)・川端智子 (実4)・塚本麻衣子 (実4)・大塚一哉 (数4)

発足の経緯と願い 「ペンギンクラブ」は、長野養護学校の保護者の有志と「YOU遊」が連携した活動である。毎週1回長野県社会福祉センター、サンアップルで放課後のひと時を楽しみ水泳で過ごしている。「いるかクラブ」(コーチについて泳ぎを練習するプラザ)から派生して生まれたプラザである。「いるかクラブ」ほどはうまく泳げなくても、プールでゆったりと子どもたちと過ごす時間を楽しみにしている。

5. 2. 4 「ひだまりの会」

	期	年度 (西暦)	リーダーたち
1	11期	平成 16 (2004)	渡邊 彩 (実3)・石澤昌史 (生3)・奥泉祥子 (実3)・竹内 史 (生3)・前崎全洋 (理2)・藤澤麻里子 (生3)・富岡頌子(生3)・丹羽寛子(生3)
2	12期	平成 17 (2005)	川辺裕作 (実2)・唐木佑輔 (実2)・平林照世 (言2)・神林彩井 (生4)

発足の経緯と願い 2年次の夏に特別養護老人ホームで介護体験を経験し、多くのお年寄りの方々が計り知れぬ孤独や不安を抱えている姿を目の当たりにしました。それを機に、長野に住むお年寄りの方々のお役にたつことができないだろうか、「YOU遊世間」という活動が掲げている柱の一つである“地域貢献”は、子どもだけでなく地域のお年寄りの方々にも目を向けていかなければならないのではないだろうか、と考えました。まず、長野市役所の福祉課や加茂児童館、三輪小学校に掛け合いましたが、断われました。スタッフと励まし合いながら社会福祉協議会に何度も通いました。そして、コーディネーターから「安茂里小7年1組」という団体を紹介していただき、ここと連携することに決めました。（渡邊 彩）

5. 2. 5 「わいわ〜い♪ 元気クラブ」

	期	年度 (西暦)	リーダーたち
1	12期	平成 17 (2005)	柳原桃子 (実3)・江崎美保 (実3)

発足の経緯と願い 私が教師になりたいと思ったきっかけの一つに、院内学級という存在を知ったことがあり、将来そこの先生になりたいという思いを持っていた。東長野病院には、心身症や糖尿病の子どもが長期間入院していて、隣接する若槻養護学校に通っている。平日は病院から学校に通い、土日になると家に帰る。したがって、ボランティアを募集するのは平日の授業後という時間帯だった。入院している子どもたちに大きな影響を与えられなくてもいい。病院外の間人である私たちと触れ合うことによって、子どもたちが「元気」になってくれたら、という願いがこのプラザの目的となっている。（柳原桃子）

5. 2. 6 「虹の会」

	期	年度 (西暦)	リーダーたち
1	12期	平成 17 (2005)	川端智子 (実3)・塚本麻衣子 (実3)・岸上隆文 (社3) 堂前直人 (障1)
2	13期	平成 18 (2006)	堂前直人 (障2)・池田桃子 (障2)・川端智子 (実4)・塚本麻衣子 (実4)・岸上隆文 (社4)・鈴木晴仁 (工学4)

発足の経緯と願い 虹の会とは、月に一度上田市立城下小学校を会場にして行う、高機能広汎性発達障害の子どもの会とその親の会と連携した活動のことである。学生が主に関わるのは、小中高生が参加している子どもの会である。虹の会の目的は、大きく分けて2つである。

- ① アスペルガーの子どものソーシャルスキル獲得の支援。また、その親の支援。
- ② 学生に企画力、統率力、対応力をつける。

「虹の会」に「YOU遊」が出会った最初の場面は、私たちが大学構内で「ペンギンクラブ、にこにこクラブに是非参加してください」とプラザ長がビラ配りをしているときのことだった。私たちの声を聞きつけて、「発達障害の子どもの会があるので、興味があったらぜひ来てほしい」と、逆のお誘いを受けたのだ。誘ってくれたのは、今年度から信大大学院に通う先輩だった。（川端智子）

5. 2. 7 「いるかクラブ」

	期	年度 (西暦)	リーダーたち
1	11期	平成 16 (2004)	遠藤宇寛 (障3)・川端智子 (実2)・山口陽子 (実2)・田畑玲子 (心2)・渡辺久士 (障4)・武井 恒 (障4)・熊田賢人 (障4)

始まった経緯と願い 長野養護学校生徒 (小学部～高等部 10 名) が自主的に活動をし、仲間意識を持ってくれることを目標としている。また、子どもが泳げるようになるためのスキルアップ、当事者自身が楽しめるプール指導を目指している。長野県障害者福祉センター サンアップルのプールで、毎週金曜日 15:45～17:00 (プール使用時間 16:00～16:50) に活動している。(遠藤宇寛)

5. 3 いじめフォーラム

	期	名 称	リ ー ダ ー
1	3期	いじめフォーラム'96	渡辺 一博 (英4)・木戸口あい (院2)・北島茂樹 (数3)
2	4期	いじめフォーラム'97	北島 茂樹 (数4)・吉澤麻衣子 (国3)

平成7年11月15日から平成9年9月27日まで、26回のいじめ研究会を積み重ね、2回のフォーラムを開催した。いじめ問題は人間社会のあるところ、どこでも起こりうる終わりのない問題である。いじめ問題は誰もが当事者でありうるのであるが、自分の顔を自分で見ることができないように、この問題については意外に「わかっていない」ことが多いといえよう。先ず、いじめ問題を「知る」ことが重要であり、次に知ったことをもとに実践し、自己の生き方を高めていくことが解決の糸口になると考えられる。

5. 4 「教師の資質と人権意識」：一つの指針として 大澤安貴子

教師の資質の問題は、明治時代以降いつの時代にも問題にされてきた古くて新しい問題である。特に昨今の教師の不幸事問題では、学習者である子どもへの人権侵害が絡む深刻な問題としても世間を騒がせている。その都度、当事者に対する処分はもとより、学校現場に対しても厳重な指導と研修が実施されてきたにも関わらず、教師による体罰やセクハラといった問題が、依然として根絶されないことの原因はどこに在るだろうか。

こうした疑問を解く鍵は、2011年6月に実施した「大学生の体罰・セクハラに対する意識調査」に在った。まず、体罰については、大学生 (S大教育学部1年生 190名: 男子 84名、女子 106名) の学校教育 (小・中・高) での「体罰を受けた」学生は 43%、「目撃しただけ」という学生は 34%、「全く無かった」とする学生は 23%であった。そこで体罰に対する学生の意識を問うと、「体罰は絶対やらない」とする学生が 58%であったのに対し、「体罰はある程度必要だ」と回答した学生は、実に 39%を占めた。

これは、NHK が大阪体育大学の新生に行った調査の数値 (新生の約 40%が「ある程度の体罰を容認する」と回答した) に、匹敵するものである (このニュースは 2013年5月25日に NHK から放送された)。大阪体育大学では、改善策として科学的なトレーニング方法や多様な指導方法を学ぶ講義を行うことで、体罰などの根拠の無い指導方法では技術力は向上しないことを学ばせることとし、早急に学生の意識を変える教育を実施していくという。大阪では、昨年末に公立高校に通うバスケットボール部の主将が、部活顧問から繰り返し体罰を受けたことを苦に、尊い命を自ら断つという事件が起こったばかりである。それにも関わらず、この春、大阪体育大学に入学した学生が、既にこのような実態であるということは、依然として体罰に対する認識の甘さと根深さが、若い世代にも確実に受け継がれていることを改めて思い知らされる。

我が国の学校教育での体罰禁止は、明治時代に発布された「教育令 (第 46 条)」に始まり、その後戦後の新体制にも受け継がれ、現在の「学校教育法 11 条」に定められている。これまで実に 134 年間に亘って体罰を禁止してきた教育の歴史は、建前だけのものではなかったかという疑問が消えない。大学生への意識調査からは、体罰を「愛のムチ」、「血の通った教育」、「子どものため」等の美しい言葉にすり替えられ、教え込まれたという学生の記述があったが、学習者への暴力が教育として成立する可能性は、有るのだろうか。

次に、女子学生 (106 名) を対象とするセクハラ調査では、教師からセクハラ行為をされたと回答した学

生は4%、セクハラ行為を目撃したと回答した学生も4%であった。これらは、教師という立場を悪用した人権侵害行為であり、被害にあった学生は、誰にも言えずに未だに苦しんでいる。加害者の教師に弁明の余地は無く、到底許されるべきものではない。まさに人権意識の無い教師による犯罪である。

体罰問題、セクハラ問題ともに、教師としての人権意識が問われるばかりか、子どもの人権を守り育てる使命を担う職業人としても大いなる反省が迫られる。今後においても、子どもの人権尊重への正しい理解と、それを堅持する教育者としての深い哲学性と人間性の在り方は、きわめて重要な教師養成教育の課題であるといえる。
(上田市教育委員会)

5. 5 「一人で悩まず、自分を追い込まないで」：一つの指針として 守時公枝

平成7年(1995)10月、信州大学に「いじめ研究会」が発足しました。私はこのことを関西の地方新聞で知り、まとめ役の土井助教授(当時)の考え方に共感を覚え、平成7年(1995)から平成9年(1997)まで21回、関西から信州の地に駆けつけました。この間、「信大YOU遊サタデー」の様子もつぶさに見学し、学生の皆さんと交流することもできました。

子どもたちが「学校は楽しいところ」と感じ「安心して生活するため」には、集団づくりという視点は欠かすことができません。これは学級担任になるとだれでもが最初にぶつかる問題ではないでしょうか。担任がリーダーシップを発揮することが求められるのはこの時です。リーダーシップには「指導」と「援助」という2つの側面があります。「援助」の側面はとても重要です。「何げないがんばりを認める」「子どもの興味や関心のある話題をとりあげる」「子どもと教師だけでなく、子ども同士のリレーションやゲーム、スポーツ大会などを子どもといっしょに計画して、取り入れていく」のも、いいことではないでしょうか。

「指導」の側面では、「厳しさ」という面も大切です。集団をまとめるためには、ルールやマナーは不可欠です。子どもたちが受け入れやすい方法でかかわっていくことで、ガミガミと細かく感情的に怒るのではなく、「どうしたの?」といった「質問形で聞く」とか、ルールやマナーを紙に書いて、帰りの会で振り返りなど、やり方を工夫していくことで定着していきます。教師はこの「指導」と「援助」の二つをバランスよく考えて、子どもたちに合った指導をする必要があります。次に子どもとの信頼関係を築くためには、学校が子どもたちにとって学ぶ場である以上、「叱る」という教育的行為は必ず存在するでしょう。子どもたちは叱られることによって大切なことを学び、自分を向上させていくものです。この時に忘れてはならないことがあります。それは「叱る」という行為の中には子どもの成長を願う大人の愛情が込められています。「叱る」と「怒る」は違うんです。若い教師やこれから教師を目指す皆さんに敢えて言いたいことは、「尻込み」しないでほしいのです。保護者への対応力は、教育者誰もが最初から持っている資質や能力ではありません。「子どもの様々な状況を把握できる力」「教育内容をきちんと丁寧にわかりやすく教える教育技術」を大切にしてください。もし何らかの不安をふっと感じたら遠慮なく周りの先生方に相談することです。教師が一人で抱え込んでしまわないことです。「一人で孤立しないで!」ということを強く訴えたいです。
(特別支援教育士スーパーバイザー・兵庫県臨床教育研究所所長)

「全国フレンドシップ活動」による大学間の切磋琢磨

1. 「信大 YOU 遊」がモデルとなり、文部省「フレンドシップ事業」の政策化

1994年(平成6年)に「第1期信大 YOU 遊サタデー」が発足した。これが直接的契機となって文部科学省(当時、文部省)が教員養成政策として1997年(平成9年)から「教員養成大学・学部フレンドシップ事業」を開始した。これは、学生が教育実習以外に直接児童生徒とふれあうことができる内容であること、県教育委員会等と連携すること、大学の授業科目化することの3点が要件とされた。これを受けて平成9年度からは全国の教員養成大学・学部においてフレンドシップ事業が展開された。

2. 「全国フレンドシップ活動」発足の由来とホスト校一覧

このような全国的な動向を受けて、1999年(平成11年)11月13日(土)に信州大学教育学部第1会議室において、教育学部創立50周年記念学部祭の一環として、「教員養成学部全国学生シンポジウム」を開催した。そのテーマは「生き生きとした未来へ—今、学生が求めるフレンドシップ事業とは—」であった。このシンポジウムに参加し、実践報告した大学は次の13大学であった。

広島大学・愛媛大学・熊本大学・秋田大学・福島大学・大分大学・琉球大学・高知大学・愛知教育大学・鳴門教育大学・横浜国立大学・上越教育大学・信州大学

つづいて、2000年(平成12年)12月9日(土)に信州大学教育学部図書館2階で、「第2回フレンドシップ事業全国学生シンポジウム」が開催された。そのテーマは「21世紀の実践に向けて—フレンドシップ事業の課題と発展—」であった。これに参加し実践報告を行った大学は、横浜国立大学・上越教育大学・鳴門教育大学・熊本大学・信州大学の5大学であった。このシンポジウムでは記念講演として、佐島群巳氏(帝京短期大学教授・東京学芸大学名誉教授)による「フレンドシップ事業と総合的な学習」があった。

このシンポジウムが終わった後、宿舎のしなのき会館に会場を移して、5大学の学生による熱い討論が続いた。その会話の中からひょいと生まれ出たのが、「信州は山国で海がない」「鳴門には素晴らしい海があるよ」「いっそのこと5大学のみんなで、鳴門へ行って地引き網を引こうか」「そこに子どもたちが参加すれば、全国フレンドシップだ!」こうして誕生したのが、「全国フレンドシップ活動」である。ここに5大学の固い絆が生まれ、深い友情が築かれて今日にいたり、参加する大学の輪が11大学にまで広がってきている。これまでにホスト校を務めた大学は、次の通りである。

	期	年(西暦)	ホスト校	事業名
1	6期	平成11(1999)11月	信州大学	第1回フレンドシップ事業全国学生シンポジウム
2	7期	平成12(2000)12月	信州大学	第2回フレンドシップ事業全国学生シンポジウム
3	7期	平成13(2001)3月	鳴門教育大学	第1回全国フレンドシップ活動
4	8期	平成14(2002)3月	熊本大学	第2回全国フレンドシップ活動
5	9期	平成15(2003)3月	上越教育大・信州大	第3回全国フレンドシップ活動
6	10期	平成16(2004)3月	横浜国立大学	第4回全国フレンドシップ活動
7	11期	平成17(2005)3月	広島大学	第5回全国フレンドシップ活動
8	12期	平成18(2006)3月	福井大学	第6回全国フレンドシップ活動
9	13期	平成19(2007)3月	横浜国立大学	第7回全国フレンドシップ活動
10	14期	平成20(2008)3月	上越教育大学	第8回全国フレンドシップ活動
11	15期	平成21(2009)3月	信州大学	第9回全国フレンドシップ活動
12	16期	平成22(2010)3月	横浜国立大学	第10回全国フレンドシップ活動
13	17期	平成23(2011)3月	広島大学	第11回全国フレンドシップ活動
14	18期	平成24(2012)3月	岐阜聖徳学園大学	第12回全国フレンドシップ活動
15	19期	平成25(2013)3月	上越教育大学	第13回全国フレンドシップ活動
16	20期	平成26(2014)3月	信州大学	第14回全国フレンドシップ活動

3. 第13回「全国フレンドシップ活動」in 上越に参加した学生の感想

① 全国フレンドシップ活動を経て、自分たちの活動に足りないところ、逆に優れているところが明確になりました。危機管理の甘さ、目標の立て方など信大の活動に持ち帰って、考え直さなくてはならないことを実感し、また、信大は自主性の高い学生が集まって地域密着型の活動をしていることが強みであると再確認しまし

た。フレンドシップ活動に参加した私たちの役割は、この場で経験してきたもの、学んできたものを信大で活動している仲間へ広めることだと思います。YOU 遊の代表として参加した以上、自分たちの中だけで終わらせるのではなく、YOU 遊にとって有益なものになるように活かしていきたいと思います。(成瀬貴心・保体4)

② 子どもへの熱い思い、教育への熱い思いは全大学が共通でもっており、だからこの活動が続いているんだなあと感じました。来年は信大がホスト校なので、この先もずっと全フレが続いていくように貢献したいと思っています。(渡邊玲菜・音楽4)

③ 今回、全国フレンドシップ活動に参加してみて、大きく2つのことがとても印象的でした。一つ目は、信州大学がとても恵まれた環境にあるということです。多くの他大学の学生たちと関わる中で、通学合宿やキャンプなど、信州大学のフレンドシップ活動の中では当たり前のように行っている行事も、ほとんどの大学ではできないとのことでした。今自分たちが当たり前に行っている活動は自分たちだけの力だけではなく、さまざまな方々の支えがあってこそその活動であることを再認識できたし、そのうえで感謝の気持ちを忘れてはいけなと改めて気づきました。二つ目はフレンドシップ活動という同じものに取り組んでいる仲間たちと一緒に活動するとこんなにも熱くなれたり、自分の意見をぶつけられたりするということです。信州大学でも普段何気なく話し合いをしていましたが、他大学の大切にしているポイントやさまざまな観点を直に感じられ、またいつもとは違ったもののように思いました。これからまた活動していく中で、他大学のさまざまな意見も取り入れつつ、さらによい活動になるよう頑張りたいと思いました。(小塚尚士・野外3)

4. 教員養成大学・学部フレンドシップ事業を語る

4. 1 「教員養成フレンドシップ事業について」

鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授 近森憲助

教員養成フレンドシップ事業は、土井進先生が教師教育者としての「思い」と「願い」を込め、信州大学の学生はもとより、子どもたちや地域の人々とともに20年間にわたり実践してきたものである。この「土井フレンドシップ事業」の実践で最も評価されるべきことは、教員養成を大学の教育課程の中での「自閉」から解き放ち、教員養成の「新たな地平」を開いたことにある。信州大学は当時の文部省が平成9年度(1997年度)に事業化する以前の1994年からフレンドシップ事業を立ち上げただけでなく、それ以降も常にフレンドシップ事業の先駆けとして、志を同じくする全国の教員養成系大学・学部の教員・学生に次々と新しい取り組みの姿や成果を示し続けてきた。フレンドシップ事業の中核をなすのは、子どもたち、地域の人々、自然などとの「触れあい」を中心とした体験活動である。教育行為は、「意図的で計画的な行為」とはと言われるが、体験活動への参画を通して、学生が獲得する学びは、決して意図的・計画的なものとして生まれてくるものではない。私たちは、意図的、計画的に、その学びの内容や学びが獲得されるタイミングをコントロールすることはできない。なぜなら、それはまさに、一人ひとりの学生が活動の中での「他者」との出会いを通して絶えず変化する状況下で創出・生成するものだからである。土井フレンドシップ事業は、このことを、実践を通して私たちに示すとともに、教員養成の新たな地平を切り開いてきたのである。教員の責務は、フレンドシップ事業にかかわる人々や機関との関係調整あるいは学生への助言・指導の中で、学生の自主的活動をどのように担保・発展させるかということに尽きるのである。このとき、私たち教員の人間力もまた試され、また同時に鍛えられているのである。土井フレンドシップ事業の実践が明らかに示しているように、この事業によって学生の人間力(広義の実践的指導力)は確実に鍛えられる。同時に、教員の人間力も鍛えられる。土井フレンドシップ事業は、まさに「師弟同行師弟共育」が具現化されたものなのである。(国際教育協力)

4. 2 「私と信大フレンドシップ事業」

関東学院大学人間環境学部教授・横浜国立大学名誉教授 小泉秀夫

私にとって、土井進先生とYOU 遊サタデーとの出会いは、関東教育学会(1995年)で土井先生の研究発表を聞いた時である。発表を聞き、即座に「これだ!」と思った。翌年、松本の信州大学キャンパスで開催された「YOU 遊サタデー」に2人の学生を連れて見学に伺った。平成8年ではなかったかと思う。そこで学生諸君の活き活きとした活動や声に触れ、期待通りの活動を見ることができたという満足感と、

これから自分の所属していた横浜国立大学でも是非こうした活動を立ち上げたいという強い思いで帰途についた。文部科学省が予算をつけて「フレンドシップ事業」を立ち上げたのはその直後（平成9年度）であった。その発足に、信州大学のそうした取り組みが重要な役割と影響を及ぼしたといえる。信州大学では同じ時期に、学生諸君が附属学校へ教育補助などの活動のために行くという「教育参加」も開始している。こちらも、現在のATなどの「学校ボランティア」の先駆けと位置づけることができる。

こうした活動の過程で出てきた課題として、子どもとの恒常的な関わりの機会、学生諸君の主体的活動、単位化の問題、学生諸君の負担、安全や責任の問題等を指摘できよう。YOU遊サタデーは、子どもとの恒常的な関わりをもつ活動ではない。一方、企画・実施等々の段階での学生諸君の主体的な活動の面では大きな意味をもっている。それこそ、その中で、社会力、教材研究などの力が鍛えられることになる。一方、ATなどの教育ボランティアの場合は補助的な立場であり、学生自身の企画・実施などの要素は少なくなるだろう。多くの場合は、活動を二本立てにして、その問題に対処している。

そうした課題に対して、信大ではYOU遊サタデーから、YOU遊広場（プラザ）、YOU遊世間（ワールド）、YOU遊未来（チャンス）へと、過去にとらわれることなく脱皮と発展を続けてきた。その中で、一層活動の広がりや深さを増してきたといえよう。学校ボランティアについては、その後「教育臨床関連科目群」の一部になり、継続性を増し、教育臨床演習、教育実習、教職実践演習などへとつながっていく。

『「信大YOU遊未来」の教師教育学研究』第19集を読むと、様々な立場の人との関わりや交流、企画と実行段階での学生同士の議論や切磋琢磨、教育観や子ども観の見直し、人への配慮、連帯感、視野の広さ、学び直しなどの姿が見えてくる。こうした活動を通して、「企画力、社会力、創造力、コミュニケーション力などの実践的指導力の基礎」が鍛えられている。子どもにとって楽しく意味のある体験になることは大切であるが、単に「楽しかった」というだけでなく、「本物の文化や科学」に触れることになっているかどうか、互いに検討することがあってよい。勉強（教材研究）して、質の高い題材を探す努力をすることは、子どもに対する責任として必要なことといえる。今後の信州大学の活動の発展と、我々、他大学との連携と協力を切に祈念したい。

（教育方法・授業研究・教員養成）

4. 3 「戦後の教員養成を変える礎となった「信大YOU遊」

妙高市教育委員会教育長・前上越教育大学教授 濁川明男

産みの苦しみを乗り越えて 平成6年（1994）、それは「信大YOU遊サタデー」が全国に先駆けて本格的にフレンドシップ事業の活動を開始した年である。当時はいじめによる自殺事件や不登校児童・生徒の増加、学級崩壊など、新聞紙上に載らない日はないほどに教育問題が深刻化していた。複雑化する家庭事情を背景に様々な課題をもって入学している子どもたち、軽度発達障害をもつ子どもたちの増加もあり、益々、教師の資質と能力が問われ始めてきた時でもある。学生の実態はというと、その生育過程における自然・勤労・生産的な活動経験に乏しく、対人的関係力の希薄さ、特に子どもと関わった経験に乏しい学生が年々増える傾向にあった。しかし、教員養成課程はというと、教育現場の実態と教員養成との間の乖離の指摘にも耳を傾けず、戦後の旧態然とした教員養成課程カリキュラムにしがみつき、抜本的なカリキュラム改革は行われてこなかった。

正にこのような背景の中で、「信大YOU遊サタデー」が立ち上げられたのである。教員養成課程にある学生が、様々な活動を通して子どもたちとふれ合い、子どもの発達特性を理解しつつ、子どもたちと関わることに喜びを感じ、教師への確かな決意をもつことを目的に実施する学生の自主活動の立ち上げである。それまで教員養成系大学・学部においては、実践的、体験的な科目は経験主義とし、大学は学問が第一、実践的なことは現場に入ってからで十分という考えが支配的であり、教育実践的な科目を下に見る傾向がなきにもあらずであった。その意味で、「信大YOU遊サタデー」の立ち上げは、おそらくは学部内部にも抵抗があり、軌道に乗せるまでに様々な苦労があったものと推測される。

全国への波及と相互の連携 「信大YOU遊サタデー」を手本に、上越教育大や横浜国大、熊本大、鳴門教育大、福島大と次々と全国にフレンドシップ事業が立ちあがっていった。また、平成11年（1999）には信州大学の呼びかけで、全国のフレンドシップ事業に取り組む学生たち、並びに指導に当たる教員た

ちが、一堂に会してのシンポジウムを通じた交流会が開催された。この初回のシンポジウムで他大学の学生・教員たちは、信州大の実践にカルチャーショックともいえる強烈な刺激を受けた。それは学生たちの組織的、主体的なフレンドシップ事業への取組と情熱であった。それが引き金となって全国に事業を展開するための学生の自主組織が次々とできていった。卒業や入学によって学生組織は毎年変化するが、全国学生シンポジウムは各大学・学部での創意ある取組とその成果が語られることで、相互に刺激し合い全国のフレンドシップ事業を更に発展させる原動力となっていった。また、「信大 YOU 遊」では常に歩みを内省し、「サタデー」から「広場（プラザ）」、「世間（ワールド）」、「未来（Chance）」へとフィールドや活動内容を改善して取り組んでいる点は、他大学・学部が学ぶところとなった。指導に携わる各大学・学部の教員間の交流も大変意義あるものとなった。それぞれに大学・学部事情が異なるだけに事業の取組は様々であったが、「これからの教員養成課程にあっては、高度な専門性は当然ながら、理論と実践の統合、臨床の知、実践的指導力の基礎を具現化することが必要」という認識が共有化され、自校のカリキュラム改革に取り組む動機付けにもなった。

更なる実践的指導力の構築を目指して平成25年度（2013）には教員養成課程の出口チェックともいふべき「教職実践演習」が必修化される。多くの大学・学部では未だに対応に追われているという話も耳にする。しかし、これは正にフレンドシップ事業が目指してきたことであり、実践的指導力の基礎が大学の4年間でどこまで培われてきたかを自校でチェックする科目となる。フレンドシップ事業や実践的、体験的科目を導入してきた大学・学部では容易に対応ができるだけに、すでに先駆的に試行を始めているところもあると聞く。フレンドシップ事業や実践的、体験的科目の導入などの動向は、教員養成課程で教師教育に携わる教師自身が、教育現場との乖離を何とかせねばならないと苦悩し、懸命に努力して事業や科目を立ち上げ、その成果を検証しつつ、周囲の理解と協働を生み出してきたボトムアップの歩みであるという点に大きな意味がある。そして、その胎動の中核に「信大 YOU 遊」があったことから、戦後の教員養成課程カリキュラムの在り方に一石を投じたという意味で、その先駆的な取組は極めて高く評価されよう。

（教育実地研究・珪藻分類学）

早朝自主研修会「現代教師学演習」「未来道場」における鍛錬修養

1. 早朝自主研修会の始動

信州大学教育学部には、長野県内はもとより全国各地から教職を志す有為な人材が集まっている。人間の教育という至難の事業に、我が生涯を捧げようという使命感に燃えた学生と共に、切磋琢磨できることはこの上ない喜びである。そして、「先生」を養成するという重大な使命を担っていることに襟を正し、誠心誠意、学生の成長のために尽くしていきたいと願っている。筆者にはどうにもがまんがならない不満が一つある。それは、学生が掃除をしないことである。この思いを渡邊伸教授にぶつけた。キャンパスのゴミを拾いながら歩いておられる渡邊教授の後姿を筆者は何度も目にしてきたからである。教育学部にはたくさんの授業科目があるが、掃除について教えたり実践したりする科目は一つとしてない。そこで、掃除をカリキュラムに取り入れた教員養成を実践しようと、2人は意気投合した。

教職への強い志を抱いた学生が、実践的指導力（人間力）を錬磨することを目的として、早朝自主研修会「現代教師学演習」（8:00～8:50）を始動した。それは平成10年（1998）12月18日のことであった。会場として長野県警察本部体育館「武徳殿」をお借りすることができた。大正元年（1912）に建てられたこの武徳殿は、威厳と風格があり、これからの我が国の教育を担って立つ学生が、丹田を鍛え、師魂を養うのに最もふさわしい場所であった。

武徳殿をお借りした理由は、これから教師として巣立つ若者に武道の心得を授けたかったことと、教育者としての人格を形成する上で、例え警察官が見ていようといまいと、天に差じることのない丈夫に大成していただきたかったからである。この微志を了とされ即座に使用許可を与えて下さった長野県警察本部に対し、深く敬意を表するものである。武徳殿は平成12年（2000）7月31日の通算240回目の稽古までお借りし、その後は教育学部の武道場や体育館に稽古場所を移して今日に至っている。

2. 早朝自主研修会に参加した学生・教員の人数と研修内容

学生・教員の参加者数と本学部の教員就職率

	卒業年度（西暦）	研修会の開催回数	参加者数	本学部の教員就職率
1	平成10（1998）	第1回～第39回	27人	48.5%
2	平成11（1999）	第40回～第187回	124人	51.4%
3	平成12（2000）	第188回～第336回	95人	57.5%
4	平成13（2001）	第337回～第473回	109人	69.2%
5	平成14（2002）	第474回～第606回	96人	全国第1位 69.2%
6	平成15（2003）	第607回～第737回	97人	64.5%
7	平成16（2004）	第738回～第865回	146人	68.20%
8	平成17（2005）	第866回～第986回	149人	62.05%
9	平成18（2006）	第987回～第995回	10人	63.45%
10	平成19（2007）	休講		62.61%
11	平成20（2008）	第996回～第1,117回	162人	63.68%
12	平成21（2009）	第1,118回～第1,203回	70人	69.29%
13	平成22（2010）	第1,204回～第1,244回	63人	68.42%
14	平成23（2011）	第1,245回～第1,264回	99人	65.33%
15	平成24（2012）	第1,265回～第1,367回	60人	62.5%
16	平成25（2013）	第1,368回～第1,400回	72人	未定

平成10年12月18日の第1回から平成25年5月23日の第1,400回までの学生と教員の参加者数は、表の通りであった。学生の自主的参加があっはじめて成り立つこの研修会は、寒稽古においても暑中稽古においても、1回として学生が一人も来なかったという日はなかった。まさに師弟同行・師弟共育を実践する道場であった。

研修内容は、道場の自問清掃、準備体操、呼吸法、礼法、受け身、マット運動、講話、集団討議、面接、

200字小論文などである。夏にはこの他にキャンパスのゴミ拾いや草取りなどの作業も行われる。さらに鉄棒、跳び箱、バスケットボール、バレーボール、表現活動、大縄跳びの練習も加わる。これらの体育実技の後に教科専門教養と教職専門教養の学習会が開かれている。

3. 「未来道場」の哲学

16年間1,400回以上にわたり早朝自主研修会を愚直に実践している筆者の教育哲学、信念はおおよそ次のようなものである。

信州教育の名は死語になったという見方もあるが、信州教育は死なずという実証を示したいというのが、不思議な縁あって信州大学教育学部に赴任した当初の願いであり、今も変わらぬ筆者の畢生の誓願である。信州教育の持つ精神性、哲学性を現代に蘇生させ、肚のできた教育者を全国に輩出することを「未来道場」の使命としている。人類の教師の一人とされる釈尊は、万人に「仏性」という無限の可能性が秘められていることを開示した。自己の内に秘められた無限の可能性の開花を目指して、師弟が同行の汗を流し、子どもたちの喜びを我が喜びとして、師弟が共育の道を歩むところに人間教育の原点があると信ずる。この人間教育の道は、大乘仏教が示している菩薩道の実践に通ずるものであるといえよう。

21世紀の我が国は、かつての「軍事大国」、「経済大国」の反省の上に、今、「生きる力」に満ちた「人道大国」を目ざして進んでいる。日本一のアルプス連峰と日本一の信濃川を擁する信州の清き風土から、古来幾多の一流人物が輩出した。信州大学に集った我らも道一筋に学び、先人の跡に続こうではないか。信州の地より今再び学生パワーによる教育興隆の波を起こそうではないか！

「我が友よ、事を為すは人にあり。されど、事の成るは天に在り。朝夕祈れ、我が友よ」 (木下道雄)
 「夫レ教育ハ 建国ノ基礎ニシテ、師弟ノ和塾ハ 育英ノ大本タリ」 第五高等学校教授・夏目金之助、
 明治30年(1897)10月10日。 (熊本大学校内の石碑による)

4. 稽古「百回賞」、「三十回賞」の受賞者

早朝稽古に精勤した学生には「三十回賞」、「百回賞」が授与される。「百回賞」の文面の例として次のようなものがある。

「先哲いわく『常に進みつつある者のみ、人の師たる資格あり』と。あなたは、教育者としての生涯に誓願を立て、学生時代に早朝の道場に百回を超えて通われ、心身の錬磨に勇猛精進されました。よってここに、その堅忍不拔の精神と尊い努力を称え、百回賞を贈ります。」

また「三十回賞」の文面の例としては、次のようなものがある。

「玉川学園の創立者小原国芳のモットーは、人生の最も苦しいいやな、辛い損な場面を真っ先に微笑みを以って担当せよであった。あなたは、朝早く道場に駆けつけ、真っ先に雑巾がけに取り組み、環境を整えられました。よってここに、その尊い精神を称え、三十回賞を贈ります。」

これまでに受賞された方々は次の通りである。

期	卒業年度	「百回賞」・「三十回賞」の受賞者
6期	平成11 (1999)	〔百回賞〕：土屋明子(障)・山王隆晃(工学)・島崎真由美(英)・相場真(技) 〔三十回賞〕：藤澤雅(技・院)・池田裕美(家)・吉野美里(家)・井戸陽子(家)・田口あゆみ(家)・田中崇(社)・増野隆(社)・春原麗子(障)・矢沢恵美子(国理)・白井敬(国)・竹生恵子(家)・庄司昭子(社)・川上圭子(美・院)・藤森香奈子(幼)・武末裕子(美)・長田雅子(教)・斉藤あさ美(社)・斉藤あゆ美(幼)・押澤由記(家)・本山貴雅(社)
7期	平成12 (2000)	〔百回賞〕：西田智明(数)・海沼正典(内留) 〔三十回賞〕：井浦徹(体)・中澤紗江子(美)・寺島友香里(理)・濱美涼(障)・木村菊枝(家)・伊藤溶章(社)・笹崎典子(数)・関谷亜紀子(数)・林一真(家)・曾我さやか(家)・澤田奈奈(理)・塩沢臣城(技)
8期	平成13 (2001)	〔百回賞〕：長澤ひとみ(理)・中澤典子(国)・岡角孝之(数)・志村昌之(内留) 〔三十回賞〕：三石晴子(国)・城本貴子(体)・正村真一(社)・榊田香織(理)・宇佐美拓(技)・市川ひとみ(体)・宮原新(技)・佐久間恵(国)・河田泰志(体)・馬場雄一(技)・加藤千代(家)・欽塚隆直(体)・仲井真梨(技)・原隆弘(理)・竹田理恵(生ス)・神谷林実(数)・永岡えりか(数)・川島ひろみ(数)・鹿野耕平(美)・井出幸輔(数)
9期	平成14 (2002)	〔百回賞〕：小島真知子(地)・岡部 桂子(実)・土田みどり(社) 〔三十回賞〕：中野考之(体)・小川浩紀貴(体)・富山裕子(障)・清水美香(実)・中村博一(体)・片瀬亜希子(体)・矢野口夏実(障)・早川葉子(障)・斎藤あかね(音)・太滝あつ子(国)・居澤結美(社)・岡村真子(障)・白崎真希子(理)・那須良寛(実)・小林久美子(社)・清水雅子(障)・大曾雪絵(音)・伊藤健生(障)・高野健吾(体)・鹿子木愛(実)・市川美和子(数)・村木知子(理)・児山尚子(社)・三ツ橋有香(音)・角直子(実)・横山大祐(国)・広瀬あや(社)・井出貴博(音)・下條正紀(体)・太田智子(音)・北城牧絵(理)

10期	平成15 (2003)	〈百回賞〉：柿沼佑樹(数)・中山綾香(英)・山崎 哲(数) 〈三十回賞〉：森田美保(体)・笹崎典子(数)・藤森美紀(技)・山本公三(実)・出沢綾子(家)・ 小山恵美(社)・瀧澤貴(数)・原山美樹(家)・矢口紘史(理)・岩沢佑樹(数)・横井秀太郎(家)・ 小野直也(体)・高垣文緒(家)・今村杏子(数)・中島紀子(心)・中村健太郎(体)・三浦聖 子(体)・関谷北斗(体)・今井香世子(体)・宮田奈緒子(体)・坪野さやか(社)・高橋和之 (数)・藤井涼子(英)・加藤充(体)・池上達也(体)・須長優(体)・尾張早苗(体)・花村江 里子(数)・岡田洋平(理)・酒井佳代(障)・比嘉頼子(障)・小川教嗣(数)・岩脇悟子(理)・ 高橋竜太(心)・小島澄(障)・佐藤睦恵(家)・斉藤崇(数)
11期	平成16 (2004)	〈百回賞〉：白井克典(院)・青木真由子(院) 〈三十回賞〉：五味潤嘉(社)・木下恵(言)・草間信一(院)・石関千絵(社)・山浦伸吾(理)・ 藤田優子(家)・張敬(教)・松瀬裕昭(理)・小谷和也(理)・宮下恵実子(理)・塩入亜岐子 (芸)・吉田恵子(理)・北村萌(実)・小林直木(理)・渡辺久士(障)・鷺津智子(実)・深 瀬人寛(障)・茂野悌大(理)・進士綾乃(生)・北川伸尚(障)・矢高沙織(理)・吉田篤(理)・ 宇良知子(生)・沖田幸子(生)・仲神勝彦(理)・芋川裕子(家)・青木舞(生)・田中千尋(教)・ 赤塩佳織(理)・白井綾子(言)・逢坂美雪(理)・荻原美樹(言)・前島奈津子(理)・金田み ゆき(言)・笠原千絵(教)・松本直樹(理)・高橋久恵(教)・高橋学(理)・石井郁江(理)・ 長野幸恵(生)・林正幹(言)・菊池こずえ(言)・宮下恵実子(理)・関口紗織(理)・三浦知 子(教)・天保奈津子(言)・若井巳奈(教)・丸山大輔(社)・武井恒(障)
12期	平成17 (2005)	〈百回賞〉：牛丸光恵(数) 〈三十回賞〉：酒井直彦(院)・春原雅哉(生)・戸塚拓也(国)・瀧澤輝佳(社)・鎌先みつ子 (国)・松島裕(理)・富岡頌子(生)・太田智也(理)・上條智絵(理)・近藤和絵(英)・野 木村誠(理)・麻蒔ひろみ(理)・松本好平(社)・篠原弥生(技)・卯之原利幸(数)・市川紗 代(生)・福田健(数)・吉村真司(実)・日吉景子(社)・小山拓(地)・久保敦史(地)・五 味敬将(数)・中村裕佳子(英)・永田佳奈子(理)・矢野口まどか(英)・大川江理奈(生)・ 辻徹晴(数)・原絵里(教)・岡田悟(教)・寺島純一(教)
13期 平成18(2006) 休講 / 14期 平成19(2007) 休講		
15期	平成20 (2008)	〈百回賞〉：該当者なし 〈三十回賞〉：藤岡泰裕(実)・細田有希(生)・鈴木亮子(生)・日向香菜(音)・野口洋憲(社)・ 比留間淳也(理)・松本明人(理)・清水麻紀(音)・西川弥恵(美)
16期	平成21 (2009)	〈百回賞〉：該当者なし 〈三十回賞〉：清水葵(音)・町村咲乃(音)・三浦優子(社)・小田切洋輔(社)・大橋正章(社)・ 正木優子(社)・金子寿子(実)
17期	平成22 (2010)	〈百回賞〉：該当者なし 〈三十回賞〉：島田英一郎(数)・大宮みどり(地)・黒澤春香(技)・石原加奈子(実)・土屋 智史(実)・藤田裕介(社)・市川香織(実)・近藤純江(実)・高池亮輔(体)・中村恵理(音)・ 飯島理沙(理)・早川和弘(理)・東野千尋(音)・田畑隆太郎(実)
18期	平成23 (2011)	〈百回賞〉：該当者なし 〈三十回賞〉：服部直幸(理)・金子竜太郎(理)・田澤岳哉(理)・北原英美理(社)・入澤清 里(実)・今川晴香(特)・金箱仁志(理)・三石梨沙(理)・安積七生(美)・片原範子(数)・ 土屋克明(理)・太田香子(社)・峯村和裕(理)・野本竜馬(体)
19期	平成24 (2012)	〈百回賞〉：該当者なし 〈三十回賞〉：田中沙結美(言)・丹羽由佳(実)・高坂泉(生)・山田裕利(体)・北沢瑞樹(数)・ 内川舜也(実)・田窪絵理香(言)
20期	平成25 (2013)	〈百回賞〉：該当者なし 〈三十回賞〉：栗林詩菜(美)・宮田巴都樹(特支)・百瀬あきほ(実)・織田裕二(技)・杣木 亮太(理)・手塚亮介(理)・齋藤智也(理)・井上甲斐(美)

5. 「学生時代の「現代教師学演習」で啓発された使命感」 井浦 徹(保体・第7期)

大学生活 ① 長野県で小学校教師になるという希望を持って、信州大学教育学部に入学した。父親が体育教師だったことや関わっていただいた先生方に対して肯定的な印象をもっていただいていたことが教師という道を選んだ要因だと思う。② 人間的魅力のある教師になりたいと考えていた。その当時は、人間的魅力とは自分の知らない世界を知っている人、自分を刺激してくれる人というイメージで捉えていた。だから、少しでもそのような人間像に近づくように、大学ではいろいろなことにチャレンジしたいと思っていた。

教員採用試験 父親から「本気で教員採用試験を受けること」を条件に、大学院受験を認めてもらった。「本気で」の言葉の中に、自分の中の弱点である継続性を問われた気がした。自分が机に向かって、継続性をもって取り組む姿はイメージできなかつた。何かしなければ、どこかに出なければという気持ちがあった。そうしたときに、掲示板に張り出されている「現代教師学演習」が目に入った。土井先生とは面識がなかったが、渡邊伸先生とは雑談の中でこの演習のことが話題になっていたので気になっていた。そこで、「本気」を示すために、門をたたいてみようと思った。

早朝自主研修会「現代教師学演習」への参加 朝8時。千曲市から車で通っていたため7時に家を出た。知り合いもいなく、古びた道場に不安を抱き、門をたたいた。「初めて参加したいのですが」。土井先生が

笑顔で「どうぞ、どうぞ、一緒にやりましょう」と迎え入れてくれてホッとした。周りを見渡すと渡邊伸先生もいた。さらに、安心した。さっそく裸足になり雑巾がけをした。何年ぶりだろう。中学以来なのでかなりきつかったが、周りの人たちが黙々とやっている姿に驚き、苦しんでいる自分に劣等感を感じた。さらに、1分間スピーチで周りの人が端的に話すことに驚き、何を話そうか混乱している自分に劣等感を感じた。そうした「足りない自分」を見つけ、「自分が伸びる」場所になると思い続けようと思決心した。

「現代教師学演習」で啓発された使命感 ① 教員採用試験に向けて、自分自身が「本気で」やったと思えるように、「現代教師学演習」を休まずに続けようと思った。雑巾がけがつからなくなったが、だんだんと畳と自分の世界が見えるようになった。そして、少しのほこりや端や隅のかけ残しも気になるようになり、それをよしとしない自分が形成されていったように思う。それは、一人ではできなかったと思う。周りの人が黙々とやっている姿に啓発され、そうならない自分に疑問を感じ、そうなりたいと願い、自分と向き合い、近づいていったと思う。② 1分間スピーチでも、同じようにそうならない自分を発見することができた。端的明瞭に話す内容を聞いたり、同じ話題でも見る角度や感じ方が違ったりすることが刺激的で、おもしろいと感じた。一方的な見方や感じ方に陥りやすい自分を見つめ直させてくれることが多かった。体育科にいと、ノリやウケで交友関係をつないでいるように思っていた。だから、なおさら他学科の人の話に「なるほど」「そういう考え方もあるのか」と思うことが多かった。人の話を聞いて「なるほど」と思えることがたくさんあったので、自然と「前のめり」に聞くようになっていた。「聞く」ことが自分を高めることにつながると感じるようになった。「聞く価値」を感じるようになっていった。また、自分も「言う」ことが迫られるので、考えを練り上げることができるようになったと思う。(千曲市立東小学校)

6. 「教職 10 年目に想う「現代教師学演習」の意義」 柿沼佑樹 (数学・第 10 期)

「現代教師学演習」で培われた“ずく”の精神 私は、信州大学教育学部在学時に、「現代教師学演習」という早朝自主研修会に出会った。出席し始めたのは大学 3 年次。教員採用試験突破に向け、周囲の同期よりも早く動き出そうと、先輩方が多い中、出席を決意した。研修会の開始は朝 8 時。朝早い研修会も、教育現場では当たり前と考え、1 度も遅れることなく参加した。1 時間弱の稽古であったが、朝清掃から準備体操、マット運動、合気道、グループ討議など、多種多様な実践を通して「教育力」を育んできた。当時は 30 回出席で単位がもらえるというものであり、30 回を過ぎると出席がまばらになった。私も出席が 30 回を超え、一時は参加をやめようかと考えたが、単位を取るという目的ではなく、あくまでもその先の教員採用試験合格に向けて、そして、その先の教育現場で生かすために、参加を続けた。私が採用試験に合格できたのは、100 回を超える出席で培った粘り強く頑張る“ずく”の精神のおかげであると考え。

教職 10 年目になっても生かされる経験 私は、今年度で教職生活 10 年目を迎える。10 年目になった現在でも、定時よりも早く出勤でき、1 度も遅刻せずに教職を続けることができるのは、まさに早朝稽古のおかげである。また、昔から口下手だった私は、この早朝稽古における様々なテーマを与えられての即座のグループ討議のおかげで、教養を高め、場を問わずに臆することなく話すことができるようになった。さらに、早朝自主研修会を通して自分の専門以外の分野に触れることができ、教育現場に出てからも様々な困難や問題点、研究課題などに、より柔軟に対応することができるようになった。私は、算数・数学が専門であるが、現在は NIE(新聞活用教育) に携わり、児童とともに郷土飯山市を紹介する新聞製作活動に取り組んでいる。また、算数・数学分野に新聞活用教育の活路を見出したいと考えて、研究活動に携わっている。「教育の引き出し」を増やすことの大切さを日々学んでいる。

教職を目指す大学生に伝えたいこと—勇気を出して一步を踏み出せ— 教職を目指す大学生に伝えたいことがある。それは、「取捨選択の教育」をしてはいけないということである。教育現場に立てば、教師は、あらゆる面で、人間の鏡、手本とならなければならない。あれかこれかではなく、すべてを学んでいかなければならないのである。子どもを前にして、これまでやったことがないで「できません」とは言えないのである。たとえ未熟でも何とかできるように努力して、子どもたちの前に立たねばならないのである。この自分に対峙する厳しさを放棄し、「現状維持」を決め込むのはもはや退化と同じである。掛け替え

のない学生時代に悔いを残さず、きちんとした納得のいく結果を残せるように、勇気を出して一步を踏み出し、様々な機会（CHANCE）に踏み込んでほしい。私にとって、その機会（CHANCE）を与えてくれたのが、「現代教師学演習」という早朝の雑巾がけであった。（飯山市立秋津小学校）

7. 「未来道場への想い」 中川弘泰

今、未来道場で将来教師をめざす若人とともに私自身学ばせてもらって感謝をしています。教師といえども一社会人。時を守り、礼を尽くし、場にあった行動がとれなくてはなりません。皆さんの朝から心身を鍛え学びの一日に向かう姿は、常に高みをめざす人としての美しさがにじみ出ています。そしてただ単に学ぶのではなく、学び続けていくことにより、常識はもちろんのこと、良識を、さらに見識をもつことができます。教師は、「人を創る」本当にやりがいのある職業です。是非、確かな専門性と豊かな人間性とを身につけて、よき教師になってほしいと思います。厳しさの中に温かさがあふれる教育ができるように、こころメガネをしっかりとかけて、本質を失わないようにと願っています。（元長野市立後町小学校長）

資 料

I. 「YOU 遊」を報じた新聞記事の見出し

年月日	新聞名等	大見出し・中見出し・小見出し
1994.8.22	信濃毎日	Web上では非公開
1994.9.11	信濃毎日	
1994.9.28	讀賣	
1994.9.28	毎日	
1994.10.1	朝日	
1994.10.1	長野県民	
1994.10.5	信濃毎日	
1994.10.9	讀賣	
1994.10.24	文 教*	
1994.11.1	広報ながの	
1994.11.10	日本経済	
1994.11.21	中日	
1994.12.3	朝日	
1995.1.12	教育	
1995.4.19	日本経済	
1995.4.22	週刊長野	
1995.5.28	讀賣	
1995.5.28	信濃毎日	
1995.5.28	中日	
1995.7.21	信濃毎日	
1995.9.10	信濃毎日	
1995.9.10	進研ニュース VIEW21*	
1995.10.17	信濃毎日	
1995.10.29	市民タイムス	
1995.11.7	まつもと*	
1995.11.16	信濃毎日	
1995.11.30	教育	
1995.12.4	信濃毎日	
1996.1.11	北日本	
1996.1.11	中国	
1996.1.11	熊本日日	
1996.1.12	福島民友	
1996.1.21	神戸	
1996.2.3	日本経済	
1996.2.26	教育	
1996.3.11	北國	
1996.3.11	信濃毎日	
1996.3.11	日本経済	
1996.3.11	東京	
1996.3.11	京都	
1996.3.12	産経	

Web上では非公開

1996.3.16	朝日
1996.3.23	日本教育
1996.5.26	朝日
1996.5.26	産経
1996.5.26	毎日
1996.5.26	讀賣
1996.5.26	中日
1996.5.26	信濃毎日
1996.7.1	トランタン*
1996.9.12	まつもと*
1996.9.15	信濃毎日
1996.9.17	長野市民
1996.10.13	信濃毎日
1996.10.13	信濃毎日
1996.10.13	市民タイムス
1996.10.19	まつもと
1996.11.9	中日
1997.4.23	新潟日報
1997.5.11	日本経済
1997.5.25	市民タイムス
1997.5.25	信濃毎日
1997.5.29	まつもと*
1997.5.31	市民タイムス
1997.6.13	信濃毎日
1997.10.19	まつもと*
1997.11.1	日本教育
1997.11.12	信濃毎日
1997.11.12	朝日
1997.11.25	まつもと*
1998.2.21	毎日
1998.4.4	日本教育
1998.5.28	信濃毎日
1998.5.30	産経
1998.6.27	朝日
1998.7.27	信濃毎日
1998.8.17	信濃毎日
1998.10.27	長野市民
1998.11.2	産経
1998.11.29	産経
1999.5.27	信濃毎日
1999.5.29	長野市民
1999.7.7	信濃毎日
1999.8.11	信濃毎日
1999.11.8	産経
1999.11.14	産経
1999.11.14	産経

1999.12.12	産経
2000.4.6	日本農業
2000.4.16	産経
2000.5.10	市民タイムス
2000.5.28	産経
2000.5.31	朝日
2000.5.31	日本農業
2000.6.11	讀賣
2000.6.14	日本農業
2000.6.24	長野市民
2000.7.8	週刊長野
2000.7.24	産経
2000.7.26	産経
2000.9.4	朝日
2000.10.2	信濃毎日
2000.10.4	日本農業
2000.11.6	中日
2000.11.14	信濃毎日
2000.12.16	長野市民
2000.12.28	信濃毎日
2001.1.5	長野県民
2001.1.20	毎日
2001.5.30	日本経済
2001.6.3	朝日
2001.6.9	長野市民
2001.7.24	信濃毎日
2001.8.11	信濃毎日
2001.8.18	長野市民
2001.9.17	信濃毎日
2001.10.9	長野市民
2001.10.14	朝日
2001.12.15	長野市民
2001.12.18	長野市民
2002.1.1	週刊長野
2002.3.2	毎日
2002.3.16	週刊長野
2002.3.23	週刊長野
2002.4.23	中日
2002.4.29	信濃毎日
2002.5.4	毎日
2002.5.20	信濃毎日
2002.6.5	日本農業
2002.6.11	長野市民
2002.8.8	中日
2002.8.10	日本農業
2002.8.20	長野市民

2002.9.7	週刊長野
2002.9.26	長野市民
2002.10.13	信濃毎日
2002.10.16	日本農業
2002.10.17	信濃毎日
2003.3.5	上越タイムス
2003.3.8	新潟日報
2003.3.22	週刊長野
2003.6.11	日本農業
2003.10.8	日本農業
2003.12.6	信濃毎日
2003.12.13	讀賣
2003.12.18	信濃毎日
2003.12.20	週刊長野
2003.12.23	長野市民
2004.1.19	文教*
2004.1.23	宮崎日日
2004.2.5	讀賣
2004.3.11	教育
2004.5.27	信大NOW
2004.10.10	信濃毎日
2004.11.25	信大NOW
2005.2.17	信濃毎日
2005.3.19	信濃毎日
2005.3.26	長野市民
2005.5.31	朝日
2005.6.11	朝日
2005.6.23	市民タイムス
2005.6.24	信濃毎日
2005.6.29	讀賣
2008.5.31	信濃毎日
2008.6.18	信濃毎日
2008.12.12	日本農業
2009.1.24	信濃毎日 (全面広告)
2010.6.1	信濃毎日
2011.2.21	信濃毎日
2011.10.15	週刊長野
2012.4.22	日本農業
2012.6.4	日本教育
2012.6.25	教育
2012.7.31	信大NOW
2013.4.7	朝日
2013.4.30	長野市民

2. 「YOU 遊」実践記録〈第1集～第19集〉の総目次

平成6年度 第一期「信大YOU遊サタデー」の実践

まえがき 附属教育実践研究指導センター長 漆戸邦夫

1. 「信大YOU遊サタデー」のねらいと実践経過

- (1) 「サタデー」の概要 センター専任教員 土井 進
- (2) サタデーが目指すもの 実行委員長 山口直行 (数学4)
- (3) 第1期YOU遊サタデーをつくる 事務局長 林 向達 (教育4)

2. 体験的学習の指導案と実践の考察

- (1) 宇宙生物「スライム」をつくらう! 田中 忍 (理科3)
- (2) たのしいえいごクラブ 渡辺一博 (英語3)
- (3) 小麦粉ねんど・わりばし鉄砲 坂本真哉 (理科3) 奥原克水 (国3)
- (4) やさしい木工教室 片桐 宏 (技術3)
- (5) お弁当箱の袋づくり 横川瑞恵 (家庭4)
- (6) ビデオカメラに挑戦 筒井和之 (美術4)
- (7) けん玉で遊ぼう 山口直行 (数学4)
- (8) 自分のハンコを作ろうか 喜多篤史 (社会4)
- (9) おやつパラダイス① 佐藤恵理・井上清美 (家庭3)
- (10) おやつパラダイス② 吉田巨志 (特殊3)
- (11) 消しゴムをつくらう 田中 忍 (理科3)
- (12) 自分の音楽をつくらう 佐々木美紀子・花岡正次 (国3)
- (13) 自転車大分解 小倉 敬 (大学院1)
- (14) ポストカード作り 中村典子・澤田良子 (美術4)
- (15) 教育学部ってどんなところ 宮澤弘至 (大学院1)
- (16) クリスマスカード作り 宮尾由美 (音楽4)
- (17) はりがね工房 小倉 敬 (大学院1)
- (18) 壁画教室 竹川紀幸 (美術3)
- (19) みんなで書道をやろうか 岡野啓 (国4)・松橋博行 (国3)
- (20) パソコンで遊ぼう 山崎重幸 (美術3)
- (21) ソフトボール天国 林 哲也 (理科3)
- (22) 楽しく上手に写真を撮ろう 山崎重幸 (美術3)

3. 参加した子どもたちの感想

平成7年度 第二期「信大YOU遊サタデー」の実践

まえがき 附属教育実践研究指導センター長 漆戸邦夫/信州大学学長

小川秋實/財長野県テクノハイランド開発機構理事長 小林春男

1. 第二期「信大YOU遊サタデー」の歩み

- (1) 「サタデー」の概要 センター専任教員 土井 進
- (2) 「サタデー」の目指すもの 実行委員長 渡辺一博
- (3) 人と人とのつながりでできたこと 副実行委員長 片桐 宏
- (4) さらなる前進のために 事務局 田中清一

2. 出会いと挑戦の記録 - 第二期「サタデー」の実践 -

- くもの作り講座> (1) 宇宙生物「スライム」をつくらう 林康成・今井健文 (理科3) / (2) オリジナルキーホルダーをつくらう 田中忍 (理科4) / (3) 小麦粉ねんど 坂本真哉 (理科4) / (4・5) 竹とんぼづくり・しめなわをつくらう 吉沢正彦 (社4) / (6) やさしい木工教室 (本立てづくり) 片桐 宏 (技術4) / (7) 紙ってすごい (ブローチ作り) 橋詰並子 (英語4) / (8) ペーパーグライダーをとばそう 丹羽則之 (技術4) / (9) フェルトで作ろう アニマルマスコット 河南さおり (家庭4) / (10) 紙ひもでかごをつくらう 北村史 (社会4) / (11) アルミのネームプレートを作ろう 山崎重幸 (美術4) / (12) 草木染のハンカチづくり 池田安美 (家庭4) / (13) 自然と遊ぼう 笹舟づくり 新井清規 (理科4) / (14) お手玉を作って遊ぼう 泉 貴子 (音楽3) / (15) はりがね工房 小倉 敬 (大学院2) / (16) オリジナルキャンドルづくり 佐野徳子 (幼教4)
- <交流体験講座> (17) 教育学部ってどんなところ 宮澤弘至 (大学院2) / (18) おしゃべり教育学 林 向達 (大学院1) / (19) 外国人と世界の遊びで楽しもう・(20) たのしい英語クラブ 渡辺一博 (英語4) / (21) お父さん講座 ① 土井 進教官 (センター) / (22)

- お父さん講座 ② 藤沢謙一郎 教官 (保体) / (23) インターネット入門 東原義訓 教官 (センター) / (24) 「学校週五日制」フォーラム 角田正和 (社会4) / (25) 社会科を10倍楽しくする方法 山名博夫 (大学院2)・小林真樹 (社会4) / (26) 刃物の研ぎ方教室 吉沢嘉寿 (吉沢学校) <表現講座> (27) ギターをやるうジャー 野本 毅 (英語4) / (28) 演劇しましよーグリム童話一 (29) みんなで楽しい紙しばいを作ろうぜ! 奥原克水 (国語4) / (30) かこう・書こう・描こう 塩刈有紀 (国語3) / (31) 新スターへの道 小谷将紀 (社会4) / (32) 秋のどんぐりアート 坂井雅子・雨宮なるみ (幼教4) / (33) リズムで楽しく遊ぼう 佐藤 啓・中村 薫 (音楽4) / (34) イラスト講座 山崎重幸 (美術4) / (35) 鶴絵作品をつくらう 渡辺一博 (英語4) <料理講座> (36) アイスクリームを作ろう 下沢栄子 (家庭4) / (37) おやつパラダイス(クッキー) 井上晴美・小野雅子 (家庭4) / (38) おやつパラダイス(スイート) 加納文香 (家庭3) / (39) そば作り名人になろう 池田貴信 (大学院1) <実験講座> (40) 不思議な化学実験をやってみよう 漆戸邦夫教官(理科) / (41) 金属の組織を見てみよう 浅輪光男教官・小林大至 (技4) / (42) マウンテンバイクを整備しよう 松永泰幸 (数学4) <運動講座> (43) 磁石で探検しよう (宝探し) 丹羽則之 (技術4) / (44) 大なわとび 浦山洋美 (体育4) / (45) トランポリン 金瀬裕彦 (体育4) / (46) アニマルダンス 萩原まゆみ (音楽4) / (47) 親子でバドミントン 小坂 和 (社会4)

3. 「信大YOU遊サタデー」の実像に迫る - 調査 -

- (1) 参加者から見た「YOU遊サタデー」 角田正和 (社会4)
- (2) キャプテン・スタッフの目から見た「サタデー」 奥原克水
- (3) 学生の教材観・教育実習観 土井 進 教官 (センター)
- (4) 子ども達の見た「YOU遊サタデー」
- (5) YOU遊サタデーを思う 林 向達 (大学院1)

平成8年度 第三期「信大YOU遊サタデー」の実践

まえがき 附属教育実践研究指導センター長 漆戸邦夫

1. 第三期「信大YOU遊サタデー」の歩み

- (1) 「信大YOU遊サタデー」の実施要項 / (2) 第三期の特徴と今後の展望 土井 進 / (3) キャプテン・スタッフ組織一覽 / (4) 言葉にならない想いを込めて 実行委員長 加納文香 / (5) 人と人とのつながりの中で 事務局 野本聡 / (6) 「ゆうサタ」に想いを馳せて 渡辺一博 (英語4)

2. 出会いと挑戦の記録 - 第三期の実践 -

(1) 第8回信大YOU遊サタデー

- ① プロへの一歩! イラスト・漫画体験 山谷早苗・黒沢祐子・中島真由美 (幼教4) / ② 不思議なしおり作り 野本 聡 (理科4) / ③ 何でも研げちゃう! 刃物研ぎ齋藤かおる (家庭4) / ④ おやつパラダイス〜クッキー〜 小林理英 (家庭4) / ⑤ カンカンアイスクリームをつくらう 加納文香 (家庭4) / ⑥ 宇宙生物スラスラスライム 千葉綾子 (理科3) / ⑦ 学校では教えてくれないマル秘化学実験 安喰和之・長谷川直紀・桃澤 啓・宮沢 元 (理科3) / ⑧ かわいいビーズ玉コレクション 美奈津礼奈 (数学3) / ⑨ いじめフォーラム'96 渡辺一博・木戸口あい (院2) / ⑩ お父さんもキャプテンだ! 竹下雅道 (数学3) / ⑪ ガリガリ竹とんぼ 丸山和利 (理科4) / ⑫ 続・教育学部ってどんなところ 片桐 宏 (大学院1) / ⑬ 小麦粉粘土 坂本真哉 (大学院1)

(2) 第9回信大YOU遊サタデー

- ① プロへの一歩! イラスト・漫画体験 山谷早苗・黒沢祐子・中島真由美 (幼教4) / ② ネイチャーゲーム 小池祐介 (実践3) / ③ うちわで書 塩刈有紀 (国語4) / ④ でっかいシャボン玉をつくらう 臣川元寛 (障害4) / ⑤ お父さんお母さん源氏物語を読みましよう 清水由美 (国語3) / ⑥ 算数・数学の家庭教育 相沢大司郎 (数学4) / ⑦ 英語でクッキング 渡辺一博 (英語4) / ⑧ 絵本をつく

ろう 池上永利子(国語3) / ⑨ 家庭教育フォーラム “お父さん、出番ですよ” 知野真里子(家庭4)・長島多賀子(幼教4) / ⑩ おしゃべり教育学 林 向達(名大院2) / ⑪ とびだすビックリカードをつくろう! 芦田恵・清水あかね(数学4) / ⑫ おはじき・あやとり・おにごっこ 秋山 薫・竹田みどり(心理3) / ⑬ 宇宙生物スラスラタイム 宮沢 元(理科3) / ⑭ 万華鏡をつくろう 今井健文(理科4)

(3) 第10回信大YOU遊サタデー

① たのしく作るうさぎご作り 榎山いづみ(理科4) / ② プロへの一歩!? イラスト・漫画体験パワーアップバージョン 山谷早苗・黒沢祐子・中島真由美(幼教4) / ③ 小麦粉粘土 サラサドロドロカチカチ 坂本真哉(大学院1)・小海 到(医学6) / ④ でっかいでっかいシャボン玉をつくろう 宮本愛(音楽3) / ⑤ 学校では教えてくれない化学実験 長谷川直紀(理科3) / ⑥ 牛乳パックからはがきを作ろう 佐々木美恵(家庭3) / ⑦ 親子でサッカー 柳沢勇志(数学4) / ⑧ とびだす紙しばい 桐山 潤(国語3) / ⑨ ドラム、パーカッション入門 小林理恵(理科4)・奥井一良(理科1) / ⑩ 宇宙生物スラスラタイム 安喰和之(理科3)・田淵久晃(理科1) / ⑪ ペーパーグライダーをとばそう 中村典史(社会3) / ⑫ 地図で旅行しよう 登坂武人・小宮山博(社会2) / ⑬ おどってあそぼ! 1・2ダンス中村愛・尾島久美(障2) / ⑭ ペットボトルロケット 今井健文(理科4)・松下貴晴(数学1)

3. YOU遊サタデーに関する意識調査 臣川元寛(障4)

4. 感想文 5. 資料

本部スタッフの仕事 高橋真子(理科4) ① 受付係:千葉 綾子(理3) / ② 駐車場係:宮沢 元(理3) / ③ 開閉会式係:小林理恵(家4) / ④ Cooking 隊:斎藤おたる(家4) / ⑤ 写真記録係:野本 聡(理4) / ⑥ 前日設営係:今井健文(理4) / ⑦ 備品管理係:安喰和之(理3) / ⑧ 外報活動:野本 聡(理4)

平成9年度 第四期「信大YOU遊サタデー」の実践

まえがき 藤沢謙一郎 附属教育実践研究指導センター長

第四期概要

○ YOU遊サタデーの足跡('97) 林 向達 第1期事務局長 / ○ YOU遊サタデーとは何ぞや 中村典史 第4期実行委員長 / ○ 学生の自発・能動の取り組みによる力量形成 土井 進

◎ 講座紹介・HOW TO サタデー・講座記録

○ 物作り講座キャプテン:・ブーメランを作ろう! 松元 徹(保4) / ・ブーメランを飛ばそう 柚木 亘(理4) / ・楽しく作るうさぎご作り 澤田奈奈(理3) / ・宇宙生物スラスラタイム 浅沼康理(数4) / ・宇宙からやって来たSura Sura スライムくん 真島紀章(数3) / ・スラスラタイム 吉沢麻衣子(国3) / ・ペーパーグライダーをとばそう 中村典史(社4) / ・自分で紙を作ってみよう・いい紙つくろう! 世界でたった1枚の紙を。真島紀章・市川大輔(数3) / ・ステンシルって何? ~君もやってみよう~ 土屋淳子(家4) / ・やさしい木工教室 片桐宏(技教・院2) / ・からカラアート 森下房枝(家3) / ・うちわで書 村田恵(国3) / ・タオルマジック ~タオルを使って動物をつくろう~ 小倉佐知子(家3) / ・フィルムロケットへえっ!! フィルムケースがとぶの? ~ 登坂武人(社3) / ・作ってうれしいカレンダー 阿部利恵(実3) / ・天まであかればくのだこ 小木曾雄亮(数3) / ・あけてビックリ! 飛び出す絵本作り 武末裕子(美2) / ・永久ゴマをつくろう 柚木 亘(理4) / ・折り紙ランド 斎藤聖子・増田麻子(家3)

○ 体験講座:・サラサドロドロカチカチ(小麦粉粘土) 唐木紫織・森下房枝(家3) / ・でっかいでっかいシャボン玉をつくろう 金井弘子(理3) / ・ネイチャーゲーム II・宝さがし小池裕介(実4) / ・山あそび 千葉綾子(理4) / ・こま・コマ・独楽であそぼ! 竹下雅道(数4) / ・銅が金になる!? 錬金術の秘密・つくってみよう銀の鏡 中條 悟(理4) / ・気分はめいたんてい 平林 徹(数3)

○ 食べ物講座:・どーんとうどんを作ってみよう 平林 徹(数3)

／・モコモコデンキパン 清水麻紀子・唐木紫織(家3) / ・カンカンアイスクリーム 長田ひろみ(家4) / ・本日わたあめ屋さん 宮下 聡(院2)

○ 運動講座:・いい汗かこう!! 春の大運動会 佐々木美恵(家4) / ・ドキドキの世界 佐野美佳(保4) / ・みんなでジャンプ 佐野美佳(保4) / ・これで私もバババ PUFFY でいい感じ! 山本隆行(数4)

○ その他:・いじめフォーラム'97・いじめ・不登校フォーラム'97 秋北島茂樹(数4) / ・ゾクゾク教育学部ってどんなところ 片桐宏(技教・院2) / ・世界の言葉と世界の遊びを楽しもう 矢澤由紀子(英4)

◎ 参加者アンケート/集計結果

◎ 本部係 スタッフ長:千葉綾子(理4)、駐車場:小木曾雄亮(数3)、受付:長田ひろみ(家4)、誘導:片桐 宏(技教・院2)、備品:宮沢 元(理4)、開閉会式:佐々木美恵(家4)、本部:中村典史(社4)、Cooking 隊:酒井由佳里(家4)、会計:土屋淳子(家4)、写真・記録:成田英直(理4)、コンピューター:浅沼康理(数4)

◎ 出張 YOU遊サタデー講座記録

○ 更に出張 YOU遊サタデー:チャレンジャー21について・宇宙生物スラスラタイム 宮沢 元(理4) / 飛び出す絵本 桐山 潤(国4)

○ 高遠出張 YOU遊サタデー:信州高遠フェスティバルについて 中村典史(社4) / 宇宙生物ぶるんスライムを作ろう 片桐宏(技・院2) / ペーパーグライダーをとばそう 芦田英央(社4) / からカラアート 森下房枝(家3) / 冒険ハイク~自然の中を探検しよう~ 登坂武人(社3) / ネイチャーアート 土屋ひとみ(実2)

○ 小諸出張 YOU遊サタデー:乙女の森フェスタについて 佐々木美恵(家4) / でっかいでっかいシャボン玉をつくろう 山田尚美(家3) / フィルムロケットを飛ばそう 登坂 武人(社3) / 宇宙生物スラスラタイム 佐々木美恵(家4)

平成10年度 第五期「信大YOU遊サタデー」の実践

まえがき 漆戸邦夫 信州大学教育学部長

第五期概要

自 問 登坂武人 第5期実行委員長 / 「信大 YOU遊サタデー」5周年の蓄積 土井 進 / YOU遊サタデーと情報手段の活用 東原義訓 附属教育実践研究指導センター / 一人の父親として・教員養成学部の一教官として 宮崎樹夫 数学教育講座 / 「ちゃれんじブラザ21」に参加いただいて 三宅文雄 長野県社会部青少年家庭課長 / 「黄色い腕章」が責任と信頼の証 橋渡勝也 長野県総合教育センター / 信州大学「YOU遊サタデー」の実施に思う 金子初男 国立信州高遠少年自然の家専門職員 / 科学を楽しむ環境作り運動 品田和子(財)日本科学技術振興財団 / 科学技術館

年間活動内容一覧 YOU サタカレンダー / YOU サタ語句説明 / 資料 / 係紹介 / 会計報告 / 反省点とその後の対策 / 実践記録 / 実践記録の分類について 白井 敬 実践記録編集委員長

環 境:カンカンアイスクリーム 斎藤聖子(家4) / ティッシュの箱がきれいな箱に・雑草からの紙づくり 真島紀章(数4) / リサイクルクリスマスリース 清水麻紀子(家4) / 西澤久恵(一般) / バターってふしぎ 斎藤聖子(家4)

健 康:ぐるぐるサッカー 谷口美佳・山田尚美・高戸美佳子(家4) / フリスビろう! 杉山雅幸(野2)・田代奈(音2) / Jump Beat Rope! 杉山雅幸(野2)

伝承・文化:こまであそぼ! こま名人への道 竹下雅道(数4) / シャボン玉 長田雅子(実3)・中村祐介(理2) / 竹とんぼ 小木曾雄亮(数4) / 自分でできたよ刃物とき 小倉佐知子(家4) / 竹とんぼ・親子で竹細工 加藤豊司(理2)・吉澤嘉寿(研究協力員)

交 流(国際理解):先生・お父さん・お母さんもリフレッシュ 土井進 / 気分はめいたんてい 平林 徹(数4) / 心の休憩室 早川千絵美・武田昌之(心4) / 世界の歌を堪能しよう 小池祐介(実4) /

こんにゃくって不思議?! 小倉佐知子(家4)/楽しいティータイム
森下房枝(家4)/大豆の旅 小倉佐知子(家4)

科学:フィルムロケット 那須良寛・山田理恵(実2)/ぶよぶよ 油
井幸樹(数4)/本日わたあめやさん 大島智子(音4)/カンカン
アイスクリーム 井戸陽子(家3)/新発売!! ミラクルボール七変
化 登坂武人(社4)/とべ!とべ!ペーパーグライダー!! 那須良
寛(実2)/ペットボトルロケットを飛ばそう 田中 崇(社3)

表現:みんなで紙工芸に TRY 森下房枝(家4)/色砂を使って自
分だけのカレンダーを作ろう 中澤典子(国3)/スライムポンッ!
斎藤聖子・高戸美佳子(家4)/ちぎり絵 池田裕美(家3)/空缶
を使ってキーホルダーを作ろう 武末裕子(美3)/くるくるくねくね
バスケット 井口佳美(家4)/みんなでポディーペインティング
清水麻紀子(家4)/毛糸でかんたんコースター作り 池田裕美・井
戸陽子(家3)/クリスマスをかざろう 吉澤麻衣子(国4)

平成 11 年度 第六期「信大 YOU 遊サタデー」の実践

まえがき 藤岡謙一郎 信州大学教育学部長

第6期 YOU 遊サタデーへの寄稿

学生にとっての「信大 YOU 遊サタデー」とは 白井 敬 第6期実
行委員長/信大 YOU 遊サタデーの活動に見られる学生の情報活用
の実戦力 東原義訓 助教授/YOU 遊サタデーの輪を地域社会の中
へ 三宅文雄 長野県社会部青少年家庭課長/信州大学「YOU 遊サ
タデー」の実践によせて 金子初男 国立信州高遠少年自然の家専門
職員/子どもフェスク INOKAYA を体験して 立道一嘉 岡谷市教
育委員会生涯学習課青少年主幹/「経験」からの「学び」 森山 潤 助
教授/世代間交流と YOU 遊サタデー 角尾篤子 助教授/不思議な
出逢いを大切に 西澤久恵 岡谷市立小井川小学校/YOU サタと学
校現場との接点を作る試み 正村寿満子 長野市立南部小学校教諭
/6年間、YOU 遊サタデーに参加して 窪田さえみ 主婦/サタデー
に参加して 島田嘉一 長野市立東部中学校教諭/また、てたい
村松直昭 飯山市立常盤小学校教諭/ホモ・ファベルになった子供
熊谷陽一 助教授/教師の実践的指導力を培う YOU 遊サタデーの実
践 山崎保寿 助教授/学生の集いから生まれる偉力 土井 進

第6期概要:

(実践記録) *物づくり講座:のぞけば不思議!〜万華鏡づくり〜
井戸陽子(家4)/ペットボトルの車で遊ぼう 山王隆晃(工学4)
/切り絵をつくろう! 佐藤宏樹(社4)/昔の楽器「うなり木」 高
橋 歩(技3)/電流イライラ輪を作ろう 高井 久(技院1)/パ
ラシュート部隊出動! 押澤由記(家4)/ペットボトルのレコード
に自分の声をいれよう 山王隆晃(工学4)/君だけのミラクルス
ープを作ろう! 本山貴雅(社4)/めざせ工作名人!〜親子で下駄作
り〜 町田豊文・佐野友和(技4)/みんなで作ろう!ダンボール家
具 小池悠介(国2)/色砂で2000年ミレニアムカレンダーを作ろ
う 増沢み(国4) *交流体験講座:カンカンアイスクリーム
池田裕美・押澤由記(家4)/みんなで作ろう探偵物語 田中 崇(社
4)/笹崎典子(数2)/ほら見てきたよ!自分だけのおべんとう 笹
崎典子(数2)/キミもコスモポリタン〜世界の人・あそび・歌・お
どり 小池祐介(実4)/春にきれいな花を咲かせよう 井戸陽子(家
4)/ころころもちもち 井戸陽子(家4)・小池悠介(国2)
*科学講座:本日わたあめやさん 中澤典子(国2)/帰ってきたス
ライム 中村祐介・加藤豊司(理3)/家族でトライ〜薫製屋さん〜
森下房枝(家院1)/はじめてのインターネット 佐藤正志・河西祐
司(技4)/パソコン大分解! 田中 崇(社4) *伝承文化講
座:できるかな〜ハト笛 武末裕子(美4)/趣味 YOU 悠〜紅茶時
間 伊藤 慶(社4)/おかしな和菓子な、クリスマスのイモスマ
ス ケーキを作ろう 池田朋美・千野加世子(家2) *運動講座:フ
リスビろう!? 杉山雅幸(野3)/親子でスマッシュパドミントン!
増野隆(社4)/ゴルフ高橋歩(技3) *リサイクル講座:野菜
で紙をつくろう 池田裕美(家4)/2000年のお正月〜いぐさでリ
ースづくり 池田裕美(家4) *表現講座:君もマジシャン 両角孝

之(数2)/牛乳パック、大変身??? 笹崎典子(数2)

出張 YOU 遊サタデー: 伊那チャレン児プラザ21/こどもフェスタ
in OKAYA/高遠フェスティバル

平成 12 年度 第七期「信大 YOU 遊サタデー」の実践

まえがき 藤岡謙一郎 信州大学教育学部長

第7期 YOU 遊サタデーへの寄稿

心をともに 中村祐介 第7期実行委員長/初心忘れず、地域貢献の
労作業へ 土井 進/YOU 遊の企画に参加して 山田邦彦 元牟礼
村教育長/茂管ふるさと農場 北村典子 JA ながの/信大ふるさと
農場雑感 林部信造 農業/実行委員の皆さんへ 竹元清春 牟礼村
ふるさと振興公社/一に安全、二に安全 吉澤嘉寿 何でも手作り吉
澤学校/迎え三分に送り七分 海沼正典 内地留学生

第7期概要:

(実践記録) *物づくり講座:ケナフで紙を作ろう 大場浩幸・中
谷弥哲(数3)/世界で1個の手づくりキャンドル 中澤典子(国3)
/親子でチャレンジ!溶かしてつくるオリジナル超合金キーホルダ
ー 佐藤正志(技院1)/みんなでとぼそう!おもしろ飛行機大集
合! 安達仁美(実3)/色砂カレンダー 西山 裕(国4)/めざ
せチャンピオン!! 簡単「チョコマカ」ロボットコンテスト 渡辺勝
由・野田耕次郎(技4) *交流体験講座:まほうのアイスクリー
ム 浅野 剛・中村和孝(理3)/かさランラン〜どうぶつがさ 両
角孝之(数3)/SOBA〜ソバ〜 杉山雅幸(野4)・竹元清春(牟
礼村ふるさと振興公社)/ランチョンマットを染めよう 森下房枝
(家院2)/おもしろ!学校探検隊 山田理恵(実4) *科学講
座:大人気!ぶよぶよスライム 笹崎典子(数3)・富山裕子・比嘉
頼子(障2)/スーパー弾ける!!ミラクルボール 笹崎典子(数3)
*伝承文化講座:君だけの田んぼ作り 千野加世子(家3)・JA なが
の青年部/シャボン玉で遊ぼう 山盛賢治(国2)/ただいま紅茶の
時間です 伊藤 慶(社4)/竹とんぼ 高橋 歩(技4)/秋の味
覚〜干柿をつくろう〜 中谷弥哲(数3)・林一真(家3)北村典
子(JA ながの)・林部信造(農業)・土井 進/竹で遊ぼう! 塚田武
好(生3)/吉澤嘉寿(何でも手づくり吉澤学校)/みんなでつくろ
う!わらのおうち 相磯素子・三輪亜弥子(幼3)・吉澤嘉寿(何
でも手づくり吉澤学校)/音を楽しむシリーズ① ビャンベを作ろう ②
ディジュリドゥーを作ろう 高橋 歩(技4) *運動講座:見つ
けよう!出かけよう! 井上真裕子(理4)・小池悠介(国3)/フ
リスビろう! 杉山雅幸(野4) *表現講座:ハロウィン大行進!
両角孝之(数3) *特別講座:家庭教育と総合的な学習の時間 山
崎保寿 教授

牟礼 YOU 遊サタデー

「サタデー」の7年(各期実行委員長からの寄稿)

YOU サタを終えて、今思うこと 第一期 山口直行 諏訪郡原
村立原中学校教諭/「進化」のとき 第二期 渡辺一博 伊那市立東
部中学校教諭/やる気からはじめた 第三期 加納文香 西春近北小
学校教諭/YOU 遊サタデーとはなんぞや PART II 第四期 中村典
史 名古屋市立箕原中学校教諭/YOU サタに求めたもの 第五期 登
坂武人 美穂小学校教諭/感謝 第六期 白井 敬 長野県長野養
護学校教諭/人との関わりから心豊かな子どもに 第七期 中村祐
介 4年

平成 13 年度 第1期「信大 YOU 遊広場」の実践

まえがき 藤岡謙一郎 信州大学教育学部長

1. 第1期「信大 YOU 遊広場」への寄稿

挨拶に代えて 渡邊時夫 学部長補佐/明るく・楽しく・仲良く
町田竜太 運営委員長/夜明け前が 白井克典 開設準備委員長/教
師は子どもにとって影響力の大きい存在 林 一真 副運営委員長
/おみやげ♪ 両角孝之 副運営委員長/教育の開拓者として 杉
山雅幸 研究主任/新たな世代が創る道 那須良寛 研究主任/茂管
そして牟礼農場での体験活動 和田 清 教授/菅平高原「ふきの

とうキャンプ」平野吉直 助教授/今、日本の子どもに大切なこと
寺沢宏次 助教授/子どもも教師も体験を 小池英樹 長野市教育
委員会青少年課指導主事/「信大YOU 遊広場」の目玉は学生の情熱
竹内幸一 ソニーフロンティアサイエンス研究所/「信大茂菅ふるさと
農場」での出会いと実践 大内 清 (財)長野県農業開発公社 JA
ながの/「信大YOU 遊広場」に寄せて 林部信造 農業/
子どもの育ち、大人の育ち 志村昌之 内地留学生/価値ある学びを
創る 大澤安貴子 大学院学校教育専修1年/体験的な学習の重要
性と教師の役割 堀原孝茂 大学院学校教育専修1年

2. 第1期「信大YOU 遊広場」の概要

信大YOU 遊広場の概念図/発足までの歩み/年間活動報告

3. 0プラザから6プラザの実践記録

0プラザ「鉄腕アトム」/1プラザ「信大牟礼ふるさと農場」/2プラ
ザ「信大茂菅ふるさと農場」/3プラザ「キャンパス教育の森」
/4プラザ「キャンパスプレーパーク」/5プラザ「里山ふれあい
キャンプ」/6プラザ「お出かけYOU 遊プラザ」

4. 第1回YOU 遊フェスティバルの実践記録

ハッピークリスマスツリー 岡部桂子 (実3) /つくってとぼそう!!
ふんわりフリスビー 土田みどり (社3) /ガムでけしゴムを作ろ
う!! 角 直子 (実3) /ほんとに聞こえる? 簡単“手づくりラジオ”
井上将宏 (生3) /ピョンピョンとぼうしなわとびkids 片瀬亜希子
(地3) /プレパリッ!? ウィンナー! 西 絢平 (実2) /コンピ
ュータを使ったポストカード作り 原山美樹 (生2)

5. 「信大YOU 遊広場」と実践的指導力に関する考察

総合的な学習一活動で身についたもの 町田竜太 (社3) /0プラ
ザの活動で身につけてきた2つの力 富山裕子 (障3) /世代間交流
の可能性 白井克典 (社3) /人間関係、そして「信大YOU 遊広場」
西澤俊輔 (理3) /学びの場 清水美香 (実3) /四季と「信大YOU
遊広場」 林 美智子 (実3) /私と子どもの“自然”な関係 小黒あ
かり (実3) /たくさんの学びと自信 鹿子木愛 (実3) /地域と
学生がつくるコミュニティー 小島真知子 (地3) /汗と涙を流し
て覚えたものは、一生忘れない 小林則雄(地3) /ピバ★YOU プ
ラ 柳田亜紀子 (社3) /「信大茂菅ふるさと農場」における自然
体験が子どもの人間形成に及ぼした影響 相磯素子 (幼4) /土か
ら人へ…農作業体験の実態と課題 杉山雅幸 (野4) /「牟礼」茂
菅ふるさと農場での実践 志村昌之 (内地留学生) /「信大YOU 遊
広場」の実践を通して学生は何を体験したか 谷塚光典 講師/教育
における臨床経験・作業活動 小林輝行 教授/「信大YOU 遊広場」
の精神と実践的指導力の養成 土井 進

平成14年度 第2期「信大YOU 遊広場」の実践

まえがき 藤沢謙一郎 信州大学教育学部長

1. 第2期「信大YOU 遊広場」への寄稿

「信大YOU 遊」9年目にして初めて生まれた成果 土井 進/出
会い 山本公三「第2期」運営委員長/2つの役割 町田竜太「第1期」
運営委員長/進化 西澤俊輔 研究主任/感謝 清水美香 (実
4) /食と教育… 大内 清 (財)長野県農業開発公社 JA ながの/
「信大茂菅ふるさと農場」が与えるもの 林部信造 農業/ありが
う! YOU 遊広場 中野考之 下諏訪中学校教諭

2. 第2期「信大YOU 遊広場」の概要

信大YOU 遊広場の概念図/内容/年間活動報告

3. 0プラザから7プラザの実践記録

0プラザ 興譲館/1プラザ 信大牟礼ふるさと農場/2プラザ
信大茂菅ふるさと農場/3プラザ 鉄腕アトム/4プラザ キャン
パスプレーパーク/5プラザ「ふれあい」/6プラザ お出かけ/
7プラザ イベント

4. 第2回YOU 遊フェスティバルの実践記録

フェスティバル本部一ぬくぬくぼか気分でワッシュイショイ/みん
なで運動会「思いやる」こと・「思いを伝える」こと一北川伸尚
(障2) /羊毛生まれ! フェルト玉星人バクパくん 田中慶子 (生

3) /Let's Dance Sing!—BOY も GIRL もみんなモー娘。一 田中裕
次郎 (官2) /さんすう村のコンサート 小川敏嗣 (理3) /人
との出会い 岩崎悟子 (理3) /すきすき紙すき 増田美和 (障3)・
藤岡恵美 (生3) /第一回わんぱく子どもドッチボール大会 前崎伸
周 (実2) /気球よ…飛べ! 幸飯創平 (実3) /プラスチック?!
に宝物をとじこめちゃおう! 石関千絵 (社2) /海の牧場 夏井一
智 (野2) /とろ〜りとかしてペットボトルキーホルダー 藤田優
子 (生2)

5. 「信大YOU 遊広場」と実践的指導力に関する考察

変わりゆく自分 山本公三 (実3) /人づくりのための土づくり 山
本真望 (実3) /興譲館に残された message 原山美樹 (生3) /
メンタルサポーターとして石井里佳 (実3) /みんなから学んだこと
増田美和 (障3) /農業体験から学んだこと 高橋和之 (理3) /
教材としての農業 那須紋子 (生3) /実践から学び得たもの 小島
澄 (障3) /変化 藤沼夏子 (生3) /経験からの「知」と「とらえな
おし」の重要性 山口真史 (実3) /大きな街の小さな村づくり 藤
本晃子 (地3) /世代間交流の実践 西 絢平 (実3) /お出かけプ
ラザが教えてくれたもの 藤岡恵美 (生3) /YOU 遊プラザを通して
見つけた楽しさと自分の成長 西村 崇 (実3) /イベントプラザが
教えてくれたこと 森田美保 (保3) /興譲館の活動を振り返って 小
林則雄 (地4) /完全学校週5日制における地域教育のあり方 町田
竜太 (社4) /農作業体験が子どもの人間形成に及ぼす影響力 鹿子
木愛 (実4) /キャンパスプレーパークにおける刃物の使用の意義
小黒あかり (実4) /保護者の視点で捉えるキャンパスプレーパーク
岡部桂子 (実4) /「信大YOU 遊サタデー」から「信大YOU 遊広
場」への進化 那須良寛 (院2) /「ものづくり」で拓くフレンドシ
ップ事業の実践 森山 潤 (助教授) /「臨床の知」と「臨床経験」山口
恒夫 (教授)

平成15年度 第1期「信大YOU 遊世間」の実践

まえがき 赤羽貞幸 信州大学教育学部長

1. 第1期「信大YOU 遊世間」への寄稿

どうして信大生は涙を流すことができるんですか? 土井 進/
今、変革のとき… 丸山大輔 第一期「世間」運営委員長/人とのつ
ながり 山本公三 第二期「広場」運営委員長/食の安全と教育 大
内清 (財)長野県農業開発公社 JA ながの/フェスティバルとシンポ
ジウムに参加して 林部信造 農業/「信大YOU 遊世間」さんとの活
動について 森山美奈子/「信大YOU 遊世間」と連携して 戸田忠
雄/親として 涌井直美/人を求め 友を求めて メンタルフレ
ンドに 岡田英雄/YOU 遊世間でのコミュニケーションの大切さ 寺
沢宏次 助教授/キャンパスプレーパークの意義 渡邊 伸 教授/
地域貢献の教員養成 門脇厚司 筑波大学教授

2. 第1期「信大YOU 遊世間」の概要

「信大YOU 遊世間」事業目的・活動紹介/年間活動報告

3. プラザの実践記録

0プラザ: 信大YOU 遊興譲館/1プラザ: 信大牟礼ふるさと農場/
2プラザ: 信大茂菅ふるさと農場/3プラザ: 虹色アトム/4プラ
ザ: キャンパスプレーパーク/XY サタデースクール/わらの会/城
山中間教室/湯谷子どもランド/須坂町並みの会

4. 第3回YOU 遊フェスティバルの実践記録

あなたも私もムーブメント♪ 岩羽純一 (障2) /☆スライム☆
笠原千絵 (実3) /音で遊ぼう! 作ろメロディ 石澤昌史 (生2)
/ピバ☆クリスマスパーティー 渡邊 彩 (実2) /みんなで元気に
サッカーだ! 松山博一 (実2) /ようこそ!! お菓子の城へ☆ 藤
浪千晃 (実2) /わーい! べったん おもちつき♪~茂菅でとれた
お米だよ~ 宇良知子 (生3)・神林彩井 (生2) /Let's ☆きりた
んぼ 小林 崇 (実2) /マリック・マジック 松土智美 (実3)
/飛んでけー!! ばんびーナス! 松本好平 (社2) /合格祈願だ興譲
館!! 最終頂上決戦 in 朝日山 五味潤嘉 (社3)

*子どもの笑顔と触れあい学んだこと 前崎全洋 (理1)

*YOU遊フェスティバルに参加して 土肥直也(保1)

*YOU遊フェスティバルで学んだ「先生」 前枝真嘉(野1)

5. フレンドシップ事業10周年記念学生シンポジウム報告

「日程表」／「学生シンポジウム参加者名簿」／振り返れば…そこに自然があった 幸阪創平(実4)／自分なりの問題意識をもつことの大切さ 南波朋美(心4)／理論を学び実践し、また理論へ 藤岡恵美(生4)／体験での気づき 山本公三(実4)／「体験」を通して得たもの 中村日砂(芸4)／誰にも負けない教育に対する情熱 斎藤崇(理4)／本当の自分で勝負の基礎教育実習 野口陽子(理4)／教育(共育)の場 岡田洋平(理4)／「身体」で感じて学ぶことの意義 中山護香(言4)／私自身を覗つめられた臨床経験科目 白木新(社4)／僕にとっての「臨床経験科目」の意義 小川敦嗣(理4)／願い・目標の確認の場 関谷北斗(保4)／旧カリキュラムでの教育実習 前平かな(院2)／「なかよしキャンプ」からの想い 増田美和(障4)／自分で認識する自分の成長 花村尚美(理4) 第1分科会報告 鷲津智子(実3)／第2分科会報告藤田優子(生3)／第3分科会報告 宇良知子(生3)／第4分科会報告 長野幸恵(生3)／第5分科会報告前崎伸周(実3)／第6分科会報告 石関千絵(社3)／第7分科会報告 原かつ江(実3)／第8分科会報告 沖田幸子(生3)／第9分科会報告 北川伸尚(障3)／第10分科会報告 五味潤嘉(社3)／第11分科会報告松土智美(実3)／第12分科会報告 武井恒(障3)／第13分科会報告 丸山枝里子(実3)／第14分科会報告 笠原千絵(実3)／第15分科会報告 丸山大輔(社3)

*絵本「わたし、から学ぶもの 藤沢謙一郎 信州大学副学長

*講評 干川圭吾 信州大学評議員／「臨床経験科目」カリキュラム体系図

6. 「信大YOU遊世間」で学んだこと

信大YOU遊世間から学んだこと 宇良知子(生3)／プレーパークを通して 沖田幸子(生3)／実践からの学び 笠原千絵(実3)／YOU遊世間の振り返り 武井恒(障3)／土にまみれて 長野幸恵(生3)／実践から学ぶ 松土智美(実3)／心の変化 鷲津智子(実3)／豊作っ! 神林彩井(生2)／くろさ気合い子 黒崎藍子(実2)／麦の秋 側で感じた 薫る汗 飽きること無し 笑うその顔 小林崇(実2)／子どもとのかかわり 手島由加(実2)／リアル卒礼体験 寺島純一(実2)／自然の中での「遊び」から学んだこと 中河亜実(生2)／茂蒼ふるさと農場に参加して 中塾浩介(社2)／人と、子どもとふれあうために 原絵里(実2)／より多くの子どもたちとの出逢い 林真由美(実2)／人と人の触れ合いから学んだこと藤浪千晃(実2)／卒礼ふるさと農場で得たもの、感じたこと 松山博一(実2)／卒礼ふるさと農場での経験 村上真美(実2)／理論を越える実践 吉村真司(実2)／「わらの会」で得た喜び 渡邊彩(実2)

7. 4年生から見た「信大YOU遊世間」の活動意義と今後の課題

体験が変えた自分 山本公三(実4)／XYサタデースクールを通して学んだこと 山本真望(実4)／「興譲館」と「中間教室」とのパイプ 原山美樹(生4)／興譲館での学び 小島澄(障4)／4年生になったら…小川敦嗣(理4)／大切にしたいこと 増田美和(障4)／いっしょに、がんばっていきましょう 藤沼夏子(生4)／臨床の知までの道のり 那須敦子(生4)／人との出会いの大切さ 藤岡恵美(生4)／経験した私からこれからの私へ 篠原真美(実4)／コミュニティーの一員としての「信大YOU遊世間」 秦千曉(生4)／4学年としての役目 花村尚美(理4)

8. 「信大YOU遊世間」と実践的指導力に関する考察

其の身正しければ令せずして行われる 丸山大輔(社3)／私にとっての臨床経験活動の意義 藤田優子(生3)／思い、続けること 五味潤嘉(社3)／仲間と共に歩んだ一年間 前崎伸周(実3)／素敵な自分になるために 北川伸尚(障3)／学びの広がり 熊田賢人(障3)／「鉄腕アトム」の一員から「虹色アトム」の統率者へ プレバ日和 石関千絵(社3)／美しい人間を生み出す「信大YOU遊

世間」原かつ江(実3)

平成16年度「信大YOU遊世間」の実践「第11集」

はじめに 赤羽真幸 信州大学教育学部長

「信大YOU遊世間」による地域貢献の教員養成 土井進

この場を作ってくれてありがとう 神林彩井 運営委員長(生3)

人と人とのつながり 原絵里 副運営委員長(実3)

YOU遊世間との出会い 渡邊彩 副運営委員長(実3)

1. 信大茂蒼ふるさと農場 神林彩井(生3)

信大茂蒼ふるさと農場と私 林部信造／作物を育てること 大内清 JAなかの／千歯こぎによる力作業 川端智子(実2)／農作業を通して子どもとのふれあい 原千恵(理2)／先輩たちの企画力と生まれる笑顔 末松辰規(理2)／人とつながっている場 大塚一哉(理2)／人生2度目の稲刈り 矢竹喜美子(理2)／子どもとのスキンシップ 松井泉樹(生2)／体感して実感! 岩羽純一(障3)／環境からみた茂蒼 中河亜実(生3)／農作物に合わせて人が動くことと継続して関わること 原絵里(実3)／笑顔を作り出せる「茂蒼ふるさと農場」のいいところ 遠藤字寛(障3)／茂蒼の活動に参加して 仲塾浩介(社3)／茂蒼で見つけた私の中の子ども像の変化 別府紀佳(社3)／自分で気づき、進んで動き、思いっきり楽しむ 松澤栄美(生3)／自分を囲む輪の外にいる子ども 石関千絵(社4)／コメムスメ 長野幸恵(生4)／後輩の姿から素直に学ぶ 藤田優子(生4)／これからの社会を発展させる「社会力」育成の場 丸山大輔(社4)／実際に体験してみることが大切 吉澤あすか(言3)／人と人をつなげる農業の魅力 神林彩井(生3)

2. 林部農園支援隊 神林彩井(生3)

プチプチとりんご 前枝真嘉(野2)／りんごとともに 末松辰規(理2)／りんご 大塚一哉(理2)／りんご畑の中心で林部さんへの愛を叫ぶ 石関千絵(社4)／林部農園支援隊 藤田優子(生4)／出会い 丸山大輔(社4)／人はあたたかい 神林彩井／林部さんと出会って 宇良知子(生4)

3. XYサタデースクール 原絵里(実3)

子どもの様子からの考察 原絵里／田植の様子からの考察 梅牧歩美(言3)／しめ縄作りの様子・子どもたちの様子からの考察 原絵里／授業を終えて 梅牧歩美(言3)・鍵谷美希(言3)／信大YOU遊と連携して 小濱政興 JAグリーン長野校長 <ながの校低学年> $y=x$ の軌跡を描く 丸山大輔(社4)／実習があって、XYがあって 原絵里／「勉強」+「体験」+「やる気」=「笑顔」 前崎全洋(理2)／初めてづくしのXY活動 江崎美保(実2)／子どものやる気を引き出すために 川端智子(実2)

<ながの校高学年> 自分を囲む輪の外に 石関千絵(社4)／子どもたちによりそうことの大切さ 梅牧歩美(言3)／もうひとつの学校 長野彩子(実2)／百聞は一見にしかず 菊池翠(言2)／自然からの学び 小林由紀(実2)／子どもとのコミュニケーション 林徹(理2)／子ども祭 羽入拓磨(理2) <グリーン長野校> 「人」と「人」のあたたかい交流 鍵谷美希(言3)／やってよかった☆XYと初めての授業 三澤由季子(言2)／XYで得た自信と学び 鳥居純司(理2) <松本ハイランド校> 幅広い年齢層の人たちと接して培ったもの 森脇奈美(生3)／活動を通して悩み学んだこと 久保田聡美(言2)／発見!!みんなの笑顔 安田真弥(言2)／学校だし学校じゃないXY 田中真理子(理2)／子どもとの触れ合いを通して 中島有美(理2)

4. 湯谷子どもランド

プラザ長としての軌跡 松山博一(実3)／教育臨床経験の体系化 嵯峨みず穂(言3)／教材研究の大切さ 矢竹喜美子(理2)／親子で活動するすばらしさ 嵯峨みず穂(言3)／子どもとの連携プレー 矢野智(社3)／親御さんとのふれあい 埋橋由佳(実2)／親どうしの情報交換の場 中河亜実(生3)／やってみよう新しいことを、探してみよう新しいものを野辺紀子(実2)／体を動かしてみんなで楽しむ踊りのよさ 塚本麻衣子(実2)／子ども数十人を相手

にして 大塚一哉 (理2) /できることはすべて惜しみなく 早津 秀 (実2) /子どもの意思を尊重すること 南部利彦 (心2) /教育実習で学んだことを生かして 松山博一 /子どもたちの底力 鈴木春菜 (実2) /子どもたちと共に成長できる教員を目指して 末松辰規 (理2) /多学年での交流 柳原桃子 (実2) /おわりに 松山博一 (実3)

5. にこ^② 岩羽純一 (障3)

子どもたちと共に成長した 岩羽純一 (障3) /お散歩での自閉症の子とのふれあい 大塚一哉 (理2) /にこにこ顔 末松辰規 (理2) /学生の集う意味 神林彩井 (生3) /矛先を自分に向けて成長する 熊田賢人 (障4)

6. いるかクラブ 遠藤宇寛 (障3)

大きな声ではっきりと 田畑玲子 (心2) /指導以外の子どもとの交流 山口陽子 (実2) /小さな変化が嬉しい 川端智子 (実2) /いるかクラブを支える連携体制に関する考察 遠藤宇寛 (障3)

7. 興譲館 石澤昌史 (生3)

<長商定時制> 非常に素直な生徒に真剣に接すること 石澤昌史 /一緒に話し、からだを動かすことによるコミュニケーション 藤澤麻里子 (生3) <城山中間教室> 近くなった子どもからの言葉 黒崎藍子 (実3) /知り合いのお姉ちゃん 原 絵里 (実3) /今の教育のあり方 前崎全洋 (理2) <附属長野中学校メンタルフレンド> 二人の生徒に会う楽しさ 村上真美 (実3)

8. ひだまりの会 渡邊 彩 (実3)

親子で楽しんだ化石採集 奥泉祥子 (実3) /人を楽しませるということは自分が楽しむということ 竹内 史 (生3) /「人」と「ひと」のつながりの大切さと難しさ 前崎全洋 (理2) /子どもたちの持つ力 藤澤麻里子 (生3) /子どもの優しさに感動 渡邊 彩 (実3) /楽しさを相手に伝えようという気持ち 富岡頌子 (生3) /7年1組のすばらしさ 丹羽寛子 (生3) /1年間を通して 石澤昌史 (生3) /信大生の活動の影響と今後の期待 加藤二佐雄 安茂里小PTA

9. わらの会 林真由美 (実3)

10. あおぞら空間支援隊 石関千絵 (社4)

よい教育者を目指して課題発見 唐木佑輔 (実1) /活動の根本を支えた子どもたち 平林照世 (旨1) /後継へ 丸山大輔 (社4) /初心にかえて 石関千絵 (社4) /1年生が修得している実践力活動の基礎 土井 進

11. 信州須坂町並みフェスタ・出前講座 矢野 智 (社3)

高齢者の願いと世代間交流の重要性 白井克典 (院2)

12. 山形小学校・出前講座 渡邊 彩 (実3)

160人相手のスライム作り 渡邊 彩 (実3) /色々な人に支えられた活動 村上真美 (実3) /割りばし鉄砲で得られた子どもたちの笑顔 林真由美 (実3) /汗を流して楽しんだサッカー 松山博一 (実3) /大きなシャボン玉を作ろう 矢野 智 (社3)

13. 岡谷市イルフプラザ・出前講座 柳原桃子 (実2)

企画の段階から携わって学んだこと 柳原桃子 (実2) /初めてのスライム作り 矢竹喜美子 (理2) /名札をつけ名前を呼び合うことによる親近感 松井泉樹 (生2)

平成17年度「信大YOU遊世間」の教師教育学研究「第12集」

はじめに 赤羽貞幸 信州大学教育学部長

笑顔の花を咲かせましょう!! 前崎全洋 第12期運営委員長 /第12期「信大YOU遊世間」の目標・実施内容・成果 土井 進 /善い優れた教師になるために 関川光彦 長野県農業大学校講師 /YOU遊世間の皆さんの「おみ図書館」での活躍 市川祥介 前麻績村教育長 /共に学びの場を広げよう 小岩井彰 青木村教育長 /信州大学教育学部が目指す教員養成教育 門脇厚司 筑波学院大学学長 /教員養成GPと「信大YOU遊世間」 村瀬公胤講師

1. 信大茂草ふるさと農場(6年目) 世代を超えた人と人をつなぐ

自然の力 松井泉樹・川端智子・矢竹喜美子
成果: 別府紀佳・岸上隆文・永塚達也・中河亜実・神林彩井・大

塚一哉・關麻依子・森友希恵・末松辰規・佐藤由佳・平林照世・細川李花

評価: 林部信造 農業・大内 清 JA ながの長野県農業開発公社・松井泉樹・川端智子・矢竹喜美子

2. XYサタデースクール(4年目) 子どもと共に学び合う場

長野彩子・小林由紀・三澤由季子・久保田聡美

成果: <ながの校> 長野彩子・熊 毅史・西井珠恵・關麻依子・黒澤加衣・堀端優也・山田桃子・丸田育子・小林由紀・中川明子・丸山晃男・大箱良明

<グリーン長野校> 佐藤真也・菊地 翠・黒岩恵理子・大原由佳里・川端智子・瀬田 徹・三澤由季子・浅井美由紀・久保田聡美・森脇奈美・齋藤前夏・田中真理子

評価: コミュニケーション能力育成の場になる農作業 西井珠恵

3. 湯谷子どもランド(4年目) …体験活動を通して

「生きる力」を育む 鈴木春菜・大塚一哉・南部利彦

成果: 川辺裕作・塚本麻衣子・清水亜美・中村千絵美・平林照世・丸山由起子・矢竹喜美子・永塚達也・柳原桃子・内山佳奈・細川李花・名無恵美子・花形美奈子・末松辰規・早津 秀・高坂優希・田中菜穂・鈴木春菜・細川李花・高坂優希・松橋彰行・唐木佑輔・埋橋由佳

評価: 南部利彦・大塚一哉・鈴木春菜・中谷隆秀 保護者代表

4. 長商定時制・興譲館(2年目)

友達のような話し相手 大塚一哉

成果: 平林照世・大塚一哉・山北 真・氏原裕貴

評価: ニノ宮邦彦 長野商業高校定時制講師

5. にこにこクラブ(4年目) 子どもたちの遊び活動を保護者と

学生で支える

川端智子・田畑玲子

成果: 山口陽子・黒澤加衣・山田桃子・堀端優也・兼平梨香・森友希恵・塚本麻衣子・田畑玲子・大塚一哉・永塚達也 / 評価: 川端智子

6. べんざんクラブ(再編1年目) 楽しい放課後の水泳活動クラブ

川端智子・田畑玲子

成果: 森友希恵・塚本麻衣子・山口陽子・黒澤加衣・田畑玲子・小林葉子 / 評価: 川端智子

7. ひだまりの会(2年目)

川辺裕作・唐木佑輔・平林照世

(1) 準備の大切さ 川辺裕作 (2) プレーマントプラスチックアクセサリーを作って 唐木佑輔 (3) ダントマに参加して 平林照世

8. わいわい元気クラブ(1年目) 子どもはどの子も元気

いっぱい!

柳原桃子・江崎美保

成果: 江崎美保・田中順子・丸山晃男・松本絵美・松崎礼乃 / 評価: 柳原桃子

9. 加茂児童館(1年目) 子どもに合わせながら「遊ぶ」ことから学ぶ

前崎全洋

成果: 小林加奈・加納芽子・松崎礼乃・田部井寛乃・刈屋光穂子・稲玉恵美・關麻依子・兼平梨香 / 評価: 前崎全洋

10. 青木村えがおクラブ(1年目) 「具体」「ご縁」「謙虚」「感謝の

気持ち」 末松辰規・塚本麻衣子

成果: 本山裕子・小林加奈・松井泉樹・大塚一哉・平林照世・清水亜美・花形美奈子・唐木佑輔・丸山由起子・肥留間淳也・竹本美奈子・山田桃子・柴原 恵・仲古咲香・塚本麻衣子 / 謝 辞: 末松辰規 / 評価: 上原博信 青木村教育委員会事務局

11. 麻績村dE遊ぼう(1年目) 「おみ図書館」における先生と

保護者の絶妙な連携プレー

大塚一哉

成果: 河野悠生・佐々木頭・堀端優也・丸山超人・小林加奈・田中菜穂・永塚達也・名無恵美子・鈴木春菜・末松辰規・塚本麻衣子・稲玉恵美 / 評価: (1) 「おみ図書館」に新しい風 橋渡久美子 司啓 (2) 今後の課題・反省 大塚一哉

12. 季刊早津倶楽部(1年目)

学生のボランティア活動を俯瞰

早津 秀

13. 虹の会中学生の部(1年目) 高機能広汎性発達障害の子どもたちと

行う……遊び活動 川端智子
成果：塚本麻衣子・岸上隆文/評価：(1) 組織として活動を定着させること (2) 活動の方針を固め活動計画を十分に練る (3) 実践で学んだことを確実に次に生かす

14. 第4回YOU遊フェスティバル 170名の学生スタッフによる大きな力 前崎全洋・小林由紀・丸山晃男
成果：前崎全洋・小林由紀・丸山晃男・鈴木春菜・柳原桃子・矢竹喜美子・平林照世・細川李花・永塚達也

15. YOU遊フェスティバルの各講座
(1) ガキ大将養成講座 土肥直也/ (2) 一日で君もできるよ さあやろう 手品工作 百人一首 足立千明/ (3) 昔にもどって作ろう遊ぼう 末松辰規・大塚一哉/ (4) みんなでイライラ棒をつくろう!! 坪内章江/ (5) のび～るべったん おもちたん 松井泉樹・平林照世/ (6) みんなで踊ろうソーラン節 野辺紀久子/ (7) トレジャーハンター～お宝 GET だぜ～ 唐木佑輔・川辺裕作/ (8) ぼく・わたしは原始人!! ～ 火起こし体験 ～ 南部利彦/ (9) ROAD TO WORLD CUP 山北 真・氏原裕貴/ (10) クリスマスクッキー講座 名無恵美子・高坂優希/ (11) 竹田竹男の竹細工 松橋義行・堀端優也/ (12) やってみよう! とんでみよう! ダブルダッチ!! 小林春香/ (13) 作ってみよう☆君だけのアクセサリ 清水亜美・花形美奈子

16. 学生シンポジウム報告 丸山晃男・永塚達也
テーマ：「子どもに対しての叱り方・ほめ方」

17. 塩野入靖夫先生の講演会報告 小林由紀
演題：「かわゆくば 五つさとして 三つほめ……」

18. 研究ノート 信州大学教育学部4年生が捉えている「実践的指導力」の概念 関川光彦・土井 進
おわりに 土井 進・西井珠恵・松山博一

平成18年度「信大YOU遊世間」の教師教育学研究「第13集」はじめに 赤羽貞幸 信州大学教育学部長
「大樹」にたくさんの花が咲きました 松橋義行 第13期運営委員長
豊かな人間性を磨く 土井 進/ボランティア活動と「責任」ということ 山口恒夫 信州大学「教員養成GP」実施委員長/YOU遊に関わって 村瀬公胤 助教授/YOU遊世間の皆さんの「おみ図書館」での活躍 小川平良雄 麻績村教育長/共に学びの場を広げよう 小岩井彰 青木村教育長

1. XYサタデースクール(5年目) 丸山晃男・浅井美由紀
＜ながの校＞: XYサタデースクールのXYって何?
青木智博・落合静香・小林由紀・石井絵里子・堀端優也・土田恵久・須貝和之・上田綾乃・持田有希子・清水 恵・丸山晃男/＜グリーン長野校＞: 電車で通って 刈屋光穂子・加藤博美・田村将太・酒井奈々・滝沢典子・浅井美由紀

◇地域協力者より JAGグリーン長野校 校長 小濱政興

2. 湯谷子どもランド(5年目)
元気いっぱい湯谷っ子たち 清水亜美・松橋義行・永塚達也
◇各活動の感想・反省 (1) フラフープ591 土田恵久/(2)・(3) ニューススポーツ大会 丸山 悟・大塚一哉/(4)・(5) キャンプに向けて 赤野潤一・野口洋憲/(6)・(7) 湯谷キャンプ 春原圭佑・田村将太/(8)・(9) 万華鏡作り 根岸純平・鈴木春菜/(10)・(11) 野外炊飯 斎藤有希・斎藤健二/(12)・(13) ぞつき山登山 平林照世・中村千絵美/(14)・(15) ハロウィン 上田綾乃・小池真弓/(16)・(17) クリスマス会 柳原桃子・布山奈津美

◇一年間を通しての感想: 細川李花・赤野潤一・中村千絵美・野口洋憲・根岸純平・斎藤有希・田村弘樹・春原圭佑・上田綾乃・末松辰規・平林照世・清水亜美・井上愛子(県短)

◇地域協力者より: 心からの感謝を込めて「夢」をありがとう! 中谷隆秀(湯谷小学校子どもランド保護者代表)

3. 信大茂菅ふるさと農場(7年目) 「ありがとう」自然の恵みに、…… 平林照世・川辺裕作・細川李花

◇感想・反省 <活動ごとに>

(1) ジャガイモ植えに参加して 藤岡泰裕/(2) 地域とのかかわり 常盤千明/(3) 田植えに参加して 小林亜友美/(4) ジャガイモ・トウモロコシの収穫 杉原優華/(5) 稲刈りを通して 國重 彩/(6) 脱穀・さつまいも堀りて感じたこと 仲吉咲香/(7) 収穫祭 大澤美香/(8) 落花生の収穫 末松辰規/(9) アップルズに参加して 野口洋憲

◇一年間を通しての感想:(10) はじめての農業体験! 鈴木春菜/(11) 自己分析 洞出直美/(12) 活動を通しての思い 國重 彩/(13) 一年間ありがとうございました! 大澤美香/(14) アットホームな場所 大塚一哉/(15) 活動を通して 丸山晃男/(16) 茂菅の活動で学んだこと 柳原桃子/(17) もう一つのふるさと 丸山 悟/(18) 一年間を通して 杉原優華/(19) 今年の収穫 末松辰規/(20) 茂菅の農場に込められたたくさんの方々の思い 三村圭子/(21) 茂菅の活動を通して考えたこと 川辺裕作/(22) 畑で得る学び 細川李花/(23) ありがとうの種 出会いと体験 平林照世

◇地域協力者より:(1) JANAがの営農指導部 北沢政美/(2)・(3) 農林部 信造・大内 清

4. 青木村えがおクラブ(2年目) 子どもの笑顔、学生の学び、地域の力 唐木佑輔・仲吉咲香・本山裕子

◇感想・反省:(1) 子どもから学んだこと: 本山裕子・末松辰規・常盤千明 (2) 学生から学んだこと: 唐木佑輔・丸山由起子・青木智博・須貝和之・田村将太 (3) 地域から学んだこと: 山田桃子・仲吉咲香・加藤博美・清水亜美・肥留間淳也・花形美奈子・石井絵里子・土田恵久・川辺裕作

◇地域協力者より: 青木村教育委員会事務局 上原博信

5. 麻績村de遊ぼう(2年目) みんなが集まる「おみ図書館」そこから… 永塚達也・堀端優也・名無恵美子

◇感想・反省:(1) どんな子ども達にも楽しさを! 堀端優也/(2) 麻績村で学んだこと 名無恵美子/(3) プラザ長のあり方 大塚一哉/(4) あったか麻績☆ 鈴木春菜/(5)・(6)・(7) 空気砲作り 浅田沙織・小平奈央・平野友視/(8)・(9)・(10) 運動会 丸山 悟・旗持貴優・土田恵久/(11)・(12)・(13) ハロウィン 野口洋憲・青木智博・平林照世/(14)・(15)・(16) クリスマス会 須貝和之・笠原 結・小池真弓/(17)・(18) Gキッズの活動 落合静香・肥留間淳也

◇地域協力者より: 麻績小学校司書 橋渡久美子/石田恵子

6. わらの会(1年目) 音楽療法を通して成長していく子どもたちの手助けをする活動 花形美奈子・山田桃子

◇感想・反省: 山田桃子・五十嵐由美・高坂優希・小平奈央・永塚達也・平林照世・本山裕子・大沼ゆき・清水麻紀・肥留間淳也・花形美奈子

◇地域協力者より: セラピスト 島田友美子

7. にこにこクラブ(5年目) 子ども、保護者、学生が共に笑顔で過ごせる時間 小平奈央・黒澤加衣

◇感想・反省: 高坂優希・大塚一哉・鈴木春菜・布山奈津美・青木みなみ・名無恵美子・刈屋美穂子・松橋義行・三村圭子・齋藤有希・堀端優也・落合静香・笠原結・土田恵久・加藤博美・上田綾乃・平林照世・黒澤加衣・小平奈央

◇地域協力者より 保護者代表 寺島みい子

8. ベンギンクラブ(2年目) 放課後の楽しい水泳の時間♪ 小平奈央・黒澤加衣 / ◇感想・反省: 高坂優希・大塚一哉・丸山晃男・平林照世・小平奈央

9. すざか農業小学校(1年目) 人と人との支えあい 稲玉恵美 / ◇感想・反省 同じ目線から体験する 藤岡泰裕・加藤博美・大塚一哉・細田有希・常盤千明・鈴木春菜・根岸純平・三村圭子・五味沙織・山崎友美・榎原礼菜・春原圭佑・斎藤健治・丸山 悟・末松辰規

◇地域協力者より: 今年で二年目を終了しました 信州すざか農業小学校豊丘校長 羽生田龍雄

10. 虹の会(1年目) アスペルガー症候群の子どもたちのソーシャルスキルの獲得… 堂前直人・池田桃子

◇感想・反省：(1) 心に誓った 堂前直人/(2) ほめること、そして子どもを伸ばすこと 池田桃子/(3) 何度も参加してAちゃんと打ち解けた 江口みなみ/(4) 得たものを大切に 長尾麻菜/(5) ほめて変わったT君 桃澤佑子/(6) 対応することの難しさ 市原哲也/(7) 保護者の方の想いを受けて 堂前直人

11. 第5回YOU遊フェスティバル

人と人との協力があって

松橋彰行・細川李花

◇実行委員の感想・反省：「ありがとう」という気持ち 松橋彰行/YOU遊フェスティバルから学び得たこと 細川李花/何かを形にするということ 清水亜美/みんなの熱さに感謝 平林照世/今思うこと 仲吉咲香/楽しそうなこと 丸山 悟/子ども募集とは 丸山晃男/「どうしよう」から「ありがとう」へ 落合静香/大人も子どもも学びあえる環境 常盤千明/本部を経験して 洞出直美

12. 第5回YOU遊フェスティバルの各講座

(1) みんなで踊ろう！よさこいソーラン 上原珠美・山上夏美/(2) みんなで作ろうペットボトルロケット 上田雄介/(3)染めっ子体験団 堀端優也・稲玉恵美/(4) 蕎麦を傍に感じよう！ 加藤博美・布山奈津美/(5)ペーパーガンシューティング 藤岡泰裕・田村将太/(6)楽しくゲーム!!...勉強が大好きになる...講座 堂前直人/(7)夢のぼん工場 笠原結・小 池真弓・野口洋恵/(8)やってみよう！フロアホッケー！ 根岸純平・越坂隆司/(9)ドキワク大運動会 末松辰規・鈴木春菜/(10)ピタゴラ装置を作ろう 青木智博・土田恵久/(11)トレジャーハンターエピソードII～迷宮の館 唐木佑輔

13. 学生シンポジウム報告 テーマ：子どもは塾に通うべきか

仲吉咲香

平成19年度「信大YOU遊世間」の教師教育学研究「第14集」

はじめに 岩永恭雄 信州大学教育学部長

共鳴しあうYOU遊の魅力 春原圭佑 第14期運営委員長/社会力の視点からみた「信大YOU遊世間」の意義 土井 進/YOU遊との出会い 三崎 隆 准教授/「信大YOU遊世間」の果実の側面 関川光彦 長野県農業大学校講師

1. 信大茂管ふるさと農場 (8年目)

八代目「信大茂管ふるさと農場」 洞出直美・上田雄介

「信大茂管ふるさと農場」の実体験に学ぶ 林部信造 農業

2. XYサタデースクール (6年目)

子ども選と共に学ぶ場 落合静香・石井絵理子

活動に見る地域とのつながり 滝沢典子

◇地域協力者の評価 「連携して」 唐木忠重・小濱政興

3. 湯谷子どもランド (6年目)

メインイベント!!～湯谷キャンプで学んだこと～

田村将太・布山奈津美・野口洋恵・齊藤有希

◇保護者の評価 子どもたちの成長とともに感じる時・・・

中谷隆秀 子どもランド保護者代表

4. にこにこクラブ (6年目) 出会い+笑顔+つながり=大きな成長

/にこにこの活動を通し、子どもたちと関わる中で学んだこと 青木みなみ・上田綾乃・落合静香

◇保護者による評価 西澤真由美 保護者代表

5. 青木村えがおクラブ (3年目)

地域の人たちによる地域づくり 加藤博美・土田恵久・須貝和之・

石井絵理子・青木智博/◇青木村教育委員会からの評価：青木村での

活動の意義 上原博信 事務局

6. 麻績村dE遊ぼう (3年目) みんなの笑顔と「わ」の

生まれる場所 旗持貴優・小池真弓・平野 結

7. わらの会 (2年目)

音楽を通し他を認める子どもの姿を見つめて 大家恵梨子

8. 信州すざか農業小学校 (2年目)

子どもとの活動を通しての内面理解～実際に経験したからこそ

見えてくるもの～ 藤岡泰裕・細田有希・山崎友美

農業を体験し食べ物に感謝する気持ちを養う 校長 羽生田龍雄

9. 第6回YOU遊フェスティバル

◇講座内容 1. 宝を見つけるのは君だ/2. オリジナルポトを作ろう/3. レッツ プレイ ハンドベル/4. ピタゴラそうちをつくっちゃおう/5. みんなで楽しくソーラン節をおどろう/6. ぼく・わたしはケーキヤさん/7. かえってきた!! ペーパーガン・シューティング/8. 野外クッキング♪♪/9. きょうは、ぼく・わたしがHEROなりきり隊/10. おやこでおやき/11. うどん名人になろう!!/12. みんな集まれ わんぱく運動会/13. 第2弾 ロケット

◇講演会 「学生時代に培うべき教師の専門性」

講師：牛山栄世 信濃教育会教育研究所副所長/報告者 肥留間淳也・宮川はるな/◇「臨床の知」：YOU遊フェスティバルを学生がやる意義とは 常盤千明・大高真理

平成20年度「信大YOU遊世間」の教師教育学研究「第15集」

はじめに 岩永恭雄 信州大学教育学部長

第15期「信大YOU遊世間」 原 耕平 第15期運営委員長/「信大YOU遊世間」の魂は、自発・能動の「一人立つ」精神 土井 進 教授/子どもから学ぶ教師であってほしい 三崎 隆 准教授/YOU遊世間における学生の学び 村松浩幸 准教授/「YOU遊」で生きた学びを 安達仁美 助教

1. 信大茂管ふるさと農場 (9年目)

◇「臨床の知」：9代目の軌跡 ～何にも勝る大地のパワー～

宮川はるな・中川 茜・原卓也

◇地域協力者からの評価 林部信造 農業

2. XYサタデースクール (7年目)

◇「臨床の知」：子どもとの関わりのおかげ 小林良太郎・吉田

ちひろ/◇地域協力者からの評価：NPO 法人XY サタデースク

ールネットワーク 唐木忠重事務局

3. 湯谷子どもランド (7年目)

◇「臨床の知」：子ども・学生・保護者で築き上げる湯谷子どもラ

ンド 笠井悠太・高池亮輔・梅澤美夏

◇保護者からの評価：中谷隆秀 保護者代表

4. 青木村えがおクラブ (4年目)

◇「臨床の知」：「村が子どもを育てる」という社会教育への参画

小西 舞・原 耕平

◇青木村教育委員会からの評価 上原博信 事務局

5. 麻績村dE遊ぼう! (4年目)

◇「臨床の知」：支えられている活動 伊藤香澄・吉池潤奈/◇連携

団体からの評価 橋渡久美子 司書・石田恵子 麻績村 G-kid's

わくわくクラブ代表

6. わらの会 (3年目)

◇「臨床の知」：コミュニケーション・連携・環境・音楽 宮下奈保

子/◇連携団体からの評価：長野音楽療法研究会セラピスト 島田友

美子・ピアニスト西沢 泉

7. 信州すざか農業小学校豊丘校 (3年目)

◇「臨床の知」：農業と異年齢交流の場 一條まな・菊地ゆかり・

宮川志織/◇地域の協力者の言葉：羽生田龍雄 校長・友田一江 須坂

市教育委員会子ども課 北原昌司 長野県須坂園芸高等学校教諭、北

村珠巳 長野県須坂園芸高等学校3年

8. 大岡わらわらクラブ (1年目)

◇「臨床の知」：0を1にする作業を大岡で 原耕平・宮尾巨

9. 第7回YOU遊フェスティバル (講座内容)

1. オカシ de 家づくり/2. 劇的♡Before After ～これが噂の改

造計画～/3. 巨大迷路に挑戦/4. うどん名人になろう/5. あそ

び屋 わにわに/6. 楽しい!かしくなる!ゲーム/7. ビー玉コ

ースター!!+ 理科実験/8. つくろう ぼくらのひみつきち/9.

どっこい☆ソーラン～楽しくおどろろソーラン節～/10. トレ

ジャーハンター/11. わくわく漢字ワールド/12. 不思議がいっぱい

/13. みんなあつまれ! わんぱく大運動会/14. 世界記録に挑戦!

牛乳パック紙ヒコーク

◇「臨床の知」：人と人との関わり大切さ 高池亮輔

10. 「信大茂菅農業義塾」の開設

第9回全国フレンドシップ活動 in 信州

上越教育大学・横浜国立大学・文教大学・福井大学
・岐阜聖徳大学・奈良教育大学・広島大学・鳴門教育大学・熊本大学・信州大学（主催校）

平成21年度「信大YOU遊世間」の教師教育学研究「第16集」

はじめに 岩永恭雄 信州大学教育学部長
第16期「信大YOU遊世間」 東野千尋 第16期運営委員長
第16期「信大YOU遊世間」の出来事 土井 進
太陽と土と若いおとなとこどもと 山本亮介 准教授
YOU遊世間における学生の学び 橋本政晴 講師

1. 信大茂菅ふるさと農場（10年目）

◇「臨床の知」：かけがえのない私の1年間…「もすげ体操」と私
飯島理沙・鈴木祐香・藤田裕介
◇地域協力者からの評価 林部信造・小池 健 JAながの

2. 「信大茂菅農業義塾」（1年目）

◇「臨床の知」：はじめるということ 肥野沙也加・飯村昌史・藤田裕介
◇参加者の声：小野塚敏枝

3. あっぶるず（10年目）

◇「臨床の知」：等身大のあっぶるず 宮川はるな

4. 湯谷小子どもランド（8年目）

◇「臨床の知」：子どもの居場所をつくりあげるということ
鈴木 梢・岩本英美・早川和宏

◇地域の保護者からの評価 中谷隆秀 保護者代表

5. 青木村えがおクラブ（5年目） ◇他大学から見た「青木村えがおクラブ」

◇「臨床の知」：“再会の喜び”が“絆”を生む 市川香織・中村恵理・宮尾 亘
◇地域の方からの評価 高田玲子 青木村児童センター所長、上原博信 信教育委員会事務局

6. 麻績村dE遊ぼう！（5年目）

◇「臨床の知」：子どもの主体的な姿を大切に 布山朋和・田畑隆太郎
◇連携団体からの評価：橋渡久美子 麻績小学校司書・谷口ゆかり おみ子ども教室・石田恵子 麻績村 G-kid's わくわくクラブ代表

7. 信州すざか農業小学校豊丘校（4年目）

◇「臨床の知」：信州すざか農業小学校豊丘校の実態
西澤直城・鈴木 梢

◇地域の協力者の言葉 友田一江 豊丘校事務局

8. 信州大岡ふるさとランド（2年目）

◇「臨床の知」：挑戦することから見えた伝えることの大切さ・大岡の魅力… 宮尾 亘・市川香織・藤田裕介
◇連携団体からの評価：金澤 仁 大岡子どもプラザ施設長・小岩井彰 長野市立大岡小学校長

9. 第8回YOU遊フェスティバル（講座内容）

1. クリスマスリースをつくらう／2. あかれ！ボクの気球、わたしの気球／3. トレジャーハンター／4. 本日開店！ミニパン屋さん／5. HEROES ～とらわれの姫を救え～／6. 冬でもできる！！流し〇〇メン／7. はりがねカンパニー／8. 冬のドタバタ大運動会！！／9. 日本総勢！ グル巡り／10. いざ、ソーラン節～大漁目指して～／11. あそび屋 わにわに／12. 旭山に登って秋を描こう

◇「臨床の知」：人と人のつながりの中で 早川和宏

第17期「信大YOU遊世間」へ向けて！ 片原範子

平成22年度「信大YOU遊世間」の教師教育学研究「第17集」

はじめに 平野吉直 信州大学教育学部長
第17期「信大YOU遊世間」 片原範子 第17期運営委員長

第17期の運営組織と目的 土井 進

1. 信大茂菅ふるさと農場（11年目）

◇「臨床の知」：11代目農場長の収穫・茂菅が教えてくれたこと・夢のある活動 三石梨沙・土屋克明・松井 通
◇地域協力者からの評価：林部信造・小池 健

☆JA「虹の懸け橋賞」を受賞☆

2. 信大茂菅農業義塾（2年目）

◇「臨床の知」：理想と現実の間で感じたこと 肥野沙也加
◇参加者の声：橋本政晴 講師

3. あっぶるず（11年目）

◇「臨床の知」：後輩に伝えたい「あっぶるず」 飯島理沙

4. 湯谷小子どもランド（9年目）

◇「臨床の知」：「湯谷小子どもランド」という社会・二年間の関わりの中で 高見澤誠・腰原綾佳
◇保護者からの評価：保護者代表 近藤和巳・中谷隆秀

5. 青木村えがおクラブ（6年目） ◇「臨床の知」：人との出会い…

つながり 荻原知子・駒村美代
◇地域からの評価：高田玲子 青木村児童センター所長
◇青木村教育委員会 事務局 上原博信

6. 麻績村dE遊ぼう！（6年目）

◇「臨床の知」：子どもの主体的な姿を育むために 小賀坂佳子・三石梨沙
◇麻績小学校の先生方からの評価：橋渡久美子 司書・桐澤久美 非常勤講師

7. 信州すざか農業小学校豊丘校（5年目）

◇「臨床の知」：つながりあっていく空間、農業小学校・すざか農業小学校のあたたかさ・農業小学校に参加して学べたこと 入澤清里・鈴木 梢・宮尾 匠

◇関係各方面の皆様より：羽生田郁雄校長・友田一江事務局、須坂園芸高等学校 野菜クラブ一同・丸山暢之顧問

8. 信州大岡ふるさとランド（3年目）

◇「臨床の知」：信州大岡ふるさとランドの経験を通して 山越 俊
◇連携団体からの評価：金澤 仁 大岡子どもプラザ施設長・小岩井彰 大岡小学校校長

9. 第9回YOU遊フェスティバル（講座内容）

1. みんなで楽しく!!ソーラン節／2. おばけやしきをつくらう！／3. わたしたちのおやき屋さん／4. タイムトラベラー／5. 巨大人生ゲーム！！／6. ドロリッチ！／7. ほくほく芋畑牧場 ～バター…～／8. ぶっわぶわだよ パルーンワールド／9. つくってわくわく！楽しい工作／10. 夢のマイホーム☆／11. 子育てを語ろう

◇「臨床の知」：子どもたちの「できた」

「わかった」をみんなで喜べる 藤前修司

第18期「開かれた「信大YOU遊世間」の創造 服部直幸

平成23年度「信大YOU遊世間」の教師教育学研究「第18集」

はじめに 平野吉直 信州大学教育学部長
第18期、開かれた「信大YOU遊世間」の創造

服部直幸 第18期運営委員長

◇「臨床の知」：「信大YOU遊世間」への想い…「つながり」
土屋克明・赤羽成美・高坂 泉

「信大YOU遊」20周年への磐石な地盤づくり 土井 進

1. 信大茂菅ふるさと農場（12年目）

◇「臨床の知」：もすげから学んだこと…「成長」の場所
井出愛香・菊池智香・澗口歩美

◇地域協力者からの評価 林部信造・小池 健 JAながの

◇保護者からの評価 土に学ぶ・「もすげ農場」に参加して・子どもたちが楽しみにしている活動・「農場」への感謝と期待・学生としての参加、保護者としての参加
伊藤冬樹・田中宇子・茅野公徳・伏木久始・新井清規

2. あっぶるず（12年目）

◇「臨床の知」：長野のお父さんとお母さん 三石梨沙

3. 湯谷小子どもランド（10年目）

◇「臨床の知」：見えてきた「つながり」と「変化」・子どもと共に！
学生と共に！歩む、子どもランド… 鈴木喜多朗・佐原啓太・丸
山愛子・常田美里・刈間彩夏／◇保護者からの評価：近藤和巳 保
護者代表

4. 青木村えがおクラブ (7年目)

◇「臨床の知」：一歩を踏み出す勇氣・原点 内川舜也・町田香帆/
◇地域協力者からの評価：杏樹英明教育長・多田宇宏事務局、青木
村子どもはつらつネットワーク 小林規子

5. 麻績村dE遊ぼう！ (7年目)

◇「臨床の知」：麻績から「楽しさ」を伝えていく・麻績村が教えて
くれたこと 佐塚大悟・藤橋美月
◇地域協力者からの評価：塚原勝幸教育長・麻績村公民館 小松小百
合 社会教育指導員

6. 信州すざか農業小学校豊丘校 (6年目)

◇「臨床の知」：2つの「知」・農業体験をする子どもたちを見る
入澤清里・山崎花奈子／◇関係各方面の皆様より：羽生田都雄校
長・事務局 友田一江、須坂園芸高校野菜クラブ 白濱千尋

7. 信州大岡ふるさとランド (4年目)

◇「臨床の知」：私の第二の「ふるさと」大岡 北沢瑞樹／◇地域協
力者からの評価 木村公男大岡小学校長・金澤 仁 大岡子どもプ
ラザ施設長

8. 第10回YOU遊フェスティバル (講座内容)

1. 姫をたすけて!お菓子の家の職人たちよ!! / 2. ビッグライトレ
ストラシ / 3. みんなで踊ろう!ソーラン節! / 4. やって見なく
ちやわからない! / 5. りんごジャムソムリエになろう! / 6. お
ばけやしきを作って楽しもう! / 7. アウトドアクッキング / 8.
みんなで灯そうステンドグラス! / 9. OO中へミッションをクリ
アせよ! / 10. キャンドルアート / 11. 不思議作り隊 / 12. ちょ
っぴんアート / 13. 無限のかなたへさあいくぞ!! / 14. 巨大お絵か
き / 15. トリックアート / 16. あつまれ!こどもひろば / 17. 世界
のシアワセを探ろう / 18. ソーマキューブを作ろう!! / 19. フロア
ホッケーを体験しよう / 20. 大切にしよう自分・人 (保護者と性教
育についての討論会)

◇「臨床の知」：出会い、学び、感謝の場・「やりたいという学生の
思い」と「つながり」 松田祐輝・勝海公平

9. 第1回YOU-YOU キャンプ (1年目)

◇「臨床の知」：子どもたちのために 土屋克明

平成24年度「信大YOU遊未来」の教師教育学研究「第19集」

はじめに 平野吉直 信州大学教育学部長

「信大YOU遊」未来への展望 北沢瑞樹 第19期運営委員長

◇「臨床の知」：財産・第19期「信大YOU遊未来」の歩み 内川舜也・
岩瀬由依 副運営委員長 / 「YOU遊」というものに携わって・Chance
を大切にすること・「つながり」活動 井口 哲・織田裕二・榊原典
子・八木英理子・山田高弘 運営委員 / 君たちの未来は、私たちの未来
第19期「信大YOU遊未来」への飛翔 土井 進

1. 「信大YOU遊未来」茂菅 Farming Village (13年目)

◇「臨床の知」：学生の感想：私が茂菅で収穫したもの・子どもたち
を求めて・つながること・ずっと続けてほしいです 手塚亮介・井
上甲斐・遠山茂衣・長田信里子／◇地域協力者からの評価：林部信
造・小池 健 JA ながの／◇英語活動協力者：ダルトン・コリーン

2. あっふるず (13年目)

◇「臨床の知」：本当に不思議な活動です 井出愛香

3. 「信大YOU遊未来」湯谷 (11年目)

◇「臨床の知」：子どもの「居場所」を作る・繋がりから見えてくる

もの・一年間を振り返って

小松一成・林志桜里・柳澤美月・佐藤菜穂美・牧千紘

◇保護者からの評価 保護者代表 近藤和巳

4. 「信大YOU遊未来」青木 (8年目)

◇「臨床の知」：自分が心から楽しめるもの子どもたち
にも… 羽田 鋭・飯島莉菜

◇地域協力者からの評価 杏樹英明教育長・事務局 多田宇宏

5. 「信大YOU遊未来」麻績 (8年目)

◇「臨床の知」：「麻績村」とのつながり・麻績は一生活の 成瀬良心・
渡邊玲菜／◇地域協力者からの評価：塚原勝幸教育長・小松小百
合 社会教育指導員

6. 「信大YOU遊未来」須坂 (7年目)

◇「臨床の知」：人と人との関わり・家族での農業、食の体験にふれ
て 坂田好恵・山崎花奈子

◇関係各方面の皆様より：信州すざか農業小学校校長羽生田都雄・事
務局百瀬真弓、須坂園芸高校野菜クラブ 宮腰万由

7. 「信大YOU遊未来」大岡 (5年目)

◇「臨床の知」：こころを寄せる場所・大岡の力 山崎花奈子・宮田
巴都樹／◇地域協力者からの評価：木村公男 大岡小学校長・金澤
仁 大岡子どもプラザ施設長

8. 「信大YOU遊未来」番木 (1年目)

◇「臨床の知」：たくさんつながりの中で学ぶ 宮田巴都樹／◇参
加した学生の声：山崎花奈子・松島宏俊・八木英理子・榊原典子

9. 第11回信大YOU遊フェスティバル (講座内容)

1. ねん土をオープンで焼くぜえ ワイルドだろ〜 / 2. あわてんぼ
うのクリスマスパーティー ☆ / 3. 何ができるかな?竹を使って遊
ぼう! / 4. ソーラン節を踊ろう! / 5. THE☆さつまいも祭 / 6.
ハロウィーンパーティーをしよう / 7. King of Chair / 8. お菓子
の家からありがとう! / 9. 無限のかなたへさあいくぞ!! 2 / 10.
皆で作って遊ぼう、巨大すごろく / 11. スノードームにゆきをふら
そう! / 12. ミニチュアシティを作ろう!! / 13. SAGASE! お宝
大運動会!! / 14. 逆転裁判!真犯人を見つけ出せ!! / 15. OO中
へ最後まで生き残り〜 / 16. ゴムでつぼうであそぼう / 17. 11月
のファンタジー / 18. カウンセリングスキルを学び、コミュニケー
ション力を上げよう! / 19. どうしたら子どもは勉強するようになる
のか / 20. 「信大YOU遊」20周年記念同窓会を開こうか

◇「臨床の知」：それぞれの思い・「つながり」支え合うこと 田口
詩織・岩瀬由依

10. 第2回YOU-YOU キャンプ (2年目)

◇「臨床の知」：子どもをど真ん中に据えて… 榊原典子・赤羽成美

11. 「信大YOU遊未来」未来道場 (1年目)

◇「臨床の知」：良い教師になるために 田中沙結美

12. 「信大YOU遊未来」夢村 (1年目)

◇「臨床の知」：教師としての姿勢・「夢村」に行ってみよう……
生きる意味 (信大OB&OG・教諭)

三石梨沙・服部直幸・宮尾亘・市川香織

◇顧問からの評価：若人よ、国境をも越えて人とつながれ!
小岩井彰 長野県教育委員会東信教育事務所生涯学習課長

☆「信大YOU遊未来」連携活動の紹介☆

* 放課後子どもプラザ 信里 (2年目)

◇「臨床の知」：純粋な子ども…加々美理沙

* 高大連携事業 (長野県立長野西高校) (1年目)

◇「臨床の知」：新たなつながり 松田祐輝

* 第12回全国フレンドシップ報告 北沢瑞樹

土井 進 (教育科学講座・「YOU 遊」担当教員)

『信大 YOU 遊』20 周年記念シンポジウムの開催が、平成 25 年度の信州大学学内版 GP として採択された。このことが大きな推進力となって平成 25 年 8 月 10 日 (土) に約 200 名が参加するシンポジウムを開催する運びとなった。また、参加者に記念誌『「信大 YOU 遊」地域・子どもたちと共に歩んだ 20 年』を贈呈することが可能になった。ここに、信州大学当局のご配慮に対して深く感謝申し上げたい。

次に「YOU 遊」が 20 年にわたって連綿と続いてきたのは、3,000 名を超える歴代の学生勇者のお陰である。「YOU 遊」に注がれた若き日の情熱に対して、深く敬意を表したい。「YOU 遊」の灯を自分たちの代で消してはならないという責任感と情熱によって、信州大学の地域貢献活動が 20 年間にわたって受け継がれ、語り継がれてきた。「YOU 遊」は授業科目ではない、アルバイトでもない、サークル活動でもない。ただ一つ「やりたい人が、やりたいことを、やりたいようにやる」という実践哲学に賛同した学生が、主体的、自発的に関わることによって、自然発生的に生まれた究極の「総合的学習」であると表現するのが一番適切であろう。3,000 名を超える学生勇者が関わった子どもたちや地域住民は、優に 10,000 人を超えている。当時の子どもたちは、今や立派な社会人となって全国で活躍している。また、学生たちのほとんどが全国各地の幼・小・中・高校の先生となって活躍している。また、その中から 3 名の大学教員・研究者も誕生した。

「信大 YOU 遊サタデー」が一つのモデルとなって平成 9 年度 (1997) に、文部省 (当時) は教員養成大学・学部フレンドシップ事業を政策化した。この政策の目的とされたのが実践的指導力の養成である。「YOU 遊」20 年の蓄積によって、一体どのような成果がもたらされたのか。8 月 10 日のシンポジウムは、「YOU 遊」20 年間の成果を検証する絶好の機会となる。実践的指導力が含意する「使命感」「責任感」「教育的愛情」「社会力」などの資質・能力を体得する上で、「YOU 遊」体験がどのような影響を学生に与えたのか、卒業生と在学生の語りに大いに注目したいものである。

本記念誌は、別記の編集委員の労を惜しまぬ献身的なご努力によって作成された。熟議の末に決まった書名が『「信大 YOU 遊」地域・子どもたちと共に歩んだ 20 年』であった。また、編集方針として①思い出と仲間を再確認し、未来へと一歩踏み出すきっかけとなる記念誌、②「スタッフ・プロフィール」にできる限り多くの卒業生・在學生に執筆していただく、が掲げられた。ご寄稿いただいたすべての皆様に御礼を申し上げます。また、編集委員の皆様のご苦勞に対し、深く敬意を表する。

最後に、本シンポジウムにご多用中にもかかわらず、遠路ご参加くださいました皆様、本当にありがとうございました。

☆

【編集後記】 2012 年 3 月 24 日 (土) に「YOU 遊」の卒業生と在學生 20 数名が図書館 2 階に集まって、昼食持ち寄りの懇談会を開きました。議題は「YOU 遊」20 周年に向けての意見交換でした。この席で土井先生から『「YOU 遊」20 周年を記念して、記念誌を作るのはどうだろうか』との提案があり、その場にいた人を中心に編集委員会が結成されました。「たたき台を作るだけだからかまわないから」と言われ、私が編集委員長を務めさせていただくことになったのですが、実践記録の第 1 集から第 19 集までを丹念に読む作業や先輩方からお話をお聞きしたりしていく中で、立ち上げや存続にも並々ならぬ先輩方の思いや努力があったことが伝わってきました。また、地域協力者や保護者の方々との信頼関係をしっかりと築いてきたからこそ 20 年も続いてきたのだと思いました。改めて「YOU 遊」の良さ、熱い情熱を感じ、誇りに思いました。

「勇者たちのプロフィール」は、当初、顔写真入りのカラー印刷にする予定でした。しかし、予算の都合上それは叶わないことがわかり、白黒印刷へと編集方針を大転換しました。このこと、皆様に深くお詫び申し上げます。

この「20 周年記念誌」を通して、3,000 名を超える「YOU 遊」の実践者が、学生時代の思い出とともに、新たに繋がっていくことを願っています。私は編集委員長として本当に微力でありましたが、共に編集委員として頑張ってきてくれた仲間、お忙しい中にもかかわらず原稿を執筆して下さった皆様、そして、編集委員会のたびに大学に足を運んで全力でサポートして下さった春日英一様、土井進先生、そして、私たちを温かく見守り支えて下さっている地域の方々・保護者の皆様、この記念誌に関わって下さった全ての皆様に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

平成 25 年 (2013) 6 月 1 日 信州大学創立記念日に

「20 周年記念誌」編集委員長 高坂 泉

☆「信大 YOU 遊」20周年記念シンポジウムの開催 ☆

平成6年6月6日に産声をあげた「信大 YOU 遊サタデー」が、平成25年度に20周年という節目を迎えることになりました。ひとえに、信大教育学部で学んだ皆さんの想いが、時代を超えてつながってきたことによるものです。「信大 YOU 遊サタデー」を立ち上げた当初、ここまで永きにわたりこの活動が続くとは予想だにしていませんでした。皆様方のご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。平成25年1月に「YOU 遊」第19期と第20期の合同運営委員会が開かれ、20周年記念シンポジウムを8月に開催することが決まり、これを受けて有志がシンポジウムの運営について相談しました。…シンポジウムが「YOU 遊」に携わってこられた皆様の旧交を温めるよい機会となれば幸いです。(シンポジウム「趣意書」より抜粋)

☆〈20周年記念シンポジウム実行委員会〉☆

実行委員長 山口直行 (第1期実行委員長)
副実行委員長 白井 敬 (第6期実行委員長) 那須紋子 (第9期茂菅農場長)
実行委員 渡辺一博 (第2期実行委員長) 新井清規 (第2期) 西澤俊輔 (第7期)
両角孝之 (第7期) 小黑あかり (第8期) 平林照世 (第13期) 市川香織 (第16期)
宮尾 亘 (第16期) 三石 梨沙 (第17期) 服部直幸 (第18期運営委員長)
岩瀬由依 (第19期) 山田 高弘 (第19期)
事務局長 (第20期運営委員長) 木田達也
事務局員 (第20期副運営委員長) 島山智晴 横田克己 上野なつみ
応援教員 安達仁美 (第7期講座長、教育科学講座助教) 担当教員 土井 進 (教育科学講座教授)

「信大 YOU 遊」20周年記念誌 編集委員会

(◎委員長 ○副委員長)

◎高坂 泉 ○井口 哲 ○内川舜也
○北沢瑞樹 ○服部直幸 ○山田高弘
赤羽成美 新井清規 上野なつみ
白井 敬 宮田巴都樹 三石梨沙
山崎花奈子 山口直行 土井 進

平成25年度学内版G P

取扱名称：「信大 YOU 遊」20周年記念シンポジウムの開催

「信大 YOU 遊」 地域・子どもたちと共に歩んだ20年

2013 (平成25) 年8月 6日印刷 ©

2013 (平成25) 年8月 10日発行

編 集 「信大 YOU 遊」20周年記念誌 編集委員会

発行人 土 井 進

E-Mail:doisusm@shinshu-u.ac.jp

発 行 信州大学 教育学部 教師教育学研究室

〒380-8544 長野市西長野6-0

TEL 026-238-4260 FAX 026-238-4260

制 作 オフィス春日

E-Mail:xmbxp210@ybb.ne.jp



**SHINSHU
UNIVERSITY**

「信大 YOU 遊」20 周年記念誌